

SHARP®

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形 名

エルシー

ディーアール

LC-40DR9

LC-32DR9

はじめに、巻末の
「かんたん!! ガイド」の
手順 ① ~ ⑦ で準備・接続を
行ってください。

AQUOS



HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

dtc
2.0+Digital Out



AVCHD BONUS VIEW™



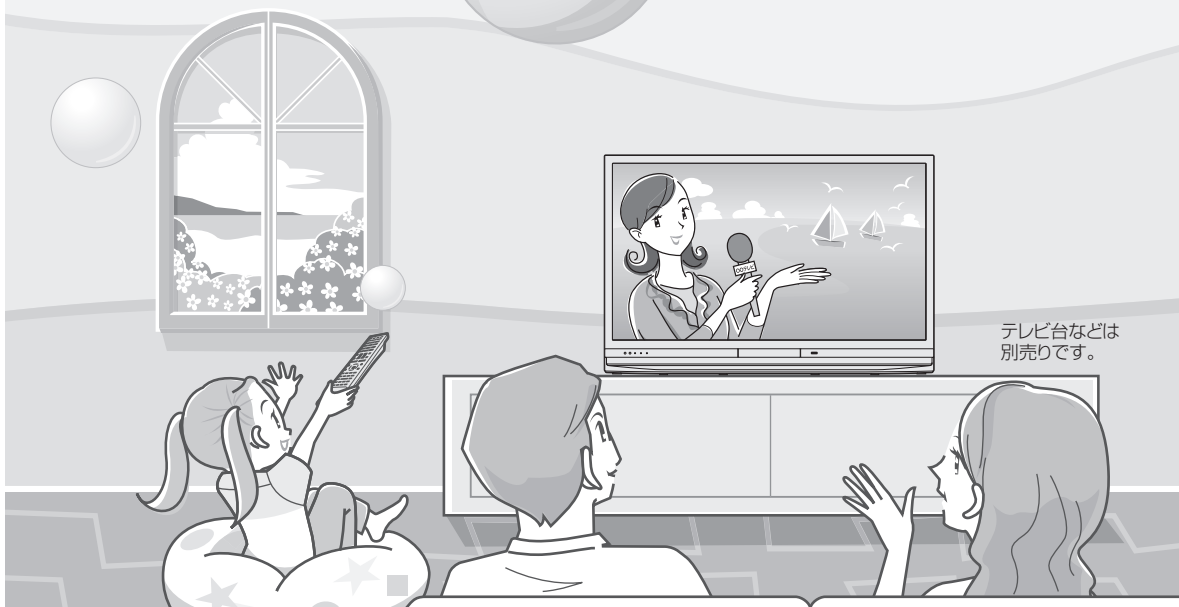
BDXL™

BD-Video

DOLBY
DIGITAL PLUS



RW
COMPATIBLE



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」(3 ページ) を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

かんたんガイド
(準備・接続)
目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

- ・本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものです。実際の表示とは多少異なります。
- ・本書では、特に機種名を明示している場合を除いて LC-40DR9 を例にとって説明しています。
- ・本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去(初期化)をお願いします。(⇒ 33 ページ)

目次／ご注意／各部の名前

安全上のご注意	3
使用上のご注意	7
本体各部やリモコンボタンのなまえ	11

ふだんの使いかた

ふだんの使いかた	13
ディスクの入れかた・出しかた	14
番組表の使いかた	16
視聴中の便利な機能	18
タイマー機能を使う	24
外部機器を接続して使う	27

メニュー操作

ホームメニューの使いかた	29
メニュー項目の一覧と使いかた	31
メニュー項目に関するお知らせ	39
文字を入力する (ソフトウェアキーボード)	41
本機の録画・再生機能について	44

録画・再生

本体HDDに録画するための準備	47
USBハードディスク(市販品)の 準備をする	51
USBハードディスクを 取りはずすときは	53
本機で録画する	55
予約の確認・取り消し・変更をするには	61
録画した番組を整理する	64
BDへダビングする	69
ディスクを管理する	73
録画した番組を再生する	74
市販のディスクを再生する	78
再生時の操作や設定	83

USBメモリー／インターネット

USBメモリーの写真や音楽を楽しむ	93
双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする	97
インターネットに接続できない場合は	101
双方向サービス／インターネット／ ホームページへの接続を制限する	103
インターネットを楽しむ(AQUOS City)	104
アクトビラ ビデオ／ アクトビラ ビデオ・フルを見る	110
IPTV(ひかりTV)を視聴するための準備	112
IPTV(ひかりTV)を見る	115
ホームネットワークで映像・写真・音楽を楽しむ	118

他の機器をつなぐ

ファミリンク対応機器をつなぐ	126
ファミリンクで使う	128
レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ	136
パソコンをつなぐ	140
デジタル音声(光)端子付きのオーディオ機器で聞く	144

個別設定／放送の種類について

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは	145
放送の種類について	149

故障かな？／エラーメッセージ

故障かな？と思ったら	152
放送が受信できないときに確かめること	153
エラーメッセージが出たら	167
こんなときは	176
本機で使えるディスクについて	179

お役立ち情報(仕様など)

おもな仕様について	182
保証とアフターサービス	184
お客様ご相談窓口のご案内	185
本機で使用している特許など	186
用語の解説	190
索引	195

English Guide

Part Names	200
Switching the Display Language to English ホームメニューなどの言語を英語にする	202

かんたん!!ガイド(巻末)

① リモコンの準備と使いかた	1
② 置く場所を決める	2
③-1 アンテナをつなぐ(テレビだけをつなぐ場合)	3
③-2 レコーダーとテレビをつなぐ	5
④ 電源コードをつなぐ	7
⑤ 転倒防止対策をする	8
⑥ B-CASカードを挿入する	9
⑦ 「かんたん初期設定」をする	10

付録

次の内容は、AQUOS サポートページに掲載しています。

- ・ パソコンで本機を操作する
- ・ 設定メニューの項目一覧
- ・ 寸法図

AQUOS サポートページ

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

安全上のご注意

本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

- ・この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
- ・内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



気をつける必要があることを表しています。



してはいけないことを表しています。



しなければならないことを表しています。



警告

内部に異物を入れない



禁止



- ・本機の開口部（通風孔やディスプレイ開閉口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く



- ・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ほこりを取る

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない



100 ボルト
以外禁止

- ・火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない



禁止

- ・電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない



分解禁止

- ・内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。また、レーザー光が目当たると目を痛める原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。



警告

不安定な場所に置かない



禁止

- ・落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

本機の上に花瓶等、水の入った容器を置かない



水ぬれ禁止

- ・水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

台所や屋外など、テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない



水ぬれ禁止

- ・火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

電源コードに重いものを載せない



禁止

- ・火災・感電の原因となります。

本機を風呂やシャワー室のような湿気の多いところで使用しない



風呂、シャワー室
での使用禁止

- ・火災・感電の原因となります。

落したり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

- ・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

警告

煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

- ・異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。
- ・お客様自身による修理は絶対におやめください。

内部に水や異物、または虫などが入ったときは、電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

- ・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない



接触禁止

- ・感電の原因となります。

使用中に本機を布や布団などで覆ったり包んだりしない



禁止

- ・熱がこもって、火災の原因になります。

異常に温度が高くなるところには置かない



禁止

- ・特に真夏の車内や車のトランクの中は、想像以上に高温になります。本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。
- ・また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

本機を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがあるので注意する



指示

- ・長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。特に肌の弱い方はご注意ください。

注意

免責事項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください



離して配置

- ・送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- ・BS・110度CS デジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない



禁止

- ・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない



禁止

- ・倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）



禁止

- ・液晶画面のパネルが割れることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
内部の掃除は販売店に依頼する



注意

- ・内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

- ・感電や火災の原因となります。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す



接続線を
はずす

- ・接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

注意

ぬれた手でコンセントに触れたり、電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

- ・感電の原因となります。

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない



禁止

- ・発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

電源プラグは確実に差し込む



確実に差し込む

- ・電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。

また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない



禁止

- ・電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない



禁止

- ・火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



禁止

- ・電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、または調理器具や加湿器の近く、硫化ガス（ H_2S 、 SO_2 ）が大気中に含まれる温泉地などには設置しない



禁止

- ・火災・感電の原因となることがあります。
- ・大気中に含まれる硫化ガス（ H_2S 、 SO_2 ）に長時間さらされると、硫化により金属が腐食し、故障の原因となることがあります。

ディスクトレイ開閉口に手を入れない



指のケガに注意

- ・小さなお子さまがディスクトレイ開閉口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない



禁止

- ・料理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない



禁止

- ・飛び散ってけがの原因となることがあります。BDユニットが故障し、ディスクが取り出せなくなる原因にもなります。

健康のために、次のことをお守りください



- ・連続して使用する場合は、1時間ごとに10分～15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- ・新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
- ・日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

- ・この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ・ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

アルカリ電池についての安全上のご注意

- ・液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、次の注意事項を必ずお守りください。

電池は幼児の手の届く所に置かない



禁止

- ・電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない



禁止

- ・電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

- ・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。

電池は火や直射日光などの過激な熱にさらさない。水の中に入れない。加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない



禁止

- ・電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- ・電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

目次／ご注意／各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の種類について

故障かな？／エラーメッセージ

お役立ち情報（仕様など）

English Guide

⚠ 注意

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる



表示どおりに入れる

- 間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない



禁止

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す



指示

- 電池を入れたままにしておく、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた

- ⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

廃棄のしかた

- ⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

重要 必ずお読みください

■大切な録画の場合は

- 事前に試し録りをするなど、機器が正常に働くことを確認してから行ってください。

■録画(録音)内容の補償はできません

- 万一何らかの原因で本機が故障し、データが消失した場合、または不具合により録画・録音されなかった場合の録画・録音内容の補償については、ご容赦ください。

■著作権について

- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、著作権保護のための信号が記録されている放送番組の録画・録音はできません。

■録画防止機能について

- 本機は、複製防止機能(コピーガード)を搭載しており、著作権などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

■保証について

- 本機を分解しますと、保証が無効になります。

■再生の制限について

- 本機は、無許諾のディスク(海賊版など)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

■電源について

- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や、停電からの復帰後は、電源を「入」にしても、システム調整のため数10秒～10分程度、動作しない場合があります。
- テレビ画面にディスク確認中を示す表示が出たときは、ディスクの状態の確認に10分以上かかる場合があります。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽く拭きとってください。ベンジン、シンナーなどで拭いたり、化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）を使うと、本体キャビネットの成分が変質したり、塗料がはげたり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿、ネル等）をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

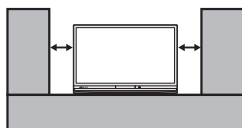
- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

損害について

- お客さま、または第三者使用によるこの製品の誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

設置時に関して

- 本体は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。
- 本体の電源ボタンで電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されており、感電や火災の原因となることがあります。
- ほこり・タバコの煙の多い場所には置かないでください。故障や事故の原因となります。
- 本体の左右には、それぞれ 10cm 以上のスペースを空けて設置してください。



液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

AQUOS クリーニングクロス 推奨品

24 × 24cm : CA300WH1 *

40 × 30cm : CA300WH2 *

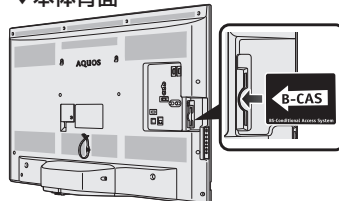
※ 販売店またはシャープホームページ内のシャープいい暮らしストア(ネット販売)でお求めください。

- お手入れの際は、必ず「電源ボタン設定」(⇒33ページ)を「モード2」にしてから、本体の電源ボタンで電源を「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ディスプレイパネルの表面は、柔らかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）などを使わないでください。ディスプレイパネルの表面がはく離することがあります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布（綿、ネル等）を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。（強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付きます。）
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差しする

- むやみに抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC チップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないでください。

▼本体背面



- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、上図のとおりに入力してください。

守っていただきたいこと

長期間で使用にならないとき

- ・長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。



電源プラグ
を抜く

- ・長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

静止画を長時間表示しないでください

- ・残像の原因となることがあります。

使用が制限されている場所

- ・航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

国外では使用できません

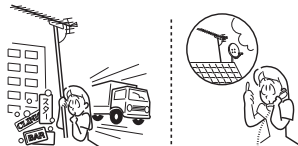
- ・この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

電磁波妨害に注意してください

- ・本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間の干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

アンテナについて

- ・妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- ・アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ずBS・110度CSデジタル用アンテナケーブル(市販品)を使用してください。
- ・アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。



使用温度について



注意

- ・室温が5℃～35℃の状態でご使用ください。室温の温度変化は、1時間あたりの温度変化を10℃以内に保つことをおすすめします。寒冷地での使用の場合は、特につゆつきにご注意ください。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

- ・ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- ・低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度:5℃～35℃)

結露(つゆつき)について

- ・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。



注意

- ・本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

- ・以下のような温度差の激しいところに設置すると、内部のピックアップレンズやディスクに「つゆつき(結露)」が起こる場合があります。

- ・暖房をつけた直後。
- ・湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- ・冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

本機の内部につゆつきが起こったままお使いになると、HDDに傷が付いて故障の原因になります。室内の温度変化は、毎時10℃以下に保つことをおすすめします。

つゆがつくと

- ・ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには

- ・ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

- ・急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

雨天・降雪中でのご使用の場合

- ・雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

- ・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形・変色したり、故障の原因となることがあります。
- ・本体や電池などの部品を、直射日光が当たる場所にさらしたり、火や熱器具などの近くに置かないでください。

守っていただきたいこと

引っ越しや輸送のときは

- ディスクを取り出してから梱包してください。また、ふだんで使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

磁気について

- 本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、画面の色が乱れたり、ゆれたり、大切な記録が損なわれたりすることがあります。

HDD(ハードディスク)の取り扱いに関するご注意とお知らせ

本機の設置場所や取り扱いに十分な配慮が不足しますと、次のような症状が発生します。

- HDD が故障する
- HDD に録画した内容が損なわれる
- 動作が中断する
- ノイズが記録される

上記のようなことを避けるため、以下のことを守ってください。

- 次のような場所には置かないでください。
 - 本体の通風口をふさぐような狭いところ
 - 傾いたところ
 - 振動の激しいところ（振動や衝撃を与えないでください）
 - 湿度の高いところ
 - 温度差の激しいところ
以下のような温度差の激しいところに設置すると、「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。
 - 暖房をつけた直後。
 - 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
 - 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。
- 本機の内部につゆつき（結露）が起こったままお使いになると、HDD（ハードディスク）に傷が付いて故障の原因になります。室内の温度変化は、毎時 10℃ 以下に保つことをおすすめします。

つゆがつくと

- 信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには

- 電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。
- 電源が入っているときは次の点にご注意ください。
 - 電源プラグをコンセントから抜かない
 - 本機を設置してある場所のプレーカーを落とさない
 - 本機を移動させない

- 本機を移動させるときは次の点にご注意ください。故障の原因になります。
 - BD や DVD ディスクを取り出してください。
 - 「クイック起動設定」(⇒ 33 ページ)と地上デジタル放送の「番組表取得設定」(⇒ 17 ページ)をそれぞれ「しない」に、また「電源ボタン設定」を「モード 2」に設定し、本体の電源を切った状態で（本体の POWER（電源）ランプが消灯後、約 2 分程度待ってから）、接続や電源プラグを抜いてください。
 - 振動や衝撃は与えないでください。

エラーメッセージが表示されたら

- 「ハードディスクにエラーが発生しました。放送視聴のみ可能です。」などのエラーメッセージが表示されたときは、HDD が故障していることがあります。HDD が故障した場合、ご自身で HDD を交換することはできません。HDD が故障しても再生が可能であれば、録画内容を BD-RE や BD-R ディスクに保存してください。その上で、お買いあげの販売店、またはシャープお客様相談センター(⇒ 185 ページ)にご連絡ください。
 - ※ 本機をご自身で分解すると、保証が無効になります。
 - ※ 録画した内容の修復はできません。
- エラーメッセージが表示されたとき、症状によっては HDD を「初期化」することで改善されることがあります。初期化のしかたについては 73 ページをご覧ください。
 - ※ 初期化をするとき、録画した内容は全て消去されます。大切な録画内容は、初期化をする前に BD-RE や BD-R ディスクに保存(バックアップ)してから初期化をしてください。

停電になったら

- 録画中、または録画予約中に停電になると、録画中の内容が損なわれることがあります。
- 再生中に停電になると、再生中の内容が損なわれることがあります。

アンテナ受信が弱いときは

- 録画の際、アンテナが抜けたり、アンテナ受信が不良になった場合、録画を停止することがあります。その場合、録画リストには「アンテナ受信不良の可能性があります。」と表示されます。

大切な録画内容は

- パソコンと同様に、HDD は、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。録画（録音）内容の長期的な保管場所ではありません。大切な番組、残しておきたい映像は、BD-RE や BD-R ディスクにダビングして保存（バックアップ）しておくことをおすすめします。

本機では HDD の容量の一部を、システム管理領域として使用しています。

HDD の故障による録画・録音内容の損失など万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

目次／ご注意／各部のなまゝ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の種類について

故障かな？／エラーメッセージ

お役立ち情報（仕様など）

English Guide

守っていただきたいこと

HDD の初期化について

- ・ お買い上げ時、HDD は初期化された状態ですので初期化の必要はありません。

こんなときに初期化をします

- ・ HDD 内の番組を消去しても空き容量（残量時間）が増えないとき。
- ・ 本機のエラーが発生し、リセット操作をしても改善されないとき。
- ・ HDD 内のタイトル（録画した番組）をすべて消去し、リフレッシュさせたいとき。
- ・ HDD 初期化の操作について詳しくは、⇒73 ページをご覧ください。

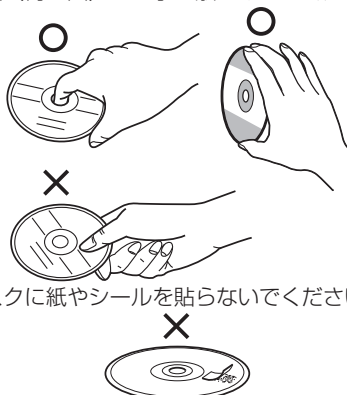
◆ 重 要 ◆

- ・ 初期化するとすべてのタイトルが消去されます。消去されたタイトルは復元できません。大切なタイトルは、BD-RE や BD-R ディスクにダビングして保存（バックアップ）しておくことをおすすめします。

ディスク (BD・DVD・CD) の取り扱いに関するご注意とお知らせ

ディスク (BD・DVD・CD) の取り扱いはていねいに

- ・ 記録面（再生面）には手を触れないでください。

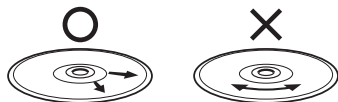


- ・ ディスクに紙やシールを貼らないでください。



ディスク (BD・DVD・CD) のお手入れについて

- ・ ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。



- ・ 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取ってから、乾いた布で乾拭きしてください。
- ・ シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れるときは

- ・ ディスクの記録面に、傷や汚れが無いかお確かめください。
- ・ ディスク読み取り部にゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。ディスク読み取り部にたまったゴミやほこりが原因の場合、推奨のレンズクリーナーを使用することで症状が改善される場合があります。ただし、改善効果は、必ずあるというわけではありません。レンズクリーナーを使用しても症状が改善されない場合は、お買いあげの販売店またはシャープお客様相談センター（⇒185 ページ）にご相談ください。

推奨レンズクリーナーについては、AQUOS サポートページをご覧ください。

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

※推奨以外のレンズクリーナーは、故障の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。

ディスク (BD・DVD・CD) の保管のしかた

- ・ ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。
- ・ 直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。
- ・ 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。
- ・ ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。



特殊な CD について

- ・ 特殊形状（ハート形や六角形など）のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

ダビング中に停電になったときは

- ・ ダビング中に停電になったときは、ダビングの内容が損なわれることがあります。また、BD が使用できなくなる場合があります。

本体各部やリモコンボタンのなまえ

本体各部

- LC-40DR9 を例に説明していますが、LC-32DR9 も端子の配置は同じです。

画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されたときは、本体のボタンで、本体側のリモコン番号を切り換えることもできます。

- 1) 本体の「入力/放送切換 (決定)」ボタンを5秒以上押す (本体側のリモコン番号メニューが表示されます。)
- 2) 本体の「音量 (+/-)」ボタンで「1」または「2」を選ぶ
- 3) 本体の「入力/放送切換 (決定)」ボタンを押して決定する

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

前面

電源ボタン
⇒ 13 ページ

ホーム(メニュー)ボタン
⇒ 29 ページ

入力/放送切換(決定)ボタン
⇒ 27 ページ

- ホームメニューを操作するときは、決定ボタンとして使います。

選局(ハ順/V逆)ボタン
・ホームメニューを操作するときは、上下カーソルボタンとして使います。

音量(+/-)ボタン
・ホームメニューを操作するときは、左右カーソルボタンとして使います。

明るさセンサー受光部

リモコン受光部
・リモコンをここにに向けて操作します。

POWER (電源)ランプ
・緑色点灯: 動作状態
・赤色点灯: 待機状態
・消灯: 電源オフ状態

TIMER (タイマー)ランプ
・視聴予約、録画予約、おはようタイマー設定時、赤色で点灯します。

※LC-32DR9は、本体背面にボタンがあります。

トレイ開/閉ボタン
⇒ 14 ページ

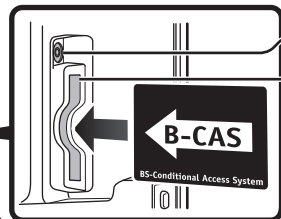
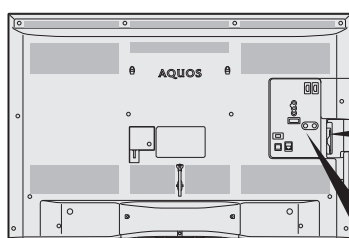
形名表示

ディスクトレイ
⇒ 14 ページ

REC (録画)ランプ

- ・赤点灯: 録画中、ダビング中
- ・青点灯: 本体HDD / BD / USB-HDDを再生中
- ・白点灯: ディスクが入っているとき、ディスクの初期化中
- ・消 灯: ディスクが入っていないとき

背面



ヘッドホン端子

B-CASカード挿入口
⇒「かんたん!!ガイド」(巻末) 9 ページ

入力3 (D5・映像・音声)
⇒ 136・138・139 ページ

- 工場出荷時は入力端子としてはたらしません。
- D5映像端子・映像端子は入力のための端子です。

外付けハードディスクや
USBメモリーをつなぐ

USB端子
⇒ 93・「かんたん!!ガイド」(巻末) 6 ページ

デジタル音声出力(光)端子
⇒ 127・144 ページ

LAN端子(10BASE-T / 100BASE-TX)
⇒ 100・112 ページ

- インターネットやアクティブラ、IPTV、デジタル放送の双方向通信、ホームネットワークで使用します。(LAN: ローカルエリアネットワークの略称)

HDMI対応機器をつなぐ

入力1・入力2(HDMI)
⇒ 126・127・135・136・137・140・141 ページ

アンテナをつなぐ

⇒「かんたん!!ガイド」(巻末) 3～6 ページ

アンテナ入力地上デジタル

アンテナ入力BS・110度CSデジタル

リモコンのボタン

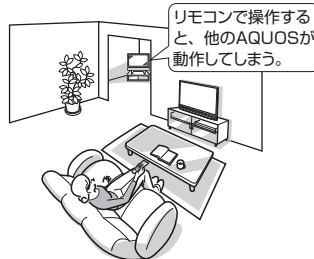
ボタン名	ページ
番組情報	20
終了	
・ ホームメニュー、文字入力、インターネットを見る画面の操作などに使います。	
カーソル (上/下/左/右) / 決定	30
・ 文字入力、インターネットを見る画面の操作などに使います。	
ツール	30
戻る	
・ ホームメニュー、文字入力、インターネットを見る画面の操作などに使います。	
カラー (青/赤/緑/黄)	
・ 連動データ放送の操作	23
・ 文字入力の操作	42
・ インターネットを見る画面の操作などに使います。	
BD/HDD 切換	74
ダビングメニュー表示	71
録画タイトル消去	66
録画リスト表示	64・79
録画/ 再生操作	55・57 74・78・83
録画画質	48
録画状態	49・57
トレイ開/閉	14
ファミリンク	68・130・135
3桁入力	35
オフタイマー	24
字幕*	21
音声切換*	21
AV ポジション (画質切換)	33
画面表示	22
・ リモコン番号変更画面を表示	
2画面/操作切換	18~19・20

※ IPTV (ひかり TV) のテレビサービスにも使います。

リモコン番号とは

2台の AQUOS を近くに設置している場合、リモコン操作で2台とも動作してしまうことがあります。

リモコン誤動作の可能性があるこのような使用環境の場合、リモコン番号の設定で、別々の番号に設定しておくことと他の AQUOS の誤動作を防ぐことができます。(リモコン番号は、「1」または「2」に設定します。)



リモコン側のリモコン番号を切り換えるには

画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されたときは、下記の操作を行ってください。

- 1) 「1」または「2」 ボタンを押したまま、
 - 2) 「電源」 ボタンを5秒以上押す
- ・ 本体側で設定した番号に合わせてください。
 - ・ リモコンの乾電池が消耗したときや、乾電池を交換したときは、リモコン番号が「1」に戻る場合があります。



フタの開けた
両側の突起部を持ち、
引き上げます。

ボタン名	ページ
電源	13
インフォメーション	37
見どころ	84
ちょっと待つて	20
放送切換 (地上デジタル/ BS デジタル/ 110度CS デジタル)	13
チャンネル (数字)	
・ チャンネルの選局	13
・ IPTV (ひかり TV) の選局	115
・ 文字や数字の入力、イ ンターネットを見る画 面の操作、本機の設定 操作にも使います。	
データ連動	23・115
消音	13
音量	13
選局	13
インターネット	104・111・ 115・116
入力切換	27・120・ 143
・ ゲーム機、パソコン、 ホームネットワークな どの入力に切り換える 操作にも使います。	
番組表	16
・ 番組表から行う操作に 使います。	56・132
ホーム (メニュー)	30

リモコン側と本体側でリモコン番号が異なっている場合、下記の操作で本体側のリモコン番号を変更することもできます。

- 1) 「画面表示」 ボタンを5秒以上押す
- 2) 本体側のリモコン番号変更画面が表示されたら、「する」を選ぶ

する

しない

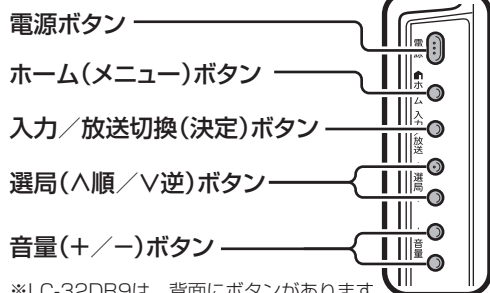
- 3) 「リモコン番号 1」または「リモコン番号 2」を選ぶ

リモコン番号1

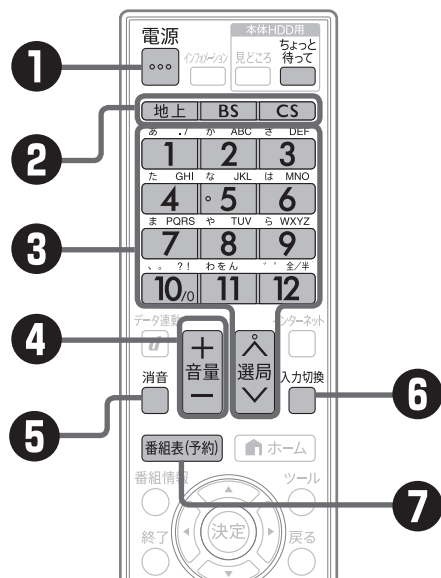
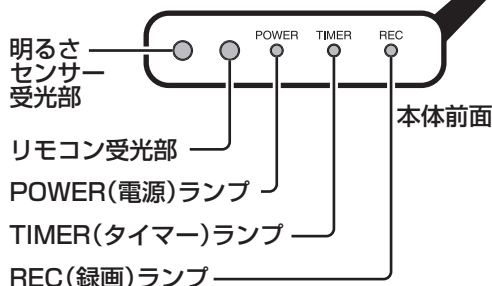
リモコン番号2

ふだんの使いかた

本体側面※ (LC-40DR9)



※LC-32DR9は、背面にボタンがあります。



視聴中の番組を一時停止できます

- ・ ちょっと待ってボタンを押すと視聴中の番組が一時停止され、追いかけて再生ができるようになります。(⇒ 20 ページ)

① 電源を入れる (本体の電源ボタン)

- ・ 本体の電源ボタンを押して「入」にすると、電源ランプが緑色になります。
- ・ リモコンの電源ボタンを押すごとにテレビをつけたり、消すことができます。

② 放送(地上デジタル放送／BS デジタル放送／110度CS デジタル放送)を選ぶ

③ チャンネルを選ぶ

- ・ 選局ボタンまたはチャンネル(数字)ボタンを使って、見たいチャンネルを選びます。
- ・ チャンネル(数字)ボタンは選局番号に対応しています。
- ・ BS デジタル放送視聴中に **BS** を押すと、表示されたBS 新サービスの選局がチャンネル(数字)ボタンで行えます。

④ 音量を調整する

- ・ 画面下部に音量レベルが表示されます。

⑤ 音を一時的に消す

- ・ 消音ボタンを押すと音量が0になります。
- ・ もう一度押すと元の音量に戻ります。
- ・ 消音となってから30分経過すると自動的に音量0になります。この状態から音声を聞くには、音量+ボタンで音量を調節してください。

⑥ BD/DVD プレーヤー・ゲーム機・PC (パソコン)などの画面に切り換える

- ・ 選択した入力に切り換わります。(⇒ 27 ページ)
- ・ 上下カーソルボタンでも選べます。

⑦ 番組表で番組を探す

- ・ ⇒ 16 ページをご覧ください。

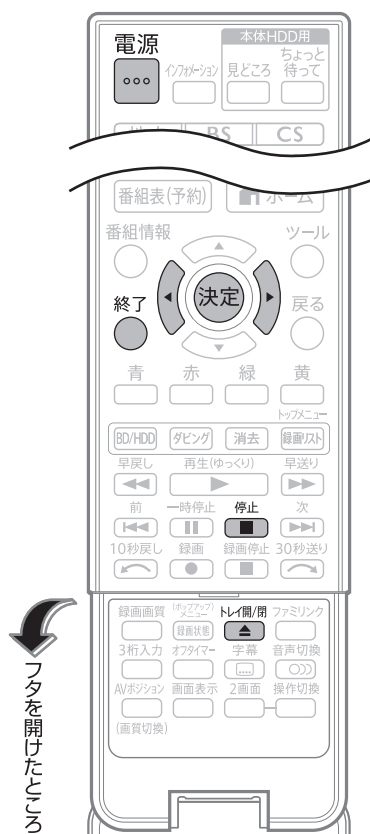
ディスクの入れかた・出しかた

ディスクの持ちかた

- ディスクを持つときは、光っている面に指紋や汚れなどが付かないようにご注意ください。



- ディスクの光っている面に、指紋や汚れが付着していないことを確かめてから入れてください。
- 汚れなどが付着しているときは、「ディスク (BD・DVD・CD) のお手入れについて」(⇒ **10** ページ)を参考に汚れを拭き取ってください。
- ディスク (BD・DVD・CD) に紙やラベル、シールなどを貼らないでください。



ディスクの入れかた

- ディスクを入れる時や取り出す時には、指紋やホコリなどの汚れが付かないように、十分ご注意ください。
- ディスクの記録 (再生) 面に指紋やホコリなどの汚れが付着すると、ダビングに失敗したり、再生時に、画像の乱れや音飛びが発生します。

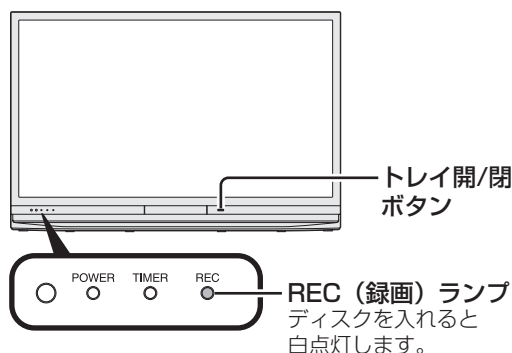
1

電源
を押す

本機の電源を入れる

2

トレイ開/閉ボタンを押す



- 本体レコーダーの起動に時間が掛かる場合があります。クイック起動設定で起動時間を短縮することができます。(⇒ **33** ページ)

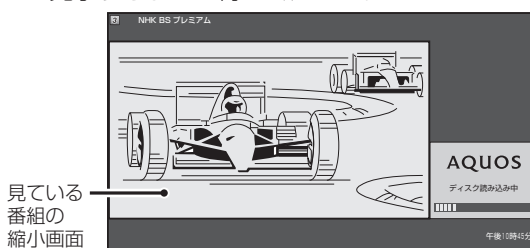
3

ディスクのラベル面を上向き(記録面を下向き)にしてトレイにのせる

4

トレイ開/閉ボタンを押す

- ディスクの読み込みが始まります。読み込みが完了するまでお待ちください。



ディスクを入れたときの表示例▲

新品の BD-RE / BD-R ディスクを入れた場合

- 本機で使えるようにするための処理「初期化」が自動的に始まります。



- 新品の BD-RE または BD-R でも、ディスクメーカーによっては「初期化する」「ディスク取り出し」と表示される場合があります。



- 初期化をする場合は左右カーソルボタン※で「初期化する」を選びます。
※ 本体のボタンでも操作できます。(⇒ 11 ページ)
- 初期化が完了すると、BD へのダビングができるようになります。

番組を録画・ダビングした BD を入れた場合

- 読み込みが終わると録画リストが表示されます。ただし、本機の状態によっては表示されないことがあります。

市販の BD ビデオ・DVD ビデオディスクを入れた場合

- BD ビデオ・DVD ビデオディスクを入れた場合は、自動的に再生※が始まるディスクがあります。
※ オートプレイ対応ディスクを入れた場合。

◆ 重 要 ◆

- 電源プラグを抜くときは、⇒ 178 ページの手順に従ってください。手順どおりに操作を行わないと、次に電源を入れたときに、BD が読めなくなったり、BD の読み込みに時間がかかる場合があります。ディスクの読み込みが完了するまで 10 分以上かかる場合もあります。
- 8cm 盤の BD-RE/BD-R ディスクは、本機では初期化や録画ができません。新品(未初期化)の 8cm 盤 BD-RE/BD-R を本機に入れた場合は、ディスクが自動的に排出されます。

ディスクの取り出しかた

- 1 本機の電源を入れた状態で、^{停止} または ^{終了} を押す
- 2 リモコンの ^{トイ開/閉} を押す
 - ・ ディスクトレイが出ます。
- 3 ディスクを取り出す

- 終了ボタンまたは停止ボタンを押した後、本体のトレイ開 / 閉ボタンを押してもディスクが出ます。

番組表の使いかた

- ・テレビ画面に番組表を表示して、その中から番組を選べます。

番組表の画面例

選んでいる番組の情報
選択中の放送の種類とテレビ／データの種別

放送局名(チャンネル名)／
チャンネル番号／3桁のチャンネル番号

選択している日にち

番組名

予約している番組は赤くなります。

見つかる検索(⇒17ページ)で検索された番組は、緑・青・黄のいずれかの色になります。

時間帯
AM:午前
PM:午後

ジャンルを示すアイコン

	スポーツ		ニュース／報道
	ドラマ		情報／ワイドショー
	バラエティ		音楽
	アニメ／特撮		映画
	劇場／公演		ドキュメンタリー／教養
	福祉		趣味／教育

番組情報を示すアイコン

アイコン	項目
	視聴予約している番組
	本体HDD録画予約している番組
	ファミリンク録画予約している番組
	USB-HDD録画予約している番組
	有料放送
	デジタルコピーが禁止されている番組
	デジタルコピーが制限されている番組

表示される情報の期間

- ・テレビ放送……8 日分
- ・データ放送……最低 1 日分
- ・表示時間………3 時間または 6 時間
(「文字サイズ設定」により変わります。⇒ 17 ページ)

◇おしらせ◇

番組表の表示のしかたについて

- ・「文字サイズ設定」⇒ 17 ページ
- ・「サブチャンネル設定」⇒ 17 ページ

番組表で番組を選ぶ

番組表の機能メニューの使いかた

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリ／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

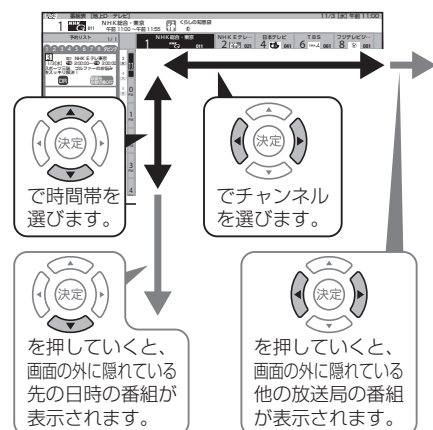
1
番組表(予約)
を押す

番組表を表示する

- ・ **地上** **BS** **CS** を押して、放送の種類（番組表の表示内容）を変更できます。

2
で選ぶ

見たい番組を選ぶ



- ・ 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- ・ 番組内容が表示されないチャンネルがあるときは、「番組表の更新について」(⇒**下記**)をご覧ください。

3
決定
を押す

決定する

- ・ 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- ・ 放送予定の番組を選んだときは、「録画機器選択」(⇒**55** ページ)の設定にしたがって予約ができます。(予約については⇒**56**、**132** ページをご覧ください。)

- ・ 番組表の文字を大きくしたり、見たい番組の検索、放送の切り換えなどが、番組表の「機能メニュー」で行えます。
- ・ 機能メニューは、番組表を表示させている状態で **ツール** を押します。

番組表の機能メニューからできること

機能	説明
日時移動	・ 番組表で表示する日時を素早く選べます。
ジャンル検索	・ ジャンルで番組を検索できます。
番組詳細検索	・ 特徴やキーワードで番組を検索できます。
見つかる検索	・ 特徴・ジャンル・キーワードを組み合わせた詳しい条件で、番組を検索できます。
放送切換	・ 地上デジタル放送、BS デジタル放送、CS デジタル放送に切り換えます。
テレビ / ラジオ / データ	・ 番組表の、テレビ放送／ラジオ放送／データ放送を切り換えます。
文字サイズ設定	・ 番組表の文字の大きさを変えられます。
サブチャンネル設定	・ 番組表にサブチャンネルを表示する／表示しないの設定ができます。
表示順設定	・ 番組表のチャンネルの並び順を変えられます。
番組表取得設定	・ 番組表をスムーズに表示させるために、番組表を電源待機中に自動取得するよう設定できます。

番組表の更新について

- ・ 番組表は、チャンネルを選び **データ更新** を押すと更新できます。ただし、地上デジタル放送の番組表は、各チャンネルを個別に更新する必要があります。
- ・ 番組表を更新しているときは、一時的に音声が停止します。
- ・ 検索画面を表示したり、番組表の表示を終了したときは、番組表の更新は停止します。
- ・ 番組表は、電源待機中に自動で取得することもできます。「番組表取得設定」(⇒**上記**)
- ・ 外部入力で番組表を表示しているときは、番組表を更新できません。
- ・ 複数の録画を実行しているときは、番組表を更新できません。

視聴中の便利な機能

2画面で見る

- 本機は2つの異なる映像を同時に表示できます。

1

2画面
を押す

2



で選び

決定

を押す

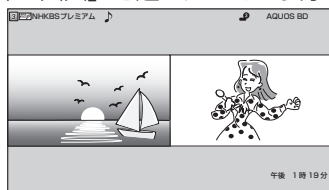
2画面メニューを表示する

表示のしかたを選ぶ



- 2画面表示になります。
- 「サイズ切換」、「左右入換」は、2画面表示のときに選べます。

「2画面」を選んだときの表示例



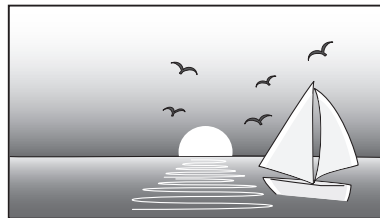
- 2画面のとき、「♪」マークのある操作画面は、チャンネルや入力切り換え、音量調整ができます。

◇おしらせ◇

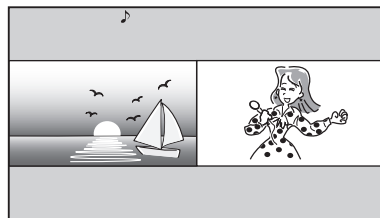
- 2画面表示しているとき、次の操作はできません。
 - ホームメニューの表示
 - 番組表の表示
 - 画面サイズの切り換え
 - AV ポジションの切り換え
 - 画面の静止
- 2画面機能を入／切すると、まれに映像が一瞬途切れた状態になることがあります。
- ハイビジョンの映像（1080i、720p、1080p）を2画面にしたときは16：9表示になります。
- 2画面表示中に視聴予約が開始されたときは、1画面に戻ります。

2画面表示の種類

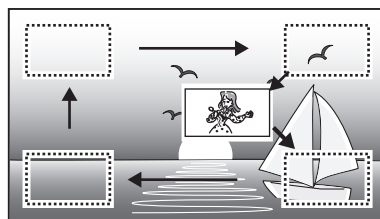
① 1画面



② 2画面



③ PinP



- ②のときは、「左右入換」を選ぶと左右の画面が入れ換わります。
- ③ PinP のときは、上下左右のカーソルで子画面の位置を移動できます。決定ボタンで、上図のように子画面が移動します。
- ③のときは、「左右入換」を選ぶと大きく表示されている画面と小画面が入れ換わります。

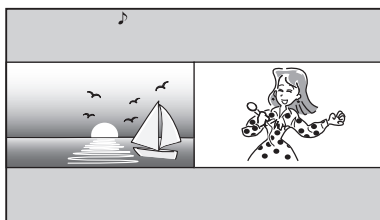
◇おしらせ◇

- 「左右入換」をした場合、「♪」マークは入れ換わりません。操作画面(⇒ 19 ページ)は入れ換わります。
- 複数の映像／音声のあるデジタル放送を大小2画面、PinP表示しているときに左右の画面を入れかえると、映像／音声はそれぞれ映像1／音声1に戻ります。(「♪」マークのついていない側の音声は出力されません。)
- PinP のとき、子画面にデジタル放送の字幕放送を選局しても字幕は表示されません。
- 決定ボタンによる子画面の移動は、場合によっては、四隅のみの移動になります。

画面のサイズを変える

1

2画面またはPinP表示にする



2

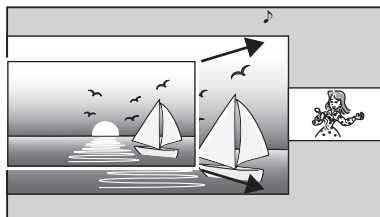
2画面メニュー中の「サイズ 切替」を選択し、決定する

3

画面のサイズを変える

2画面にしている場合

- 右カーソルボタンで、左側画面のサイズを大きくできます。戻すときは左カーソルを使います。



PinP にしている場合

- 左右カーソルボタンで画面のサイズが変化します。



- 操作を終了する場合は、決定ボタンを押します。



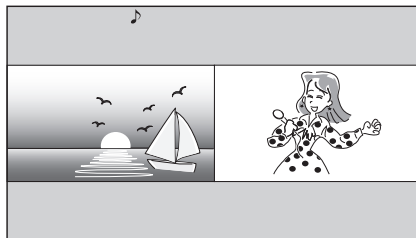
2画面のうち操作する画面を選ぶ

1

2画面表示中に操作画面を 切り換える

- 操作切替ボタンを押すたびに、「♪」マークが左／右に移動して、操作画面が切り換わります。

2画面の表示例



2

「♪」マークのある操作画面 の音量を調整するには

- 音量ボタンを押して音量を調整します。



選局するには

- 放送切替ボタン(「地上」「BS」「CS」ボタン)を押して放送を選びます。
- 操作画面の番組は、数字ボタン(チャンネルボタン)または選局(△順/▽逆)ボタンで選局できます。
- 入力切替ボタンを押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

1画面に戻すには

- 終了ボタンを押します。
- 「♪」マークのある画面が1画面表示されます。
- 右画面は、最後に右画面で選局していたチャンネルまたは外部入力保持されます。

◇おしらせ◇

- PinPのときは一部のボタンは操作できません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、2画面機能を利用して表示を行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 2画面表示しているとき、表示される放送番組／接続機器の解像度により、映像補正の関係で、右側の画面やPinP子画面の映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。ちらつきが気になる場合は、全画面でご視聴いただくか、左右入換操作(⇒18ページ)により、左側画面でご視聴いただくことをおすすめします。

次のページに続く

目次／ご注意／
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

2 画面表示ができる組み合わせ

- 2 画面機能で表示できる画面は、画面の左右、放送や入力によって異なります。

(地上 D = 地上デジタル)

右画面 (小画面)	地上 D	BS/ CS	外部 入力	本体 HDD / BD 再生※ 1	USB- HDD 再生
左画面 (大画面)					
地上 D	×	×	○	○	×
BS / CS	×	×	○	○	×
外部入力	○	○	×	×	○
本体 HDD / BD 再生※ 1	○	○	×	×	○
USB-HDD 再生	×	×	○	○	×

※ 1 本体 HDD / BD / DVD の再生時および「ちょっと待って機能」の組み合わせです。CD 再生時も 2 画面にできますが、CD の再生画面は表示されません。

- PinP のときのみデータ放送は表示できません。
- ホームネットワーク、インターネットサービスのうち、アクトビラ ビデオ / アクトビラ ビデオ・フルなど 2 画面表示ができないサービスがあります。
- テレビとインターネットを同時に表示することもできます。(⇒ 104 ページ)
- 2 番組同時録画中は 2 画面表示できません。

番組の詳細を知りたいときは

- デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。

番組情報の画面例

■番組内容
大好評の「知りたかったあなたの一曲」。今回はなんと3時間の拡大版でお送りします。全国の視聴者による電話リクエストで1位から20位に輝いた名曲の数々を、歌手の皆さんが曲にちなんだ各地の名所にお邪魔して歌ってしまおうという、ゴージャスにしてユニークな企画です。あの歌を歌うのは誰?あ

北は阿寒湖、南は石垣島まで。歌手の皆さんが歌の心を求めて旅します。素晴らしい景色と温かな人情でいっぱいの「名曲リクエスト20」をどうぞお楽しみに!

他にも情報がある場合に表示されます。

1 番組情報の画面を表示する

番組情報
を押す

- 番組情報が表示されます。番組情報の右側に◀▶マークがある場合は、左右カーソルボタンで表示を切り換えられます。
- 終了ボタンを押すと、番組情報が消えます。

ちょっと待って機能 (放送中の番組を追いかけて再生する)

- 一時的にテレビの前から離れる場合でも見逃しを防げます。

1

ちょっと待って
を押す

放送中の番組を一時停止する

- ちょっと待って機能が開始され番組が一時停止します。
- REC (録画) ランプが点灯します。
- 一時停止状態が 15 分続くと、一時停止状態が解除され再生が始まります。

2

再生の操作をする

- 再生の操作については「再生中に使えるボタン (再生時の便利な機能)」(⇒ 84 ページ)をご覧ください。
- ちょっと待って機能で再生できる範囲は最大 1 時間前までです。(ちょっと待って機能を開始してから 1 時間以上経つと最初のほうから順に削除されます。)

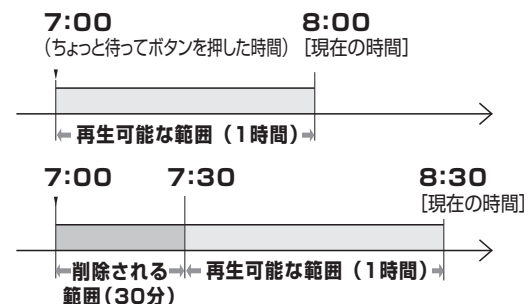
- 一時停止状態が 15 分続くと、一時停止状態が解除され再生が始まります

次の場合は、ちょっと待って機能が解除されます。

- 録画予約が実行されたとき
- 選局や入力切替の操作をしたとき
- ちょっと待って機能の開始から 12 時間経過したとき

◇おしらせ◇

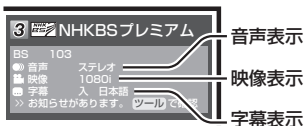
- ちょっと待って機能を使用すると、本機は録画状態になりますが、番組は保存されません。
- 本体 HDD 録画実行中は使用できません。



音声・映像・字幕を切り換える

- 複数の映像（最大 4 つ）または音声（最大 8 つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。
- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン



複数の映像を楽しむ

1



ツールメニューを表示して「映像切換」を選び、決定する

- 「映像切換」を選ぶたびに映像*が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに映像表示が出ます。
※ 番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を切り換える

1



音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに音声表示が出ます。
- デジタル放送は「モノラル」への切り換えができません。

マルチ音声番組のとき

→ 音声 1 → 音声 2 ~ 8 *

※ 番組によって、音声の数は異なります。

二重音声番組のとき

→ 主 → 副
主 / 副 ←

◇おしらせ◇

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声 1」が選択されます。

- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が表示されます。
- 二重音声やマルチ音声（ステレオ二重音声）のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。

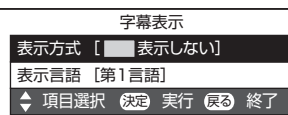
字幕を表示する／ 複数の字幕を切り換える

1



字幕メニューを表示する

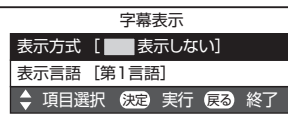
- 画面右上に字幕メニューが表示されます。



◆字幕の表示方式を変えたいとき

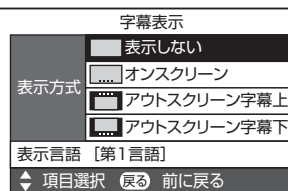
2

「表示方式」を選び、決定する



3

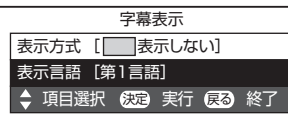
表示させたい字幕の種類を選び、決定する



◆字幕の表示言語を変えたいとき

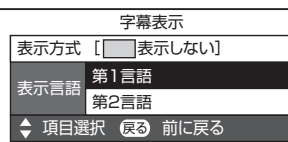
2

「表示言語」を選び、決定する



3

表示させたい言語を選び、決定する



- 字幕が 1 種類しかない場合は、「第 2 言語」（副）に設定しても「第 1 言語」（主）の字幕が表示されます。

「表示方式」の設定について

- ・「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」に設定している場合は、字幕放送でない番組に放送局から字幕情報が送られてくると、自動的に映像が縮小される場合があります。
- ・本体 HDD や BD の字幕放送番組を再生すると、「字幕表示」の設定に関係なく、常に字幕オンスクリーン表示となります。

工場出荷時の設定

表示しない

- ・字幕放送でも、字幕を表示しません。



字幕非表示

字幕表示の種類

	字幕放送のとき	字幕放送ではないとき
オンスクリーン ・字幕放送では、映像に重なって字幕が表示されます。 (右の字幕は表示例ですので、放送によって上下の位置が変わります。)		
アウトスクリーン字幕上 ・字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の上側に字幕が表示されます。 ・放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。		
アウトスクリーン字幕下 ・字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の下側に字幕が表示されます。 ・放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。		

チャンネルなどの情報を確認する

- ・放送の種類やチャンネルなどの情報はテレビ画面のチャンネルサインで確認できます。

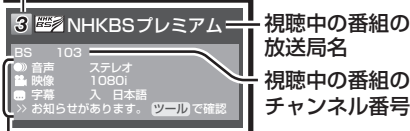
1

チャンネルサインを表示する

▼テレビ画面のチャンネルサイン

数字ボタン(チャンネルボタン)の番号

画面表示
を押す



その他の情報

他にも情報がある場合に表示されます。
映像の種類と画質について(⇒190ページ)

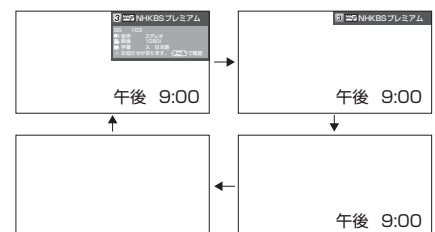
- ・AQUOS インフォメーション設定を「する」に設定している場合は、同時に画面右下に AQUOS インフォメーションが表示されます。(⇒37ページ)
- ・本機を操作しない状態が約5秒間続くと、元の表示に戻ります。

2

チャンネルサインの表示を切り換える

約3秒以内に
画面表示
を押す

- ・手順1から約3秒以内に画面表示ボタンを押すと、チャンネルサインの表示が次のように切り換わります。



- ・上記は、「時刻表示」(⇒33ページ)を「する」にしている場合です。

データ放送で天気予報や 株価などの情報を見る

- データ放送には、テレビ放送に連動した「連動データ放送」と、データ放送専門の「独立データ放送」があります。
- データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なります。データ放送画面を表示したら、画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン（青・赤・緑・黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

連動データ放送を表示する

データ連動
d
を押す

連動データ放送を含む番組
の視聴中に、連動データ放送
の画面を表示する

(例)



- テレビ放送に戻るときは、もう一度データ連動ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データ連動ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約 20 秒待ってからもう一度データ連動ボタンを押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）
- BS ラジオ放送も、⇒**右記**の手順で切り換えられます。

独立データ放送の番組から選ぶ

1

BSデジタル放送を選ぶ

2

ホームメニューを表示して、
「設定」-「 (機能切換)」-
「視聴操作」を選び、決定する

3

「テレビ／ラジオ／データ／
ポータル」を選び、決定する

- 放送の種類をデータ放送に切り換えます。



4

天気予報や株価の
チャンネルを選ぶ



を押す

タイマー機能を使う

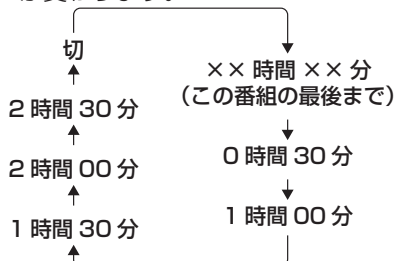
指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

- テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

オフタイマー
ボタンを押す

繰り返し押ししてオフタイマーを設定する

- 押すごとに次のように画面の表示が変わります。



- オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が画面左下に表示されます。
- オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。

オフタイマーの残り時間を確認するには

オフタイマー
ボタンを押す

オフタイマーの残り時間を確認する

- オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。
- しばらくすると表示が消えます。
- 残り時間が表示されている間は、オフタイマーボタンを押さないでください。残り時間が変わってしまいます。

時間を指定して電源を切る（おやすみタイマー）

- 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。

1

ホームメニューを表示して、「設定」→「（機能切換）」→「おやすみタイマー」を選び、決定する

2

「おやすみタイマー」で「設定」を選ぶ

設定に従い自動で電源を切ります。



で選ぶ

おやすみタイマー		
	解除	設定
時刻(時)	午前00	
時刻(分)	00	
モード	サンセット	
表示設定	アイコン+文字	

- 「解除」を選ぶと、おやすみタイマー機能が動かなくなります。

3

それぞれの項目(⇒25ページ)を設定する

①上下カーソルボタンで項目を選ぶ

②左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

▼ おやすみタイマー「通常」の画面例 (表示設定:「アイコン+文字」)

おやすみタイマー: 残り 10 分

10 分前 -----> 0 分前

通常: → → → → → 電源「切」

サンセット: → → → → → 電源「切」

- 表示設定が「アイコン+文字」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。
- 表示設定が「文字のみ」の場合は、1 分ごとに残り時間が表示されます。

おやすみタイマーの設定項目

項目	内容
おやすみタイマー	・ タイマーの設定／解除を選択します。
時刻（時）	・ タイマーで電源を切りたい時刻（時）を設定します。
時刻（分）	・ タイマーで電源を切りたい時刻（分）を設定します。
モード	通常 ・ 毎日同じ設定時刻に電源を切ります。
	サンセット ・ 設定時刻の 10 分前から徐々に画面を暗くし、音量を下げ [*] 、設定時刻に電源を切ります。
表示設定	アイコン＋文字 ・ 画面にアイコンと残り時間を表示します。
	文字のみ ・ 画面に残り時間を表示します。

※ 何らかの操作をすると、画面の明るさ・音量は元に戻りますが、設定時刻に電源は切れます。

目覚ましとして使うなど
タイマーで電源を入れる
(おはようタイマー)

- ・ 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。(ヘッドホンをつないでいても、本体のスピーカーから音声が出ます。)
- ・ おはようタイマーを設定すると、本体のTIMER(タイマー)ランプ(⇒ 11 ページ)が赤色に点灯します。
- ・ 異なる設定のタイマーを 7 種類までセットできます。

1 ホームメニューを表示して、
「設定」－「 (機能切換)」－
「おはようタイマー」を選び、
決定する2 設定したいタイマーを選び、
決定する

設定した時間に電源を入れます。

曜日	時刻	入力	CH	音量	アラーム音	モード
毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	電子音	サンライズ
毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	電子音	サンライズ
毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	ベル	サンライズ
毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	なし	サンライズ
毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	なし	サンライズ
毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	なし	サンライズ
毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	なし	サンライズ

3 「おはようタイマー」で
「設定」を選ぶ

設定した時間に電源を入れます。

【タイマー1】

おはようタイマー

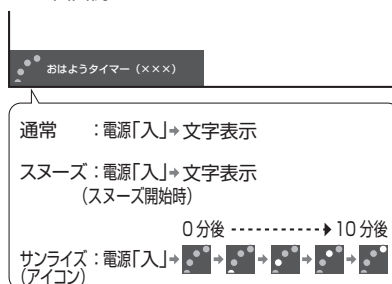
解除	設定
毎週日曜	毎週日曜
時刻(時)	午前00
時刻(分)	00
入力	地上D
CH	11 NHK 総合・東京
音量	20
アラーム音	なし
モード	サンライズ

- ・ 「解除」を選ぶと、そのタイマー機能が動かなくなります。

4

それぞれの項目
(⇒26ページ)を設定する① 上下カーソルボタンで項目
を選ぶ② 左右カーソルボタンで項目の
値を選ぶ

- ・ 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- ・ 設定したタイマーには、手順 2 の画面で時計マークが表示されます。

▼ おはようタイマー「サンライズ (アイコン)」
の画面例

- ・ モードが「サンライズ (アイコン)」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンとメッセージが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。モードが「サンライズ」の場合は、1 分ごとにメッセージが表示されます。
- ・ モードを「通常」または「スヌーズ」に設定した場合は、メッセージのみが表示されます。

タイマーを設定／解除する

- ・ **25** ページの手順 **2** の画面で、タイマーの設定／解除を切り換えられます。

1 「タイマー1」～「タイマー7」のいずれかを選ぶ

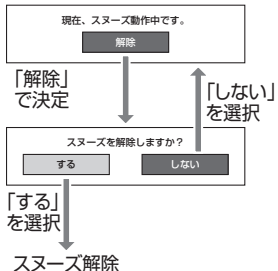
2 黄ボタンを押す

- ・ 押すたびに、選んだタイマーが「設定」（時計マーク）⇄「解除」（時計マークなし）と切り換わります。
- ・ 設定したタイマーには、**25** ページの手順 **2** の画面で時計マークが表示されます。

おはようタイマーの設定項目

項目	内容	
おはようタイマー	・ タイマーの設定／解除を選択します。「1 回だけ」に設定されているタイマーが動作した後は、自動的に「解除」になります。	
曜日	・ タイマーで電源を入れたい曜日を設定します。「毎日」「月－土」「月－金」「毎週〇曜」（〇は日から土のいずれか）「1 回だけ」の中から選べます。	
時刻（時）	・ タイマーで電源を入れたい時刻（時）を設定します。	
時刻（分）	・ タイマーで電源を入れたい時刻（分）を設定します。	
入力	・ タイマーで電源が入ったとき表示される画面を、放送の種類（地上D、BS、CS）、入力、ディスク（内蔵 BD の機能）または USB メディアから選びます。 ・ 「USB メディア」を選んだときは、USB メモリーの音楽が再生されます。USB メモリーのいちばん上の階層に「GM」という名称のフォルダを一つだけ作成し、その中に MP3 ファイルを入れておくと、おはようタイマーとして再生できます。	
CH	・ タイマーで電源が入ったとき画面に表示される、数字ボタン（チャンネルボタン）に割り振られた番号を選びます。2 つの録画が動作しているときは、予約しているチャンネルで起動することがあります。	
音量	・ タイマーで電源が入ったときの音量を選びます。0 ～ 100 の範囲で選べます。	
アラーム音	・ タイマーで電源が入ったときに鳴る音声（なし、ベル、電子音、鳩時計、小鳥）を選びます。 ・ アラーム音の設定中に青ボタンを押すと、設定した音を試聴できます。 ・ 「ベル」「電子音」「鳩時計」「小鳥」は 5 分間鳴り続けます。途中で何か操作をすると、入力の音声に切り換わります。	
モード	通常	・ 設定した時刻に、設定した音量で電源を入れます。
	サンライズ	・ 設定した時刻に電源が入り徐々に音量が大きくなり、同時に画面も徐々に明るくなり、10 分後に設定した音量で画面は最も明るくなります。
	サンライズ（アイコン）	・ 「サンライズ（アイコン）」を選ぶと、画面にアイコンが表示されます。
	スヌーズ	▼スヌーズ機能動作中の画面表示 現在、スヌーズ動作中です。 解除 「解除」で決定 スヌーズを解除しますか？ する 「する」を選択 スヌーズ解除 「しない」を選択 ・ いったん電源を切っても、5 分後に再度電源が入るようにします。 ・ 音量を下げた場合でも、5 分後に元の音量に戻します。 ・ チャンネルや入力を切り換えても、5 分後に元のチャンネルに戻します。 ・ 「解除」 — 「する」を選択すると、スヌーズ動作が解除されます。 ・ 「解除」 — 「する」を選択しないかぎり、7 回（35 分間）スヌーズ動作を繰り返します。 ・ スヌーズ起動中、他のタイマーは起動しません。 ・ 決定ボタンを押しただけでは、スヌーズは解除しません。「する」を選択し決定ボタンを押してください。 ・ 「電源ボタン設定」(⇒ 33 ページ)を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切った場合、もしくは予約開始時にも、スヌーズ動作が解除されます。

▼スヌーズ機能動作中の画面表示



外部機器を接続して使う

BD プレーヤーやゲーム機などの画面に切り換える

- テレビ放送の画面から HDMI 入力の画面に切り換えると、BD や DVD、ゲーム機などの映像が見られるようになります。

灰色で表示した手順は BD プレーヤーなどの外部機器の操作です。

1

BDプレーヤーなどを本機に接続し、電源を入れる

2

再生したいディスクなどをセットする

3

入力切換メニューを表示する

入力切換
を押す

4

入力切換ボタンを繰り返し押し、機器を接続した入力名を選ぶ

入力切換
を押す

- 上下カーソルボタンでも選択できます。

(例) 本機の入力 1 に接続した機器の映像を見るときは、「入力 1」を選ぶ

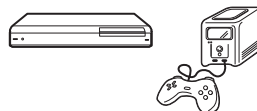


選べる入力について

- 入力 3 は、ビデオ機器が接続されているときのみ選択できます。



BD プレーヤーや
ゲーム機などと
つなぐ⇒ 136～139 ページ



5

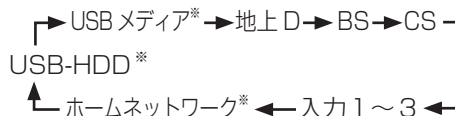
BDプレーヤーなどを再生する

- 再生映像が表示されます。
- 外部機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合があります。設定のしかたについては、接続した BD プレーヤーなどの取扱説明書をご覧ください。

◇ おしらせ ◇

本体の入力／放送切換（決定）ボタンでも入力を切り換えられます。

- ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。（放送の種類も切り換えられます。）



※機器を接続していないときは、切り換えられません。

- 本体のボタンで入力を切り換えたときは、入力切換メニューは表示されません。

HDMI 端子につないで見られる
映像の種類

1080p(24Hz/30Hz/60Hz)、
720p(30Hz/60Hz)、
1080i、480p、480i、VGA

- 対応している音声信号は AAC、ドルビーデジタル、リニア PCM、サンプリング周波数 48kHz、44.1kHz、32kHz です。

映像が表示されない場合は

- 故障かな?と思ったら(⇒156ページ)をご覧ください。

入力切換の表示をお好みのなまえに変えるには

- 入力1～3に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。

- 1 入力切換ボタンを押して、表示を変更したい入力(入力1～3)を選ぶ
- 2 ホームメニューを表示して、「設定」－「 (機能切換)」－「外部端子設定」を選ぶ
- 3 「入力表示」を選び、表示させたい名称を選ぶ
 - ・ お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。(文字を入力する⇒42ページ)

使用していない入力をスキップするには

- 入力1～2、ホームネットワーク、地上D、BS、CSを使用しないときは、入力切換の際に飛ばすことができます。

- 1 ホームメニューから「設定」－「 (機能切換)」－「外部端子設定」を選ぶ
- 2 「入力スキップ」を選ぶ
- 3 スキップしたい入力を選び、「する」に設定する
 - ・ 入力スキップを解除する場合は、「しない」を選んでください。

ゲーム機をつないで使うときは

- テレビゲームを楽しむときは、画面の明るさを抑えて目にやさしい映像にし、ゲームに最適なAVポジションの「ゲーム」(⇒33ページ)にすることをお奨めします。
- ゲームのキーの操作に対して画面の反応が遅く感じられる場合やカラオケの音声が遅れて感じられる場合は、AVポジションを「ゲーム」に変更してください。

◇おしらせ◇

- 光線銃などを使って画面を標的にするようなゲームは使用できません。

ゲームのプレイ時間を30分ごとに表示する(ゲーム時間表示設定)

- ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間を知らせてくれる機能です。
- ホームメニューから「設定」－「 (安心・省エネ)」－「ゲーム時間表示設定」で設定します。(入力1～3を選んでいるときに表示されます。)

項目	内容
する	・ 外部入力で30分経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます
しない	・ 何も表示しません。

◆重要◆

- 経過時間を表示させたいときは、ゲームを始める前に、ゲーム機をつないだ入力のAVポジション(⇒33ページ)を「ゲーム」にしてください。
- 外部入力視聴時のみ有効です。

ホームメニューの使いかた

- 本機の設定や操作を行うとき、その入り口となる画面のことを「ホームメニュー」と呼びます。
- ここでは、ホームメニューの見かたや使いかたについて説明します。

ホームメニューの画面例

ホームメニュー項目

ガイド表示

- 選択した項目のガイダンスが表示されます。
- 選択した項目により表示内容が変わります。
- この位置、もしくは画面下に表示されます。

機能選択メニュー項目

(ホームメニュー項目により、表示されない場合もあります。)

- アイコンを選びます。
- 選んだ機能選択メニュー名が表示されます。



視聴中の画面／番組タイトル／番組情報

- 視聴中の画面が縮小表示されます。
- 視聴中の番組タイトルが表示されます。
- 視聴中の番組情報が、テロップとして流れます。

機能別選択・設定項目

- 項目によって、表示や操作のしかたは異なります。それぞれのページをご覧ください。

ホームメニューの文字の大きさを 変えるには

- ホームメニューに表示される文字の大きさを変更できます。

- 1 ホームメニューから「設定」-「 (機能切換)」-「画面表示設定」を選ぶ
- 2 「文字サイズ」を選び、「標準」または「大きな文字」に設定する

ホームメニューなどの配色を 変えるには

- ホームメニュー画面などの表示色を変更できます。

- 1 ホームメニューから「設定」-「 (機能切換)」-「画面表示設定」を選ぶ
- 2 「表示色」を選び、「グレー系」「ブルー系」「レッド系」「グリーン系」のいずれかに設定する

ホームメニューの基本的な操作のしかた

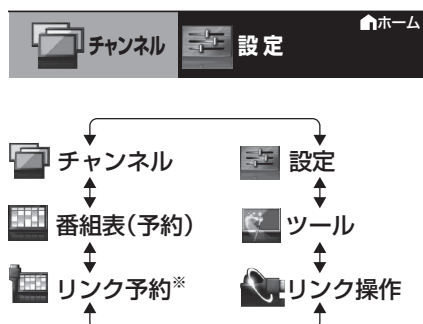
1

ホームメニューを表示する



2

ホームメニュー項目を選ぶ



※ レコーダーがファミリンク接続されていないときは表示されません。

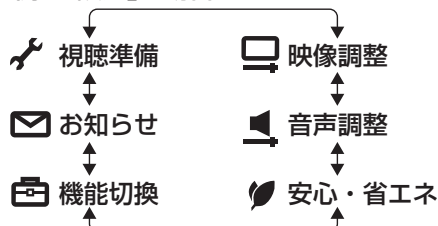
- ・ホームメニュー項目を選び直したいときは、戻るボタンを押します。
- ・リモコンのツールボタンを押して、直接「ツール」を表示することもできます。

3

機能選択メニューがある場合は、項目を選ぶ



例：「設定」の場合

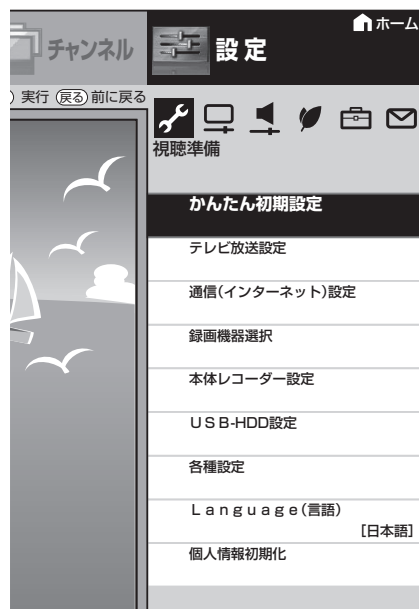


4



機能別選択・設定項目を選ぶ

- ・項目は、状況によって異なります。
- ▼「視聴準備」の機能別項目例



5



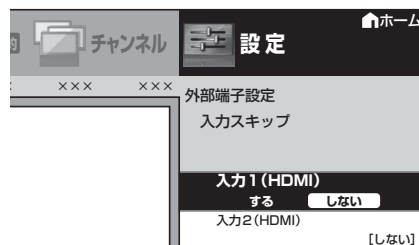
ガイド表示に従って、操作を進める

- ・選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。
- ・項目により、操作のしかたが異なります。ガイド表示をご覧ください。

▼ガイド表示の例



▼設定画面の例



メニュー項目の一覧と使いかた

メニュー項目名／設定				内容		
 設定  視聴準備	かんたん初期設定	接続確認		次へ		
		地域設定				
		郵便番号設定		次へ		
		チャンネル設定		する、しない		
		BS/CS アンテナ設定		する、しない、次へ、手動で再設定		
		LAN 設定		する、しない		
		IPTV 設定		する、しない		
		完了確認		完了、再設定		
テレビ放送設定	チャンネル設定	地上デジタル	地上デジタルー自動	する、しない		
			ー追加	する、しない		
			ー個別	各 CH の設定		
			ー選局順	モード1、モード2		
			チャンネル更新設定	自動、手動		
		BS デジタル		各 CH の設定		
	CS デジタル		各 CH の設定			
	スキップ設定	地上デジタル		各放送のチャンネルスキップの設定を行います。		
		BS デジタル		選局時と番組表、それぞれのスキップ設定ができます。		
		CS デジタル				
	アンテナ設定	電源・受信強度表示	オート、入、切、受信状態一覧へ		デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。(初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」(⇒「かんたん!! ガイド」(巻末) 10 ページ)を行ってください。)	
		周波数設定				
		信号テストー地上 D				
		信号テストー BS				
		信号テストー CS				
	地域設定		地域選択、郵便番号設定		地上デジタル放送の地域情報(緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報)をお住まいの地域に合わせる設定です。	
通信(インターネット)設定	LAN 設定	IPv4 設定	現在の設定(設定確認)	変更する、初期化する		
			IP アドレス設定	する、しない		
			DNS 設定	する、しない		
			ネットワーク設定確認(テスト実行、完了)	テスト実行、完了		
			IPv6 設定	現在の設定(設定確認)	変更する、初期化する	
				IP アドレス設定	する、しない	
		DNS 設定		する、しない		
		IP コントロール設定	現在の設定(設定確認)	変更する、初期化する		
			IP コントロール設定	する、しない		
			機器名設定	機器名		
		IPTV 設定	ログイン情報設定	ログイン ID、パスワード		
			コントロールポート設定	コントロールポート		
	サービス設定		する、しない			
	基本登録		事業者 ID、事業者名			
	チャンネル設定		IPTVー自動	する、しない		
			ー追加	する、しない		
		ー個別	各 CH の設定			
	受信状態					
	起動モード設定		テレビ、テレビ+インターネット		電源起動時に表示される画面モードの設定です。	
インターネットボタン設定		する、しない		リモコンのインターネットボタンでインターネットに切り換える設定です。		

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

次のページに続く

メニュー項目名／設定				内容	
	通信 (インターネット) 設定 (つぎ)	デジタル放送接続制限		禁止する、禁止しない 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送の接続を禁止したいときに便利な設定です。(⇒ 103 ページ)	
		インターネット接続制限		禁止する、禁止しない インターネットは回線の利用料金がかかる場合がありますので、接続を禁止したいときに便利な設定です。(⇒ 103 ページ)	
		プロキシサーバー設定		利用する、利用しない、アドレス、ポート プロキシ形式のフィルタリングサービス(インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能)を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。(⇒ 103 ページ)	
		ブラウザ制限		禁止する、禁止しない 有害サイトへのアクセスを防ぐために、URL を入力してページを表示させる機能を禁止することができます。(⇒ 107 ページ)	
録画機器選択				リモコンの録画ボタンを押したときに録画する機器を選ぶ設定です。 (⇒ 55・129 ページ) ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。	
	BD/DVD再生設定	視聴制限レベル		1、2～3、4～7、8、切 ディスクの内容により、視聴を制限する設定です。(⇒ 91 ページ)	
		ディスク優先言語		言語、または言語コード ディスクを再生するときの優先言語(画面に表示するメニューや音声の言語)を設定します。(⇒ 92 ページ)	
		アングルマーク表示		する、しない 複数のアングルが記録されているシーンで、画面右下にアングルマークを表示されます。(⇒ 88 ページ)	
		音声設定	音声レベル	切、標準、シフト セリフの部分が聞こえやすくなるように音声を調整します。(⇒ 86 ページ)	
			セカンダリオーディオ設定	する、しない BD ビデオソフト再生時、操作音や第二音声を加えて聞くことができます。(⇒ 86 ページ)	
		文字スーパー設定		第1言語を表示、第2言語を表示、表示しない デジタル放送では、災害が発生すると同時に文字情報(文字スーパー)を表示する場合があります。デジタル放送受信中および録画番組を再生中に、文字スーパーを表示させるかどうかを設定できます。 ※文字スーパーによっては、強制的に表示するものもあります。	
	本体HDD録画設定	デジタル録画画質		標準(DR)、2倍、3倍、5倍、7倍、10倍、12倍 デジタル放送の録画画質を設定します。(⇒ 48 ページ)	
		アナログ録画画質		SP、LP 入力3(映像・音声)の録画画質を設定します。(⇒ 48 ページ)	
		外部入力音声設定		ステレオ、二ヶ国語 入力3(映像・音声)からの映像を録画する場合の音声を設定します。(⇒ 58 ページ)	
		オートチャプター設定		おまかせ、しない、10分、15分、30分 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。 録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。(⇒ 50 ページ)	
		録画先自動切換		する、しない 本体HDD録画ができない場合に、自動的にUSBハードディスクに代理録画できます。(⇒ 63 ページ)	
		マルチ音声設定		音声1、音声2、マルチ音声 マルチ音声(ステレオ二重音声)のデジタル放送番組を録画/ダビングするとき、録音する音声を選択します。(⇒ 49 ページ)	
	(BD/本体HDD)管理	ディスク保護		保護する、保護解除 ディスクの内容を間違えて消さないよう、ディスク全体を保護します。(⇒ 73 ページ)	
		BD 初期化		する、しない 使用済みのBD-RE ディスク内にあるデータをすべて消去し、未使用の状態に戻します。(⇒ 73 ページ)	
		本体HDD 初期化		する、しない 本体のHDD内にあるデータをすべて消去し、初期状態にします。(⇒ 73 ページ)	
		ディスク強制排出		ディスクを強制的に排出します。	
	USB-HDD設定	USB-HDD の選択			使用するUSBハードディスクを選択します。
		機器の初期化		する、しない USBハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「初期化」が必要です。(⇒ 52 ページ)	
		機器の登録解除			本機はUSBハードディスクを16台まで登録できます。17台目以降のUSBハードディスクを登録する場合には、登録済みのUSBハードディスクのいずれかを登録解除してください。(⇒ 54 ページ) 登録を解除すると録画されている内容は再生できなくなります。
		機器の取りはずし			本機やUSBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜く前に、必ずホームメニューから「機器の取りはずし」を行ってください。(⇒ 53 ページ)

メニュー項目名／設定				内容	
 設定  視聴準備	USB-HDD設定 (ケーブル)	省エネ設定		する、しない	USB ハードディスクを使わない状態が続いたときに、USB ハードディスクを待機状態にして、消費電力を抑えます。
		オートチャプター設定		しない、10 分、15 分、30 分	録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。
機器名の変更		する、しない	USB ハードディスクを複数台つないだときに識別しやすくするために、各 USB ハードディスクに名前を付けられます。		
各種設定		暗証番号設定		する、しない	視聴の年齢制限など、各種の制限を設定できます。これらの制限を設定するときや変更するとき、暗証番号を使います。
		視聴年齢制限設定		XX 歳、無制限	年齢制限のある番組の視聴を 4 ～ 20 歳の範囲で制限します。この設定には、暗証番号設定(⇒上記)が必要です。
		ダウンロード設定		する、しない	本機のソフトウェア更新はダウンロードで行います。自動的に行う方法と、必要に応じ手動で行う方法があります。お買いあげ時は利便性を考えて自動になっています。
		電源ボタン設定	モード 1	本体の電源ボタンで電源を切ったとき、電源オフになるか待機状態になるかの設定ができます。	
				本体の電源ボタンで電源を切っても、予約やタイマーは動作します。リモコンの電源ボタンで電源を切った場合も同様です。	
			モード 2	本体の電源ボタンで電源を切ると、電源がオフになり、予約やタイマーが中止されます。	
		クイック起動設定		クイック起動設定とは、電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くするための設定です。	
			しない	クイック起動しません。	
			する (常に有効)	電源待機状態からの電源立ち上がりが早くなり、本体レコーダー機能や番組表、ホームメニューを早く表示させることができます。「しない」のときより待機時の消費電力が増えます。	
			する (2 時間のみの有効)	電源切後 2 時間のみクイック起動を有効にします。	
	時計設定	時刻設定	年、月、日、時、分	デジタル放送が受信できないなど、内蔵時計の時刻が自動設定されない場合に、時刻設定をします。	
		時刻表示	する、する (30 分ごと)、しない	時刻表示のしかたを選びます。	
		時計タイプ	デジタル、アナログ	時刻表示するときの、時計のタイプを変えられます。	
	リモコン番号設定	リモコン番号 1	する、しない	2 台の AQUOS を近くに設置している場合に、リモコンの操作で AQUOS が 2 台とも動作してしまうことがあります。このとき、リモコン番号の設定を変えると他の AQUOS の動作を防ぐことができます。	
		リモコン番号 2	する、しない		
	Language (言語)			日本語、English	Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English. ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。
個人情報初期化	個人情報初期化	全ての情報を消去、USB-HDD の情報を残して消去、しない	本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。お客様が設定した情報内容 (チャンネル設定、予約、各調整値、LAN 設定、暗証番号、IPTV の基本登録情報やアクトビラの購入情報、インターネット関連のデータなど) がすべて初期化されます。		
	BD ビデオ初期化	する、しない	本機に記録された BD ビデオ用データをすべて消去し、初期状態にします。BD ビデオ再生時の操作で、動作が遅くなったり正常に再生しなくなった場合は、BD ビデオ初期化を行ってください。「BD ビデオ初期化」を実行すると、BD ビデオで個別に設定したブックマークや、ゲームのスコアなどが消去されます。		
 設定  映像調整	AV ポジション (画質切換)		標準、映画、ゲーム、PC、AV メモリー、フォト、ダイナミック、ダイナミック (固定)	映画やゲームなどに適した映像・音声に切り換えます。	
	明るさセンサー (OPC)		切、入、入：表示あり	室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを、「入：表示あり」「入」「切」で設定します。	
	明るさ		-16 ～ 0 ～ +16	画面をお好みの明るさに手動で調整します。(調整すると、上の項目の「明るさセンサー (OPC)」は「切」になります。)	
	映像		0 ～ +40	映像の強弱を調整します。	
	黒レベル		-30 ～ 0 ～ +30	画面を見やすい明るさに調整します。	
	色の濃さ		-30 ～ 0 ～ +30	映像の色の濃さを調整します。	
	色あい		-30 ～ 0 ～ +30	色を調整します。	

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の種類について

故障かな？／エラーメッセージ

お役立ち情報 (仕様など)

English Guide

メニュー項目名／設定				内容	
設定 映像調整	画質		-10 ～ 0 ～ +10	画面をお好みの画質に調整します。 AQUOS 純モード対応レコーダーが接続されているとき、レコーダーによっては、番組表示時やモードによって選択できない場合があります。	
	カラーマネージメント - 色相 カラーマネージメント - 彩度 カラーマネージメント - 明度	R	-30 ～ 0 ～ +30	色の構成要素となる 6 つの系統色を調整し、色相・彩度・明度を変化させます。	
		Y	-30 ～ 0 ～ +30		
		G	-30 ～ 0 ～ +30		
		C	-30 ～ 0 ～ +30		
		B	-30 ～ 0 ～ +30		
		M	-30 ～ 0 ～ +30		
		リセット			
	色温度	色温度	高、中、低	青みがかった白(色温度:高)にするか、赤みがかった白(色温度:低)にするかを調整します。 また、色温度ごとに R ゲイン、G ゲイン、B ゲインの値を変えて、ホワイトバランスを微調整することができます。	
		Rゲイン(低)	-30 ～ 0 ～ +30		
		Gゲイン(低)	-30 ～ 0 ～ +30		
		Bゲイン(低)	-30 ～ 0 ～ +30		
		Rゲイン(高)	-30 ～ 0 ～ +30		
		Gゲイン(高)	-30 ～ 0 ～ +30		
		Bゲイン(高)	-30 ～ 0 ～ +30		
	リセット				
	プロ設定	QS 駆動 (120Hz) (LC-40DR9 のみ)		する、しない	通常 60 コマ／秒で表示される映像を 120 コマ／秒に補間し、動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。
		アクティブコントラスト		する、しない	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。「する」「しない」の 2 つの中から選べます。
		ガンマ設定		-2 ～ 0 ～ +2	映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。
		I/P 設定		動画より、 静止画より	「動画より」の設定 (通常のテレビ放送やビデオなどをきめ細かい映像で楽しむモード) と「静止画より」の設定 (静止画やグラフィックなどの画像を、チラツキのない滑らかな映像で楽しむモード) を切り換えます。
		フィルムモード		する、しない	フィルム収録の DVD など、元信号が 24 コマ／秒の映像を高画質で再生するための設定です。
		デジタル NR		オート、強、中、弱、 しない	映像に乗ったノイズを減らし、すっきりさせる機能です。
		モノクロ		する、しない	白黒映像にします。
		明るさセンサー (OPC) 設定	最大値設定	-16 ～ 0 ～ +16	明るさセンサー (OPC) 「入」時の、動作範囲の最大値と最小値をお好みの値に設定できます。周囲の明るさにもよりますが、設定範囲がせまい場合は、明るさセンサーが働きません。
	最小値設定		-16 ～ 0 ～ +16		
リセット			する、しない	映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。	
設定 音声調整	オートボリューム			チャンネルを切り換えたときやコマーシャルに切り換わったときなど極端に音量が変わるとき、自動的に音量を調整して不快感を軽減できます。撮影した映像や他の機器で録画した番組の音量が小さすぎるときは、自動的に聞こえやすい音量になります。	
			強	音量変化を強く抑え、音量差を最も小さくします。	
			中	音量変化を中くらいに抑えます。	
			弱	音量変化をわずかに抑えます。	
			切	この機能を無効にします。元の音の音量変化を保ちます。	
	高音		-15 ～ 0 ～ +15	高音を調整できます。	
	低音		-15 ～ 0 ～ +15	低音を調整できます。	
	バランス		左 30 ～中央～右 30	左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。	
	サラウンド		自動、入、切	内蔵のスピーカーで臨場感あふれるサラウンド空間を擬似的に実現します。	
	音質補正			選択している AV ポジションの音質を設定します。	
			標準	標準設定です。	
			ダイナミック	メリハリのきいた設定です。	
	リセット		する、しない	音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。(「声の聞きやすさ」は除きます。)	
	声の聞きやすさ				ドラマや映画のセリフが聞き取りにくいとき、人の声に関する音域を強調させて聞き取りやすくすることができます。
				標準	音の大きさをそろえた標準的な音質にします。
		マイルド	標準よりもマイルドな音質にします。 セリフ以外の効果音や雑音を小さくし、セリフを聞きとりやすくします。		
		くっきり	標準よりもくっきりした音質にします。 セリフの音質をくっきりさせて、聞きとりやすくします。		
		しない	この機能を無効にします。		

メニュー項目名／設定				内容
 設定  ホーム     安心・省エネ	照明オフ連動		照明オフ連動	照明オフ連動機能の「設定」「解除」を設定します。
			電源切 (待機状態) 移行時間	0 分、15 分、30 分、60 分
			表示設定	アイコン＋文字、文字のみ
	映像オフ		する、しない	映像を消して音声だけを聞くことができます。
	無信号オフ		する、しない	放送終了後など、番組が映らない状態になると、約 15 分後に電源が切れるように設定できます。
	無操作オフ		しない、30 分、1 時間、2 時間、3 時間	本機を操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。
	ゲーム時間表示設定		する、しない	ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、プレイ時間を 30 分ごとに表示する機能です。
	チャイルドロック		しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック	リモコンまたは本体の操作をロックするよう設定できます。
	視聴操作		番組情報	デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示されます。
			画面サイズ	放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。
			テレビ/ラジオ/データ/ポータル	複数のプラットフォームを受信している場合に、プラットフォームを切り換えられます。
			録画状態	録画場所、録画番組詳細、録画時間・カウンター、録画モード、録画可能時間などを表示します。
			VOD 操作	VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。(⇒ 117 ページ)
			字幕操作	字幕の表示方式や表示言語を変更します。
			静止	画面を静止させます。
			3 桁入力	3 桁のチャンネル番号を入力して選局します。
 設定  ホーム     機能切換	ファミリンク設定		ファミリンク制御 (連動)	する、しない
			連動起動設定	する、しない
			ファミリンクレコーダー選択	
			ジャンル連動	する、しない
			選局キー	入力 1
				入力 2
			ARC 設定	
			おはようタイマー	
	おやすみタイマー		指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。(ヘッドホンをつないでいても、本体のスピーカーから音声が出ます。)(⇒ 25 ページ)	
	オフタイマー		指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。(⇒ 24 ページ)	
			指定した時間後に電源を切ります。(⇒ 24 ページ)	

目次／
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／
放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

メニュー項目名／設定				内容
設定 ホーム 機能切換	外部端子設定			ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り換えます。
				ヘッドホンだけで音を聞きたいときの設定です。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからは音が出なくなります。
				ヘッドホンをつないでもスピーカーから音が出ます。スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方と一緒に楽しむときに便利な設定です。
				入力／音声出力端子を入力端子にするか出力端子にするかの設定です。 「音声出力 1」は、本機のスピーカーの代わりに、接続した音響機器で音声を聞くとときに選びます。本機のスピーカーからの音声が停止します。 「音声出力 2」は、本機のスピーカーと、接続した音響機器の両方で音声を聞くとときに選びます。ウーハーをつないで、低音を強調したいときなどの設定です。
				デジタル音声設定
				デジタル音声の信号形式を設定します。
				PCM
				AAC／ドルビーデジタルに対応していない機器につなぐときは、「PCM」に設定します。視聴している番組の音声と同じ音声（主、副、主／副）が出力されます。
				ビットストリーム
				AAC／ドルビーデジタル対応の AV アンプなどをつなぐときは、「ビットストリーム」に設定します。主と副の両方の音声が同時に出力されます。
	入力スキップ	入力 1 (HDMI)	する、しない	入力 1 ～ 2、ホームネットワーク、地上 D、BS、CS を使用しないときは、入力切替の際に飛ばすことができます。
		入力 2 (HDMI)	する、しない	
		ホームネットワーク	する、しない	
		地上デジタル (本体)	する、しない	
		BS デジタル (本体)	する、しない	
		CS デジタル (本体)	する、しない	
		入力選択	自動、D 端子、ビデオ映像	入力 3 の映像が表示されない場合、「D 端子」または「ビデオ映像」を選びます。
	入力表示		(選択入力で内容変化) ユーザー設定：編集	入力 1 ～ 3 に接続している機器に合わせ、入力切替メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。
	HDMI コンテンツタイプ連動		する、しない	HDMI ケーブルを使って本機と接続した機器から、映画、ゲーム、フォト、グラフィックのコンテンツ情報が送られたときに、受け取ったコンテンツ情報に合わせて、本機が自動的に AV ポジションを切り換えます。
画面表示設定	文字サイズ		標準、大きな文字	ホームメニューに表示される文字の大きさを変更できます。
	表示色		グレー系、ブルー系、レッド系、グリーン系	ホームメニューなどの表示色を変更できます。
	選局効果		する、しない	選局したときに動きの効果がつくよう設定できます。
	番組名表示		する、しない	選局したときに、番組タイトルや放送時間が画面に表示されます。 選局したチャンネルで次の番組が 2 分以内に始まる場合は、次の番組名と時間も表示されます。
	文字スーパー表示		する、しない	デジタル放送では、災害が発生すると同時に文字情報（文字スーパー）を表示する場合があります。 文字スーパーを表示させるかどうかを設定できます。
	画面位置	水平位置	-6 ～ 0 ～ +6	画像が右寄りまたは左寄りの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
		垂直位置	-7 ～ 0 ～ +7	画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
		リセット		工場出荷時の状態に戻します。
	オートワイド			オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示することができます。 デジタル放送視聴時は選択できません。
	映像判別		する、しない	入力 1 ～ 3 から入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」(⇒ 192 ページ) にします。
	D 端子識別		する、しない	入力 3 の D 映像端子とビデオ機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えます。D 端子ケーブルのときは「する」にすると自動的に最適な画面サイズになります。D-コンポーネント変換ケーブルのときは D 端子識別が動作しないので「しない」に設定します。
	HDMI 識別		する、しない	入力 1 ～ 2 から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。

メニュー項目名／設定			内容
 設定  ホーム  機能切替	AQUOS インフォメーション設定		AQUOS インフォメーションとは、インターネット経由で情報を受信したり、おすすめの番組があるときに番組タイトルの一覧を表示させたりすることのできる機能です。
	インターネット情報	する、しない	インターネット経由でいろいろな情報を受信できます。(インターネット⇒ 104 ページ) 「する」を選んだあと、「AQUOS City」を選び、画面に従って設定してください。
	おすすめ番組	する、しない	「見つかる検索」で検索された、今日または明日放送される番組が表示されます。(見つかる検索⇒ 17 ページ) 「する」を選んだあと「見つかる検索へ」を選び、画面に従って設定してください。
 設定  ホーム  お知らせ	受信機レポート		予約の失敗や変更に関するレポート(自動で電源オフになった理由など)やB-CAS カードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
	放送局メッセージ		受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。 ダウンロード設定(⇒ 33 ページ)を「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。
	ボード (CS デジタル)	CS1、CS2	現在の放送で送られている、CS 各ネットワークの掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。 録画予約実行中は選べません。
	B-CAS カード	実行	受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客様の契約確認のためB-CAS カードの番号を表示するものです。 カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。 カードID…カード固有の番号です。
	システム動作テスト	テスト実行	B-CAS カードの挿入など、本機の状態を確認します。
	ソフトウェアの更新		USB メモリーを使用してソフトウェアの更新ができます。
 ツール  ホーム ツール	〇〇画面の操作		本体HDDやBD/DVDなどのディスクと、インターネットを同時に視聴しているときに、どちらの画面を操作するか選択します。 (〇〇には再生しているディスクの種類が表示されます。)
	ディスク視聴メニュー		ディスク視聴メニューを表示します。
	USB-HDD 設定		USBハードディスクの設定をします。(⇒ 32 ページ)
	タイマー機能	お知らせタイマー	①「分」または「秒」の欄を選び、数字ボタンで時間を入力する ・「00分01秒」～「99分59秒」の間で設定できます。 ②「開始」を選び、決定ボタンを押す ・残り時間が「00分00秒」になると電子音が1分間鳴り続けます。 ・カウントダウンを一時停止するには、「ツール」－「タイマー機能」－「お知らせタイマー」を選び、緑ボタンを押します。再度緑ボタンを押すと、カウントダウンが再開します。 ・カウントダウン実行中にタイマーを止めたいときは、カウントダウン中に「ツール」－「タイマー機能」－「お知らせタイマー」を選び、「解除」を選んで決定します。
		おはようタイマー	25 ページのおはようタイマーをご覧ください。
		おやすみタイマー	24 ページのおやすみタイマーをご覧ください。
		オフタイマー	24 ページのオフタイマーをご覧ください。
	画面サイズ		放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。
	映像切替		複数の映像がある番組を視聴しているとき、映像を切り換えます。
	AQUOS インフォメーション		AQUOS インフォメーションとは、インターネット経由で情報を受信したり、おすすめの番組があるときに番組タイトルの一覧を表示させたりすることのできる機能です。
	テレビ / ラジオ / データ / ポータル		複数のプラットフォームを受信している場合に、プラットフォームを切り換えられます。
	お知らせ (受信機レポート)		予約の失敗や変更に関するレポート(自動で電源オフになった理由など)やB-CAS カードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
	お知らせ (放送局メッセージ)		受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。 ダウンロード設定(⇒ 33 ページ)を「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について故障かな？／
エラーメッセージお役立ち情報
(仕様など)English
Guide

メニュー項目名／設定		内容
 リンク操作  ホーム リンク操作	レコーダー電源入／切	
	ファミリンクパネル	
	録画リストから再生	
	スタートメニュー表示	
	機器のメディア切換	
	リンク予約（録画予約）	
	音声出力機器切換	AQUOS オーディオで聞く、 AQUOS で聞く
	ファミリンク機器リスト	
	ファミリンク設定	

本機とつないだ AQUOS レコーダーの電源を、本機から入／切できます。

ファミリンクパネルで、録画や再生などの操作ができます。

録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生します。（⇒ **75** ページ）

AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。
表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。

必要に応じて AQUOS レコーダー側の HDD モード／BD モード／DVD モードを切り換えます。

AQUOS レコーダーの番組表を呼び出して録画予約します。（⇒ **133** ページ）

AQUOS オーディオで音声が楽しめます。（本機のスピーカーからは音が出ません。）
本機のリモコンで AQUOS オーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。

複数の HDMI 対応のレコーダー（録画機器）をお使いのとき、視聴する HDMI 機器を選びます。

35 ページのファミリンク設定をご覧ください。

メニュー項目に関するお知らせ

メニュー項目名		お知らせ
	暗証番号設定	暗証番号を忘れたときは ・個人情報の初期化 (⇒ 33 ページ) が必要です。個人情報の初期化を行うと、暗証番号以外の情報も消去されます。暗証番号はメモなどをして忘れないようにしてください。
	視聴年齢制限設定	・IPTV の成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20 歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。
	電源ボタン設定	・リモコンの電源ボタンで電源を切ったときは、電源ボタン設定に関わらず待機状態になり、視聴予約やおはようタイマーは継続されます。
	クイック起動設定	・ダウンロード (本機のソフトウェアの受信) 時は開始 5 分前になると一時的にクイック起動が解除され、すぐに電源が入らない場合があります。
	時計設定	時刻設定 ・時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。 ・設定できる時刻は 12 時間表示です。 ・設定できる日付は、2035 年 12 月 31 日までです。 ・画面表示ボタンを押すと、現在時刻が確認できます。 時計タイプ ・「時計タイプ」を「アナログ」に設定していても、ホームネットワークまたは USB で視聴しているときは、「デジタル」の時計が表示されます。 ・ホームネットワークまたは USB で視聴しているときは、「時計タイプ」の設定ができません。
	AV ポジション (画質切換)	・AV ポジションが「ダイナミック (固定)」の場合は、明るさセンサーの設定ができません。 ・入力によっては選択できない AV ポジションがあります。 ・接続する機器によっては、33 ページに記載されていない AV ポジションが表示される場合があります。
	プロ設定	QS 駆動 (120Hz) *5 *6 (LC-40DR9 のみ) ※ 1 AV ポジションが「ゲーム」のときは選択できません。 ※ 2 AV ポジションが「PC」のときは選択できません。 ※ 3 入力信号がプログレッシブ (480p、720p、1080p) のときは選択できません。 アクティブコントラスト *5 ※ 4 入力信号が PC 信号のときは選択できません。 ※ 5 USB メディアのときは選択できません。 ・インターネット、ホームネットワークで動画を再生しているときは選択できます。 I/P 設定 *3 *4 *5 *6 ※ 6 入力信号の種類や映像コンテンツによっては、効果がわからないことがあります。 フィルムモード *1 *3 *4 *5 *6 デジタル NR *2 *5 *6
	オートボリューム	次の場合は音声調整ができません ・AV ポジションを「ダイナミック (固定)」にしているとき ・ヘッドホンを接続しているとき (「ヘッドホン」設定が「モード 2」のときを除く) ・声の聞きやすさ設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合、オートボリュームは自動的に設定され、変更できません。 ・この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーに対しては働きません。 ・放送や BD/DVD などのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。
	声の聞きやすさ	・この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。
	照明オフ連動	・明るさセンサーの前にものを置いたりすると、部屋の明るさを感知できなくなります。
	映像オフ	・操作により映像が復帰したり、一度電源を切ったりすると、自動的に設定が「しない」になります。 映像を復帰させたいときは ・選局ボタンを押すなど、「音量調整」、「消音」、「音声切換」以外の操作をしてください。
	無信号オフ	・放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。 ・放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
	チャイルドロック	・誤ってリモコン操作をロックしてしまった場合は、本体の操作ボタン (⇒ 11 ページ) で操作し、ロックを解除してください。
	画面サイズ	・USB メモリーの画像の表示中は、画面サイズの切り換えはできません。 ・字幕表示の「表示方式」(⇒ 22 ページ) を「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」にした場合、画面サイズの切り換えはできません。画面サイズを切り換えたい場合は、「表示方式」を「表示しない」または「オンスクリーン」にする必要があります。 ・1035i は、本機の画面表示 (チャンネルサイン) では「1080i」と表示されます。 ・ハイビジョン放送など、画面サイズ「フル 1」でご覧になっているときに、上部にわずかな黒帯が表示される場合は、「フル 2」でご覧ください。
	視聴操作	次の場合は、静止画が解除されます。 ・録画予約が実行されたとき ・選局や入力切換の操作をしたとき ・ホーム (メニュー) / ツール / ファミリンクボタンを押したとき ・映像を静止してから 30 分経過したとき 静止画表示中は、次のことができません。 ・画面サイズの切り換え (⇒ 35 ページ) ・AV ポジションの切り換え ・番組表、番組情報の表示 ・連動データ放送の表示
	静止	

次のページに続く

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USB メモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

メニュー項目名		おしらせ
 設定 機能切換	お知らせタイマー	・消音中は、残り時間が「00 分 00 秒」になっても電子音が鳴りません。 次のようなときは、電子音が止まります。 ・リモコンのボタンを押したとき ・視聴予約、録画予約が開始されたとき ・本機の電源を「切」にしたとき アラーム音について ・インターネット・ホームネットワーク・USB メモリーの写真や音楽を視聴しているときなどは、残り時間が「00 分 00 秒」になっても電子音を鳴らさずに画面の表示だけでお知らせすることがあります。
	おはようタイマー	おはようタイマーを「設定」にする ・「解除」にするまで、設定した曜日に繰り返しおはようタイマーが働きます。 ・おはようタイマーで電源が入ってから2時間操作をしない場合は、電源が切れます。（電源が切れる5分前になると画面左下にメッセージが表示されます。） ・タイマー1～7は、日時の早いものが優先して作動し、同じ曜日であれば、7件別々の時間に別々のモードで作動させることができます。ただし、「おはようタイマー」が「設定」かつ「曜日」が「一回だけ」のタイマーがあるとき、他のタイマーは作動しません。 ・タイマー1～7が同じ時間のときは、より番号が若いタイマーの設定が優先されます。 ・「曜日」が「1 回だけ」の設定で同時刻のタイマーがある場合は、タイマー番号の小さいものだけが実行されます。（他の「1 回だけ」のタイマーは、「解除」になりません。） おはようタイマーで外部入力を使用する場合には ・あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。 おはようタイマーのモードが「サンライズ」または「サンライズ（アイコン）」の場合は ・電源が入ってしばらくは映像が出力されません。 お出かけになるときなど、おはようタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は ・「電源ボタン設定」（⇒ 33 ページ）を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切るか、おはようタイマーを解除してください。
	おやすみタイマー	・無操作オフや無信号オフ（⇒ 35 ページ）が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。 ・おやすみタイマーのモードの設定が「サンセット」の状態、で、「時刻（時）」「時刻（分）」を10 分以内の時刻に設定した場合、徐々に画面を暗くし、音量を下げる動作は行いません。 ・おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、本機が電源待機中のときはおはようタイマーが作動し、本機が動作中のときはおやすみタイマーが作動します。 ・テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホームメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。 ・本機の内蔵時計が正しくないときは、「時刻設定」（⇒ 33 ページ）が必要です。
	オフタイマー	・「この番組の最後まで」は、番組延長には対応していません。 ・「この番組の最後まで」は、オフタイマーを設定したときの番組終了時刻で設定されます。 ・設定後にチャンネルを切り換えても終了時刻は変更されません。 ・番組終了の約2 分前を過ぎてからオフタイマーの設定をした場合は、「この番組の最後まで」の代わりに「次の番組の最後まで」が表示されます。 ・番組の終了時刻の情報が取得できない場合は、「この番組の最後まで」または「次の番組の最後まで」は選べません。
	外部端子設定	「モード2」の音量調整について ・スピーカーの音量調整はリモコンで行います。 ・ヘッドホンの音量調整は本体の音量（＋／－）ボタンで行います。 ・リモコンの消音ボタンを押しても、ヘッドホンの音量は「0」になりません。
画面表示設定	番組名表示	・2 画面で PinP 表示（⇒ 18 ページ）しているときは、子画面に次番組は表示されません。
	文字スーパー表示	・「しない」に設定しても、放送局が強制的に表示する文字スーパーがあります。
画面位置	画面位置	・インターネット閲覧時は設定できません。
	お知らせタイマー	・消音中は、残り時間が「00 分 00 秒」になっても電子音が鳴りません。 次のようなときは、電子音が止まります。 ・リモコンのボタンを押したとき ・視聴予約、録画予約が開始されたとき ・本機の電源を「切」にしたとき

文字を入力する (ソフトウェアキーボード)

- 本機の操作で文字の入力が必要なときは、画面に表示されるソフトウェアキーボードを使って入力します。

入力できる文字の一覧

- 文字種によって入力できる文字が変わります。

ひらがな (全角)

① あいうえお あいうえお	② かきくけこ	③ さしすせそ
④ たちつてと っ	⑤ なにぬねの	⑥ はひふへほ
⑦ まみむめも	⑧ やゆよ やゆよ	⑨ らりるれろ
⑩ 、。?! 「」	⑪ わをんーわ (スペース)	⑫ 〃

カタカナ (全角)

① アイウエオ アイウエオ	② カキクケコ	③ サシスセソ
④ タチツテト ッ	⑤ ナニヌネノ	⑥ ハヒフヘホ
⑦ マミムメモ	⑧ ヤユヨ ヤユヨ	⑨ ラリルレロ
⑩ 、。?! 「」	⑪ ワランーワ (スペース)	⑫ 〃

半角英字／全角英字

① . / @ : -	② abcABC	③ defDEF
④ ghiGHI	⑤ jklJKL	⑥ mnoMNO
⑦ pqrPQRS	⑧ tuvTUV	⑨ wxyzWXYZ
⑩ ? ! () _	⑪ (スペース)	⑫ 全角／半角切換

半角数字／全角数字

① 1	② 2	③ 3
④ 4	⑤ 5	⑥ 6
⑦ 7	⑧ 8	⑨ 9
⑩ 0		⑫ 全角／半角切換

半角記号

① . / @	② , : ;	③ _ - ¥
④ \$ % &	⑤ # + *	⑥ = ~
⑦ ' ^ ' ^	⑧ () < >	⑨ [] { }
⑩ ? !	⑪ (スペース)	⑫ 全角／半角切換

全角記号

① . / @ .	② , : ;	③ _ - ¥
④ \$ % &	⑤ # + *	⑥ = ~
⑦ " ' ^ ' ^	⑧ () < >	⑨ [] { }
⑩ ? !	⑪ (スペース)	⑫ 全角／半角切換

区点コード

- 本機に搭載する全ての全角文字が入力できます。
- 区点入力では、カーソルボタンで文字を選択し、決定することで文字を入力します。

16 進数

- 文字種から「16 進数」は選べません。16 進数専用の入力欄を選んだときに入力できます。

① 1	② 2	③ 3
④ 4	⑤ 5	⑥ 6
⑦ 7	⑧ 8	⑨ 9
⑩ 0	⑪ abc	⑫ def :

◇ おしらせ ◇

- 入力欄によって、選択できる文字種が変わります。
- 入力欄によっては、英字、数字、記号の全角と半角の切り換えができない場合があります。
- インターネットにおいて、区点コード入力で一部の記号文字を入力すると、文字化けなど正しく処理されない場合があります。

文字を入力する
⇒ 42 ～ 43 ページ

文字を入力する

◇おしらせ◇

文字入力の制限について

- ホームメニューから「設定」－「（機能切替）」－「外部端子設定」－「入力表示」で「編集」を選んだときや、ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」－「LAN 設定」で LAN 設定の文字入力をするときは、予測変換されません。
- 1 つの入力欄に入力できる文字数は全角で 128 文字まで、半角で 256 文字までです。
- 文字が入力されている欄を選んだときは、入力済みの文字が入力欄に表示されます。このとき、全角で 128 文字（半角の場合は 256 文字）を超える文字は削除されます。

予測変換候補を工場出荷時状態に戻すには

- ①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ
 - ②数字ボタン（チャンネルボタン）の「3」を押して「履歴削除」を選ぶ
- 予測変換候補が工場出荷時状態に戻ります。

予測変換機能を停止するには

- ①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ
 - ②数字ボタン（チャンネルボタン）の「4」を押して「予測 OFF」を選ぶ
- 予測変換機能が停止し予測候補の表示欄が消えます。予測変換機能を使用するときは上記と同じ手順で「予測 ON」を選んでください。

「お早うございます」と入力する手順例

1



で選ぶ



を押す

文字を入力できる欄を選ぶ

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

文字を選ぶ

2



を押す

「お」を入力する

- 数字ボタン「1」を 5 回押します。押すたびに、文字が「あ」「い」「う」「え」「お」と変わっていきます。

入力中の文字に応じた
予測変換候補が表示されます。
画面は一例です。予測変換候補は
保存された履歴によって変わります。

お

予測変換

大分	大阪	オーストラ...
岡山	沖縄	大津
大宮	御茶ノ水	大人

文字種： あ ア A 1 記 区 機能

1 あ行	2 か行	3 さ行
4 た行	5 な行	6 は行
7 ま行	8 や行	9 ら行
10 記号	11 わをん-SP	12 * *

◀ 予測

▶ カーソル移動

終了

入力取消

戻る

文字消去

青 漢字変換

赤 逆順

緑 文字種変更

黄 完了

予測変換候補に入力したい文字が表示されている場合

- 次の手順で語を入力します。
 - ①下カーソルボタンを押す
 - ②上下左右カーソルボタンで入力したい語を選び、決定ボタンを押す

入力中に文字を消去する場合

- 左右カーソルボタンでカーソルを移動し、戻るボタンを押します。

3



を押す

「は」を入力する

- 数字ボタン「6」を 1 回押します。

4

同じようにして「よ」、「う」を入力する

「㇏」（濁点）や「㇏」（半濁点）を入力するときは

- ・「**12**」を押します。押すたびに「㇏」と「㇏」が切り換わります。

「っ」などの小さい文字を入力するときは

- ・「**4**」を6回押すと「っ」が入力されます。

「お」の場合は、「**1**」を10回押します。

スペースを入力するときは

- ・「**11**」を6回押します。

入力できる文字は

- ・「入力できる文字の一覧」（⇒ **41** ページ）をご覧ください。

改行するとき

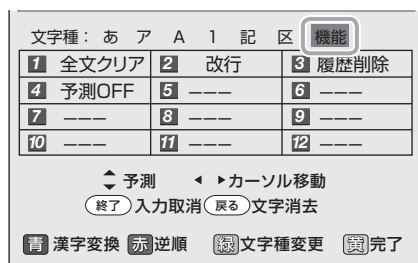
1

改行したい箇所を選ぶ

2

緑
を押す

繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ



3

か ABC
2
を押す

「改行」を選ぶ

- ・「**↵**」が入力されます。黄を押して文字を確定すると、「**↵**」の部分で改行されます。

◇おしらせ◇

- ・入力欄によっては、改行できない場合があります。また、改行以降の文字が消去される場合があります。
- ・改行マークは、全角1文字として数えられます。

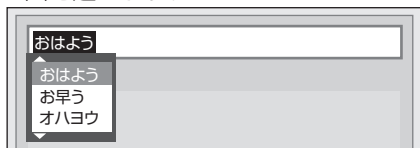
漢字やカタカナに変換する

5

青
を押す

入力欄の文字を変換する

- ・変換候補が表示されます。
- ・左右カーソルボタンで変換する範囲を選べます。



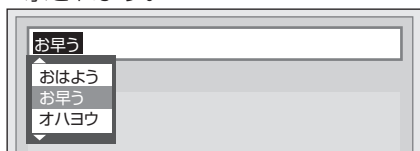
6

で選び

決定
を押す

入力したい文字を選ぶ

- ・ここでは「お早う」を選びます。
- ・次に続く文字の予測変換候補が表示されます。



7

あ /
1
で入力

続けて文字を入力する

- ・ここでは「ございます」と入力します。
- ・変換せずに続けて文字を入力する場合は、「決定」を押します。



8

黄
を押す

入力中の文字を確定する

- ・**42** ページの手順 **1** で選んだ入力欄に文字が入力されます。

2

あ /
1
を押す

「全文クリア」を選ぶ

- ・入力中の文字が全て消えます。
- ・続けて文字を入力するときは、緑を押して、文字種を選んでください。

本機の録画・再生機能について

- ・本機は、本体レコーダー（本体 HDD）または USB ハードディスク（USB HDD）にデジタル放送の番組を録画することができます。
- ・録画した番組は BD（ブルーレイディスク）にダビングすることができます。

録画・再生機能で できること

機能	本体レコーダー (本体 HDD)	USB ハードディスク (USB HDD)	BD
デジタル放送の録画	○	○	×
デジタル放送の裏番組録画	○	○	×
見どころポップアップ	○	×	×
録画した番組の チャプターマークの編集	○	×	×
録画画質設定	○	×	×
BD へのダビング*	○	○	・本体 HDD または USB ハードディス クに録画した番組 を BD にダビング できます。
画質変換	録画画質「標準 (DR)」 で録画した番組のみ	○	
チャプターダビング	○	×	
ゆっくり再生機能	○	×	○ (BD-R / BD-RE)
早見早聞き再生	○	○	○

※ BD から本体 HDD や USB ハードディスクへダビングすることはできません。

本機の録画機能でできないこと

- ×本体 HDD と USB ハードディスクに同時に録画しているときのデータ放送視聴
- ×インターネット動画の録画
- ×IPTV（ひかり TV）の録画
- ×アクトビラビデオの録画

USB ハードディスクについての 制限事項

- ×本機以外につないで録画した USB ハードディスクの再生
- ×本機につないで録画した USB ハードディスクの映像を、他の映像機器で再生・複製
- ×同時接続した USB ハードディスクへの同時録画
- ×同時接続した異なる USB ハードディスクを使った同時録画再生

録画中に利用できない機能

- ×IPTV（ひかり TV）の視聴
 - ×アクトビラビデオの視聴
 - ×USB メディアの再生
 - ×ホームネットワーク再生
 - ×インターネット
 - ×インターネット動画再生
 - ・本体 HDD に録画しているときは、BD ビデオの再生や USB ハードディスクの再生もできません。
- ◇おしらせ◇
- ・録画については **55** ページ、再生については **74** ページをご覧ください。
 - ・ディスクの入れかた・出しかたについては、**14** ページをご覧ください。
 - ・ファミリンク機器を本機につないで録画・再生する場合は、**128** ページをご覧ください。

録画をする前に お読みください

◆ 重 要 ◆

- 電源ボタン設定 (⇒ **33** ページ) を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。
本体の電源をオフにすると…
 - 予約が実行されません。
 - 録画が停止します。

- 録画中、または録画予約中に電源を切ったり停電になった場合には、録画中の内容が損なわれることがあります。

録画できる番組数と予約件数について

- 本体 HDD や 1 台の USB ハードディスクには、最大 999 番組まで録画可能です。
(空き容量がない場合は、録画できません。)
- 最大 32 件までの予約が可能です。

録画・録画予約できない場合について

- 独立データ放送や、録画が禁止されている番組は録画できません。
- 録画中に、録画禁止の番組が始まったり電波状況が悪くなった場合は、録画が停止・一時停止する場合があります。
- 録画中に電源プラグが抜けたり、予約した番組が休止していた場合は、録画が停止します。
- 録画中に停電になったときや誤って電源プラグを抜いたときは、録画されたところまで保存されます。
- 予約の開始時刻になると、録画が停止されます。(録画予約／ファミリンク予約優先)
- BD、DVD、CD には、録画ができません。
- 同じ番組を本体 HDD と USB ハードディスクに録画することはできません。

本体 HDD や USB ハードディスクについて

- パソコンと同様に、本体 HDD や USB ハードディスクは、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。録画(録音)内容の長期的な保管場所ではありません。あくまでも一時的な保管場所としてご使用ください。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。

万一何らかの不具合により、録画されなかった場合の内容の補償、録画されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

B-CAS (ビーカス) カードについて

- 録画・録画予約をするときは、本機に B-CAS カードが入っていることを確認してください。

予約実行中の制限について

- 予約が実行中(録画中)の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、録画を停止させてから設定してください。USB ハードディスクを準備(⇒ **51** ページ)すれば 2 番組同時録画できます。

◇ おしらせ ◇

録画予約について

- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

操作中に録画開始時刻が近づいた場合

- テレビ画面にメッセージが表示されます。

本体 HDD への録画について

マルチビューサービス放送を録画する場合は

- 「録画画質」を「標準 (DR)」にして録画してください。「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「10 倍」「12 倍」にしているときは、視聴中の映像が録画されます。

連動データ放送を録画する場合は

- 「録画画質」を「標準 (DR)」 「2 倍」「3 倍」のいずれかにして録画してください。「5 倍」「7 倍」「10 倍」「12 倍」で録画したときは、連動データ放送は録画されません。

録画画質について

- 詳しくは **47** ページをご覧ください。

著作権について

コピー制御信号について

- デジタル放送で視聴・録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。

録画可能 : 制限なしに録画・ダビングが可能です

録画禁止 : 録画できません(視聴のみ)

1回だけ録画可能 : 録画できます

ダビング10 : 録画できます

- 「1回だけ録画可能」の番組を録画したとき、その番組はコピー禁止の番組として録画されます。
- BDにダビングした番組は、BDからダビングもムーブ(移動)もできません。
- CATVチューナーや外部機器からのコピーガードされた放送は、録画できません(視聴のみ)。

コピー制御お問い合わせセンター

電話 : 0570-000-288

IP電話のお客様は 045-345-0504

(午前10時～午後8時)

2013年5月現在

- CATVチューナーからの録画や接続については、お客様が契約されているCATV会社にお問い合わせください。

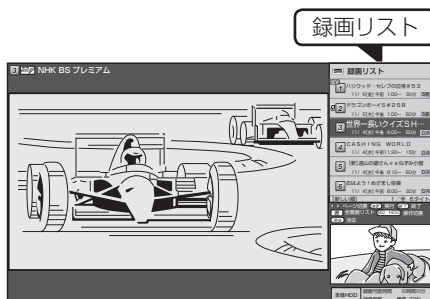
本機との接続方法⇒「かんたん!!ガイド」(巻末)

3ページ

本機での録画方法⇒57ページ

録画した番組の構成について

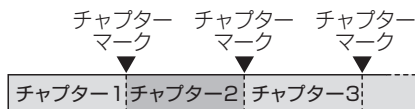
- 録画した番組は、1回の録画ごとに「タイトル」として記録されます。各タイトル(録画した番組)は「録画リスト」に一覧表示されます。(⇒75ページ)



「録画リスト」「チャプター」「タイトル」の関係

- 録画リストは本にたとえるともくじにあたり、チャプターマークは、しおりのようなものです。
- タイトル(録画した番組)にしおりをはさむように、チャプターマークを記録してタイトルを区切ります。
- チャプターマークで区切られた部分がチャプターになります。チャプターは、本にたとえると章のようなものです。

タイトル



◇おしらせ◇

- 本体HDDに録画するときは、番組録画中に音声の切り換わりを検知して自動的にチャプターを作成する「おまかせオートチャプター」機能を利用できます。
- 一定時間でチャプターを作成することもできます。*

※ 本機には録画中にチャプターマークを任意の場所に記録する機能はありません。デジタル放送を録画するときに、チャプターマークを設定した間隔で自動的に入れるようにできます。
(本体HDDのチャプターマークの設定⇒50ページ)
(USBハードディスクのチャプターマークの設定⇒54ページ)

本体 HDD に録画するための準備

録画画質と録画時間

- ・ 本体 HDD に録画するときは、ビデオテープの標準モードや 3 倍モードのように録画モードを指定して録画ができます。
- ・ 本体 HDD にデジタル放送を録画するときは、録画画質（録画時間）「標準（DR）」「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「10 倍」「12 倍」が選べます。（録画するときの画質設定⇒ **48** ページ）
- ・ 外部機器の映像を録画するときは、録画画質「SP」「LP」が選べます（⇒ **48** ページ）
- ・ 録画画質を下げると、録画時間を増やすことができます。
- ・ 録画画質によってデータ放送や二重音声が録画されない場合があります。

録画画質と録画時間

- ・ 標準（DR）では、デジタル放送そのままの画質で録画します。（外部機器の映像では SP です。）
- ・ 2 倍／3 倍／5 倍／7 倍／10 倍／12 倍モードは、ハイビジョン画質で長時間録画に対応した録画画質です。それぞれ録画時間が約 2 倍／約 3 倍／約 5 倍／約 7 倍／約 10 倍／約 12 倍になります。

録画画質			録画時間
デジタル放送録画時	標準(DR) (放送画質)	デジタルハイビジョン(HD)放送(BS/110度CSデジタル)	約43時間41分
		デジタルハイビジョン(HD)放送(地上デジタル)	約61時間41分
		デジタル標準(SD)放送	約87時間23分
	2倍	デジタルハイビジョン(HD)放送 (地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル) ・ 録画画質「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「10倍」「12倍」では、デジタル標準(SD)放送時は、表記の録画時間より長く録画できます。	約87時間23分
	3倍		約131時間
	5倍		約218時間
	7倍		約306時間
	10倍		約437時間
	12倍		約524時間
外部入力録画時	SP		約171時間
	LP		約335時間

※ 工場出荷時、デジタル録画画質は「5 倍」、アナログ録画画質は「LP」に設定されています。

録画時間の算出について（録画時間は目安です）

- ・ 録画時間は、BS/110 度 CS デジタルハイビジョン(HD)放送は約 24Mbps、地上デジタルハイビジョン(HD) 放送は約 17Mbps、標準 (SD) 放送は約 12Mbps で算出しています。録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により上記の時間を下回るまたは上回る場合があります。
- ・ 録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。
- ・ 2 倍、3 倍の録画時間は、連動データ放送のデータ量により、実際に録画できる時間は記載値よりも誤差が大きくなる場合があります。
- ・ スポーツや歌番組などの動きの激しい番組を「7 倍」「10 倍」「12 倍」などの長時間録画画質で録画した場合、ブロックノイズなどが目立つ場合があります。また標記の録画時間まで録画できない場合が多くなりますので、動きの激しい番組を録画する場合は、なるべく標準 (DR)、2 倍、3 倍、5 倍の画質で録画していただくことをおすすめします。

次のページに続く

録画画質 放送の種類	標準（DR）画質	2倍／3倍	5倍／7倍／10倍／12倍
マルチビューサービス放送 （ステレオ二重音声）	○	主映像 （音声は放送と同じ音声を 記録）	主映像 （音声は下記の「二重音声放送を 録画するとき」をご覧ください。）
連動データ放送	○	○	×
二重音声放送／字幕／番組情報	○	○	○

本機の録画画質設定		標準 (DR) / 2 倍 / 3 倍 / 5 倍	7 倍 / 10 倍 / 12 倍
放送の種類	マルチ音声 ^{※1} (ステレオ二重音声など)	すべての音声を記録します。	マルチ音声設定で設定されている音声を記録します。
	モノラル二重音声 ^{※2}	主／副両方の音声を記録します	

録画する音声を設定する (マルチ音声設定)

- マルチ音声（ステレオ二重音声）のデジタル放送番組を7倍／10倍／12倍の録画画質で録画／ダビングするときの音声を、「音声1」「音声2」「マルチ音声」のいずれかに設定します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」-「 (視聴準備)」-「本体レコーダー設定」を選ぶ

2 「本体HDD録画設定」を選ぶ

3 「マルチ音声設定」を選ぶ

4 録画する音声を選ぶ

- 「音声2」に設定しても、音声2が放送されていないときは、「音声1」が録画されます。
- 「マルチ音声」は、「音声1」「音声2」の両方を録画します。このため、録画可能時間が少し短くなる場合があります。

録画可能時間を調べる

- を押すと、本体HDDやUSBハードディスクの情報が画面右下に表示されます。
- 情報の表示から、録画可能時間などを確認できます。



◇おしらせ◇

- 再生中は、を押しても録画可能時間は表示されません。市販のBDビデオディスクなどでポップアップメニューがある場合は、ポップアップメニューが表示されます。
- 録画可能時間が足りない場合は、本体HDDやUSBハードディスクの空き容量がなくなるまで録画が実行されます。
- デジタル放送受信中に表示される「標準(DR)」の録画可能時間は、現在受信しているデジタル放送を録画した場合の録画可能時間です。
- 本体HDDに録画した番組を再生しているときは、見どころポップアップが表示されます。
- ちょっと待って機能が動作しているとき録画可能時間は表示されません。

放送視聴中の情報例

HDD 本体HDD	
録画画質	標準 (DR) ①
T タイトル	1 ②
C チャプター	1 ③
録画可能時間	43時間10分 ④

録画中の情報例

HDD 本体HDD	
地上D 011 NHK総合・東京	
国会中継「参議院決議委員会質疑 〜参議院第1委員会室から中 継〜	
午前 9:30 ~ 午前 11:45 C	
● カウンター	00:00:01 ⑤
録画画質	標準 (DR) ①
録画可能時間	43時間10分 ④

① 設定されている録画画質が表示されます。

② 総タイトル数を表示します。

③ 総チャプター数を表示します。

④ 現在の録画できる時間を表示します。

- 表示される録画可能時間は、その時点の番組を録画する際、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像が続いた場合でも録画できる時間の目安です。

⑤ 録画開始からの経過時間を表示します。

録画するときに自動的に 入るチャプター間隔を 変えたいときは (オートチャプター設定)

- 本体 HDD に録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。
- 「おまかせ」に設定すると、CM の前後などシーン（音声）の切り換わり部分に自動でチャプターマークを記録します。（おまかせオートチャプター）
- 工場出荷時は「おまかせ」に設定されています。
- 再生中に  を押して CM を飛ばして見るときなどに便利です。（シーンによっては CM 以外の部分にチャプターマークが記録される場合もあります。）

項目	内 容
おまかせ	CM などのシーンの切り換わり部分にチャプターマークを記録します。
しない	チャプターが入りません
10 分	10 分間隔でチャプターが入ります。
15 分	15 分間隔でチャプターが入ります。
30 分	30 分間隔でチャプターが入ります。

- 1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「本体レコーダー設定」を選ぶ
- 2 「本体HDD録画設定」を選ぶ
- 3 「オートチャプター設定」を選ぶ
- 4 チャプターマークを入れる間隔を選ぶ

◇ おしらせ ◇

- 外部入力映像を録画しているときは、おまかせオートチャプターは付きません。
- USB ハードディスクのオートチャプター設定については **54** ページをご覧ください。
- ちょっと待って機能では、オートチャプターは付きません。

USB ハードディスク（市販品）の準備をする

USB ハードディスクを使う前に

USBハードディスクと本機をつなぐ

- ⇒ 「かんたん!! ガイド」（巻末）6 ページ

初めて使うUSBハードディスクの場合は、「機器の初期化」をする

- ⇒ 52 ページ

「USB-HDDの選択」で使用するUSBハードディスクを選ぶ

- ⇒ 53 ページ
- 本機につないでいる USB ハードディスクの中から、録画・再生の操作をしたいものを選びます。

必要に応じて省エネの設定をする

- ⇒ 53 ページ

USB ハードディスクを使うときの制限

- テレビの電源を入れてから、USB ハードディスクの録画・再生が行えるようになるまでしばらく時間がかかります。

USB ハードディスクの制約

- 本機で USB ハードディスクに録画した番組は本機でしか再生できません。他のテレビやパソコンでは再生できません。
- 修理等でテレビ内部の主要部品を交換したり、テレビ本体を交換したときは、USB ハードディスクに録画した番組が再生できなくなります。
- 録画中は IPTV、インターネット、ホームネットワーク、USB メモリーの写真や音楽を視聴できません。

録画時間について

- 録画時間は、お使いになる USB ハードディスクの容量によって異なります。以下は、録画時間の目安です。

放送の種類 容量	BS・110度CS ハイビジョン 放送	地上デジタル ハイビジョン 放送	標準放送
2TB	約 174 時間	約 240 時間	約 347 時間
1.5TB	約 130 時間	約 180 時間	約 260 時間
1TB	約 87 時間	約 120 時間	約 173 時間
750GB	約 65 時間	約 90 時間	約 130 時間
640GB	約 56 時間	約 77 時間	約 111 時間
500GB	約 44 時間	約 60 時間	約 87 時間
400GB	約 35 時間	約 48 時間	約 70 時間
320GB	約 28 時間	約 39 時間	約 56 時間
300GB	約 26 時間	約 36 時間	約 52 時間
250GB	約 22 時間	約 31 時間	約 43 時間

◇ おしらせ ◇

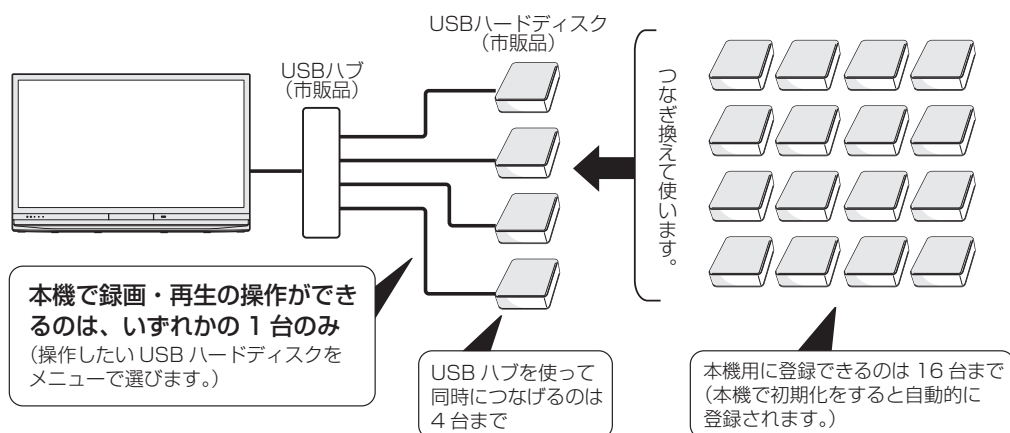
録画時間の算出について（録画時間は目安です）

- 録画時間は、BS/110度CS デジタルハイビジョン（HD）放送は約 24Mbps、地上デジタルハイビジョン（HD）放送は約 17Mbps、標準（SD）放送は約 12Mbps で算出しています。録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他条件により上記の時間を下回るまたは上回る場合があります。
- 録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。

録画中の再生について

- 録画中に再生を行うと、画面の映像が粗くなる場合があります。

市販の USB ハブを使って、USB ハードディスクを複数台つなぐ場合には



- USB ハブは、USB2.0 以降を使用してください。
- USB ハブに AC アダプターを使用し、電源供給をする必要があります。
- USB ハブから USB ハブを接続しての使用はできません。
- USB ハブの種類によっては、USB ハブの中で複数の接続をしているものもあり、使用できない場合があります。

USB ハードディスクを初期化する

- USB ハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「初期化」が必要です。
- 初期化するときは、USB 端子と USB ハードディスクを1台だけ直接接続してください。
- 登録できる USB ハードディスクは16台です。

◆ 重要 ◆

- レコーダーやパソコンで録画した USB ハードディスクをつないだときも、本機で使うためには、初期化が必要です。

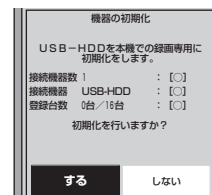
USB ハードディスクを初期化すると、録画済みのタイトルがすべて消去されます。

- 消去されたタイトルは元に戻せませんので、USB ハードディスクの内容をよく確認してください。

◇ おしらせ ◇

- USB 機器を2台以上接続している場合は、初期化できません。
- 初期化の完了後は、初期化した USB ハードディスクが自動的に選択されます。
- 初期化の操作が済んだら、必要に応じて「オートチャプター設定」をしておくとう便利です。
(⇒ 54 ページ)

- 1 USBハードディスクをつなぐ
(⇒「かんたん!!ガイド」(巻末)6ページ)
- 2 USBハードディスクと本機の電源を入れる
- 3 ホームメニューを表示して、「設定」→「 (視聴準備)」→「USB-HDD設定」を選び、決定する
- 4 「機器の初期化」を選ぶ
- 5 「する」を選び、決定する
- 6 「する」を選び、決定する



- 7 「する」を選び、決定する
 - 初期化が実行されます。
 - 初期化中に USB ハードディスクを取り外したり、USB ハードディスクや本機の電源を切らないでください。故障の原因となります。
- 8 「確認」で決定する
- 9 録画先に使う録画機器を選ぶ
 - リモコンの録画ボタンを押したときの録画先として使う録画機器を選択します。

使用する USB ハードディスクを選択する

- 1 ホームメニューを表示して、「設定」－「 (視聴準備)」－「USB-HDD設定」を選び、決定する
- 2 「USB-HDDの選択」を選び、決定する
- 3 表示された機器から1台を選択する
 - ・ 接続が1台の場合でも選択されていない場合がありますので、選択してください。

USB ハードディスクの名前を変えたいときは

- 1 ホームメニューを表示して、「設定」－「 (視聴準備)」－「USB-HDD設定」を選び、決定する
- 2 「機器名の変更」を選ぶ
- 3 名前を変更したいUSBハードディスクを選び、「機器名を変更しますか？」で「する」を選ぶ
- 4 ソフトウェアキーボード(⇒42ページ)で、新しい名前を入力する
- 5 「この名称に変更しますか？」で「する」を選ぶ

USB ハードディスクを省エネで使うには

- 1 ホームメニューを表示して、「設定」－「 (視聴準備)」－「USB-HDD設定」を選び、決定する
- 2 「省エネ設定」を選び、決定する
- 3 「する」を選び、決定する

USB ハードディスクを取りはずすときは

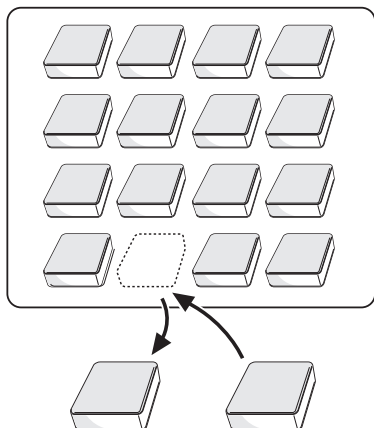
- ・ 本機やUSBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜く前に、必ずホームメニューから「機器の取りはずし」を行ってください。

- 1 ホームメニューを表示して、「設定」－「 (視聴準備)」－「USB-HDD設定」を選び、決定する
- 2 「機器の取りはずし」を選び、決定する
- 3 「取りはずす」で決定する
 - ・ 取りはずし中を知らせるメッセージが表示されます。
 - ・ 取りはずしが完了するまで、USBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因となります。
- 4 「確認」で決定する
- 5 本機とUSBハードディスクの電源を切り、接続しているUSBケーブルを抜く

USB ハードディスクを 解除するときは

- 本機は USB ハードディスクを 16 台まで登録できます。(本機で初期化をすると、自動的に登録されます。)
- 本機に登録していない USB ハードディスクでは、録画・再生できません。
- 17 台目以降の USB ハードディスクを登録する場合には、登録済みの USB ハードディスクのいずれかを登録解除してください。

本機で登録できる USB ハードディスクは 16 台まで



- ①本機で使わなくなった USB ハードディスクを登録解除
②本機で使いたい新たな USB ハードディスクを初期化（登録）

- 1 ホームメニューを表示して、「設定」－「 (視聴準備)」－「USB-HDD設定」を選び、決定する
- 2 「機器の登録解除」を選び、決定する
- 3 登録を解除したいUSBハードディスクを選び、決定する
 - 画面の指示に従って操作をします。
- 4 「解除する」を選び、決定する
- 5 もう一度「解除する」を選び、決定する
 - この USB ハードディスクを、本機の登録リストから削除します。登録を解除すると、この USB ハードディスクに録画されている番組は、再生できなくなります。
- 6 「確認」で決定する

- 17 台目の USB ハードディスクを本機で使えるように初期化してください。(⇒ **52** ページ)

録画するときに自動的に 入るチャプター間隔を 変えたいときは (オートチャプター設定)

- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。
- 録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。
- チャプターマークについては**46**ページをご覧ください。

項目	内容
しない	• チャプターが入りません。
10 分	• 10 分間隔でチャプターが入ります。
15 分	• 15 分間隔でチャプターが入ります。
30 分	• 30 分間隔でチャプターが入ります。

◇ おしらせ ◇

- 本機にはチャプターマークを任意の場所に記録する機能はありません。

- 1 ホームメニューを表示して、「設定」－「 (視聴準備)」－「USB-HDD設定」を選び、決定する
- 2 「オートチャプター設定」を選び、決定する
- 3 「しない」「10分」「15分」「30分」のいずれかを選び、決定する
 - 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

本機で録画する

- 本機は、本体 HDD や USB ハードディスクに録画することができます。
- USB ハードディスクを準備すれば、デジタル放送を 2 番組まで同時に録画できます。

録画先を選ぶ

- リモコンの録画ボタンを押したときに録画先とする機器を選ぶ設定です。

1 ホームメニューを表示して、「設定」→「 (視聴準備)」→「録画機器選択」を選び、決定する

2 録画する機器を選び、決定する

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 「録画時に選択する」を選んだときは、 を押したときや番組表から予約するときに、録画する機器を選ぶ画面が表示されます。

放送中の番組を録画する

- 視聴中のデジタル放送の番組が終わるまで録画し、番組が終了すると自動で録画が停止します。番組の延長にも対応します。

◆ 重要 ◆

- 「録画・再生機能でできること」(⇒ 44 ページ)「録画をする前にお読みください」(⇒ 45 ページ)をご覧ください。
- 録画可能時間がなくなると録画を停止します。
-  で録画するには、事前に「録画機器選択」(⇒ 上記)で録画先または「録画時に選択する」を選択しておく必要があります。

1 録画したい放送の種類を選ぶ

-    のいずれかを押して選びます。

2 選局ボタンで録画したいチャンネルを選ぶ

3

録画

を押す

録画をはじめる

- テレビ画面に録画開始のメッセージが表示されます。
録画開始のメッセージ例

この番組を最後まで録画します。

- 録画操作の選択画面が表示された場合は、録画先を選びます。
- 視聴中の番組が終わるより前に録画を止める場合は、 を押し、メッセージに従って操作してください。

◇ おしらせ ◇

- デジタル放送は B-CAS カードを挿入しないと視聴・録画できません。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。
- 録画画質「7 倍」「10 倍」「12 倍」で録画したときに記録されるマルチ音声（ステレオ二重音声）は、「本体 HDD 録画設定」の「マルチ音声設定」で設定されている音声です。(⇒ 49 ページ)
- 「電源ボタン設定」(⇒ 33 ページ)を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。
- 本体の電源をオフにすると…
 - 予約が実行されません
 - 録画が停止します
- 本体 HDD と USB ハードディスクの両方で録画を実行している場合は、あとから録画したチャンネルのみ視聴できます。他のチャンネルに切り換えるには、どちらかの録画を停止する必要があります。

番組情報が取得できていないチャンネルを録画したときは

- デジタル放送で番組表が表示されていないチャンネルを録画したときは、 を押すまで、本体 HDD には最大 12 時間、USB ハードディスクには、最大 6 時間録画が続きます。
- 録画終了時刻を設定したいときは 56 ページをご覧ください。

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USB メモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

録画終了時刻を変更するには

1 録画ボタンを押し、「録画の終了時刻を変更する」を選び、決定する

- ・ 終了時刻設定画面が表示されます。

2 終了時刻を選び、決定する(1分単位)

- ・ 終了時刻を選ぶときに、上下カーソルボタンを長押しすると、10分単位で選べるようになります。(カーソルボタンを押し直すと、1分単位の動作に戻ります。)

「録画中の番組の最後まで」を設定したとき

- ・ 設定した時点での番組情報に従い、番組終了時刻が設定されます。
- ・ 番組表で番組情報が取得されていないときは、「録画中の番組の最後まで」は設定できません。

録画終了時刻を設定したとき

- ・ 録画終了時刻が設定されます。設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。

設定を解除したいとき

- ・ 「設定しない(解除)」を選びます。

「設定しない(解除)」を選んだとき

- ・ 「設定しない(解除)」を選んだときは、を押して「実行中の録画を停止する」を選ぶまで録画が続きます。(本体HDDの場合は最長12時間、USBハードディスクの場合は最長6時間) USBハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。

録画を途中で停止したいとき

- ・ 「いますぐ録画停止」を選びます。
- ・ 続いて「する」を選ぶと、録画が停止します。

デジタル放送の番組を録画予約する

- ・ 番組表を使って、番組を録画予約できます。
- ・ 7日先まで録画予約できます。
- ・ 予約の最大件数は、32番組です。

◆ 重要 ◆

- ・ 「録画・再生機能でできること」(⇒44ページ)
- ・ 「録画をする前にお読みください」(⇒45ページ)をご覧ください。

◇ おしらせ ◇

- ・ 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。

- ・ 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- ・ 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

1 録画したい放送の種類を選ぶ

- ・    のいずれかを押し選びます。

2 番組表(予約)ボタンを押し、番組表を表示する

3 予約したい番組を選ぶ

- ・ 日時やジャンルを指定して番組を選ぶこともできます。(⇒17ページ)

4 決定ボタンを押し、予約する

- ・ メッセージが表示されます。
- ・ 「録画機器選択」(⇒55ページ)で選んでいる機器に対して録画予約が設定されます。
- ・ 「録画機器選択」を「録画時に選択する」に設定している場合は、録画する機器を選びます。
- ・ 予約した番組には、予約アイコンが表示されます。

録画禁止の番組を予約したときは

- ・ 視聴予約となります。

「同時に実行できない予約があります。」と表示されたときは

- ・ 59ページをご覧ください。

5 番組表(予約)ボタンを押し、番組表を消す

- ・ 予約が設定されると、本体のTIMER(タイマー)ランプ(⇒11ページ)が赤色に点灯します。

録画予約の取り消し・変更をしたいときは

- ・ ⇒61ページをご覧ください。

◇ おしらせ ◇

- ・ 「電源ボタン設定」(⇒33ページ)を「モード2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

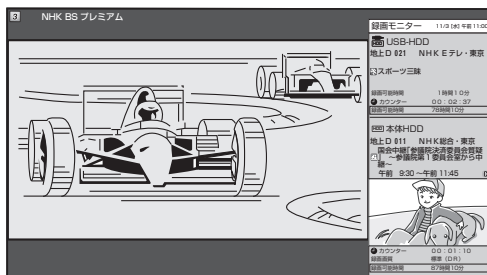
本体の電源をオフにすると…

- ・ 予約が実行されません
- ・ 録画が停止します

- ・本体 HDD と USB ハードディスクの両方で録画を実行している場合は、あとから録画したチャンネルのみ視聴できます。他のチャンネルに切り換えるには、どちらかの録画を停止する必要があります。

録画の確認をしたいときは

- ・録画中に **録画確認** を押すと、録画の状態が表示されます。本体 HDD に録画中の場合は録画モニターが画面右下に表示されます。



- ・もう一度 **録画確認** を押すか、**終了** を押すと録画モニターを終了します。
- ・録画モニターが表示できるのは、左画面がデジタル放送視聴中のみです。
- ・音声は、左画面（デジタル放送）の音声が出力されます。
- ・録画モニター表示中に入力切り換えを行ったり、録画が終了したときは、録画モニターが終了します。
- ・録画モニターに表示される録画経過時間は目安です。映像によっては、経過時間や映像の動きが一定に進まない場合があります。

本体 HDD と USB ハードディスクの両方で録画を実行している場合

- ・USB ハードディスクに録画している番組名なども同時に表示されます。

外部機器の映像を録画する (本体 HDD のみ)

- ・本機の入力 3（映像・音声）に接続した外部機器（ケーブルテレビのセットトップボックスなど）の映像を本体 HDD に録画することができます。
- ・録画制限のない番組が録画できます。
- ・画質は「LP」または「SP」となります。
- ・D 端子から入力した映像は録画できません。
- ・二重音声放送を録画するときは、あらかじめ「外部入力音声設定」で「ニヶ国語」を選んでおいてください。(⇒58 ページ)さらに、本機に接続している機器側でも二重音声として出力する音声設定にしてください。

灰色で表示した手順は外部機器の操作です。

1

外部機器を本機の入力3に接続する

2

入力切替ボタンを繰り返し押し、「入力3」を選ぶ

入力切替
を押す



3

外部機器を再生する

4

録画を開始したいところで、録画ボタンを押す

録画
を押す

録画を止めるときは

- ・**録画停止** を押した後、止めたい録画を **録画停止** で選び、**決定** を押してください。

録画終了時間を指定するときは

- ・録画中にもう一度録画ボタンを押し、「本体 HDD 録画の終了時刻を変更する」を選び、時間を指定して **決定** を押してください。

外部機器の映像を録画予約する (本体 HDD のみ)

- 入力 3 (映像・音声) にケーブルテレビのセットトップボックスなどを接続しているときや、外部機器映像の録画が終わったあと本機の電源を切りたいときに使用します。
- 予約はアナログ予約画面で行います。
- アナログ予約画面は、チャンネルごとに 1 時間単位で区切った画面です。
- 録画開始時刻、終了時刻を 1 分単位で設定したい場合は、アナログ予約画面で予約を行った後、アナログ予約の変更で 1 分単位の変更を行います。
- 7 日先まで録画予約できます。
- 予約の最大件数は、32 番組です。
(デジタル放送録画含む)

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 録画画質を変更する場合、録画画質の設定をします。(⇒ 48 ページ)
- 外部ビデオ入力端子からの二重音声放送を録画するときは、あらかじめ音声を二ヶ国語に設定しておきます。
(⇒ 右記)
- CATV (ケーブルテレビ) を録画予約するときは、CATV 側でも予約設定を行います。(⇒ 予約設定については、STB (セットトップボックス) の説明書をご覧ください。)

2 入力切換ボタンを繰り返し押し、 入力3を選ぶ

3 番組表(予約)ボタンを押す

- アナログ予約画面が表示されます。

4 録画したい時間を選ぶ

- 予約リストに予約が表示されます。
- 予約した時刻には、外部機器を再生状態にしてください。

外部ビデオ入力録画の音声を設定 するときは (外部入力音声設定)

- 入力 3 (映像・音声) からの映像を録画する場合に、音声を「ステレオ」「二ヶ国語」のいずれかに設定することができます。

◆ 重 要 ◆

- 二重音声放送を録画する際は、あらかじめ「外部入力音声設定」で「二ヶ国語」を選んでおいてください。さらに、入力 3 に接続している機器も二重音声として出力する音声設定にしてください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－
「 (視聴準備)」－「本体レコーダー設定」を選ぶ

2 「本体HDD録画設定」を選ぶ

3 「外部入力音声設定」を選ぶ

4 録画する音声を選ぶ

予約設定時のメッセージについて

- 番組表で番組を予約したときに、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

予約リスト (⇒ 61 ページ) に「容量不足」と表示されるとき



録画可能時間が不足しており設定した予約が録画できないときに表示されます。

- 録画リストから不要な番組を消去することで、残量を増やせます。(タイトル消去⇒ 66 ページ)

予約リスト (⇒ 61 ページ) に「録画不可」と表示されるとき



USB ハードディスクを接続していないときや、本機で初期化していない (登録されていない) USB ハードディスクが接続されているときに表示されます。

- 初期化 (登録) 済み (⇒ 52 ページ) の USB ハードディスクを接続してください。

「同時に実行できない予約があります。」と表示されるとき

- 残す予約を選び (決定) を押すと、選んだ予約にチェックがつき、取り消される予約に×印が表示されます。
- 残す予約が決まったらカーソルボタンで「予約する」を選びます。
- 予約の内容によっては、残す予約を選べない場合があります。

◇ おしらせ ◇

- 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

本体ハードディスクの場合は

- 録画・再生・ダビングに関するエラーメッセージ (⇒ 169 ページ) も併せてご覧ください。

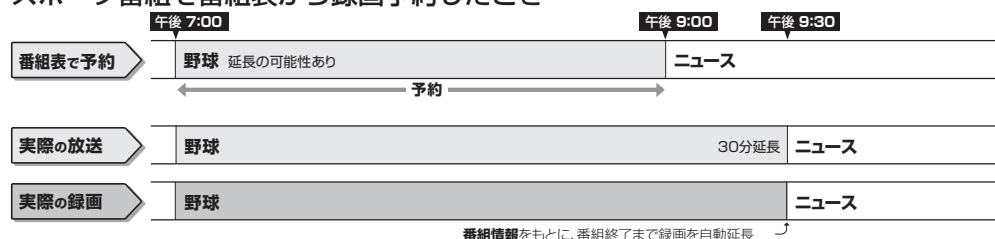
USB ハードディスクの場合は

- USB ハードディスク利用時に関するエラーメッセージ (⇒ 172 ページ) も併せてご覧ください。

番組表でのデジタル放送の延長予約について

- ・スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を番組表で予約すると、録画の終了時刻が自動で延長されます。
- ・番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。
- ・前の番組が延長されて録画予約した番組が繰り下げられたときでも、録画予約した番組の最後まで録画します。

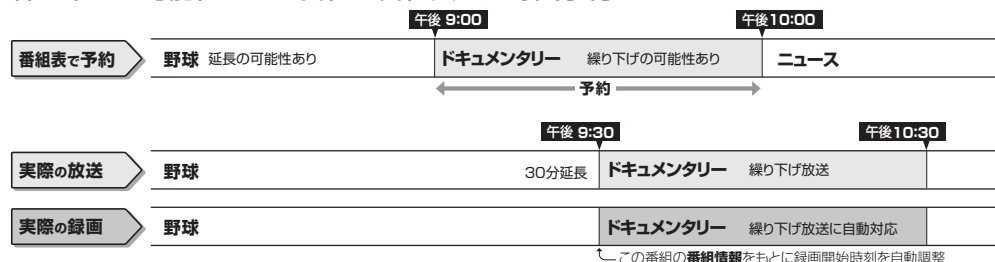
スポーツ番組を番組表から録画予約したとき



◇ おしらせ ◇

- ・同じ録画先の予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。
- ・開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をやり直した時刻で録画されます。(延長に対応しなくなります。)
- ・外部機器の録画には対応していません。

繰り下げの可能性のある番組を番組表から録画予約したとき

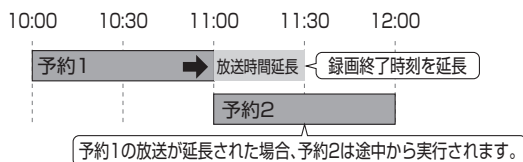


◇ おしらせ ◇

- ・開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をやり直した時刻で録画されます。(延長に対応しなくなります。)

番組の延長により、予約が重なった場合

- ・先に始まった録画予約が終了したあと、次の重なった録画予約を途中から実行します。



- ・番組が繰り下げられた場合も同様です。



- ・番組が繰り下げられた結果、開始時刻が他の予約と同じ時刻になった場合は、繰り下げられた予約が取り消されます。

予約の確認・取り消し・変更をするには

- 予約の確認・取り消し・変更をすることができます。
- 録画先を変更するときや日時を指定して予約したいとき、視聴予約やファミリンク録画予約 (⇒ **132** ページ)、繰り返し予約は、この手順で予約方法を変更します。

◇おしらせ◇

- 録画実行中の予約は「取り消す」のみ操作ができます。

実行中の予約録画を解除するには

- 録画停止を押した後、止めたい録画を決定で選び、決定を押してください。



1

番組表(予約)
を押す

2

青
を押す



で選び



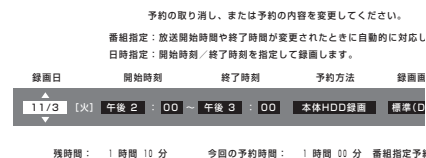
を押す

番組表を表示する

- ①予約リストを選ぶ
- ②確認・取り消し・変更をしたい予約を選ぶ



- 決定で予約されている番組を選びます。
- 決定でページ ①～⑧ のいずれかを選びます。
- 予約リストに表示されるアイコン、番組表に表示されるアイコンについては、**16** ページをご覧ください。
- 予約の設定内容が表示され、確認できます。



- 上記は、番組表から予約した予約の変更・取り消し画面です。日時指定予約の場合は、画面が若干異なります。
- 確認のみで終了する場合は、「変更しない」を選び、番組表または予約リストに戻ります。

◆ 予約を取り消したいとき

3



で選び



を押す

- ①「取り消す」を選ぶ
- ②「する」を選ぶ

- 予約が取り消され、番組表に戻ります。

次のページに続く

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリ／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(は様は)

English
Guide

◆ 予約の設定を変更するとき

つづき

変更したい項目の内容を選ぶ



で項目
を



で内容
を選ぶ

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

番組指定：放送開始時間や終了時間が変更されたときに自動的に対応
日時指定：開始時刻・終了時刻を指定して録画します。

録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法	録画
11/3 [火]	午後 2 : 00	午後 3 : 00	本体HDD録画	標準

残時間： 1 時間 10 分 今回の予約時間： 1 時間 00 分 番組指定

変更する 変更しない 取り消す

デジタル放送の録画予約の場合

設定項目	予約方法
予約方法	本体HDD録画 USB-HDD録画※1 ファミリンク録画※1※2※3 視聴予約
録画日	日付※4、毎週〇曜※4、毎日、 月一土、月一金
録画画質※5	標準(DR)、2倍、3倍、5倍、 7倍、10倍、12倍
録画先自動切換	する、しない

- ※1 USBハードディスクやファミリンク機器が認識できないときは、表示されません。
- ※2 予約方法がファミリンク録画の場合、「録画日」「開始時間」「終了時間」は変更できません。
- ※3 「日時指定予約」の場合、ファミリンク録画には設定できません。
- ※4 (日時指定予約)を押して変更する場合、「録画日」「開始時刻」「終了時刻」も変更できます。「録画日」は、「今日の日付」～「28日後の日付」や「毎週〇曜」も選べます。
- ※5 「録画画質」が選択できるのは、予約方法が本体HDD録画の場合のみです。USB-HDD録画、ファミリンク録画、視聴予約は「録画画質」を選択できません。

外部機器の録画予約の場合

設定項目	予約方法
録画日	日付※、毎週〇曜、毎日、 月一土、月一金
開始時刻・終了時刻	1分単位
録画画質	SP、LP

- ※「日付」は、「今日の日付」～「28日後の日付」が選べます。
- ・予約方法は「本体HDD録画」のみです。
- ・変更した内容が予約リストに反映されます。
- ・「録画先自動切換」を「する」に設定しておくと、「予約方法」が「本体HDD録画」の場合で本体HDDに録画できないとき、USBハードディスクに録画されます。

4

「変更する」を選ぶ



で選び



を押す

5



を押す

「確認」で決定する

◇ おしらせ ◇

- ・電源ボタン設定(⇒33ページ)を「モード2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。
本体の電源をオフにすると…
 - ・予約が実行されません
 - ・録画が停止します
- ・録画ができないときは、「故障かな?」と思ったら(⇒159、163ページ)を参照してください。
エラーメッセージについては、(⇒169、172ページ)をご覧ください。
- ・手順3で決定したあとに、「同時に実行できない予約があります。」と表示されたときは、⇒59ページをご覧ください。

予約録画中に停止したいときは

- ・を押した後、止めたい録画をで選び、を押してください。

繰り返し予約をする

- ・毎日、毎週など、同じ番組を繰り返し予約できます。

1 録画予約を設定する(⇒56ページ)

2 上下左右カーソルボタンでもう一度同じ番組を選び、決定する

- ・予約リストからも選べます。

3

- ①上下左右カーソルボタンで「録画日」を選ぶ
- ②上下カーソルボタンで「毎週○曜」「毎日」「月ー土」「月ー金」のいずれかを選ぶ

番組指定：放送開始時間や終了時間が変更されたときに自動的に対応し日時指定：開始時間／終了時刻を指定して録画します。

録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法	録画画
毎週日曜	午後 2 : 00	午後 3 : 00	本体HDD録画	標準(C)

残時間： 1 時間 10 分 今回の予約時間： 1 時間 00 分 番組指定予約

- ・青を押すと、「毎日予約」に設定できます。
- ・赤を押すと、「毎週予約」に設定できます。
- ・黄を押すと、「日時指定予約」※に切り換えられます。

4

左右カーソルボタンで「変更する」を選び、決定する

5

「確認」で決定する

※「日時指定予約」の場合は、指定した時間で繰り返し予約を行います。

「番組指定予約」の場合は、初回予約時の前後 3 時間以内で放送が開始される類似した番組名の番組を検索し、予約します。繰り返し予約が他の予約の時間と重なる場合、繰り返し予約は自動的に「休止」となり、予約は行われません。また、該当する番組がない場合は、日時指定予約で実行されます。

◇おしらせ◇

- ・「日時指定予約」に変更した番組を再度変更するときは、一度予約を取り消してから新しい予約の設定をやり直してください。

本体 HDD 録画ができないときに自動で USB ハードディスク録画に切り換えるように設定する（録画先自動切換）

- ・本体 HDD に録画ができない場合、自動的に USB ハードディスクに録画をするように設定できます。

◆ 重 要 ◆

- ・「する」に設定し本体 HDD に録画できない場合は、「USB-HDD の選択」(⇒ 53 ページ)で選んでいる USB ハードディスクに録画されます。
- ・USB ハードディスクに録画している場合や録画可能時間がない場合は、代理録画できません。あらかじめ USB ハードディスクへの録画や録画可能時間を確認してください。
- ・USB ハードディスクは、あらかじめ機器の設定を行い、録画に使用できるようにする必要があります。(⇒ 51 ページ)

1

ホームメニューを表示して、「設定」→「 (視聴準備)」→「本体レコーダー設定」を選ぶ

2

「本体HDD録画設定」を選ぶ

3

「録画先自動切換」を選ぶ

4

「する」を選ぶ

録画した番組を整理する

録画リスト（全画面）について

- 録画リスト（全画面）で録画した番組を整理できます。

1

トップメニュー
録画リスト
を押す

録画リストを表示する

- 録画リストが表示されます。

2

赤
を押す

録画リスト（全画面）を表示する

▼録画リスト（全画面）の画面例



録画リスト（全画面）でできること

- 録画リスト（全画面）で  を押すと機能メニューが表示されます。
- 機能メニューから次のことができます。

	本体HDD	BD	USB-HDD
録画した番組の消去 (⇒ 66 ページ)	○	○	○
録画した番組の タイトル名の変更 (⇒ 67 ページ)	○	○	○
録画した番組の保護 (⇒ 65 ページ)	○	○	○
チャプターマークの 編集 (⇒ 67 ページ)	○	×	×
録画した番組の 繰り返し予約 (⇒ 右記)	○	○*	○
ダビング (⇒ 69 ページ)	本体ハードディスクまたは、 USB ハードディスクから BD にダビングできます。		

※ 本体 HDD への録画になります。

録画リストの一覧表示の並びかたを変えるには

1

録画リスト（全画面）を表示する

- 録画リスト（全画面）について (⇒ 左記)

2

青ボタンを押し、「並べ換え」をする

3

「新しい順」「古い順」
「未視聴（新しい順）」「既視聴（古い順）」
「タイトル名順」「保護無し（古い順）」
「データ量多い順」のいずれかを選ぶ

※ BD では表示されません。

- 並べ換えを行うと、録画リストフォルダの中にあるタイトルが選択した順に並べ換えられます。

録画済みのタイトルを次回も録画予約したいときは（毎週予約）

1

録画リスト（全画面）を表示する

- 録画リスト（全画面）について (⇒ 左記)

2

毎週予約したいタイトルを選ぶ

3

ツールボタンを押し、機能メニューを表示する

4

「この番組を毎週予約する」を選ぶ

5

「確認」で決定する

録画予約した内容を取り消し・変更したいときは

- ⇒ 61 ページをご覧ください。

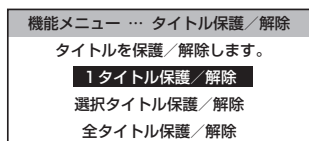
タイトル（録画した番組） が消されないように保護 する／保護を解除する

タイトルを1つ選んで保護／解除する

- 録画リスト(全画面)を表示する
 - 録画リスト（全画面）について
(⇒ 64 ページ)
- 保護／解除したいタイトルを選ぶ
- ツールボタンを押し、機能メニューを表示する
- 「タイトル保護／解除」を選び、決定する



- 「1タイトル保護／解除」を選び、決定する



- 「保護する」または「保護解除」を選び、決定する



- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

複数のタイトルを選んで保護／解除する

- 録画リスト(全画面)を表示する
 - 録画リスト（全画面）について
(⇒ 64 ページ)
- ツールボタンを押して機能メニューから「タイトル保護／解除」を選び、決定する
- 上下カーソルボタンで「選択タイトル保護／解除」を選び、決定する

- カーソルボタンで保護／解除したいタイトルを選び、決定する

NEW	ぼくとテディのはるやすみ	10/101
	午後のドラマ「普通の人たち」	10/111
	おとうさんいっしょ	10/101
	きょうのお献立	10/131
NEW	金曜ドラマスベクタクル「執事探偵5」	10/15
NEW	奥様あなたのTVショッピング	10/121
	どうぶつ抱腹絶倒	10/161

- 保護したいタイトルに、「」マークを付けます。
- 最大 20 タイトルまで選べます。
- 保護するタイトルには「」マークが付きます。もう一度選ぶと「」マークが外れます。

- 赤ボタンを押す

- 「」マークが付いたタイトルが保護されます。
- 「」マークのない（外した）タイトルは保護されません。

NEW	ぼくとテディのはるやすみ	XX/XX1
	午後のドラマ「普通の人たち」	XX/XX1
	おとうさんいっしょ	XX/XX1
	きょうのお献立	XX/XX1
NEW	金曜ドラマスベクタクル「執事探偵5」	XX/XX
NEW	奥様あなたのTVショッピング	XX/XX1
	どうぶつ抱腹絶倒	XX/XX1

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

タイトルを全て保護／解除する

- 録画リスト(全画面)を表示する
 - 録画リスト（全画面）について
(⇒ 64 ページ)
- ツールボタンを押して機能メニューから「タイトル保護／解除」を選び、決定する
- 上下カーソルボタンで「全タイトル保護／解除」を選び、決定する
- 左右カーソルボタンで「保護する」または「保護解除」を選び、決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

タイトル（録画した番組）を消去する

◇おしらせ◇

- 消去したタイトルは復活できません。
- BD の場合、BD-RE / BD-R 以外のディスクは消去できません
- BD-R は、タイトルを消去しても録画可能時間は増えません。

タイトルを 1 つ選んで消去する

- 1 録画リスト(全画面)を表示する
 - 録画リスト（全画面）について（⇒ 64 ページ）
- 2 消去したいタイトルを選ぶ
 - 消去したいタイトルに「」マークがついている場合は、先に「タイトル保護／解除」（⇒ 65 ページ）を行ってください。
- 3 ツールボタンを押し、機能メニューを表示する
- 4 「消去」を選び、決定する
- 5 「1タイトル消去」を選び、決定する
- 6 「する」を選び、決定する
 - 選んだタイトルが消去されます。
 - 消去中は、電源を切らないでください。
 - 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

複数のタイトルを選んで消去する

- 1 録画リスト(全画面)を表示する
 - 録画リスト（全画面）について（⇒ 64 ページ）
- 2 ツールボタンを押し、機能メニューから「消去」を選び、決定する
- 3 上下カーソルボタンで「選択タイトル消去」を選び、決定する
- 4 カーソルボタンで消去したいタイトルを選び、決定する
 - 最大 20 タイトルまで選べます。
 - 選んだタイトルにはごみ箱マークが付きます。もう一度選ぶとごみ箱が消えます。

- 5 赤ボタンを押す

- 6 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する
 - ごみ箱マークを付けたタイトルが消去されます。
 - 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

USB ハードディスクのタイトルを全て消去する

- 1 録画リスト(全画面)を表示する
 - 録画リスト（全画面）について（⇒ 64 ページ）
- 2 ツールボタンを押して機能メニューから「消去」を選び、決定する
- 3 上下カーソルボタンで「全タイトル消去」を選び、決定する
- 4 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する
 - すべてのタイトルが消去されます。（保護されたタイトルは残ります。）
 - 消去中は、電源を切らないでください。
 - 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

リモコンの消去ボタンでタイトルを消去する

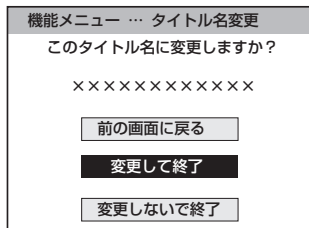
- 以下のタイトルが消去できます。
 - 再生中のタイトル
 - 録画リストで選択中のタイトル
 - ホームメニューの「チャンネル」で選択中のタイトル
- 消去ボタンを押したあと、で「する」を選び決定します。

◇おしらせ◇

- USB ハードディスクに録画した番組を再生中に、ホームメニューの「チャンネル」でタイトルを選んで消去ボタンを押したときの消去対象は、再生中のタイトルではなく、選択中のタイトルになります。

録画した番組の名前を変更する

- 1 録画リスト(全画面)を表示する
 - ・ 録画リスト (全画面) について
(⇒ 64 ページ)
- 2 タイトル名を変更したいタイトルを選ぶ
- 3 ツールボタンを押して機能メニューから「タイトル名変更」を選び、決定する
- 4 「する」を選び、決定する
- 5 ソフトウェアキーボードを使ってタイトル名を変更する
- 6 「変更して終了」を選び、決定する



- ・ 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

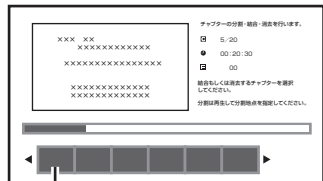
チャプターマークを編集する (本体 HDD のみ)

- ・ 本体 HDD に録画した番組のチャプターマークを任意の位置に変更して、頭出しできるようにします。
- ・ チャプターごとに BD にダビングできません。(⇒ 72 ページ)

チャプターマークを編集する

- ・ チャプターマークを追加したり消去したりできます。

- 1 録画リスト(全画面)を表示する
 - ・ 録画リスト (全画面) について
(⇒ 64 ページ)
- 2 チャプターマークを変更したいタイトルを選ぶ
- 3 ツールボタンを押して機能メニューから「編集」を選ぶ
 - ・ 編集画面が表示されます。



チャプターマークが設定されているシーンが表示されます。

チャプターマークを追加する場合

- 4 左右カーソルボタンで、チャプターマークを追加するチャプターを選び、再生 (ゆっくり) ボタンを押す
 - ・ 選んだシーンが再生されます。



5

チャプターマークを追加するシーンで決定ボタンを押す

- 通常の再生操作と同様に早送りや早戻しの操作ができます。
(⇒ 84 ページ)
- チャプターマークが追加されます。

6

終了ボタンを押す

- 続けてチャプターマークを追加したい場合は、再生（ゆっくり）ボタンを押し、手順 5 の操作を行ってください。

チャプターを消す場合

4

左右カーソルボタンで、消したいチャプターを選ぶ

5

緑ボタンを押す

- チャプターマークが消去されます。

6

「終了」を選び、決定ボタンを押す

- 「継続」を選ぶと続けてチャプターマークを編集できます。

チャプターを結合する場合

4

左右カーソルボタンで、結合したいチャプターを選ぶ

- 青 で前のチャプターと、赤 で後ろのチャプターと結合できます。
- 黄 で複数のチャプターを選び、青 で結合することもできます。

5

終了ボタンを押す

ファミリンクパネルの操作のしかた

- ファミリンクパネルで、録画や再生などの操作ができます。

1

ファミリンク
を押す

2



で選び



を押す

3



で選び



を押す

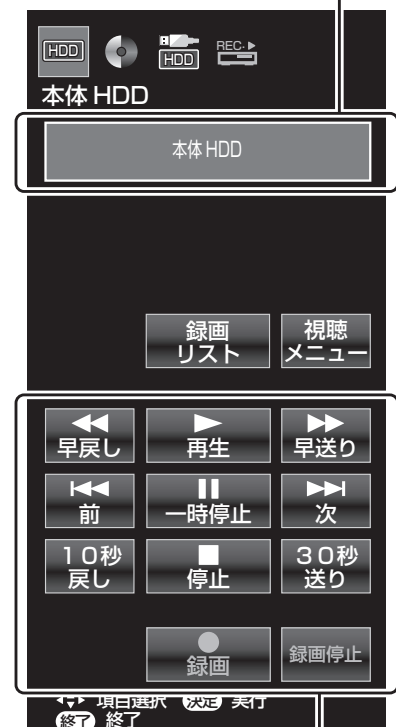
ファミリンクパネルを表示する

再生したい機器を選ぶ



操作したい機能のボタンを選ぶ

操作機器名



操作ボタン

BD ヘダビングする

- 録画した番組を BD（ブルーレイディスク）に記録して残しておくことができます。

◆ 重要 ◆

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本機以外で録画した番組はダビングできません。

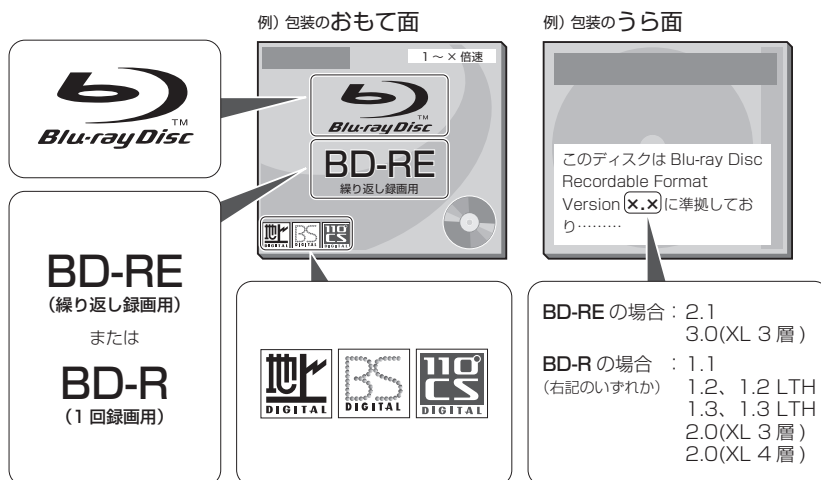
ダビング用に購入するディスクについて

- 本機でダビングができるディスクは、BD-RE（繰り返し録画用）と BD-R（1 回録画用）の 2 種類です。ご購入の際は、ディスクの包装を見て以下の内容が表示されているものをお選びください。（不明な点などがございましたら、販売店にご相談ください。）

BD-REは繰り返し使えるタイプで、BD-Rは使い切りタイプです。



ダビング用には、包装に以下の表示のあるものをご購入ください。
（本機でダビングに使用できるのは、BD（ブルーレイディスク）です。
DVD ディスクにはダビングできません。）



◆ 重要 ◆

- BD ヘダビングするときは、必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- 2 層 BD へのダビング可能時間は、最大 48 時間です。
- 8cm 盤の BD-RE/BD-R ディスクは、本機では初期化やダビングができません。新品（未初期化）の 8cm 盤 BD-RE/BD-R を本機に入れた場合は、ディスクが自動的に取り出されます。
- BD-RE Ver.1.0（カートリッジ付き）のディスクは使えません。
- 本機以外で録画した BD は空き容量のあるディスクでもダビングできない場合があります。

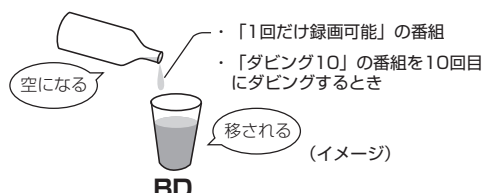
ダビングできる時間

- BD へのダビング可能時間は、⇒ **183** ページに記載の BD-RE、BD-R ディスクの録画時間をご覧ください。

ダビングの制限事項

移動（ムーブ）について

- ・「1 回だけ録画可能」の番組を BD へダビングしたとき、本体 HDD や USB ハードディスクのタイトルは BD への移動（ムーブ）となり、本体 HDD や USB ハードディスクからは消去されます。
- ・「ダビング 10」の番組を 10 回目にダビングしたときも移動（ムーブ）になります。



- ・すべてのデジタル放送が「ダビング 10」に対応しているわけではありません。

ダビングを途中で止めたときは

- ・本体 HDD に録画した番組の場合、停止したところまで BD にダビングされ、ダビング回数が 1 回減ります。「1 回だけ録画可能」の番組や「ダビング 10」の番組で 10 回目のダビングをするときは、本体 HDD から番組が消えます。
- ・USB ハードディスクに録画した番組の場合、BD にダビングされず、ダビング回数も減りません。
- ・BD-R（1 回録画用）の場合は、残量が減ります。

本機で記録した BD ディスクが再生可能な BD レコーダー／BD プレーヤーについて

- ・記録方式や記録に使用したディスクにより、他機での再生が制限されます。本機で記録した BD を他機で再生するときは、下記の表を参考にしてください。
- ・下記の表は、他機での再生を保証するものではありません。下記の表に該当していても、ディスクの状態や記録内容によっては、再生できない場合があります。

		再生可能な BD レコーダー／BD プレーヤー
記録方式 ディスクの種類	標準 (DR) (MPEG2-TS) で記録した場合	ほとんどの BD レコーダー／BD プレーヤーで再生が可能です。
	2 倍／3 倍／5 倍／7 倍／10 倍／12 倍 (MPEG4 AVC/H.264) で記録した場合	MPEG4 AVC/H.264 に対応した BD レコーダー／BD プレーヤーで再生が可能です。
	BD-R Ver.1.2 LTH TYPE ディスクに記録した場合	BD-R Ver.1.2 LTH TYPE ディスクに対応した BD レコーダー／BD プレーヤーで再生が可能です。
	BD-R Ver.1.3 ディスクに記録した場合	BD-R Ver.1.3 ディスクに対応した BD レコーダー／BD プレーヤーで再生が可能です。
	BD-R Ver.1.3 LTH TYPE ディスクに記録した場合	BD-R Ver.1.3 LTH TYPE ディスクに対応した BD レコーダー／BD プレーヤーで再生が可能です。
	BD-R Ver.2.0 XL (3 層/4 層) ディスクに記録した場合	BD-R Ver.2.0 XL (3 層/4 層) ディスクに対応した BD レコーダー／BD プレーヤーで再生が可能です。
	BD-RE Ver.3.0 XL (3 層) ディスクに記録した場合	BD-RE Ver.3.0 XL (3 層) ディスクに対応した BD レコーダー／BD プレーヤーで再生が可能です。

◆ 重 要 ◆

- ・ダビング中は録画／再生できません。
- ・ダビング中は BD、DVD、CD を再生できません。
- ・BD に 200 タイトル（または 1000 チャプター（1 層・2 層）／19600 チャプター（3 層））が録画またはダビングされている場合、その BD にはダビングできません。
- ・「ディスク保護」(⇒ 73 ページ) が「保護する」に設定されているディスクにはダビングできません。
- ・「1 回だけ録画可能」または「ダビング 10」で 9 回までコピー済みのタイトルは、オリジナルの移動のみ可能です。タイトル保護がかかったタイトルは、移動ができませんので、タイトル保護を解除してからダビング（移動）してください。
- ・BD などディスクから、本体 HDD や USB ハードディスクにはダビングできません。
- ・受信状態や停電などで録画が停止した番組は、正常に録画終了できていないためダビングできません。そのような番組はダビングタイトルの選択時に、「正常に録画できませんでした。」のメッセージを表示します。
- ・ダビングするタイトルの前後が数秒ダビングされません。（ダビングの録画画質によって前後の時間が若干ずれます。）
- ・ダビングするタイトルのチャプターの位置が若干ずれることがあります。
- ・BD-RE/BD-R にダビングした字幕放送番組を再生すると、「字幕表示」の設定(⇒ 21 ページ)に関係なく、常に字幕オンスクリーンの「リモコン切換」表示となります。

ダビングする

ダビングにかかる時間の目安

- つぎの表は、BS デジタルハイビジョン (HD) 1 時間番組を BD にダビングしたときの時間の目安です。

録画画質	所要時間	倍速
標準 (DR)	約 30 分	約 2 倍速
2 倍	約 15 分	約 4 倍速
3 倍	約 10 分	約 6 倍速
5 倍	約 6 分	約 10 倍速
7 倍	約 4 分	約 14 倍速
10 倍 / 12 倍	約 2 分 30 秒	約 24 倍速

◇おしらせ◇

- ディスクや番組の記録状態によっては上記の時間よりダビングにかかる時間が遅くなる場合があります。
- 録画するときに設定した録画画質、番組の長さ、ディスクの種類によって、かかる時間が異なります。
- 4 倍速や 6 倍速の BD にダビングするときも、ダビングスピードは約 2 倍速になります。



◇おしらせ◇

ダビングを途中で止めるとき

- を押して、「中断する」を選びます。

ダビング中に BD の空き容量がなくなったときは

- ダビングが途中で止まります。ダビングしていたタイトルは「ダビングを途中で止めたときは」(⇒ 70 ページ) と同じ結果になります。

1 BD-REまたはBD-Rディスクを入れる(⇒14ページ)

- 新品の BD-RE/BD-R ディスクを入れた場合は、本機で使えるようにするための処理「初期化」が始まります。初期化が済むまでお待ちください。(⇒ 15 ページ)。

- 録画リストが表示されたときは、 を押し、録画リストを消します

2

BD/HDD

を押す



で選ぶ



を押す

BD/HDD ボタンを押して
「本体HDD」または
「USB-HDD」を選ぶ

3

ダビング

を押す

ダビング画面を表示する

4



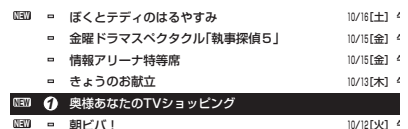
で選ぶ



を押す

ダビングするタイトルを選ぶ

- 本体 HDD に録画した番組は 15 タイトル、USB ハードディスクに録画した番組は 8 タイトルまで選べます。(選んだ順にダビングされます。)



- を押すたびにダビング選択⇄ダビング解除となります。
- ディスク残量については、画面上の「ディスク残量 (参考)」をご覧ください。

5

赤

を押す

赤ボタンを押してダビング
するタイトルを確定する

6



で選ぶ



を押す

「すぐにダビング」を選ぶ

- ダビングが開始されます。
- 表示されるメッセージはダビングされる状態によって変わります。
- 「ダビング予約」を選んだときの操作について⇒ 72 ページ

◇おしらせ◇

- 録画リスト(全画面)(⇒ 64 ページ)で選択しているタイトルをダビングするには、ツールボタンを押して「ダビング」 - 「1 タイトルダビング」 - 「すぐにダビング」を選びます。

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

CHAPTER 単位でダビングしたいとき

- ・ CHAPTER ダビングは本体 HDD に録画した番組のみ行えます。

- 1 録画リスト(全画面)を表示する
 - ・ 録画リスト(全画面)について(⇒ 64 ページ)
- 2 BD/HDD ボタンを押し、本体 HDD の録画リストを表示する
- 3 CHAPTER 単位でダビングするタイトルを選ぶ
- 4 ツールボタンを押し機能メニューから「ダビング」―「CHAPTER ダビング」を選び、決定する
- 5 ダビングする CHAPTER を選び、黄ボタンを押す
- 6 決定ボタンを押しダビングする CHAPTER を確定する
- 7 「すぐにダビング」を選ぶ
 - ・ ダビングが開始されます。
 - ・ 表示されるメッセージはダビングされる状態によって変わります。
 - ・ 「ダビング予約」を選んだときの操作について⇒ 右記

ダビングの画質を設定する

- ・ ダビングの画質設定は、「標準 (DR)」で録画した番組のみ行えます。

◇ おしらせ ◇

- ・ ダビングするタイトルが複数ある場合、録画画質が「標準 (DR)」以外のタイトルは元の録画画質でダビングされます。

- 1 71 ページの手順 1 ～ 5 を行う
- 2 「画質変換設定」を選ぶ
- 3 画質を選ぶ
 - ・ 画質によって、ダビングされる映像や音声・楽しめる機能が変わります。詳しくは 47 ～ 48 ページをご覧ください。

ダビング予約する

◆ 重 要 ◆

- ・ ダビング予約は 1 件だけ登録できます。
- ・ 実行中の録画、予約 (録画、視聴、ファミリンク) とダビング予約が重複しているときは、メッセージが表示されます。
重複している録画予約を取り消すか、ダビング予約の時間を変えて、再度設定してください。
- ・ 実行中の録画の終了時間や予約 (録画、視聴、ファミリンク) 時間との間は、3 分以上あける必要があります。
- ・ ダビング予約待機中は、本体 HDD や USB ハードディスクの録画番組消去や初期化の操作ができません。

◇ おしらせ ◇

- ・ ダビング予約を解除したいときは、番組表の予約リストから取り消してください。
- ・ ダビング予約が完了するまで、他のダビングはできません。
- ・ ダビング予約ができない場合は、「故障かな? と思ったら」(⇒ 164 ページ)をご覧ください。

1 71 ページの手順 1 ～ 5 を行う

2 「ダビング予約」を選ぶ

3 ダビング開始時刻(時・分)を入力する

- ・ 設定できる時刻は、現在時刻から 24 時間以内の時刻です。

4 「確認」で決定する

- ・ ダビング予約が登録されます。

◇ おしらせ ◇

- ・ 「電源ボタン設定」を「モード 2」に変えた場合は、ダビング予約の待機中や実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。
本体の電源をオフにすると…
 - ・ 予約が実行されません
 - ・ ダビングが停止します

録画した番組を再生する



◇おしらせ◇

- 本体HDDに録画しているときは、USBハードディスクに録画した番組は再生できません。

1

BDの場合は 再生するBD-RE、BD-Rを 入れる

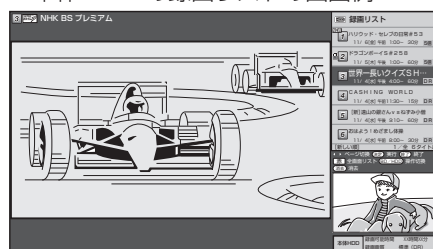
- 他のレコーダーで録画したDVDなどを再生するときは、先に**77**ページをご覧ください。
- ディスクの入れかた⇒**14**ページ
- 録画リストが表示された場合は、手順**3**に進みます。
- ディスクを入れたまま放送や外部入力を視聴していた場合は、手順**2**に進みます。
- ファイナライズされたDVDディスク(⇒**77**ページ)を再生する場合は、手順**2**に進みます。

2

トップメニュー
録画リスト
を押す

録画リストを表示させる

▼本体HDDの録画リストの画面例



- **BD/HDD**で本体HDD／BD／USBハードディスクの録画リストを切り換えられます。

本体HDD／BDの場合は

- 1ページに6番組まで表示されます。

USBハードディスクの場合は

- 10番組まで表示されます。

- リストに表示されない番組があるときは、**決定**を押すと、ページを切り換えて表示できます。

3



で選び
決定
を押す

再生したい番組を選ぶ

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 途中で停止した番組を再生したときは、前回停止した位置から再生されます。(つづき再生⇒**83**ページ)
- 再生を止めるときは**停止**を押すと、それまで視聴していた放送または外部入力に戻ります。

◇おしらせ◇

- 録画リストを表示せずに再生ボタンを押すと、**BD/HDD**で選択されている機器で最後に再生された、または最後に録画されたタイトルが再生されます。

録画リストについて

録画リスト

- **BD/HDD** で本体 HDD / BD / USB ハードディスクの録画リストを切り換えられます。

▼録画リストの例

まだ視聴していない
タイトル

(ディスクを取り出すと、
「NEW」マークは消えます。)

保護したタイトル
⇒ **65** ページ

▼本機



テレビ画面

- 視聴中の放送が縮小表示されます。

サムネイル(小画面)

本体 HDD / BD の場合に表示されます。

- テレビ画面がデジタル放送の場合は、選んでいるタイトルが再生されます。
(サムネイルの映像はイメージです。そのため、再生の動きが一定に進まない場合があります。)

タイトル(録画した番組)

- タイトル名、録画時間、録画画質*、録画した日時が表示されます。
※本機以外で録画したディスクでは、表示されない場合があります。

本体 HDD / BD の場合は

- 1 ページに 6 番組まで表示されます。

USBハードディスクの場合

- 10 番組まで表示されます。

- 表示しているタイトルは、上下カーソルボタンで選び、決定すると再生できます。タイトル名の左側に表示される数字はリモコンの数字ボタンに対応しています。対応している数字ボタンを押しても、タイトルを選んで再生できます。

ページ数とタイトル数

操作のしかた

- 赤ボタン：録画リスト(全画面)を表示します。
- 消去ボタン：選択しているタイトルを消去します。

BDのみ

- 緑ボタン：プレイリストのあるディスクを入れたときに、「オリジナル」と「プレイリスト」を切り換えます。

カウンター表示

- ディスクの情報、録画可能時間、タイトル番号、チャプター番号、カウンターなどが表示されます。

◇おしらせ◇

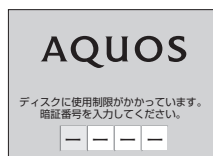
- 録画リストに表示される全タイトル数は、BD の場合 1 ~ 200 番組、DVD の場合 1 ~ 99 番組です。
- 録画リストに表示されるタイトル名は、最大で 40 文字です。他機で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「*」表示となります。
- 録画リスト表示中の左画面では、データ放送は表示されません。

本体のボタンで録画リストを操作する場合は

- 録画リスト表示中は、本体のボタンでも操作できます。(⇒ **11** ページ)
- 本機の状態によっては、録画リストが表示されない場合や、自動的に終了する場合があります。

使用制限のあるディスクを入れたときは

- 他機で使用制限をかけた BD をセットすると、右のような画面になります。
1 ~ **10** の数字ボタンで暗証番号を入力してください。



- 暗証番号を 3 回まちがえると、ディスクが排出されます。ディスクを入れ直し、正しい暗証番号を入力してください。

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

録画した番組をホームメニューから再生する

- ホームメニューからも、録画した番組を選んで再生できます。

- 1 ホームメニューを表示して、「チャンネル」を選ぶ
- 2 「USB-HDD」「BD」「本体HDD」のいずれかを選ぶ



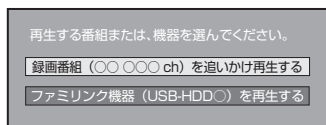
- 3 再生したい番組を選ぶ
 - 1 ページに8タイトルまで表示されます。9タイトル以上あるときは、**黄**を押すと次ページ、**緑**を押すと前ページの一覧が表示されます。
 - 選んだ番組の再生が始まります。
 - 再生を止めるときは、**停止**を押します。

- 手順**3**で、**1**～**8**のボタンを押しても選べます。

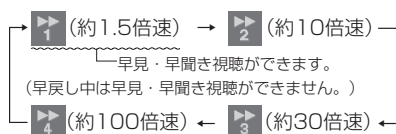
録画中の番組を再生する(追いかけて再生)

- 録画中の番組を再生することができます。
- 一発録画、予約録画に対応しています。

- 1 録画中に、再生ボタンを押す
- 2 「録画番組(○○○○ch)を追いかけて再生する」を選び、決定する



- 緑色の再生マークが出ます。
- 追いかけて再生中に**早戻し**または**早送り**を押すたびに、次のように早戻し／早送り再生ができます。



- 最後に視聴したチャンネルの場面に戻るには**停止**を押します。

◆ 重 要 ◆

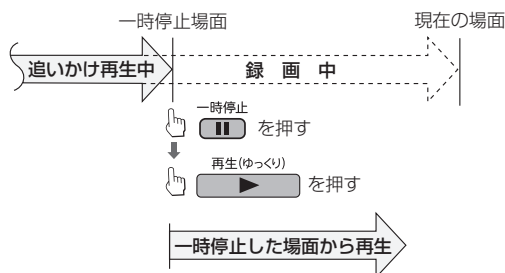
- 追いかけて再生が開始するまで、多少時間がかかることがあります。
- 番組によっては追いかけて再生ができない場合があります。
- ハードディスクの残量が少ないときは追いかけて再生できません。

◇ おしらせ ◇

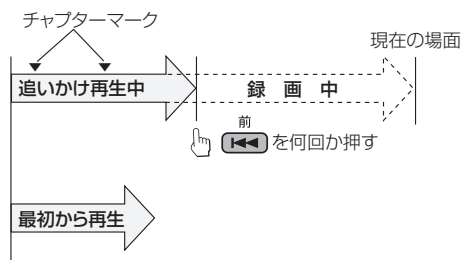
- 追いかけて再生中に録画禁止の映像になったときや録画できる最大時間(本体HDDの場合は12時間、USBハードディスクの場合は6時間)を超えたときは、追いかけて再生用の録画が停止します。
- 追いかけて再生中に早送りをしたとき、現在放送されている場面(録画中の画面)の手前になると追いかけて再生が解除され、最後に視聴したチャンネルの画面に戻ります。戻るタイミングは、早送りのスピードや録画画質により異なります。
- 早見・早聞き視聴をしたとき、録画した番組によっては、映像がスムーズに再生されなかったり、映像と音声が合わなかったりする場合があります。

追いかけて再生中に一時停止した場合

- 現在放送中の場面を追いかけてながら見られません。



- 番組の途中にチャプターマークがある場合でも、最初から見られます。



録画しながら他のタイトルを再生する（同時録画再生）

- 録画をしながらすでに録画されている別のタイトルの再生を行うことができます。

◇おしらせ◇

- 同時録画再生を行っているとき、録画の状態によっては再生に影響が出る場合がありますが、録画は正常に行われます。

録画中に、BD/DVD/CD を再生するには

1 ディスクを入れる

2 録画リストボタンを押し、録画リストを表示する

- DVD ビデオソフト、CD の場合
再生(ゆっく) を押します。

3 再生したい番組を選び、決定する

- 同時録画再生中に放送視聴（録画中）の画面に戻すには、停止 を押して再生を止めます。

◇おしらせ◇

- 本体 HDD に録画しているとき、BD ビデオは再生できません。

録画中に、本体または USB ハードディスクの他のタイトルを再生するには

- 「録画した番組をホームメニューから再生する」(⇒ 76 ページ)と同じ操作で再生してください。

◇おしらせ◇

- 本体 HDD に録画しているとき、USB ハードディスクに録画した番組は再生できません。

他のレコーダーなどで録画した BD・DVD を再生する

- BD や VR フォーマットで記録されている DVD は、「録画リスト」から録画した番組を選んで再生します。
- ファイナライズされたディスクであれば他機で録画した DVD ディスクも再生できます。（ファイナライズされていない DVD ディスクは再生できません。）

ファイナライズとは

- 録画した DVD ディスクを他機でも再生できるようにする操作です。（本機にはファイナライズを行う機能はありません。録画した機器でファイナライズを行ってください。）
- ビデオフォーマットの DVD ディスク（ファイナライズ済）の場合は、タイトルメニューが表示されます。タイトルメニューは録画した機器により異なります。

◇おしらせ◇

ファイナライズされた DVD ディスクの再生について

- DVD-R DL（2 層）ディスクは、再生できない場合があります。
- デジタル放送を録画した DVD ディスクを再生したとき、つぎの操作はできません。
 - 番組情報は表示できません。
 - 連動データは表示できません。
 - 字幕は表示できません。
- ファイナライズされたディスクは、タイトルメニューなどの画面がそれぞれ異なりますが、再生できます。

再生できるディスクについて

- ⇒ 179 ページをご覧ください。

再生できないディスクについて

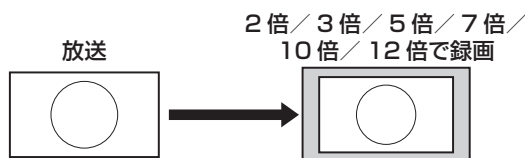
- ⇒ 181 ページをご覧ください。

録画した連動データ放送の再生について

- ⇒ 87 ページをご覧ください。

再生時の映像について

- 2 倍／3 倍／5 倍／7 倍／10 倍／12 倍で録画した番組を再生したときは、再生映像が放送視聴時と違って見える場合があります。

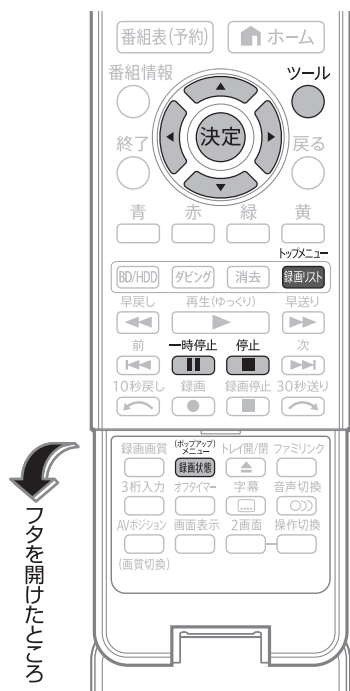


このような場合は画面サイズを調整してください。（⇒ 35 ページ）

市販のディスクを再生する

市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生する

- 映画などを収録した市販の BD ビデオや DVD ビデオディスクを再生します。



◆ おしらせ ◆

- 本体 HDD に録画しているとき、BD ビデオは再生できません。
- 市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生するときは、ディスクの取扱説明書や画面の指示に従って操作してください。
- 海外テレビ番組の DVD ビデオなどで、吹き替えの音源がない部分がオリジナル音源（外国語）になり日本語と交互に切り換わる場合があります。
- 市販の BD ビデオの再生中、ディスクによっては自動で一時停止になるものもあります。一時停止ボタンを押すと、一時停止を解除できます。
- BD ビデオ再生時の操作で、動作が遅くなったり正常に再生しなくなることがあります。
このようなときは、ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「個人情報初期化」－「BD ビデオ初期化」で、BD ビデオの初期化を行います。

設定項目	設定内容
する	本機に記録された BD ビデオ用データをすべて消去し、初期状態にします。
しない	BD ビデオ用データを初期化せず残します。

- 「BD ビデオ初期化」を実行すると、BD ビデオで個別に設定したブックマークや、ゲームのスコアなどが消去されます。

1 ディスクを入れる (⇒14ページ)

- ディスクを入れると「ディスク読み込み中」と表示されます。読み込み後、自動的に再生が始まるディスクもあります。
- ディスクを入れると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。
- DVD ビデオの場合視聴制限がかけられている場合があります。(⇒下記)

2 再生を止める

- つづき再生については⇒ 83 ページ



視聴制限がかけられている場合は

- BD ビデオの場合も視聴制限のため再生できない場合があります。そのようなときは、再生を止めてから BD の視聴制限の設定を変更してください。
- BD の視聴制限年齢については⇒ 91 ページ
- DVD ビデオの場合、再生できるディスクでも、シーンによっては視聴制限がかけられている場合があります。

再生しようとしているシーンは視聴制限が設定されています。
視聴制限レベルの一時変更を行いますか？

はい

いいえ

「はい」を選んだとき

暗証番号を入力すると、視聴制限のかかったシーンを再生できます。暗証番号を 3 回まちがえると再生できません。(まちがえたときは、視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクが排出される、などディスクによって動作が異なります。)

「いいえ」を選んだとき

視聴制限のかかったシーンを再生しません。(視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクが排出される、などディスクによって動作が異なります。)

トップメニューを表示させるには

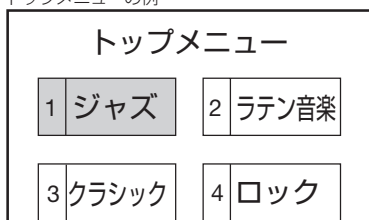
(トップメニューがある場合)

- 市販のBDビデオやDVDビデオディスクには、「トップメニュー」が記録されているものがあります。
- ディスクによってはトップメニューを「タイトル」と呼んでいるものもあります。

トップメニュー
録画/再生
を押す

再生中にトップメニューを表示する

トップメニューの例



- 画面の指示にしたがって操作してください。

ポップアップメニューを表示させるには

- BDビデオには、再生を止めることなくいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。

1

ポップアップメニュー
録画/再生
を押す

再生中にポップアップメニューを表示する

2

決定
で選び
決定
を押す

項目を選ぶ

ポップアップメニューの例



- ディスクによって表示される内容が異なります。ポップアップメニューの見かたや操作のしかたについては、ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

3

ポップアップメニュー
録画/再生
を押す

操作が終わったら、ポップアップメニューを消す

- ポップアップメニューが自動的に消えるディスクもあります。

ディスクメニューを表示させるには

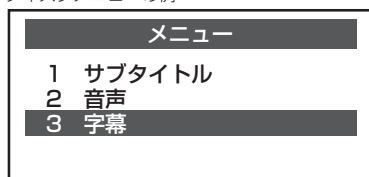
(ディスクメニューがある場合)

- 市販のBDビデオやDVDビデオディスクには、「ディスクメニュー」が記録されているものがあります。
- ディスクにメニューが記録されている場合は、再生したいタイトルや字幕設定を選べることがあります。

ディスクメニュー
録画/再生
を押す

再生中にディスクメニューを表示する

ディスクメニューの例



- 画面の指示にしたがって字幕や音声を選ぶなどの操作をしてください。

◇おしらせ◇

「テレビ+インターネット」または「2画面+インターネット」のときに、BDビデオやDVDビデオディスクのトップメニュー／ディスクメニューの操作をしたいときは

- リモコンの^{ツール}を押します。「〇〇画面の操作」*を選び、決定ボタンを押します。「する」を選び、決定ボタンを押すと、トップメニュー／ディスクメニューの操作ができるようになります。「する」を選ぶと、インターネットの操作はできません。

* 〇〇には、再生しているディスクの種類が表示されます。

BONUS VIEW™ 対応の BD ビデオを見る

- BD ビデオには BONUS VIEW™（ボーナスビュー）という新しい再生機能に対応したものが 있습니다。

BONUS VIEW™（ボーナスビュー）：2画面に対応した副映像、副音声や、字幕が同時に楽しめます。本編再生中の画面に小画面で表示されます。

BONUS VIEW™ 対応の BD ビデオを楽しむ

1

BDビデオを入れる

- BD ビデオを入れると、自動的に再生が始まります。
- 自動的に再生が始まらないときは、手動で再生を開始します。

2

ディスクの取扱説明書に従い、 BONUS VIEW(ボーナス ビュー)の操作をする

画面は一例です



主映像／音声

副映像／音声

- ディスクによっては、副映像／音声
が自動的に再生されます。また、再
生可能な領域が制限されることがあ
ります。
- 再生方法はディスクによって異なり
ます。
- 詳しい使い方については、ディスク
の説明書をご覧ください。

音楽用 CD を再生する

- 市販の音楽用 CD を再生できます。



◇ おしらせ ◇

タイトル一覧が表示されないときは

- 「再生/停止」を押すとタイトル一覧が表示されます。
- 「再生(ゆっくり)」を押して直接再生することもできます。
- 「黄」を押すと視聴メニューに切り換わります。カーソルボタンで曲を選び、決定ボタンを押して再生できます。

再生する

1 再生するCDを入れる (⇒14ページ)

- タイトル一覧が表示され、再生が始まります。
- タイトル一覧は、1 ページに 6 タイトル (曲) まで表示されます。
- タイトルが 7 つ以上あるときは、 でページを切り換えることができます。
- ディスクを入れたまま放送や外部入力を視聴していた場合は、 を押すとタイトル一覧を表示します。
- 再生を止めるときは を押すと、それまで視聴していた放送または外部入力に戻ります。

曲を選んで再生させるには

1 CDを入れてタイトル一覧を表示させる

- 再生が始まります。



を押す



2 曲番号を選ぶ

- 選んだ曲が再生されます。



で選ぶ



を押す



写真が記録された DVD-RW や CD-R/RW を再生する

1

写真が記録されたDVD-RW
やCD-R/RWを入れる

2

グループ化された写真一覧
を見る

トップメニュー
画面から
を押す



グループにはマークが付
いています。

- 記録された情報量によっては、操作
可能になるまで多少時間（数十秒）
がかかります。

3

グループ内の写真を見る



- 1画面最大 72 枚表示できます。



で選ぶ



を押す

4

選んだ1枚の写真を拡大表示
する



で選ぶ



を押す

画面表示された写真をスライド ショーで見える

- グループ一覧画面や写真一覧画面で写真を
カーソルボタンで選び、再生(ゆっくり)を押します。
選んだ写真からスライドショー再生が始まり
ます。
- 一時停止するときは一時停止を押します。
- 再生(ゆっくり)を押すと一時停止が解除されます。
- 停止を押すと写真再生が停止し、放送視聴画面
に戻ります。

スライドショーの表示間隔と リピートを設定する

1

写真一覧画面を表示中に
緑 (写真再生設定) を押す

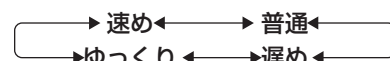
2

「スライドショー速度」を選び、
決定する

3

「速め」「普通」「遅め」「ゆっくり」の
いずれかを選び、決定する

- 上下カーソルボタンを押すたびに、
次のように変わります。



4

「リピート再生設定」を選び、決定する

5

「する」または「しない」を選び、
決定する

6

戻るボタンを押し、設定を終了する

◇ おしらせ ◇

本機で再生できるファイル形式について

- JPEG
 - 次のようなデータが保存された CD-R/RW が
再生できます。
 - EXIF 情報を含んだ画像ファイル (「DCF」
準拠のファイル)
 - 画像サイズ: 最小縦 32 × 最小横 32 ~ 最大
縦 4320 × 最大横 7680 ピクセル
 - フォルダ数: 最大 256
 - ファイル数: 1 フォルダ内最大 256
 - ファイルサイズ: 20MB 以下
 - フォルダ階層: 8 階層まで
 - ※ JPEG 形式でもファイルによっては再生できな
い場合があります。
 - ※ プログレッシブ JPEG は再生できません。
 - ※ MOTION JPEG は再生できません。

静止画を保存した CD-R/RW ディスクの再生 について

- 音楽や映画などと静止画 (JPEG ファイル)
が混在したディスクは、静止画 (JPEG ファ
イル) を再生できません。または、ディスク
によってはまったく再生できません。
- マルチセッション・ディスクは再生すること
ができません。
- お手持ちのコンピュータで作成や修正、コピー
など、編集された静止画や、インターネット、
メールなどから取り込んだ静止画は、再生で
きない場合があります。
- ファイル名やフォルダ名が半角英数字以外の
ときは、そのファイルやフォルダは認識でき
ません。

再生時の操作や設定

停止した場所から つづけて再生する／ はじめてから再生する

BD ビデオ／DVD ビデオ／DVD
(ビデオフォーマット) ディスクで、
停止を押して途中で止めた場合

◆ つづきから再生するときは

1

再生する

- つづきから再生できます。



◆ はじめてから再生するときは

1

もう一度、停止ボタンを押す



2

再生する

- はじめてから再生できます。



◇ おしらせ ◇

- 電源プラグを抜いたり、ディスクを取り出したりすると、つづき再生が働かなくなります。
- その他、本機ではディスクや再生状態によって、つづき再生が働かない場合や正常に働かない場合があります。
- BONUS VIEW™ などの BDJ (Java) に対応した BD ビデオはつづき再生はできません。

本体 HDD や USB ハードディスクに
録画した番組や BD-RE/BD-R/
DVD (VR フォーマット) ディスク
で、停止を押して途中で止めた場合

◆ つづきから再生するときは

1

再生する

- つづきから再生できます。
- BD-RE など録画リストが表示された場合は、つづき再生したいタイトルを選び、決定します。



◆ はじめてから再生するときは

1

録画リストを表示する



2

録画リスト(全画面)を表示する

- BD/HDD で本体 HDD / BD / USB ハードディスクの録画リストを切り換えられます。



3

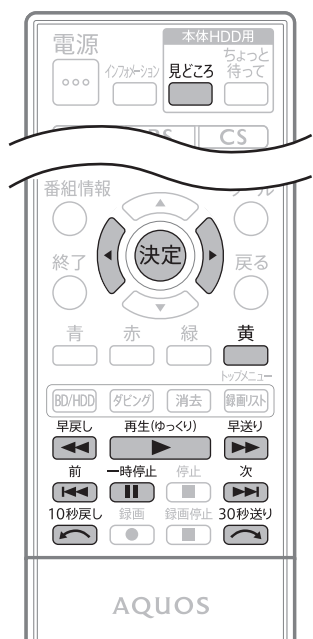
再生したい番組を選び赤ボタンを押す

- 選んだタイトルがはじめてから再生されます。



再生中に使えるボタン (再生時の便利な機能)

- 再生中に使えるいろいろな機能です。



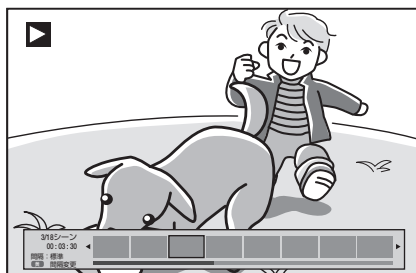
見たいシーンを一覧から探す (本体HDDに録画した番組のみ)

- 再生しているタイトルのシーンを一覧から選んで見たいシーンへジャンプすることができます。

1

見どころ
ボタン
を押す

シーンの一覧を表示する



2

で選び
決定
ボタン
を押す

再生したいシーンを選ぶ

- 選んだシーンから再生が始まります。
- シーン表示中に **黄** で間隔を変更できます。

少し遅めの速度で再生する (ゆっくり再生)

- 早くて聞き取りにくい音声がある番組などで便利です。

再生(ゆっくり)
ボタン
を押す

再生中にゆっくり再生する

- 約 0.9 倍速で再生されます。
- 元に戻すときは、もう一度再生 (ゆっくり) ボタンを押します。

◇ おしらせ ◇

- USB ハードディスクに録画した番組や BD ビデオはゆっくり再生できません。

早送り／早戻しするには(サーチ)

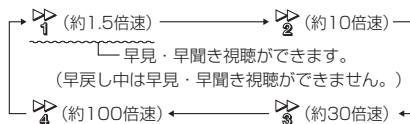
- 再生中の映像を早送り／早戻しできます。

早送り
または
早戻し
ボタン
を押す

再生中に早送りまたは早戻しをする

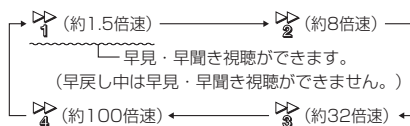
- 押すたびにサーチの速さが変わります。

録画した番組を再生しているとき

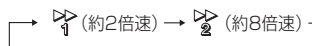


- 市販の BD ビデオ、LPCM 音声の BD-RE/-R は早見・早聞き視聴はできません。

DVDを再生しているとき



音楽用 CD を再生しているとき



- サーチを解除するときは、サーチ中に **再生(ゆっくり)** ボタンを押します。サーチが解除され、再生画面に戻ります。
- タイトル (録画した番組) をまたぐ早送り／早戻しはできません。

タイトル(録画した番組)／ チャプター(章)の頭出しをするには (スキップ)

- ・タイトル(録画した番組)／チャプター(章)を飛ばして頭出しができます。



再生中に頭出しをする はじめに戻す

- ・ を押すと、次のタイトル／チャプター(トラック)を頭出しします。
- ・ を押すと、いま見ているタイトル／チャプター(トラック)の先頭に戻ります。2回続けて押すと、前のタイトル／チャプター(トラック)の先頭に戻ります。
- ・ タイトルを頭出ししたときは、録画した番組の古い順から頭出しされます。

少し先に飛ぶには(30秒送り)

- ・ 約 30 秒先に送ることができます。連続して押すと、さらに先へ送ることができます。
- ・ コマーシャルを飛ばして見たいときなどに便利です。
- ・ 1 回押すと約 30 秒先に飛びます。6 回まで連続して押せます(約 3 分先)。



再生中に少し先に飛ぶ

少し前に戻すには(10秒戻し)

- ・ 約 10 秒前に戻すことができます。ちょっと見のがしたところを見直すときなどに便利です。
- ・ 1 回押すと約 10 秒前に戻ります。6 回まで連続して押せます(約 1 分前)。



再生中に少し前に戻す

一時停止するには

- ・ 再生中の映像を一時停止できます。



再生中に一時停止する

- ・ 一時停止します。
- ・ 一時停止を解除するときは、 を押します。一時停止が解除され、再生画面に戻ります。
- ・ を押しても一時停止を解除できます。

コマ送りするには (コマ送り／コマ戻し再生)

- ・ コマ送り再生ができます。



一時停止中に押して離す

- ・ を押して離すと、コマ送りします。
- ・ を押して離すと、コマ戻しします。(BD ビデオ再生時はコマ戻し再生できません。)
- ・ コマ送り／コマ戻し再生を解除するときは、 を押します。コマ送り／コマ戻し再生が解除され、再生画面に戻ります。
- ・ DVD ディスクを再生する場合、VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでは、映像がずれることがあります。

スローモーションで見するには (スロー／逆スロー再生)

- ・ スローモーション再生ができます。



一時停止中に2 秒以上押し続ける

- ・ BD のタイトルは、約 1/16 倍速のスロー／逆スロー再生になります。(BD ビデオ再生時は逆スロー再生できません。)
- ・ DVD のタイトルは約 1/8 倍速のスロー／逆スロー再生となります。
- ・ スロー再生は、タイトルの最後になると解除されます。逆スロー再生は、タイトルの先頭になると解除されます。
- ・ スロー／逆スロー再生を解除するときは、 を押します。スロー／逆スロー再生が解除され、再生画面に戻ります。
- ・ タイトルをまたぐスロー／逆スロー再生はできません。

◇おしらせ◇

- ディスクによって操作が異なったり、操作が禁止されている場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

BD ビデオの場合は

- ゆっくり再生、コマ戻し再生、逆スロー再生はできません。

USB ハードディスクの場合は

- ゆっくり再生、コマ送り／コマ戻し再生、スロー／逆スロー再生はできません。
- 早送り／早戻し／一時停止しているときは、AV ポジション以外の映像調整はできません。
- 早見・早聞き視聴中は、字幕は表示されません。

以下のときは、「故障かな?と思ったら」
(⇒ 161 ページ) をご覧ください。

- 早送り／早戻しがうまくいかないとき
- 一時停止／コマ送り再生がうまくいかないとき
- スロー再生がうまくいかないとき

デジタル放送を録画したディスクを再生する場合は

- DVD ディスクの場合、データ放送や字幕は再生できません。

早送り／早戻しについて

BD-RE

- て
- 早送り／早戻し中は、 早送り
字幕は再生されません。
 - 早送り／早戻し中は、画面にカウンタが表示されます。サーチを解除するとカウンタ表示は消えます。
 - ディスクや再生しているシーンによっては、早送りをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。
 - 次ボタンで次のタイトルを頭出ししたときや早送りボタンなどで最後まで再生したときは、最後のシーンが数秒間一時停止状態になった後、次のタイトルを再生します。
上記の数秒間の一時停止状態のときに、早戻しボタンを押すと、そのシーンから早戻し再生が行えます。

30 秒送り／10 秒戻しについて

- 30 秒送り／10 秒戻しを行うと、リピート再生 (⇒ 90 ページ) は解除されます。

一時停止／コマ送り再生について

- VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
(BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって一時停止／コマ送りの操作が禁止されているものもあります。)

音楽用 CD は、スロー再生・コマ送りができません。

BD/DVD 再生時の音声を変更する

セリフが聞きづらいとき

- 1 ホームメニューを表示して、「設定」－
「 (視聴準備)」－「本体レコーダー設定」
を選ぶ
- 2 「BD/DVD再生設定」を選ぶ
- 3 「音声設定」を選ぶ
- 4 「音声レベル」を選ぶ
- 5 設定を選ぶ

項目	内容
切	記録されている音声をそのまま出力します。(音声出力の強弱を調整しません。)
標準	ドルビーデジタル音声を再生したとき、ダイナミックレンジを調整し、セリフの部分を聞こえやすいように調整します。
シフト*	「シフト」に設定するとより効果が強くなります。(音声が正常に聞こえないときは「切」にしてください。)

※設定する際は、音量を下げてください。大きな音が出たり、スピーカーに過大な入力が入る場合があります。

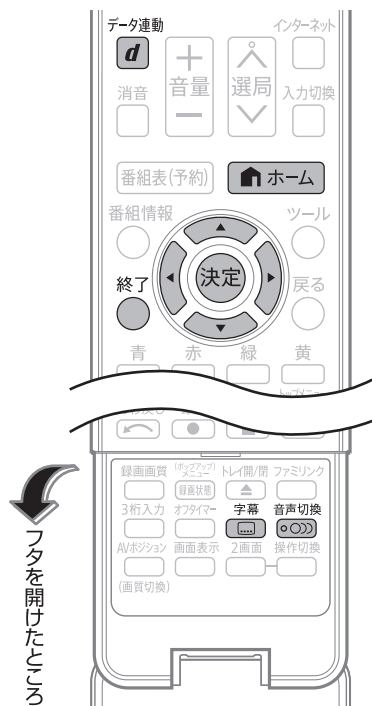
操作音や第二音声を聞きたいとき

- BD ビデオソフト再生時、操作音（インタラクティブオーディオ）や第二音声（セカンダリオーディオ）を加えて聞くことができます。
- セカンダリオーディオの設定は、デジタル音声の信号形式がビットストリームのときのみ有効です。
- 信号形式が PCM の場合は、設定に関係なく常に操作音や第二音声を聞くことができます。

- 1 ホームメニューを表示して、「設定」－
「 (視聴準備)」－「本体レコーダー設定」
を選ぶ
- 2 「BD/DVD再生設定」を選ぶ
- 3 「音声設定」を選ぶ
- 4 「セカンダリオーディオ設定」を選ぶ
- 5 「する」を選ぶ

再生中に 連動データ放送を見る／ 字幕や音声を切り換える

- 再生中に連動データ放送や、音声・字幕・映像の切り換えができます。



◇おしらせ◇

各機能の切り換えについて

- 字幕、アングル、音声は、ディスクによっては、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。ディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 字幕、アングル、音声は、視聴メニューからも選べます。(⇒ 89 ページ)

音声切替について

- 音声切替には、10 秒以上時間のかかる場合があります。
- 次のような場合は、二ヶ国語放送など二重音声の番組でも、音声切替ができません。
 - ビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク
 - PCM 音声を記録した DVD-RW/-R ディスク
- DVD カラオケディスク(マルチカラオケ音声)は音声切替ができません。
- マルチ音声(ステレオ二重音声)番組は、録画画質を「7 倍」「10 倍」「12 倍」にした場合、「マルチ音声設定」で設定した音声のみ記録されます。

再生中に連動データ放送を見るには

データ連動
を押す

連動データ放送を含む番組の 再生中に、記録されている連動 データ放送の画面を表示する

- 連動データ放送画面の基本操作については、⇒ 23 ページをご覧ください。

◇おしらせ◇

連動データ放送の録画について

- 再生中の連動データ放送は、一部利用できない機能があります。
- 本機では録画画質が「5 倍」「7 倍」「10 倍」「12 倍」の場合、連動データ放送は録画されません。

音声を切り換えるには

音声切替
を押す

主・副音声のあるタイトルの 再生中に、音声を切り換える

- 押すたびに音声切り換わります。

音声表示の例▼

BD-RE	
再生	
地上 D	
00:00:07/00:00:28	
音声 1 AAC ステレオ	
映像 1	
字幕 日本語 入	
>> お知らせがあります	

押すたびに次のように切り換わります。

二ヶ国語(二重音声)放送が録画されている場合：

- 「主」、「副」、または「主 副」表示となります。

「ステレオ放送」「モノラル放送」を録画した場合：

- 「ステレオ」表示となります。(音声切替はできません。)

BD ビデオ／DVD ビデオ：

- 現在再生されている音声番号が表示されます。

- 音声の表示は、約 3 秒後に消えます。

字幕を切り換えるには

本体 HDD や BD の場合は



字幕のあるタイトルの再生中に、字幕を切り換える

- ・ 押すたびに字幕が切り換わります。

字幕表示の例▼



◇おしらせ◇

- ・ 字幕が「入」に切り換わったとき、「字幕表示」の設定(⇒22ページ)に関係なく、常に字幕オンスクリーン表示となります。

USB ハードディスクの場合は

- ・ デジタル放送と同じ操作になります。
- ・ 21ページの手順1～3で表示のしかたを設定してください。

映像やアングルを切り換えるには



複数の映像やアングルのあるタイトルの再生中に、ホームメニューを表示して、「ツール」-「映像切換」を選ぶ

- ・ 選ぶたびに映像が切り換わります。

映像表示の例▼



◇おしらせ◇



- ・ 表示したアングルマークは、終了を押すと消えます。

① BD の場合のみ

アングルマークを表示したいときの設定

- ・ 複数のアングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマークを表示させるように設定することができます。

1



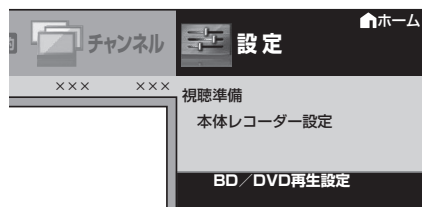
ホームメニューを表示して、「設定」-「 (視聴準備)」-「本体レコーダー設定」を選ぶ



2



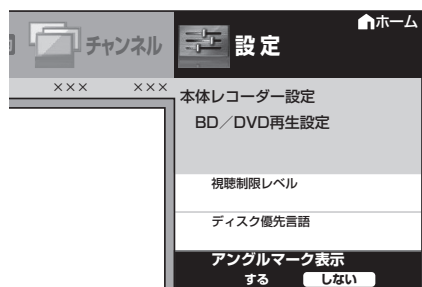
「BD/DVD再生設定」を選ぶ



3



「アングルマーク表示」を選ぶ



4



「する」または「しない」を選ぶ

再生中に設定をする (視聴メニュー)

- 再生しながら、再生情報を確認したり、タイトル(録画した番組)の頭出し、リピート再生が行えます。



- ◇おしらせ◇
- BDビデオやDVDビデオの再生中に視聴メニュー画面を表示すると、BDビデオやDVDビデオ側の操作ができない場合があります。このような場合は視聴メニュー画面を消してください。
 - アングルや字幕などの表示が「ー」と表示される場合は、そのディスクに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

1

ツール
を押す
決定
で選び
決定
を押す

2

決定
で選び
決定
を押す

3

決定
で選び
決定
を押す

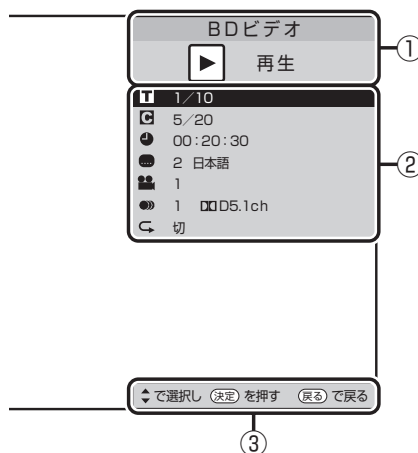
4

戻る
を押す

「ツール」-「ディスク視聴メニュー」を選ぶ

設定項目を選ぶ

BDビデオ再生時の例



- ①再生状態表示
動作状態やディスクの種類
 - ②設定項目 (⇒90ページ)
 - ③操作ガイド表示
- 設定する(⇒90ページ)

設定を終了する

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

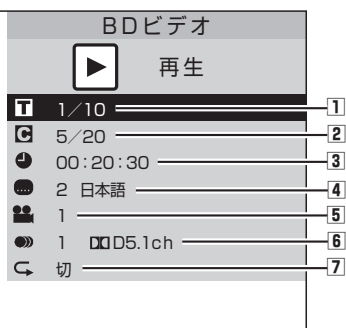
個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

画面表示と各設定項目について



- 再生しているディスクによって選択できる項目は異なります。

1 T タイトル (トラック) 選択

- 再生中のタイトル番号 (CD の再生中はトラック番号) が表示されます。番号を選択してタイトル (トラック) の頭出しができます。

2 C CHAPTER再生表示

- 再生中のCHAPTER番号が表示されます。番号を選択してCHAPTERの頭出しができます。
- 音楽用 CD はCHAPTERがありません。

3 再生経過時間表示

- ディスクのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。
- BD ビデオの場合、ディスクによっては再生経過時間を表示できないものもあります。

4 字幕言語再生表示

- 現在選ばれている字幕の種類が表示されます。他の言語でも字幕が収録されている場合は、お好みの言語に切り換えられます。

5 アングル番号/映像再生表示

- 現在選ばれているアングルの番号が表示されます。
- 「アングルマーク表示」 (⇒ 88 ページ) 設定により、複数のアングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマークを表示させるように設定することができます。

6 再生 (視聴) 音声表示

- 現在選ばれている音声の種類が表示されます。

7 C リピート再生

- 再生中のタイトル (CHAPTER) をくり返し再生したり、部分的にくり返し再生することができます。 (⇒ 右記)

タイトル (録画した番組) またはCHAPTERをくり返し再生する (リピート再生)

- 視聴メニューで、選んだタイトル (録画した番組) やCHAPTER (章) をくり返し再生できます。

1

再生 (ゆっく)
を押す

くり返したいタイトル (トラック) またはCHAPTERを選んで再生する

2

ツール
を押す

決定
で選ぶ

決定
を押す

再生中に「ディスク視聴メニュー」を選ぶ

3

決定
で選ぶ

決定
を押す

「C」を選ぶ

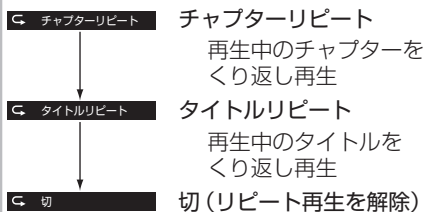


4

決定
で選ぶ

決定
を押す

「CHAPTERリピート」または「タイトルリピート」を選ぶ



- リピート再生を開始します。
- 音楽 CD の場合は、「再生中のディスク」または「再生中のトラック」を選びます。
- 選択画面に戻るには戻るボタンを押します。

◇ おしらせ ◇

- ディスクによってはリピート再生が禁止されているものもあります。
- 30 秒送り / 10 秒戻し (⇒ 85 ページ) を行くと、リピート再生は解除されます。

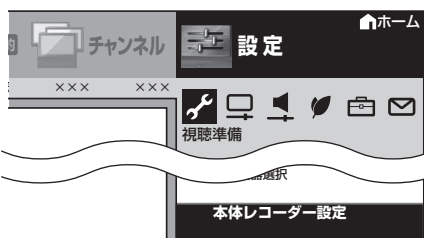
BD / DVD の視聴制限 レベルを設定する

- ディスクの内容により、視聴制限を設定できます。

1

ホーム
を押す
で選び
決定
を押す

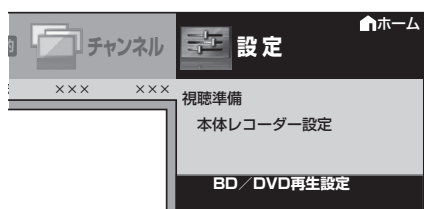
ホームメニューを表示して、
「設定」-「 (視聴準備)」-
「本体レコーダー設定」を選ぶ



2

で選び
決定
を押す

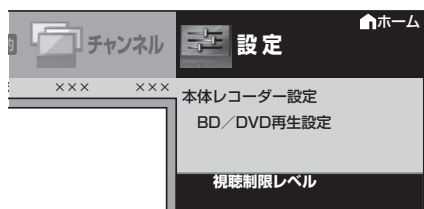
「BD/DVD再生設定」を選ぶ



3

で選び
決定
を押す

「視聴制限レベル」を選ぶ



4

1
10
で入力

暗証番号を入力する

- 「暗証番号設定」(⇒ 33 ページ) で設定した数字を入力します。暗証番号の設定が済んでいない場合は、暗証番号を設定してください。

5

で選び
決定
を押す

「変更する」を選ぶ

- 工場出荷時の設定に戻りたいときは、「初期化する」を選び、「する」を選びます。

6

決定
で選び
決定
を押す

DVD ビデオの視聴制限レベルを選ぶ

- 視聴制限を設定しない場合は「切」を選びます。

設定項目	設定内容
1	子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向けディスク (R 指定含む) は再生できません。
2 ~ 3	一般向けディスク (R 指定を除く) と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向け制限付き (R) 指定ディスクは再生できません。
4 ~ 7	一般向けディスク (R 指定を含む) と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクは再生できません。
8	すべてのディスクを制限無しで再生できます。
切	視聴制限を「切」にします。

7

決定
を押す

「次へ」で決定する

8

で選び
1
10
で入力

① BD ビデオの視聴を制限する年齢を入力するか、「無制限」を選ぶ

設定項目	設定内容
無制限	年齢制限をしません。
0 歳を制限 99 歳以下を制限	0 歳 ~ 99 歳の間で年齢制限をします。

決定
を押す

②「次へ」で決定する

9

で選び
決定
を押す

① BD/DVD ビデオの国コードを選ぶ

設定項目	設定内容
(国コード)	国コードを選びます。 (国コード一覧 ⇒ 92 ページ)

決定
を押す

②「完了」で決定する

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリ／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

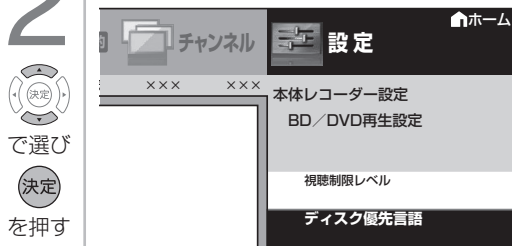
English
Guide

ディスク優先言語を設定する

- ディスクを再生するときの優先言語（画面に表示するメニューや音声の言語）を選択できます。

1 91ページの手順1～2を行う

2 「ディスク優先言語」を選ぶ



3 「変更する」を選ぶ

- 工場出荷時の設定に戻したいときは、「初期化する」を選び、「する」を選びます。

4

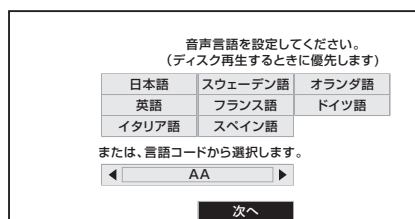


で選ぶ



を押す

① 字幕の言語を選ぶか、字幕の言語を言語コードから選ぶ



を押す

② 「次へ」で決定する

5

① 同様に音声言語を選んで決定する

② 「次へ」で決定する

6

① 同様にメニュー言語を選んで決定する

② 「完了」で決定する

◇ おしらせ ◇

- 画面に表示されるメニューや音声の言語は、ディスクによって異なります。上記の設定を行っても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示／非表示や言語の切り換えを禁止している場合があります。また、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

国コードの 言語コードの一覧表

アメリカ	AA アファル語	FY フリジア語	LV ラトビア語、レット語	SL スロベニア語
カナダ	AB アフバジア語	GA アイルランド語	MG マダガスカル語	SM サモア語
日本	AF アフリカーンス語	GD スコットランドゲール語	MI マオリ語	SN ショナ語
ドイツ	AM アムハラ語	GL ガルシア語	MK マケドニア語	SO ソマリ語
フランス	AR アラビア語	GN グアラニ語	ML マラヤーラム語	SQ アルバニア語
イギリス	AS アッサム語	GU グジャラート語	MN モンゴル語	SR セルビア語
イタリア	AY アイマラ語	HA ハウサ語	MO モルダビア語	SS シスワティ語
スペイン	AZ アゼルバイジャン語	HI ヒンディ語	MR マラータ語	ST セストゥ語
スイス	BA バジキール語	HR クロアチア語	MS マレー語	SU スンダ語
スウェーデン	BE ベラルーシ語	HU ハンガリー語	MT マルタ語	SV スウェーデン語
オランダ	BG ブルガリア語	HY アルメニア語	MY ミャンマー語	SW スワヒリ語
ノルウェー	BH ビハーリー語	IA 国際語	NA ナウル語	TA タミール語
デンマーク	BI ビスマラ語	IE 国際語	NE ネパール語	TE テルグ語
フィンランド	BN ベンガル語、バングラ語	IK イヌピック語	NL オランダ語	TG タジク語
ベルギー	BO チベット語	IN インドネシア語	NO ノルウェー語	TH タイ語
香港	BR ブルトン語	IS アイスランド語	OC プロバンス語	TI ティグリニャ語
シンガポール	CA カタロニア語	IT イタリア語	OM アフアン語 (オロモ語)	TK トゥルクメン語
タイ	CO コルシカ語	IW ヘブライ語	OR オリヤー語	TL タガログ語
マレーシア	CS チェコ語	JA 日本語	PA バンジャブ語	TN セツワナ語
インドネシア	CY ウェールズ語	J I イディッシュ語	PL ポーランド語	TO トンガ語
台湾	DA デンマーク語	JW ジャワ語	PS パシュトー語	TR トルコ語
フィリピン	DE ドイツ語	KA グルジア語	PT ポルトガル語	TS ツォンガ語
オーストラリア	DZ ブータン語	KK カザフ語	QU ケチュア語	TT タター語
ロシア	EL ギリシャ語	KL グリーンランド語	RM ラエティ＝ロマン語	TW トウィ語
中国	EN 英語	KM カンボジア語	RN キルンディ語	UK ウクライナ語
	EO エスペラント語	KN カナダ語	RO ルーマニア語	UR ウルドゥ語
	ES スペイン語	KO 韓国語	RU ロシア語	UZ ウズベク語
	ET エストニア語	KS カシミール語	RW キニャルワンダ語	VI ベトナム語
	EU バスク語	KU クルド語	SA サンスクリット語	VO ボラビュク語
	FA ペルシャ語	KY キルギス語	SD シンド語	WO ウォロフ語
	F I フィンランド語	LA ラテングス語	SG サンゴ語	XH コサ語
	FJ フィジー語	LN リンガラ語	SH セルビアクロアチア語	YO ヨルバ語
	FO フェロー語	LO ラオス語	SI シンハラ語	ZH 中国語
	FR フランス語	LT リトアニア語	SK スロバキア語	ZU ズール語

USB メモリーの写真や音楽を楽しむ

- USB メモリーに保存された写真や音楽を楽しむことができます。

本機で使える USB メモリーとデータ形式について

USB メモリー機器	USB メモリー、USB カードリーダー（マストレージクラス）
ファイルシステム	FAT、FAT32
写真ファイル形式	JPEG(.jpg)(DCF2.0 準拠)
音楽ファイル形式	MP3(.mp3) ビットレート：32k ~ 320kbps サンプリング周波数：32k, 44.1k, 48kHz

◇おしらせ◇

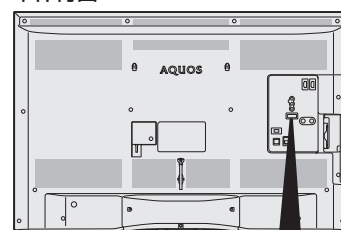
- USB メモリー機器によっては、記録されたデータを本機で認識できないことがあります。
- 80 文字を超えるファイル名は表示されないことがあります。
- ファイル転送中、スライドショー中、画面切り換え中、または入力切替メニューの「USB メディア」を終了する前に、USB メモリーやメモリーカードを本機から取り外さないでください。
- USB メモリーの抜き差しを繰り返さないでください。
- カードリーダーを使う場合は、必ず先にメモリーカードをカードリーダーに挿入し、その後カードリーダーを本機に接続してください。
- USB メモリーを本機の USB メモリー端子に接続する場合、USB 延長ケーブルは使わないでください。USB 延長ケーブルを使うと、本機が正しく機能しないことがあります。
- USB メモリーは、本体の電源を切ってから取り外してください。
- プログレッシブ形式の jpeg ファイルはサポートされていません。
- USB1.1 の装置に入っているファイルは、正しく再生されないことがあります。
- 推奨 USB ハブ以外を使って接続した場合、操作は保証されません。
- 「選局効果」(⇒ 36 ページ) が「する」に設定されている場合、USB メディア画面から「写真を見る」「音楽を聴く」を選択したとき、USB メディア画面に戻るときに動きの効果が付きます。
- 録画やダビングの準備中・実行中は、USB 機能は利用できません。
- USB 機能を利用中は、画面サイズの切り換え (⇒ 35 ページ) ができません。

写真や音楽を楽しむ

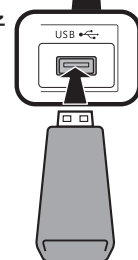
1

写真や音楽が記録されたUSB メモリーを、本機のUSB端子に接続する

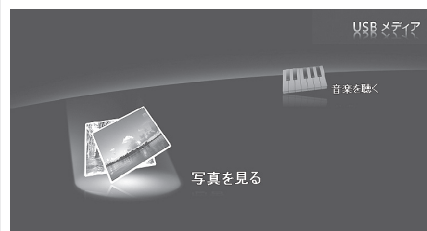
本体背面



USB端子



- USB メディア画面が表示されます。
USB メディア画面の例



2

入力切
換
を押す

USBメディア画面が表示されていることを確認する

- USB メディア画面が表示されないときは、入力切替ボタンで入力切替メニューを表示し、入力切替ボタンまたは上下カーソルボタンで「USB メディア」を選びます。手順**4**に進みます。
- カードリーダーなどを使って複数のメモリーカードをつないでいる場合は、使用するメモリーカードを選ぶ必要があります。手順**3**に進みます。

3

赤
を押す



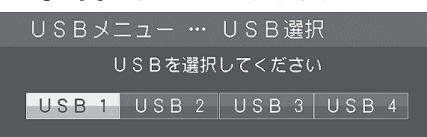
で選び

決定

を押す

再生したいデータが入っているメモリーカードを選ぶ

- 最大 16 個の USB が表示されます。
- 本機の電源を「切」にしたあとでもう一度電源を「入」にしたとき、カードリーダーに割り当てられた各メモリーカードのスロットの番号が変わることがあります。



4



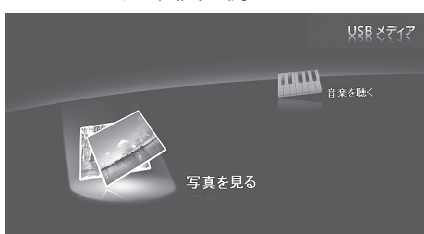
で選び

決定

を押す

「写真を見る」または「音楽を聴く」を選ぶ

USB メディア画面の例



5



で選び

決定

を押す

再生したいデータが入っているフォルダを選ぶ

6



で選び

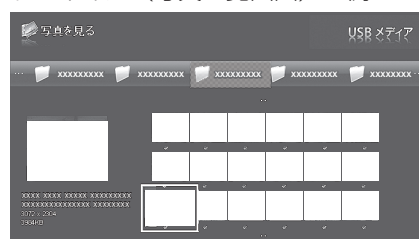
決定

を押す

再生したい写真や音楽を選ぶ

- 音楽の操作については⇒**96**ページをご覧ください。
- 写真の操作については⇒**下記**をご覧ください。

サムネイル (写真一覧画面) の例



サムネイル表示中の操作について

ボタン	説明
決定	• 選んだ写真を表示します。 • 「個別の写真を表示中の操作について」(⇒95ページ)をご覧ください。
決定	• 写真や、希望の項目を選びます。
戻る	• 一つ前の手順に戻ります。
青	• スライドショーを開始します。 • 「スライドショー表示中の操作について」(⇒95ページ)をご覧ください。
赤	• USB メニュー画面を表示します。 • 「スライドショーの設定をする」(⇒95ページ)をご覧ください。
緑	• スライドショー再生時に再生する BGM 一覧画面を表示します。
黄	• スライドショー再生を行う画像の選択／選択解除を行います。現在選択されている画像に対してのみ有効です。

◇ おしらせ ◇

- 無効な写真ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 画面の左下に、ファイル名、撮影データ※、ピクセルサイズ、ファイルサイズが表示されます。
※ EXIF ファイル形式の写真のみ、撮影データを表示できます。

個別の写真を表示中の操作について

ボタン	説明
	同じフォルダ内の前の写真に戻ったり、次の写真に進んだりします。
戻る 	サムネイル選択画面に戻ります。
青 	ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
緑 	写真を左に 90° 回転します。
黄 	写真を右に 90° 回転します。

◇おしらせ◇

- 写真の回転は一時的に選択された項目に対して適用されるだけであり、設定内容は保存されません。

スライドショー表示中の操作について

- サムネイル選択画面に表示される写真は、スライドショーとして表示されます。

ボタン	説明
戻る 	サムネイル選択画面に戻ります。
青 	ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
赤 	USB メニュー画面を表示します。

◇おしらせ◇

- スライドショー表示中は、選択された BGM が繰り返し再生されます。
- スライドショーは、を押すまで続きます。

スライドショーの設定をする

- サムネイル表示中に、赤ボタンを押す
 - USB メニュー画面が表示されます。
- 項目を選び、設定する

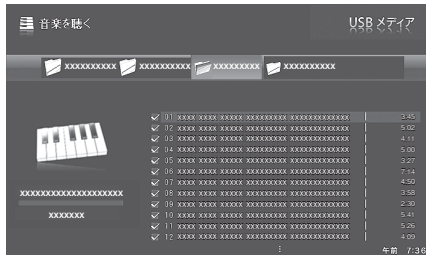
USBメニュー	
スライドショー間隔	[約 10 秒]
スライドショー効果	[しない]
スライドショー BGM 選択へ	
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	

設定のための項目

項目	内容
スライドショー間隔	- 次の写真に切り換わる時間を変えられます。「約 5 秒」「約 10 秒」「約 30 秒」「約 60 秒」から選びます。 - 設定後に「青」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。
スライドショー効果	- 写真が切り換わる時に動きの効果を付けられます。「しない」「フェード」「ブラインド」「チェッカー」「ワイプ」から選びます。 - 設定後に「青」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。
スライドショー BGM 選択へ	- スライドショーの表示中に流れる音楽を、音楽選択画面で選べます。(音楽の操作について ⇒ 96 ページ) - 音楽を選び、「黄」ボタンを押します。(選んだ音楽にチェックマークが付きます。) - 設定後に「戻る」ボタンを何度か押してサムネイル表示画面に戻り、「青」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。 - フォルダ内のすべての音楽を BGM にしたいときは、音楽選択画面で「赤」ボタンを押した後、「BGM 全選択」を選びます。BGM を解除したいときは、音楽選択画面で「赤」ボタンを押した後、「BGM 全解除」を選びます。
スライドショー全選択	- 表示される画像を設定します。フォルダ内のすべての画像にチェックマークが付きます。 - 設定後に「青」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。
スライドショー全解除	- 画像の選択を解除します。フォルダ内のすべての画像からチェックマークが外れます。 - 設定後に「青」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。

音楽の操作について

音楽一覧画面の例



- 音楽一覧画面の表示中は、以下の操作ができます。

ボタン	説明
	- 選んだ音楽を再生します。 - 再生中に押すと、曲の先頭に戻って再生します。
	音楽を選びます。
戻る 	一つ前の手順に戻ります。
青 	音楽の再生を停止します。
赤 	- USB メニュー画面を表示します。 ⇒右記をご覧ください。
緑 	音楽を再生／一時停止します。
黄 	自動再生をする音楽の選択／選択解除を行います。現在選択されている音楽に対してのみ有効です。チェックマークが付いていない音楽は、自動再生中にスキップされます。

◇ お知らせ ◇

- 可変ビットレートのファイルでは、表示される再生時間が実際の再生時間と異なることがあります。また、プログレスバーの表示が途中でも、再生が終わることがあります。

フォルダ内の音楽の自動再生を設定／解除する

- 音楽の自動再生を設定または解除します。

- 音楽一覧表示中に赤ボタンを押し、USB メニュー画面を表示する
- 「自動再生全選択」または「自動再生全解除」を選び、決定する



- 「自動再生全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべての音楽ファイルにチェックマークが付きます。
- 「自動再生全解除」を選ぶと、フォルダ内のすべての音楽ファイルからチェックマークが外れます。

- 「緑」ボタンを押し、音楽を再生する

双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

- ・ インターネットやホームネットワークを楽しむために、ブロードバンド環境や LAN 環境を用意しましょう。
- ・ 通信端末認定品の市販のルーターなどを使って LAN 接続をしてください。

ブロードバンド環境や LAN 環境を用意すると楽しめること

楽しめること	有料サービスの契約	ブロードバンド環境の用意	LAN環境の用意
AQUOS Cityやインターネットの表示 使いかた ⇒104～109ページ	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
アクトビラ ビデオの視聴 使いかた ⇒110～111ページ	プロバイダとの契約が必要	光回線環境が必要	必要
デジタル放送の双方向通信 (LAN接続に対応している番組のみ)	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
IPTVの視聴 使いかた ⇒112～117ページ	プロバイダとの契約と、IPTVサービスの契約が必要	光回線環境が必要	必要
ホームネットワーク上の写真データの表示・印刷／動画や音楽データの再生 使いかた ⇒118～125ページ	不要	不要	必要

◇ おしらせ ◇

AQUOS City について

- ・ AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS City」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご利用ください。

視聴者参加型データ放送の利用について

- ・ 本機には電話回線端子がありませんので、視聴者参加型データ放送など、接続に電話回線が必要となる一部のサービスは、ご利用いただけません。(LAN 接続で利用できるものもあります。)

アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルの利用について

- ・ アクトビラ ビデオなどの映像配信サービス(動画)を利用するには、光回線(FTTH)が必要です。
- ・ アクトビラ ビデオ・フルのご利用では、実効速度(常時)12Mbps以上の光回線(FTTH)が必要です。

IPTV の利用について

- ・ IPTVのご利用には、実効速度(常時)20Mbps以上の光回線(FTTH)が必要です。

ホームネットワークの利用について

- ・ ホームネットワークを利用するには、LAN 接続が必要です。インターネットプロバイダーとの契約は不要です。

インターネット機能について

- ・ 本機に搭載しているインターネット機能は、ネットワークサービス事業者が提供するサービスを視聴する機能です。サービス事業者の都合により、予告なく変更や終了されることがあります。サービスの変更や終了による損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ブロードバンド環境と LAN 環境の用意のしかた

1

本機が接続できるブロードバンド環境を確認する

⇒99～102ページ

- ・ 本機をインターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
- ・ IPTV を視聴するためには、IPTV サービス事業者との契約などが必要です。
- ・ ホームネットワーク(⇒118ページ)を利用するときは、インターネットプロバイダーへの契約は不要ですが、ブロードバンドルーターの設置と家庭内 LAN への本機の接続が必要です。

ブロードバンド環境の確認

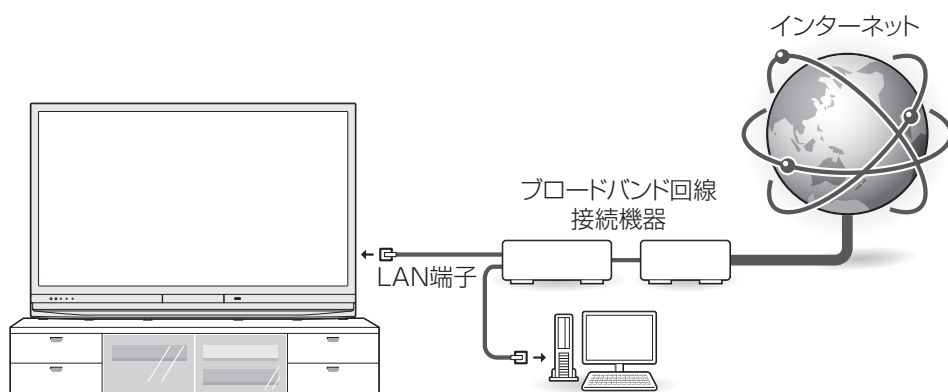
- ・ ⇒99～100ページ

ブロードバンドルーターと本機を接続する

- ・ ⇒100ページ

ブロードバンド環境がない場合の用意のしかた

- ・ ⇒100ページ



2

AQUOS Cityを表示してみる

⇒104ページ



AQUOS City
の表示内容は
一例です。

- ・ AQUOS Cityが表示されないときは、「インターネットに接続できない場合は」(⇒101ページ)をご覧ください。

3

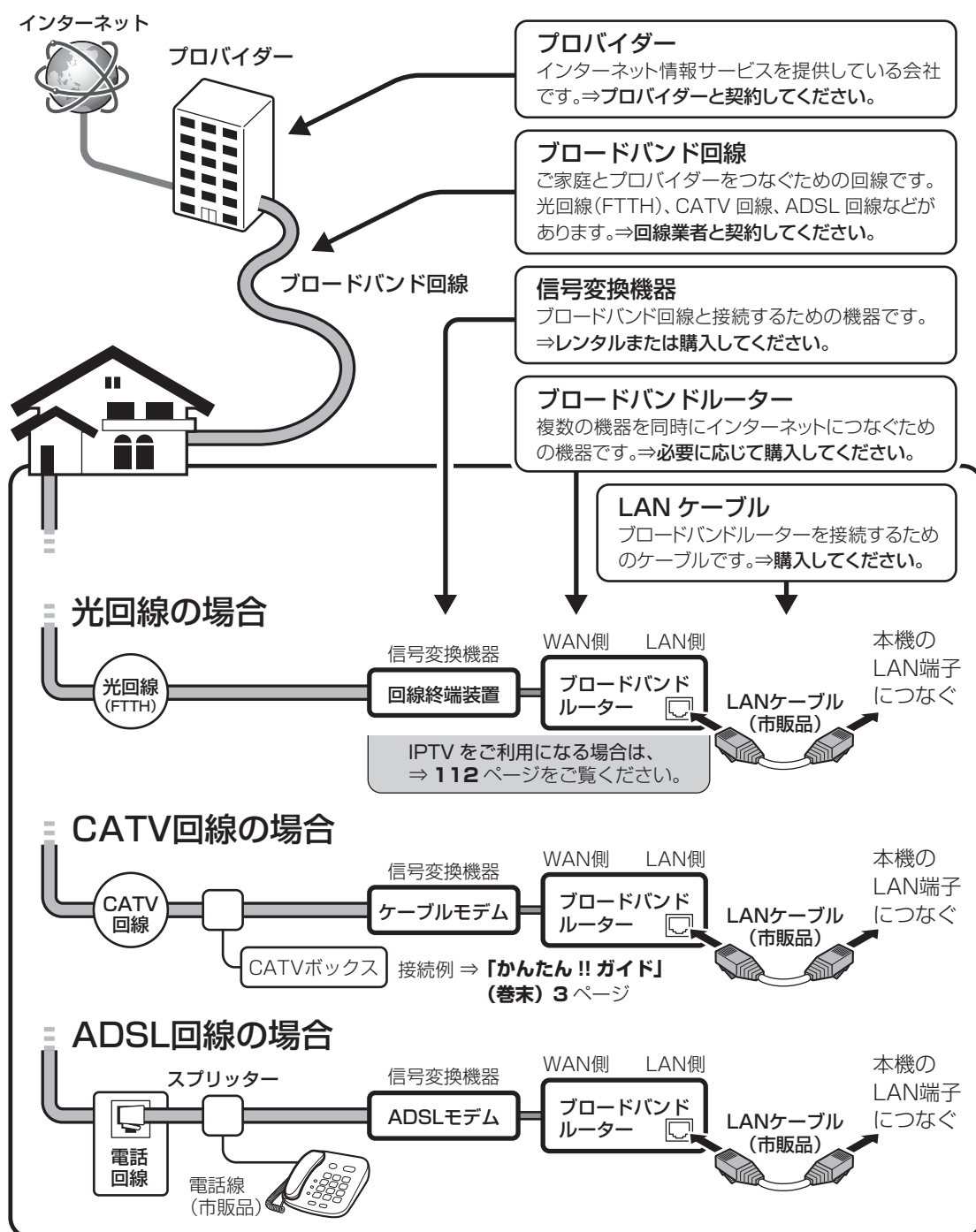
インターネットへの接続を制限する

- ・ プロキシ形式のフィルタリングサービス(インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能)を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定を行ってください。(⇒103ページ)

ブロードバンド環境を用意する

- 本機をインターネットに接続するためには、ブロードバンド環境が必要です。
- まだブロードバンド環境がない場合は、下記の環境をご用意ください。すでにブロードバンド環境がある場合は、本機をブロードバンドルーターに接続してください。(⇒ **100** ページ)
- IPTV やアクトビラ ビデオなどの映像配信サービス (動画) をご利用いただくには、光回線 (FTTH) が必要です。

本機をインターネットに接続するためのブロードバンド環境



IPTV やアクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）をご利用いただくには、光回線（FTTH）が必要です。

映像配信サービス（動画）をご利用いただく場合、本機と回線終端装置は LAN ケーブルで接続してください。LAN ケーブル接続以外では諸条件（ノイズなど）によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。

- ・ IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。
- ・ アクトビラ ビデオ・フルのご利用では、実効速度（常時）12Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。

ブロードバンド環境がない場合

- ・ インターネットの接続サービスを行っている「プロバイダー」や、光回線（FTTH）・CATV 回線・ADSL 回線などを提供している「回線事業者」と契約する必要があります。詳しくはお買いあげの販売店やプロバイダー、回線事業者などにご相談ください。

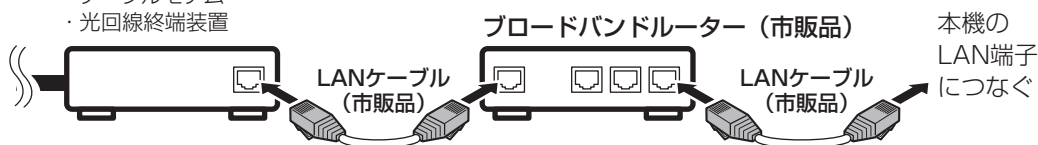
本機をインターネットに接続するための LAN 環境

- ・ 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 側の端子を LAN ケーブルで接続します。

接続例 A ADSL モデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、ルーター機能が付いていない場合

信号変換機器（ルーター機能なし）

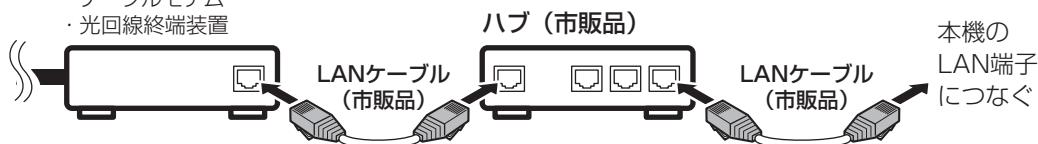
- ・ ADSL モデム
- ・ ケーブルモデム
- ・ 光回線終端装置



接続例 B ルーター機能付き ADSL モデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN 端子の空きがない場合

信号変換機器（ルーター機能付き）

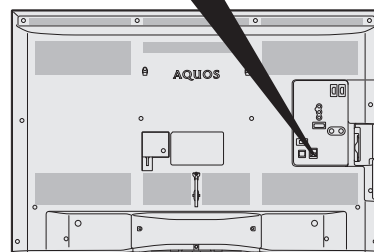
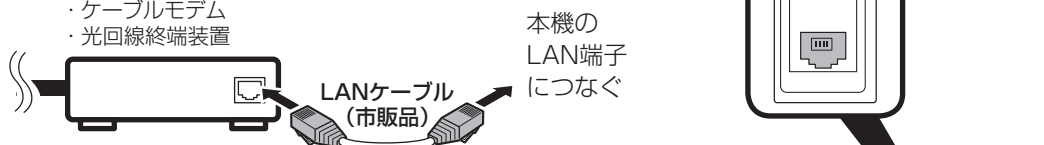
- ・ ADSL モデム
- ・ ケーブルモデム
- ・ 光回線終端装置



接続例 C ルーター機能付き ADSL モデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN 端子の空きがある場合

信号変換機器（ルーター機能付き）

- ・ ADSL モデム
- ・ ケーブルモデム
- ・ 光回線終端装置



インターネットに 接続できない場合は

ネットワークの設定を 確認する

1 ホームメニューを表示して、
「設定」-「 (視聴準備)」-
「通信(インターネット)設定」
を選び、決定する

2 「LAN設定」を選び、決定する

3 「IPv4設定」を選び、決定する
・各項目に数値が表示されているか
確認します。

各項目が空欄の場合

次のことを確認してください。

- ・ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるようになるまで少し時間のかかるものもあります。
- ・ブロードバンドルーターの DHCP 機能 (IP アドレスなどを自動で割り当てる機能) が有効になっていますか。DHCP 機能を使用しない場合は、LAN 設定で IP アドレスなどを入力してください。(⇒ 102 ページ)
- ・本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が、正しく接続されていますか。

各項目に数値が表示されている場合

LAN 設定を確認しても原因が分からないときは、次のことを確認してください。

- ・接続する機器の電源は入っていますか。
- ・ブロードバンドルーターと、回線終端装置やケーブルモデム、ADSL モデムなどが正しく接続されていますか。
- ・ブロードバンド回線と、回線終端装置やケーブルモデム、ADSL モデムなどが正しく接続されていますか。
- ・ブロードバンドルーターのインターネット接続に関する設定は正しく設定されていますか。

- ・ブロードバンド環境を使ってインターネットを活用しているかたは、パソコンなどがインターネットに接続できるか確認してみてください。
- ・「インターネット接続制限」を「しない」に設定してください。(⇒ 103 ページ)

ここに記載している項目をすべて確認しても原因が分からないときは、プロバイダーや回線事業者にお問い合わせください。

ネットワークの設定を 変更する

1 左記の手順1~2を行う

2 上下カーソルボタンで「IPv4設定」または
「IPv6設定」を選び、決定する

IPv4を設定する場合

- ・「IPv4 設定」を選んで決定します。

IPv6を設定する場合

- ・「IPv6 設定」を選んで決定します。

3 左右カーソルボタンで
「変更する」を選び、決定する

4 IPアドレスなどを入力する場合、
左右カーソルボタンで「しない」を選び、
決定する

- ・「IP アドレスなどの入力のしかた」(⇒ 102 ページ)をご覧ください。ブロードバンドルーターの設定に合わせて、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。

入力する必要がない場合

- ・「する」を選び、決定ボタンを押したあと「次へ」で決定ボタンを押します。

5

DNSのIPアドレスなどを入力する場合、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定する

- ・「IP アドレスなどの入力のしかた」(⇒ **下記**) をご覧になり、プロバイダーから発行された資料をもとに、DNS の IP アドレスを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。
- ・セカンダリの指定がない場合は、空欄のまま入力を完了してください。

入力する必要がない場合

- ・「する」を選び、決定ボタンを押したあと「次へ」で決定ボタンを押します。

6

「完了」で決定する

- ・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

IP アドレスなどの入力のしかた

1

入力欄を選び、決定する

- ・ソフトウェアキーボードが表示されます。

2

文字を入力する

- ・「0」を入力する場合は  を押します。
- ・IPv6 の場合  で「ABC」、 で「DEF:」を入力できます。

 
で入力

3

入力した文字を確定する

- ・ソフトウェアキーボード上の文字が入力欄に入力されます。


を押す

IPアドレス  ·  ·  · 

◇おしらせ◇

IP アドレスについて

- ・TCP/IP ネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットマスクについて

- ・TCP/IP ネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

ゲートウェイについて

- ・異なるネットワークを相互に通信可能にする機器の識別番号です。

プロバイダーから発行された資料で、DNS のアドレスが見つからないとき

- ・DNS は、ドメインネームサーバーやネームサーバーと記載される場合もあります。

双方向サービス／インターネット／ホームページへの接続を制限する

- いずれの操作も、下記メニューより行います。

- 1 ホームメニューから「設定」-「 (視聴準備)」-「通信(インターネット)設定」を選ぶ
- 2 「ネットサービス制限設定」を選ぶ

双方向サービスの利用を制限する

- 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送の接続を禁止したいときに便利な設定です。

◇おしらせ◇

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定(⇒ 33 ページ)をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

- 3 「デジタル放送接続制限」を選ぶ

- 4 暗証番号を入力する

- 5 「する」を選ぶ

- デジタル放送の双方向通信の、禁止する／禁止しないを設定できます。

インターネット接続の利用を制限する

- インターネットは回線の利用料金がかかる場合がありますので、接続を禁止したいときに便利な設定です。

◇おしらせ◇

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定(⇒ 33 ページ)をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

- 3 「インターネット接続制限」を選ぶ

- 4 暗証番号を入力する

- 5 「する」を選ぶ

- インターネットの接続を禁止する／禁止しないを設定できます。禁止すると、インターネットの表示やIPTVの視聴ができなくなります。

プロキシ設定機能を利用する (プロキシサーバー設定)

- プロキシ形式のフィルタリングサービス(インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能)を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。

◇おしらせ◇

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定(⇒ 33 ページ)をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

- 3 「プロキシサーバー設定」を選ぶ

- 4 暗証番号を入力する

- 5 「変更する」を選ぶ

プロキシサーバー(IPv4)を設定します。

[現在の設定]
プロキシサーバー：利用しない

変更する

- 6 「する」を選ぶ

- 7 プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力する

- 各欄を選ぶとソフトウェアキーボードが表示されます。
- 文字を入力し  で確定します。詳しくは「文字を入力する」(⇒ 42 ページ)をご覧ください。

- 8 「完了」で決定する

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

インターネットを楽しむ (AQUOS City)

AQUOS City を表示する

- AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS City」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご利用ください。

AQUOS City の表示内容は一例です。



- テレビの画面に戻るときは、終了ボタンを押します。インターネットの画面だけを表示しているときは、選局ボタンや放送切換ボタンでも戻せます。

◇おしらせ◇

視聴予約しているときは

- 視聴予約した時間になると、インターネットを解除して予約した番組が表示されます。

接続について

- インターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。⇒98ページをご覧ください。接続と設定を行ってください。

AQUOS City が表示されないときは

- 「LAN 接続していません」または、エラーメッセージが表示されます。ホームボタンを押して、テレビの画面に戻してから「インターネットに接続できない場合は」(⇒101ページ)をご覧ください。なって、インターネットに接続してください。

パソコンでインターネットを活用されているお客様へ

- 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて動作の異なる場合があります。ご了承ください。
 - ファイルのダウンロードはできません。
 - 表示したページの履歴は表示できません。
 - インターネットボタンを押したあと最初に表示されるページは変更できません。
 - ポップアップウィンドウは、別のタブで表示されます。
 - ページによっては、動画や音声再生されなかったり、文字や画像が正しく表示されなかったりする場合があります。
 - PDF(電子文書)を読み込む機能はありません。
 - メールの送受信機能はありません。

1

インターネット
を押す

「インターネット」メニューを表示する

- 表示中に次の操作を行います。

2

インターネット
を押す

インターネットボタンを 繰り返し押し、 「インターネット」を選ぶ

- 上下カーソルボタンでも選べます。

AQUOS City
テレビ
☐ テレビ+インターネット
☒ インターネット
☐ IPTV(ポータル)
☐ IPTV(テレビ)

◇おしらせ◇

テレビと同時に表示したときは

- テレビの音声聞こえます。インターネットのページの音声は聞けません。
- テレビのチャンネルは選局ボタンで切り換えてください。数字ボタン(チャンネルボタン)では、選局できません。
- テレビとインターネットの画面の位置は変更できません。
- テレビとインターネットを同時に使用しているときは、ファミリンクでの外部接続の操作はできません。

視聴予約しているときは

- 視聴予約した時間になると、予約した番組が1画面で表示されます。

BD ビデオや DVD ディスクの映像も同時に表示したときは

- トップメニュー/ディスクメニューの操作をしたいときは、リモコンの^{ツール}を押します。「○画面の操作」*を選び、決定ボタンを押します。「する」を選び、決定ボタンを押すと、トップメニュー/ディスクメニューの操作ができるようになります。(「する」を選ぶと、インターネットの操作はできません。)

※ ○○には、再生しているディスクの種類が表示されます。

インターネットを見る画面（ブラウザ）の使いかた

ブラウザとは

- インターネットのページを表示するためのソフトウェアのことです。

ブラウザで表示されたインターネットのページ例
AQUOS City（表示内容は一例です。）



インターネットのページに番号が割り当てられている場合は、数字ボタン（チャンネルボタン）を押すと、リンク先のページを呼び出せます。

タブ セキュリティで保護されたページの場合、明るく表示されます。

ページに続きがある場合は、その方向が明るく表示されます。

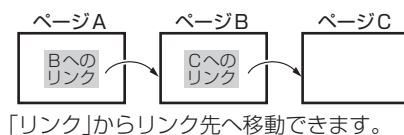
- 押した方向にリンクのある文字や画像があるときは、先に文字や画像が選ばれます。この場合は数回同じ方向のボタンを押してください。



でそのページの続きが見られます。

リンクについて

- インターネットのページには、他のページ（サイト）に移動できる「リンク」があります。
- 「リンク」の見た目は文章や画像などさまざまですが、選ぶとリンク先へ移動できる働きは同じです。
- 選んでいる項目（リンクや文字入力欄など）が黄色の枠で囲まれます。



「リンク」からリンク先へ移動できます。



でリンクを選び、



を押してリンク先のページを呼び出します。



でテレビの画面に戻します。



で一つ前の画面に戻します。

◆ 重要 ◆

- インターネットの画面を表示しているときに電源プラグが抜けたり、停電などによって電源が切れたりすると、ブックマークや Cookie などの情報が正しく保存されない場合があります。また、ブラウザ動作による不具合があった場合、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

◇ おしらせ ◇

セキュリティの通知画面が表示されたとき

- 決定ボタンを押すと、画面が消えます。
- この画面は、セキュリティで保護されているページを表示するときや、保護されているページから保護されていないページに切り換わるときに表示されます。
- この画面を表示させるかどうかは、「セキュリティ設定」で設定できます。（⇒ 108 ～ 109 ページ）

Cookie の確認画面が表示されたとき

- Cookie（⇒ 190 ページ）を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- この画面を表示させるかどうかは、「Cookie 設定」で設定できます。また、Cookie はまとめて削除することもできます。（⇒ 108 ～ 109 ページ）

ページの中に [X] が表示されたとき

- ページの読み込みに失敗したか、本機で表示できない形式の画像などに表示されます。ツールバー（⇒ 106 ページ）の （再読み込み）を選んで、ページを表示し直してみてください。

- 本製品には、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
- (C) 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、日本国、米国、およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標または商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

ACCESSTM
NetFront[®]

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

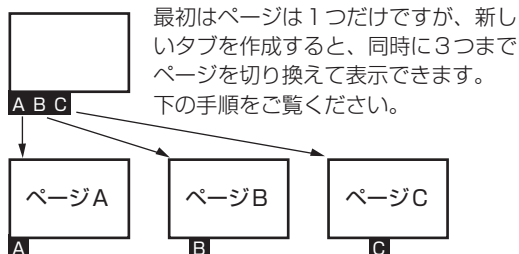
故障かな？
エラーメッセージ

お役立ち情報
（仕様など）

English
Guide

タブの使いかた

- インターネットのページを、同時に3つまで切り換えて表示できます。それぞれのページに「タブ」が付き、「タブ」でページを切り換えます。



- 1 緑ボタンを押して、タブ操作メニューを表示する
 - ・タブ操作メニューを閉じた状態からリモコンの  で、選択しているリンク先のページを新しいタブで表示することができます。
 - ・すでにタブを3つ表示しているときは、一番右のタブに表示されているページが書き換わります。
- 2 左右カーソルボタンで操作したいタブを選ぶ
- 3 「このタブを選択」を選び、決定する

ツールバー（便利機能）の使いかた

- ツールバーを使って、ブラウザの操作や設定が行えます。



ツールバー（便利機能）を表示する

- ・  でボタンを選び  を押すとその機能が実行されます。
- ・ ツールバー（便利機能）を消したいときは、もう一度黄ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- ・ ツールバー（便利機能）を表示中に、インターネットボタンを押して画面を切り換えると、ツールバー（便利機能）が消えます。

URL（アドレス）を入力してページを表示する

- ・ URL を入力してページを表示できます。
- ・ URL(アドレス)は、インターネットの個々のページを家に例えたときの、住所（アドレス）のようなものです。URL は一般的に「http://」から始まります。

◇おしらせ◇

- ・ 「ブラウザ制限」(⇒ 107 ページ)を「する」にすると、 (アドレスの入力)は選べません。

URL（アドレス）を入力してページを表示する

- 1 ツールバー（便利機能）(⇒左記)の  (アドレスの入力)を選び、決定する
- 2 カーソルボタンで入力欄を選び、決定する
 - ・ ソフトウェアキーボードが表示されます。
- 3 表示したいページのURLを入力する
 - ・ 文字入力の方法については⇒ 42 ページをご覧ください。
- 4 カーソルボタンで「開く」を選び、決定する

URL を入力して表示したページを、入力履歴の一覧から選ぶ

- ・ 上記の手順 2 で「入力履歴」を選び、決定するとカーソルボタンで URL を選べます。



◇おしらせ◇

入力履歴を削除するときは

- ①入力履歴の一覧で、削除したいURL を選び、青ボタンを押す
 - ・ 入力履歴メニューが表示されます。
- ②上下カーソルボタンで「削除」を選び、決定ボタンを押す
 - ・ 入力履歴をすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます。
- ③左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押す

表示しているページの URL を 保存する（ブックマーク登録）

- ページをブックマークに登録しておくと、次に表示するときはブックマーク一覧から選んで、表示できます。

- 1 登録したいページを表示する
- 2 黄ボタンを押して、ツールバー(便利機能)を表示する
- 3 左右カーソルボタンでツールバー(便利機能)の  (ブックマークに登録)を選び、決定する
- 4 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する
 - ・ブックマークに登録されます。

◇おしらせ◇

- ・「ブラウザ制限」(⇒右記)を「する」にすると、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

ブックマークに登録したページを 開く

- よく見るページのブックマークを選ぶと、すばやくページを表示できます。

- 1 黄ボタンを押して、ツールバー(便利機能)を表示する
- 2 左右カーソルボタンでツールバー(便利機能)の  (ブックマークを開く)を選び、決定する
 - ・ブックマーク一覧が表示されます。
- 3 カーソルボタンで表示したいブックマークを選ぶ
 - ・ブックマークを 11 以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。
- 4 決定する
 - ・選んだページが表示されます。ブックマークを新しいタブで開くときは
 - ・決定ボタンの代わりに青ボタンを押し、「新しいタブで開く」を選んで決定ボタンを押します。

ブックマークの便利な使いかた

- ・ツールバー(便利機能)の  (ブックマークを開く)を選んだあと、ブックマークメニューを表示できます。

- 1 ブックマーク一覧からブックマークを選び、青ボタンで押す
 - ・ブックマークを 11 以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。
- 2 ブックマークメニューから選び、設定する

◇おしらせ◇

- ・「ブラウザ制限」を「する」にしている場合(⇒下記)、ブックマークの編集は選べません。

有害サイトへのアクセスを防ぐ (ブラウザ制限)

- ・有害サイトへのアクセスを防ぐために、URL を入力してページを表示させる機能を禁止することができます。

◇おしらせ◇

- ・「ブラウザ制限」を「する」にすると、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

- 1 ホームメニューを表示して、「設定」-「 (視聴準備)」-「通信(インターネット)設定」を選び、決定する
- 2 上下カーソルボタンで「ネットサービス制限設定」を選び、決定する
- 3 上下カーソルボタンで「ブラウザ制限」を選び、決定する
 - ・暗証番号の設定をしていない場合は、先に暗証番号の設定をしてください。(⇒ 33 ページ)
- 4 暗証番号を入力する
 - ・暗証番号の入力については⇒ 33 ページをご覧ください。
- 5 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定する

ブラウザの設定を確認・変更するには

- ブラウザメニューには表示設定メニューとセキュリティ設定メニューがあります。

ブラウザメニューの基本操作

- 1 黄ボタンを押して、
ツールバー(便利機能)を表示する
- 2 左右カーソルボタンで
ツールバー(便利機能)の
 (メニュー)を選び、決定する
• ブラウザメニューが表示されます。
- 3 左右カーソルボタンで
「表示設定」または「セキュリティ設定」を
選び、決定する
- 4 変更する項目を選び、
設定の変更や内容の確認をする
• 各項目の詳しい操作については、
表示設定メニュー(⇒**右記**)および
セキュリティ設定メニュー(⇒**109**
ページ)をご覧ください。
- 5 変更や確認が終わったら、
黄ボタンを押してブラウザメニューを消す

◇おしらせ◇

- ブラウザメニュー表示中に、インターネットボタンを押して画面を切り換えると、ブラウザメニューが消えます。

ブラウザの設定を工場出荷時の状態に戻すときは

1. 上記の手順**3**で「表示設定」を選び、決定します。
2. 「リセット」を選び、決定します。
3. 確認の画面で「する」を選び、決定します。
4. 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

表示内容に関する設定 (表示設定メニュー)

拡大・縮小表示

- 上下カーソルボタンで表示したいサイズを選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 文字のサイズだけを大きくすることはできません。

文字コード

- ページ上の文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示される場合があります。
- 上下カーソルボタンで文字コードの種類を選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 「リセット」を行っても、各証明書の有効/無効(⇒**109**ページ)および文字コードの設定は戻りません。

ページの情報を確認する

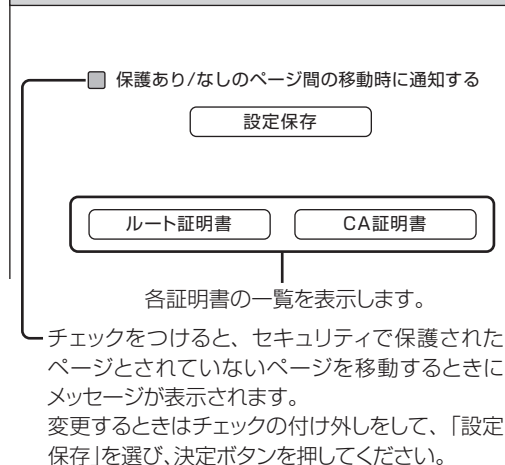
- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

セキュリティに関する設定 (セキュリティ設定メニュー)

セキュリティ

- セキュリティで保護されたページ(サイト)とされていないページ(サイト)の間を移動するときに、メッセージを表示するかどうかの設定ができます。
- 本機に保存されている証明書*の確認と、証明書の有効・無効の切り換えができます。
※ ページを表示しても安全であることを証明するものです。

セキュリティ設定 … セキュリティ



証明書を確認するとき

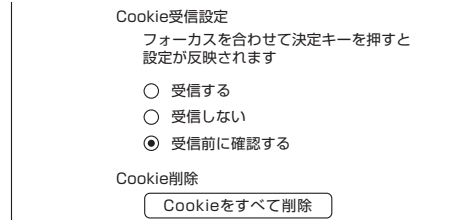
- 上記の画面で確認したい証明書の種類を左右カーソルボタンで選び、決定する
 - 証明書の一覧画面が表示されます。
- カーソルボタンで確認したい証明書をを選び、決定する
 - 選んだ証明書の内容が表示されます。
 - 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
 - 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

証明書を無効にするとき

- 上記の画面で確認したい証明書の種類を選び、決定する
 - 証明書の一覧画面が表示されます。
- カーソルボタンで無効にしたい証明書をを選び、青ボタンを押す
 - サブメニューが表示されます。
 - 選んだ証明書の内容が表示されます。
- 上下カーソルボタンで「無効にする」を選び、決定する
 - 無効にした証明書は証明書の一覧画面でチェックがはずれます。
 - 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

Cookie (クッキー) の設定を変更する

- Cookie(⇒ 190 ページ)の受信方法の設定と、受信した Cookie の削除ができます。



- 上下カーソルボタンで選びたい設定を選び、決定ボタンを押します。
- 「受信前に確認する」にしておくと、Cookie を使用するページを表示するときに確認のメッセージが表示されます。Cookie を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

Cookie をすべて削除するときは

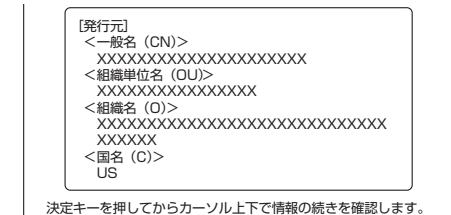
- 上記の画面で上下カーソルボタンで「Cookie をすべて削除」を選び、決定します。
- 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇ おしらせ ◇

- Cookie を削除すると、入力した情報を再度入力する必要があります。

サーバー証明書を確認する

- セキュリティで保護されているページのサーバー証明書を確認できます。



- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◆ 重要 ◆

- 本機には、インターネットのページ閲覧を禁止、もしくは、制限するための機能が複数組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる場合には、この機能の利用をお勧めします。
- 利用にあたって以下の機能を搭載しています。必要な機能を選び設定を行ってください。なお、全ての設定に暗証番号の入力(パスワードロック機能)が必要です。
 - インターネット接続を禁止する⇒ 103 ページ
 - アドレス入力機能を禁止する(ブラウザ制限)⇒ 107 ページ
 - プロキシ設定機能を利用する(プロキシサーバー設定)⇒ 103 ページ

アクトビラ ビデオ／ アクトビラ ビデオ・フルを見る

- ・アクトビラ ビデオとは、テレビ向けインターネットサイト「アクトビラ」が提供している映像配信サービスです。
- ・アクトビラ ビデオには「アクトビラ ビデオ」と「アクトビラ ビデオ・フル」があります。

アクトビラ ビデオ

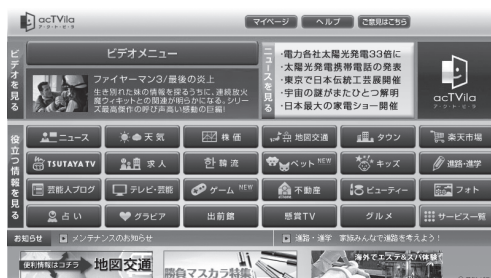
- ・インターネットのページ上で再生する映像コンテンツです。
- ・文字や写真と同時に映像も楽しめます。
- ・ページ上の項目やリモコンの再生操作ボタン、本機の VOD 操作パネルを使って操作します。

アクトビラ ビデオ・フル

- ・全画面で再生する映像コンテンツです。
- ・大画面で迫力ある映像を楽しめます。
- ・リモコンの再生操作ボタンや本機の VOD 操作パネルを使って操作します。

アクトビラを利用するときは

- ・サービスへの入会などは不要です。ただし、アクトビラ ビデオのコンテンツによっては有料のものもあります。
- ・リモコンの基本操作は、「インターネットを見る画面(ブラウザ)の使いかた」(⇒ 105 ページ)と同様です。



- ・画面に表示される内容は変更になる場合があります。

必要な準備について

- ・インターネットに接続するためのブロードバンド環境のうち、光回線 (FTTH) が必要です。本機を光回線 (FTTH) に接続してください。詳しくは「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」(⇒ 97 ～ 100 ページ)をご覧ください。

◇おしらせ◇

アクトビラ ビデオ、アクトビラ ビデオ・フルの視聴について

- ・コンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ画質は粗くなります。

必要な回線速度について

- ・アクトビラ ビデオをお楽しみになる場合は、実効速度 6Mbps 程度必要です。
- ・アクトビラ ビデオ・フルの場合は、実効速度 12Mbps 程度必要です。
- ・光回線 (FTTH) においても、お客様のご利用環境 (ハブやルーターの性能など) や回線の混雑状況などにより、時間帯によっては実効速度が低下する場合があります。

アクトビラ ビデオ、アクトビラ ビデオ・フルをご利用になる場合は、次のことにもご注意ください。

- ・映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
- ・ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
- ・有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アクトビラ ビデオ／ アクトビラ ビデオ・フルの コンテンツを再生する

- 1 「インターネット」メニューを表示する
 - ・ インターネット
 ボタンを押します。
 - ・ 表示中に次の操作を行います。
- 2 インターネットボタンを繰り返し押し、「インターネット」を選び、決定する
 - ・ 上下カーソルボタンでも選べます。
 ブラウザが起動し、AQUOS City が表示されます。
- 3 「アクトビラ」を選び、決定する
 - ・ アクトビラのポータル画面が表示されます。
- 4 視聴したいアクトビラ ビデオまたはアクトビラ ビデオ・フルのコンテンツを選び、決定する
 - ・ 以降の操作は画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で「再生」などの項目を選びます。
 - ・ 早送りや早戻しの操作は、画面に表示されているボタンを使います。（映像コンテンツによっては早送りや早戻しができないものもあります。）
 - ・ VOD 操作パネル（⇒右記）で操作することもできます。
 - ・ リモコンの再生操作ボタンでも操作できます。
 - ・ アクトビラ ビデオ・フルを再生した場合は、全画面で表示されます。このときはリモコンの再生操作ボタンや VOD 操作パネルで操作してください。（⇒右記）

テレビの画面に戻すときは

- ・ 終了ボタンを押します。

コンテンツの再生を停止するときは

- ・ VOD 操作パネルで停止ボタンを選びます。

◇おしらせ◇

- ・ 「テレビ+インターネット」の状態では再生操作をすると、自動的にインターネットの 1 画面表示になります。
- ・ 再生中は 2 画面ボタンは使えません。
- ・ 再生中、一部ブラウザ操作に制限があります。（タブ操作やブラウザメニューの「拡大・縮小表示」、文字入力など）

再生中の操作のしかた

（アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フル）

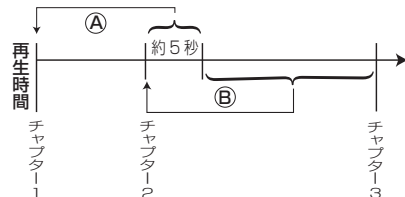
- 1 ホームメニューを表示して、「設定」－
（機能切替）－「視聴操作」を選び、決定する
- 2 「VOD操作」を選び、決定する
- 3 操作したい機能のボタンを選び、決定する
 - ・ VOD 操作パネルの表示を消すときは、終了ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- ・ VOD操作パネルでアクトビラ ビデオを操作した場合、ブラウザからのVOD操作が正しく動作しないことがあります。

逆頭出しボタン（）は、再生位置によってはたつきがかわります。

- ・ 再生位置がチャプターから約 5 秒以内の場合は、そのひとつ前のチャプターに（下図④）、5 秒を超えている場合は、直前のチャプター（下図⑤）に戻ります。



◇おしらせ◇

- ・ 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
- ・ VOD 操作パネルの表示とコンテンツの操作情報が一致しないことがあります。
- ・ アクトビラ ビデオ・フルを VOD 操作パネルを表示しないで視聴しているときに、戻るボタンを押すと再生が終了します。
- ・ リモコンの再生ボタンや一時停止ボタンなどでも操作することができます。

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
（は様は）

English
Guide

IPTV（ひかり TV）を視聴するための準備

- IPTV とはブロードバンドの光回線（FTTH）を使って受信するテレビ放送などのサービスです。テレビ放送サービスやビデオオンデマンドサービスなどがあります。2011 年 11 月現在、株式会社 NTT ぷららより、IPTV サービスとして「ひかり TV」が提供されています。
- IPTV はブロードバンドルーターなどにつないで受信します。（アンテナとの接続は必要ありません。）

IPTV（ひかり TV）を視聴するまでの準備の流れ

1

IPTVサービスの契約をする

- IPTV 事業者と、IPTV サービスや光回線（FTTH）の有料サービス契約をする必要があります。
- IPTV サービスによっては、IPTV を見るためのサービスとビデオを見るためのサービスで、コースが分かれているものもあります。
- IPTV サービス（ひかり TV など）のホームページやパンフレットなどをご覧ください。
- 本機は IPTV のチューナーを内蔵しているため、IPTV を受信するためのセットトップボックス（STB）は不要です。

2

光回線(FTTH)に接続する

⇒右記

- IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。

3

IPTVの基本登録と

チャンネルの設定をする

⇒113～114ページ

- IPTV サービスを利用するための登録をします。

◇おしらせ◇

- 引っ越した場合、IPTV が視聴できなくなる場合があります。その場合は、かんたん初期設定を行った後、ポータルの案内に従って操作してください。

IPTV（ひかり TV）を見るための接続をする

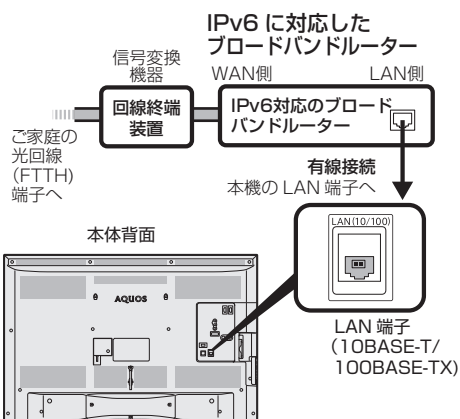
- ご契約の IPTV サービスにより、必要になるブロードバンド環境が異なります。IPTV サービス申込書や接続に関する案内などをご覧ください。ただし、**本機は IPTV のチューナーを内蔵しているため、IPTV を受信するためのセットトップボックス（STB）は不要です。**

IPv4 環境の場合

- ⇒ **98, 99** ページをご覧ください。ブロードバンドルーターと本機を接続してください。

IPv6 環境の場合

- IPTV サービスが、IPv6 方式（⇒ **191** ページ）の場合に必要な接続です。



◆ 重要 ◆

本機の IPv6 接続は IPTV の受信にのみ使用します

- インターネットやホームネットワーク機能をお使いになるときは、IPv4 環境も必要です。

IPTV (ひかり TV) の基本登録をする

- IPTV を視聴するためには、ポータル画面で基本登録をする必要があります。
- 基本登録を完了してから放送を受信できる状態になるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

◇ おしらせ ◇

「IPTV 設定」－「サービス設定」について

- かんたん初期設定の「IPTV 設定」を「する」にした場合、IPTV のサービス設定は「する」に設定されていますので、改めて設定する必要はありません。新たに IPTV の契約をした場合は、IPTV のサービス設定を「する」に設定してください。

- 1 ホームメニューを表示して、「設定」－「 (視聴準備)」－「通信 (インターネット) 設定」を選ぶ
- 2 上下カーソルボタンで「IPTV 設定」を選び、決定する
- 3 上下カーソルボタンで「サービス設定」を選び、決定する
- 4 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する
- 5 「終了」で決定する
- 6 上下カーソルボタンで「基本登録」を選び、決定する
- 7 上下カーソルボタンで基本登録をする IPTV 事業者名を選び、決定する
 - IPTV 事業者の基本登録画面が表示されます。
- 8 「基本登録」をする
 - 以降の操作は画面の表示に従って行ってください。

IPTV のチャンネル設定は⇒ **114** ページをご覧ください。
ただし、基本登録を完了してから受信できるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

◇ おしらせ ◇

IPTV の基本登録画面が表示されないときは

- IPTV サービス事業者が IPv6 でサービスを行っている場合は、ホームメニューから「設定」－「 (視聴準備)」－「通信 (インターネット) 設定」－「LAN 設定」－「IPv6 設定」を選び、各項目に数値が入っているか確認します。
 - 各項目が空欄の場合は次のことを確認してください。
 - ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるまで少し時間のかかるものがあります。
 - ブロードバンドルーターが IPv6 に対応したものになっていますか。また、IPv6 を使用できる設定になっていますか。
 - 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が、正しく接続されていますか。
 - 光回線の終端装置 (ONU) や途中の機器の電源が入っていますか。また、必要なケーブルは正しく接続されていますか。
- これらの確認を行っても原因が分からないときは、回線事業者や IPTV サービスへお問い合わせください。
- IPTV サービス事業者が IPv4 でサービスを行っている場合は、「インターネットに接続できない場合は」(⇒ **101** ページ)をご覧ください。

IPTV (ひかり TV) の チャンネルを設定する

- IPTV の放送サービスを受信するときはチャンネル設定が必要です。
IPTV のチャンネル設定の前に、IPTV の基本登録が必要です。

◇おしらせ◇

チャンネルを追加するときは

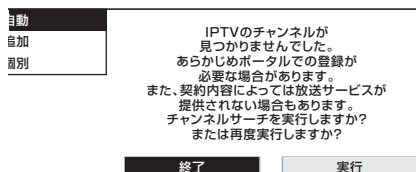
- 「IPTVー自動」を行った後で、新しくサービスに加入するなど開始された放送チャンネルを追加する場合、手順 **3** で「IPTVー追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

- 1 113ページの手順1～手順2を行う
- 2 上下カーソルボタンで「チャンネル設定」を選び、決定する
- 3 上下カーソルボタンで「IPTVー自動」を選び、決定する
- 4 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する
「しない」を選んだ場合は
 - チャンネルの登録を行いません。次に表示される画面で「終了」を選びます。
 - 自動設定が始まります。終わるまでしばらくお待ちください。
- 5 「終了」で決定する
 - 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

IPTV のチャンネルが見つからなかったときは

- 次の画面が表示されます。



- IPTV の放送サービスに加入していて、この画面が表示された場合は基本登録を行ってください。(⇒ **113** ページ)
- 基本登録がお済みでこの画面が表示された場合は、ポータル画面で、受信できる状態になっているか確認してください。
- IPTV の放送サービスに加入していない場合、チャンネルは登録されません。

IPTV の受信状態を確かめたいときは

- 手順 **2** で「受信状態」を選びます。

選局ボタンで選べる不要なチャンネルを飛ばす／スキップしたチャンネルを番組表や裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）で非表示にするには

- 1 左記の手順3で「IPTVー個別」を選び、決定する
- 2 スキップするチャンネルを選び、決定する
- 3 「スキップ」を選び、決定する
- 4 「選局順逆時にこのチャンネルをスキップして選局しますか？」の表示で「する」を選び、決定する
- 5 「番組表、裏番組の表示時にも、このチャンネルをスキップしますか？」の表示で「する」または「しない」を選び、決定する
 - 「する」を選ぶとスキップ設定したチャンネルが、番組表や裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）に表示されなくなります。ただし、スキップ設定したチャンネルでも視聴中の場合は、番組表や裏番組一覧に表示されます。

IPTV (ひかり TV) を見る

IPTV (ひかり TV) の テレビサービスを楽しむ

- ・リモコンの  を数回押して「IPTV (テレビ)」を選びます。
- ・数字ボタンや選局ボタンを使って選局します。
基本操作は⇒ **13** ページと同じです。
- ・3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。
- ・字幕や複数の音声がある番組の場合は、字幕や音声を切り換えることができます。
(⇒ **21** ～ **22** ページ)

◇ おしらせ ◇

IPTV の視聴について

- ・IPTV は光回線 (FTTH) を使って受信するため、通信回線の使用状況によっては、映像が粗くなったり、一時的に停止したりする場合があります。
- ・番組やコンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ画質は粗くなります。

放送サービスやビデオオンデマンドサービスをご利用になる場合は、次のことにもご注意ください。

- ・映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
- ・ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
- ・有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

IPTV サービスのポータル画面について

- ・ビデオオンデマンドなどのタイトルを選ぶには、ポータル画面から項目を選んで操作します。
- ・IPTV サービスによっては、IPTV を受信する前にポータル画面で受信の手続きが必要になる場合があります。
- ・見ている IPTV の放送サービスに連動したポータルがある場合は、 を押すとそのポータル画面に切り換わります。

ホームメニューから番組を選ぶには

- ・ホームメニューから「チャンネル」－「IPTV (テレビ)」で選べます。

基本操作は⇒ **13** ページと同じです。

◇ おしらせ ◇

- ・複数のプラットフォームを受信している場合は、ホームメニューから「設定」－「 (機能切替)」－「視聴操作」を選び、「テレビ/ラジオ/データ/ポータル」を選んでプラットフォームを切り換えられます。「テレビ/ラジオ/データ/ポータル」は、ツールメニューからも選べます。
- ・プラットフォームとは、IPTV サービス事業者がサービスを提供する際に使用している環境のことです。1種類のIPTV サービスに加入しているときでも、IPTV サービスによっては複数のプラットフォームを使用している場合があります。また、複数のIPTV サービスに加入していても使用しているプラットフォームは1つだけの場合もあります。
- ・ポータル画面表示中およびVOD再生中は、番組情報が表示されます。番組情報画面の操作については、⇒ **20** ページをご覧ください。

テレビ放送の番組表(⇒16ページ)と同じように次の操作ができます

- ・番組情報の表示
- ・指定した日時の番組表を表示
- ・見つかる検索
- ・ジャンル検索
- ・特徴検索
- ・キーワード検索

◇ おしらせ ◇

- ・現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- ・IPTV の番組表に表示される情報の期間は最大8日分です。
- ・IPTV の番組表を表示しているときは、放送切替ボタンを押しても、他のデジタル放送の番組表には切り換わりません。
- ・IPTV の成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。
- ・IPTV の番組は予約できません。

IPTV（ひかり TV）の ポータル画面を活用する

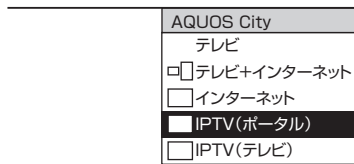
- ポータル画面とは IPTV サービスの窓口となる画面のことです。

ポータル画面でできること※

- IPTV サービスの基本登録をする
- ビデオオンデマンドサービスのタイトルを選ぶ
- IPTV サービス事業者からのお知らせを確認する
- IPTV サービスのサービスプランを変える

※ できることは IPTV サービスによって異なります。詳しくは IPTV サービス事業者にお問い合わせください。

- 1 インターネットボタンを押し、「インターネット」メニューを表示する
- 2 インターネットボタンを繰り返し押し、「IPTV（ポータル）」を選ぶ
・ 上下カーソルボタンでも選べます。



- ・ 前回表示したポータル画面が表示されます。

- 3 番組表（予約）ボタンを押し、ポータルリストを表示する
- 4 上下カーソルボタンで表示したいポータル画面を選び、決定する



- ・ 選んだポータル画面が表示されます。

- 5 カーソルボタンでポータル画面の中から目的の項目を選び、決定する
・ 選んだ項目によっては、新しい画面が表示され、その中からさらに項目を選ぶものもあります。

ポータル画面から IPTV のテレビ放送に切り換えるには

- ・ 手順 2 で「IPTV（テレビ）」を選ぶと、IPTV のテレビ放送に切り換えることができます。

IPTV（ひかり TV）の ビデオオンデマンド （VOD）を楽しむ

- ビデオオンデマンド（VOD※）とは映画などのタイトルを見たいときに、見ることができるレンタルビデオのようなサービスです。

※ 「VOD」とは、Video on Demand のことです。

◆ 重 要 ◆

ビデオオンデマンドを利用するためには

- ・ IPTV サービスの中でも、ビデオオンデマンドを利用できるサービスに加入しておく必要があります。

◇ おしらせ ◇

- ・ ビデオオンデマンドは、「ビデオサービス」や「ビデオレンタル」などと呼ばれる場合もあります。
- ・ ポータル画面は、IPTV（テレビ）の番組を選局したあとで、ツールメニューを表示して、「テレビ／データ／ポータル」を選んでも表示できます。

ビデオオンデマンドのタイトルを 再生する

- ・ タイトルの検索や再生の手続きなどは、主にポータル画面（⇒左記）で行います。

◆ ポータル画面を表示する

- 1 「インターネット」メニューを表示する
インターネット
・  ボタンを押します。
・ 表示中に次の操作を行います。
- 2 インターネットボタンを繰り返し押し、「IPTV（ポータル）」を選ぶ
・ 上下カーソルボタンでも選べます。
・ 前回表示したポータル画面が表示されます。
- 3 ポータルリストを表示する
- 4 表示したいポータル画面を選び、決定する

◆ ビデオオンデマンドのタイトルを探す

- 5
- ① 画面の項目からビデオオンデマンドに関する項目を選び、決定する
 - ② 再生したいタイトルを選び、決定する
 - ・以降の操作は画面の表示に従ってください。タイトルによっては再生する前に視聴に関する注意事項や制限事項などが表示される場合がありますので、よく読んでから再生してください。

再生中の操作のしかた (VOD 操作)

- ・ VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

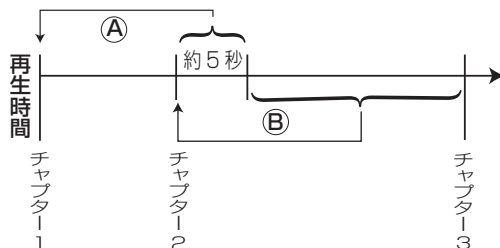
- 1 ホームメニューを表示して、「設定」-「 (機能切換)」-「視聴操作」を選び、決定する
- 2 「VOD操作」を選び、決定する
- 3 操作したい機能のボタンを選び、決定する

- ・ VOD 操作パネルの表示を消すときは、終了ボタンを押します。

◇ おしらせ ◇

逆頭出しボタン () は、再生位置によってはたつきがかわります。

- ・ 再生位置がチャプターから約 5 秒以内の場合は、そのひとつ前のチャプターに (下図①)、5 秒を超えている場合は、直前のチャプター (下図②) に戻ります。



VOD 操作パネルの見かた



◇ おしらせ ◇

- ・ 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
- ・ VOD 操作パネルの表示とコンテンツの操作情報が一致しないことがあります。
- ・ リモコンの再生ボタンや一時停止ボタンなどでも操作することができます。

ホームネットワークで 映像・写真・音楽を楽しむ

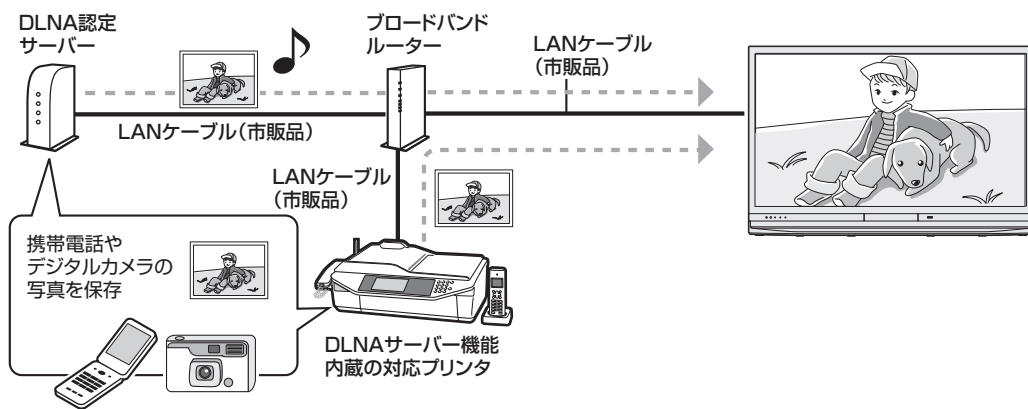
- ホームネットワークに本機をつないで、ネットワーク経由で映像・写真・音楽を再生できます。
- 表示した写真を、本機に対応したプリンタで印刷することもできます。

サーバー内の写真・映像・音楽を再生する

ホームネットワークで写真を楽しむ (⇒ 119 ページ)

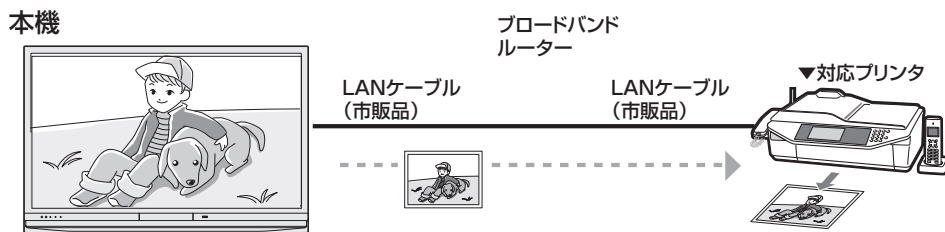
ホームネットワークで音楽を楽しむ (⇒ 122 ページ)

録画した番組をホームネットワークで楽しむ (⇒ 123 ページ)



表示した写真を印刷する

⇒ 121 ページ



使用可能なサーバー／プリンタ／携帯電話の最新情報について

- SHARP web ページ内の AQUOS サポートページ「Q&A 情報」をご覧ください。

AQUOS サポートページ

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

- サーバーやプリンタの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

ホームネットワークで 写真を楽しむ

本機で表示できる写真データの形式

対応データ形式	・ JPEG (.jpg) (DCF2.0 準拠) *1*2
最大ファイルサイズ	・ 6MB *3
最大解像度 (画像サイズ)	・ 4096 x 4096 画素 *3*4

- ※ 1 以下の形式に対応しています。色情報：YUV420、YUV422、ベースライン DCT
JPEG ヘッダーの回転タグは 4 方向（上、下、右 90 度、左 90 度）に対応しています。
- ※ 2 以下の形式は表示できません。プログレッシブ J P E G、ロスレス回転 J P E G（パソコンで回転させた場合に多い）、グレースケール J P E G、Y U V 4 4 4（パソコンで加工した画像に多い）形式の J P E G など。
なお、サーバーによってはデータ形式変更やファイルサイズの縮小、画像サイズの変更を行うため、上記制限のあるファイルでも表示されることがあります。
- ※ 3 約 1000 万画素以上のデジタルカメラや携帯電話では解像度（画像サイズ）や画質設定により、この制限を超えるため本機で高品位に表示できないことがあります。デジタルカメラや携帯電話の解像度（画像サイズ）や画質設定を小さく変えて撮影するようにしてください。撮影後はデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能でサイズを小さくすることができる場合があります。またプリンタの扱えるファイルサイズ上限により印刷できないことがあります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。
- ※ 4 上記制限を超える写真はサーバーにより 160 × 120 画素のサムネイル画像が全画面に表示されます。このため、解像度が大幅に低下することがあります。

◇ おしらせ ◇

- ・ JPEG 静止画は DCF2.0 規格のデジタルカメラまたはカメラ付携帯電話で撮影されたものが対象です。
- ・ サーバーや静止画によっては、再生できないことがあります。パソコンソフトで加工した静止画は表示できないことがあります。
- ・ GPS データ等、特殊データが写真データ内に埋め込みされている場合、写真の回転ができない場合があります。
- ・ 本機には静止画を保存することはできません。
- ・ 印刷中にチャンネル切替や入力切替を行うと印刷が正しく完了しないことがあります。またシャープ製ファクシミリ複合機（DLNA サーバー機能、およびプリント機能内蔵）では印刷中のエラーはプリンタには表示されますが、本機の画面には表示されないことがあります。
- ・ サーバー機器は 10 台まで選択できます。
- ・ サーバー機器の設定についてはサーバー機器の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。
- ・ サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、写真の無いフォルダが表示される場合があります。
- ・ 録画やダビングの準備中・実行中は、ホームネットワーク機能を使用できません。

DLNA 認定サーバー内の写真の表示／印刷について

- ・ 本機の「ホームネットワーク」で表示できるのは、ホームネットワークに接続された DLNA 認定サーバーの JPEG 静止画の写真だけです。
- ・ 現在動作を確認しているサーバーおよび本機対応プリンタについては、**118**ページの SHARP web ページ内の AQUOS サポートページをご覧ください。
- ・ SD カードスロットをもつサーバーではスロットに SD カードが入っているときだけサーバー機能が動作する場合があります。また、サーバーに JPEG ファイルを書き込んでから、サーバーのデータとしてホームネットワーク側に提供されるまで数分かかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ JPEG 静止画のファイルサイズが大きいとスライドショーでの写真表示に時間がかかることがあります。
- ・ シャープ製ファクシミリ複合機では、動作中に SD カードを抜くと写真を取得できません。また電話や FAX の使用中や操作パネルに操作中のメッセージなど（ダイアログと呼ばれています）が表示されている間は DLNA サーバー機能が停止します。詳しくはファクシミリ複合機の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。

写真が表示されず、エラーメッセージが表示されたときは

- ・ ホームネットワーク利用時に関するエラーメッセージをご覧ください。（⇒ **170**～**171** ページ）
- ・ 本機で表示できる写真データの形式をご覧ください。
- ・ スライドショーの途中で「次の写真を取得できません」と表示されたときは、接続やサーバーの設定を確認してください。

ホームネットワークのサーバーにある写真を表示する

1

入力切換
を押す

入力切換メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ

ホームネットワークは LAN 接続されているときに選択できます。



- ・メモリーモードを「オン」に設定し、前回写真のスライドショー中に終了していた場合は、スライドショーが始まります。
- ・メモリーモードのオン／オフの切り換えは、ホームネットワークのトップ画面で行います。(切り換えかた⇒ 125 ページ)

2

で選
び
決定
を押す

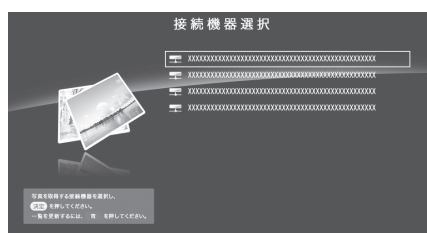
「写真を見る」を選ぶ

ホームネットワークのトップ画面の例



- ・前回接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

機器選択画面が表示されたときは



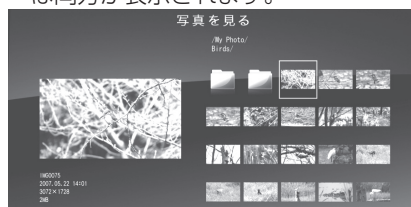
- ・上下カーソルボタンで接続するサーバーを選び、決定ボタンを押す
- ・前回再生したスライドショーを再開するには初期画面で緑ボタンを押します。黄ボタンを押すと最後にスライドショーを表示したフォルダリストを表示できます。

3

決定
で選
び
決定
を押す

フォルダを選ぶ

- ・フォルダ内の写真が一覧表示されます。
- ・フォルダと写真が混在している場合は両方が表示されます。



- ・青ボタンを押すと、サムネイル表示とリスト表示を切り換えられます。

4

決定
で選
び
決定
を押す

写真を選ぶ

- ・写真が全画面表示になり、スライドショーになります。
- ・「BGM 再生」(⇒ 121 ページ) を「する」に設定しているときは、音楽が流れます。

写真表示中の操作について

- ・画面の下部にガイダンス（操作案内）が表示されます。

ボタン	説明
決定	・スライドショーを開始／停止します。
決定	・前／次の写真に切り換えます。 ・リピート再生時は、最後の写真で右カーソルボタンを押すと最初の画面に戻ります。リピートしない場合は、一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。
戻る	・一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。
終了	・初期画面に戻ります。
青	・ガイダンス（操作案内）の表示・非表示を切り換えます。
赤	・写真メニューを表示します。
緑	・写真を左に 90 度回転します。
黄	・写真を右に 90 度回転します。

写真表示のしかたを変えるには

- スライドショーの間隔やBGMのオン/オフなど、写真表示の設定を変更できます。

- 写真表示中に、赤ボタンを押す
 - 写真メニューが表示されます。
- 設定したい項目を選び、設定する

表示モード切換	「ノーマル」
リピート再生	「しない」
スライドショーの間隔	「約10秒」
BGM再生	「する」

設定のための項目

項目	内容
表示モード切換※1	・「ノーマル」(縦横比を変えずに画面内に最大で収める)と「シネマ」(縦横比を変えずに、黒帯をなくすように画面内に最大で収める)を切り換えます。
リピート再生	・「する」と「しない」(スライドショーで最後の写真のあとに最初の写真に戻るか、一覧表示に戻るか)を切り換えます。
スライドショーの間隔※2	・スライドショーで、次の写真に行くまでの時間を設定します。「約5秒」「約10秒」「約30秒」「約60秒」から選びます。
BGM再生※3	・「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵BGM(弦楽セレナーデ・ホ短調)が流れます。

- ※1 写真の縦横比が16:9の横画像では、表示モード切換しても、表示が見かけ上変わらない場合があります。
- ※2 サーバーや写真によってはスライドショーの間隔が設定値通りにならない場合があります。
- ※3 スライドショーのBGMをお好みの音楽にするには
- ①BGMにしたい曲を再生する
 - ②終了ボタンを押す
ホームネットワークの初期画面が表示されます。
 - ③上下カーソルボタンで「写真を見る」を選ぶ
 - ④写真を選び決定ボタンを押してスライドショーを開始する
スライドショーが始まります。BGMには①で再生したフォルダ内の曲が流れます。音楽の再生について詳しくは、⇒122ページをご覧ください。

◇おしらせ◇

- 表示モードが「ノーマル」のときは、左右に黒い帯が出ることがあります。
- 表示モードが「シネマ」のときは、拡大により、写真の一部がはみ出すことがあります。

- スライドショーなどの「写真を見る」機能、お好みのBGMでご利用いただいている場合、音楽サーバーから切断される等の理由によりBGMが停止する場合がありますが、その場合も「写真を見る」機能はそのまま続行されます。再度BGMを再生するには、初期画面より「音楽を聴く」を選び、音楽の再生をやり直してください。

写真の印刷について

- 表示した写真を印刷することができます。詳しくはAQUOSサポートページをご覧ください。

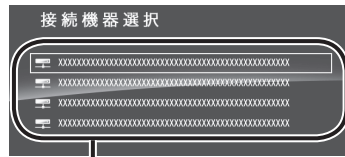
AQUOS サポートページ

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

写真やフォルダの一覧表示中の便利な機能について

- 写真一覧表示中に、赤ボタンを押す
 - 写真フォルダ一覧メニューが表示されます。
- 項目を選び、設定する

利用できる項目

項目	内容
リスト表示へ切換／サムネイル表示へ切換	・写真やフォルダが一覧表示されているとき、リスト表示とサムネイル表示を切り換えます。
BGM再生	・「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵BGM(弦楽セレナーデ・ホ短調)が流れます。
接続機器変更	ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、写真を見るためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。 ▼接続機器選択画面  で選び 決定 を押す
トップフォルダへ移動	・操作中のサーバーの一番上のフォルダを表示します。
初期画面へ戻る	・初期画面を表示します。

ホームネットワークで音楽を楽しむ

本機で再生できる音楽データの形式

LPCM	・ サンプル周波数 44.1/48kHz、stereo/mono
MP3 形式で作成されたファイル	・ サンプル周波数 32/44.1/48kHz 32kbps から 320kbps、stereo/mono

◇ おしらせ ◇

- ・ サーバーや音楽ファイルによっては再生できないことがあります。パソコンでは再生できても、本機で再生できない場合があります。
- ・ サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、音楽の無いフォルダが表示される場合があります。

使用可能なサーバーについて

- ・ サーバーの動作確認機種の最新情報については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートページ「Q&A 情報」をご覧ください。

AQUOS サポートページ

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

- ・ サーバーの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

DLNA 認定サーバー内の音楽ファイルの再生について

- ・ 本機の「ホームネットワーク」で再生できるのはホームネットワークに接続された DLNA 認定サーバーの対応ファイル形式のものだけです。
- ・ 音楽ファイルをサーバーに書き込んでもサーバーのデータとしてホームネットワークに反映されるのに非常に時間がかかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。

ホームネットワークのサーバーにある音楽を再生する

- 入力切替メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ**
 - ・ ⇒ **120** ページをご覧ください。
 - ・ メモリーモードを「オン」に設定し、前回音楽を再生していた場合は、音楽再生が始まります。
 - ・ メモリーモードのオン／オフの切り換えは、ホームネットワークのトップ画面で行います。（切り換えかた⇒ **125** ページ）
- 「音楽を聴く」を選び、決定する**
- サーバー機器を選び、決定する**
 - ・ 一度音楽が再生されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に再生した音楽のあるフォルダ内の音楽を再度再生できます。また、黄ボタンを押すと最後に再生した音楽のあるフォルダリストを表示できます。
 - ・ 初期画面で決定ボタンを押すと、最後の接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。
- フォルダを選び、決定する**
 - ・ フォルダと曲名が混在している場合は両方が表示されます。
 - ・ フォルダ内の曲名が一覧表示されます
- 曲名を選び、決定する**
 - ・ 音楽が再生されます。
 - ・  で曲名を選び  を押すと、その曲が再生されます。
 - ・  で、1 つ上のフォルダを表示できます。
 - ・  で表示されるメニューからトップフォルダや、再生中の曲が保存されているフォルダを表示することもできます。（⇒ **123** ページ）
 - ・ 再生中の音楽ファイルと同じフォルダに複数の音楽ファイルがあるときは、フォルダ内の音楽ファイルが順番に再生されます。

再生中の操作

曲の最初から再生するとき

-  を押す

前の曲を再生するとき

-  を続けて 2 回押す (約 3 秒以内に押してください)

次の曲を再生するとき

-  を押す

音楽を停止するとき

-  を押す

音楽の一覧表示中や再生中の便利な機能について

- 繰り返し再生の設定や音楽を聴くためのサーバーの変更などができます。

1 音楽一覧表示中または再生中に、赤ボタンを押す

2 項目を選び、設定する

音楽メニュー	
リピート再生	[する]
接続機器変更	
トップフォルダへ移動	
再生中のフォルダへ移動	
初期画面へ戻る	

設定のための項目

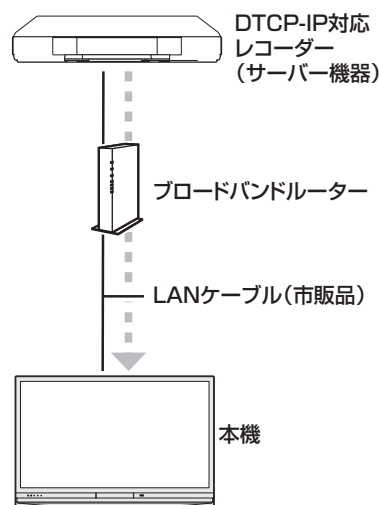
項目	内容
リピート再生	• フォルダ内の音楽をすべて再生したときに、もう一度最初から再生するかどうかを設定します。(1 曲のみのリピートはできません。)
接続機器変更	• ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、音楽を聴くためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。
トップフォルダへ移動	• 操作中のサーバーのトップフォルダを表示します。
再生中のフォルダへ移動	• 現在再生している曲のフォルダへ移動します。 • 停止中の場合は「停止中のフォルダへ移動」と表示されます。
初期画面へ戻る	• 初期画面を表示します。

録画した番組をホームネットワークで楽しむ

- 本機は、DTCP-IP 対応レコーダー (サーバー機器) に保存されているデジタル放送 (地上デジタル放送、BS デジタル放送) の映像を表示できる動画プレーヤーです。

DTCP-IP とは

- DTCP-IP は、デジタル放送などの著作権保護されたデータを伝送するための規格です。この規格に対応することにより、著作権保護されたデータ (1 回だけ録画可能なデジタル放送の番組など) を、ホームネットワークでつないだ機器の間でやりとりすることができます。
- DTCP-IP は、「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略です。



使用可能なレコーダーについて

- 本機で使えるレコーダー (サーバー機器) は、DTCP-IP 対応のレコーダーです。詳しくは SHARP web ページ内の AQUOS サポートページ「他の機器と接続するには」をご覧ください。

AQUOS サポートページ

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

本機で使える機器と、表示できるビデオ形式について

- DTCP-IP 対応レコーダーに録画した MPEG2/AAC、H.264/AAC、H.264/AC3 形式の映像が再生できます。

◇おしらせ◇

- ビデオカメラで撮影した映像、衛星放送の STB (セットトップボックス) や CATV (ケーブルテレビ) の STB (セットトップボックス) から録画した番組など、外部機器からレコーダーに取り込まれた映像は、再生できない場合や音声が出ない場合があります。
- 本機は、あらゆる録画データの再生を保障しておりません。レコーダーが配信可能な映像データでも、本機で一覧表示できない場合や一覧表示から選んでも再生できない (映像・音声は正常に再生されない) 場合がありますが、故障ではありません。

DTCP-IP 対応レコーダーの取扱説明書または web ページ内のサポート情報などをご覧ください。

- レコーダーによっては、ホームネットワークで配信できる録画データの種類や形式に制約があります。(プレイリストは不可など)
- レコーダーによっては、録画中の番組が配信できない場合や、同時に複数の映像を配信できない場合があります。
- レコーダーの動作状況 (使用状況、操作状況、録画画質の設定状況、画面の表示状況など) によっては、映像をホームネットワークで配信できない場合があります。このときは、本機の「接続機器選択」に表示されないことや、レコーダーの操作によって再生が途中で打ち切られることがあります。
- レコーダーによっては、レコーダーで BD / DVD の再生中や録画中、ダビング中に、映像を配信できない場合があります。
- 通常、レコーダーはハードディスクに記録されている映像のみ配信できます。BD や DVD の映像は配信できません。
- レコーダーによっては、本機とレコーダーのデータのやり取りを許可させるために本機の MAC アドレスを登録する必要があります。

ホームネットワークのサーバーにある映像を再生する

- 1 入力切替メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ
 - ⇒ 120 ページをご覧ください。
- 2 「映像を見る」を選び、決定する
- 3 サーバー機器を選び、決定する
 - 一度映像が表示されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に再生した映像の続きを再生できます (続きを再生できる場合。続きを再生できない場合は先頭から再生します)。
また、黄ボタンを押すと最後に再生した映像のあるフォルダリストを表示できます。
 - 初期画面で決定ボタンを押すと、最後に接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。
- 4 フォルダがある場合は、フォルダを選び、決定する
 - フォルダ内の映像が、レコーダーが提示した順番で一覧表示されます。
- 5 映像を選び、決定する
 -  で映像を選び  を押すと、その映像が再生されます。
 -  で、1 つ上のフォルダを表示できます。
 - 本機で再生できない映像が表示されることもあります。表示される映像は、正常に再生できることを保障するものではありません。
 -  または、 で、再生を終了します。

つづき再生について

- 本機は、途中まで再生した映像の状態を再生の新しい順で 20 件まで保持しています。手順 5 で映像を選んで再生すると、つづきから再生します。
- 最初から再生したいときは、手順 5 で、上下で映像を選び、青ボタンを押します。

メモリーモードについて

- いったん放送に戻り、手順 1 で「ホームネットワーク」を選ぶと、すぐに最後に視聴した映像のつづきから再生できます。(メモリーモードが「オン」の場合)
- 手順 2 で緑ボタンを押すと、前回再生していた映像のつづきから再生できます。

- 映像を一覧から選びたいときなど、メニュー画面から開始したい場合は、再生を停止したあとにホームネットワークの初期画面まで戻り、赤ボタンを押してメニューを表示させ、メモリーモードを「オフ」にします。

◇おしらせ◇

再生中に映像や音声途切れる場合

- レコーダーと本機をPLC(電力線通信)を使ったLAN環境で接続している場合は、LANの通信速度が不足して再生が途切れることがあります。
- 有線LANで接続すると、改善することがあります。
- レコーダー側で長時間録画用の録画画質で録画しておくと、LANの通信速度が低くても再生できる場合があります。

再生中の操作のしかた (ホームネットワーク)

- VOD操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

- ホームメニューから「設定」-「色(機能切換)」-「視聴操作」を選ぶ
- 「VOD操作」を選ぶ



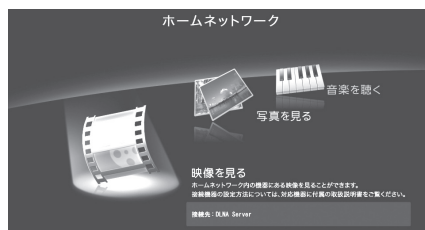
◇おしらせ◇

- 早送り再生／スロー再生／逆スロー再生には対応していません。
- 対応できない操作ボタンは、表示されません。

メモリーモードの設定を 変える

- メモリーモードを「オン」に設定すると、ホームネットワークを開始したとき、前回最後に表示または再生した写真・映像・音楽のいずれかをすぐに再生開始します。

- トップ画面表示中に赤ボタンを押し、トップメニューを表示する



- 「メモリーモード」を選び、決定する



- 「オン」または「オフ」を選び、決定する



- メモリーモードを「オン」に設定しても、サーバーに接続できないなどの理由により、前回最後に再生した写真・映像・音楽が再生できない場合があります。

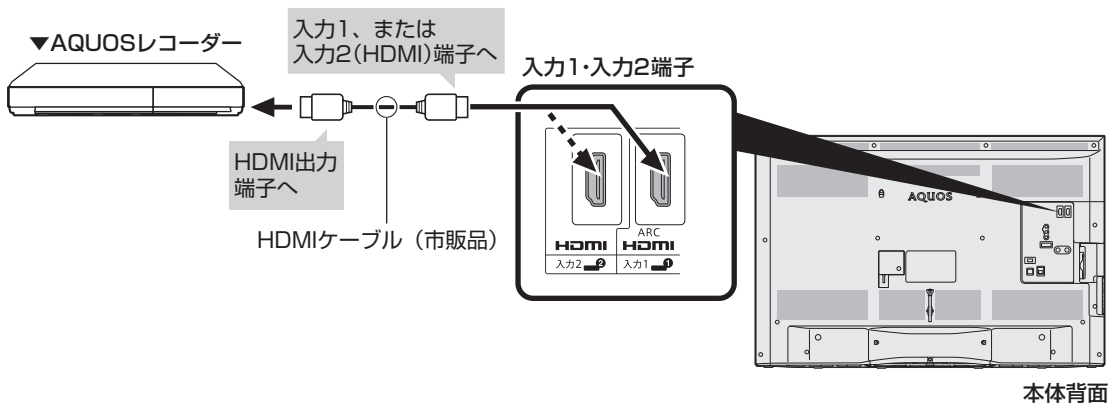
ファミリンク対応機器をつなぐ

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンクで操作できる AQUOS レコーダーは 2 台までです。
- HDMI ケーブルは必ず市販の HDMI 規格認証品（ハイスピードタイプ）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生する、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。
- 1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（ハイスピード）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- 次に示した接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

◆ 重 要 ◆

- HDMI ケーブルや電源コードを抜き差ししたり、機器との接続方法を変えた場合は、すべての周辺機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を入力 1 ～ 2 に切り換えて映像と音声
が正しいことを確認してください。

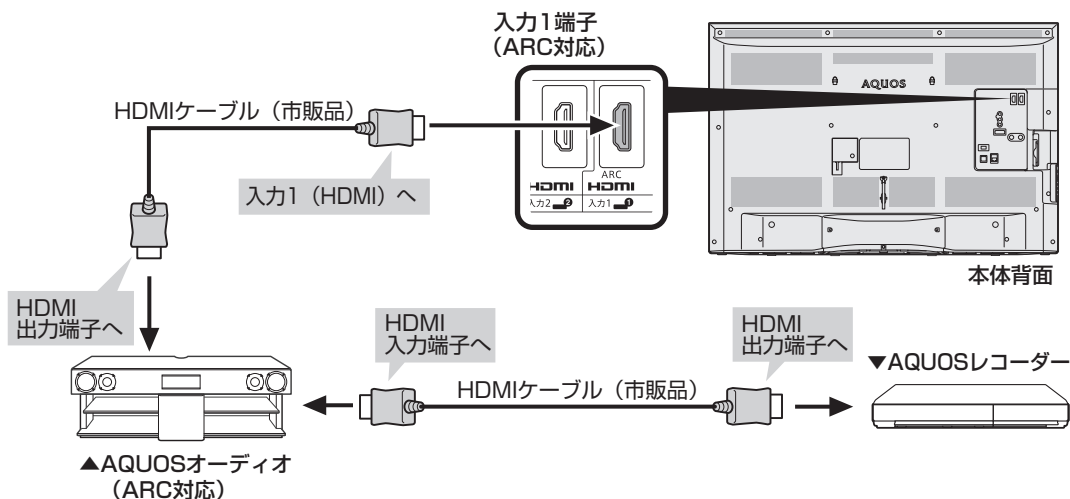
AQUOS レコーダーのみをつなぐとき



AQUOS オーディオを 同時につなぐとき

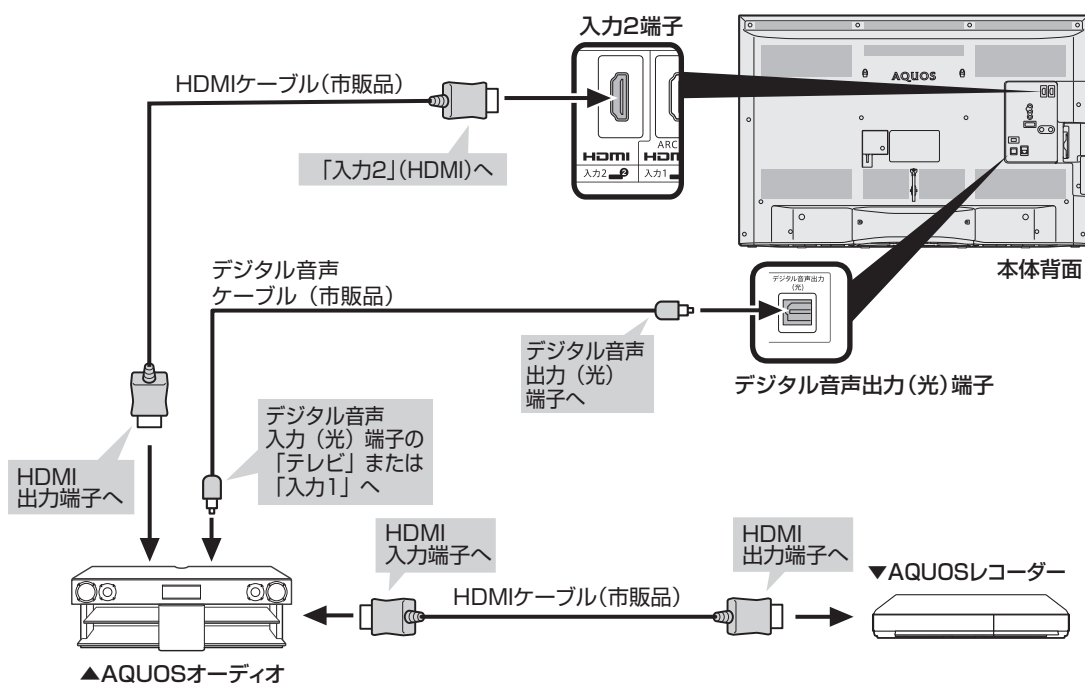
本機の入力 1 (HDMI) 端子につなぐ場合

- 本機の入力 1 (HDMI) 端子は ARC (オーディオリターンチャンネル) に対応しています。本機の入力 1 (HDMI) 端子に ARC 対応の AQUOS オーディオをつなぐと、本機から AQUOS オーディオへの音声出力も HDMI ケーブル 1 本で可能です。
- ARC に対応した HDMI ケーブルをお使いください。ARC に対応していない HDMI ケーブルの場合、音が出ない、音が途切れる、ノイズが混ざるといった症状が発生することがあります。



本機の入力 2 (HDMI) 端子につなぐ場合

- 本機から AQUOS オーディオに音声信号を出力するために、本機と AQUOS オーディオをデジタル音声ケーブルで接続してください。



ファミリンクで使う

ファミリンクとは

- ・ HDMI 端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMI ケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格 - HDMI CEC (Consumer Electronics Control) - を使ってシャープ製の液晶テレビやレコーダー、AV アンプなどを相互に制御しスムーズに連携できるようにしたのが、ファミリンクです。

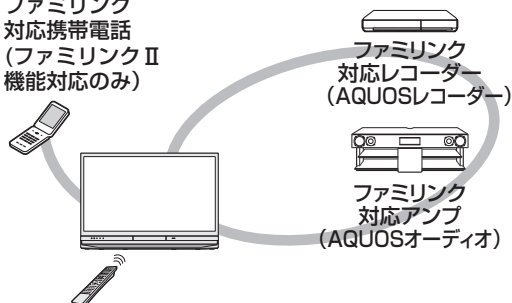
本機に、ファミリンクに対応したレコーダー(AQUOS レコーダー)やAV アンプ(AQUOS オーディオ)をHDMI 認証ケーブルで接続すると、本機のリモコンまたはレコーダーに付属のリモコンで、下記の連動操作が楽しめます。

テレビで見ている番組を、ワンタッチ録画

テレビの番組表で、録画予約

録画した番組を、かんたんに再生

ファミリンク
対応携帯電話
(ファミリンクⅡ
機能対応のみ)



◇おしらせ◇

- ・ ファミリンクの対応機種については SHARP web ページ内の AQUOS サポートページ「他の機器と接続するには→ AQUOS ファミリンクについて (▼対応機種一覧)」をご覧ください。

AQUOS サポートページ

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

- ・ 本機のリモコンでファミリンクを使う場合には、本機に向けて操作してください。AQUOS レコーダーは直接リモコン信号を受信しません。
- ・ 本機には i.LINK 端子はありません。そのため、ハイブリッドダブルレコ機能搭載の AQUOS レコーダーと接続したとき i.LINK 録画 (2 番組同時録画) は動きません。

ファミリンク機能を使う前に

1

ファミリンク対応機器と

つなぐ⇒126～127ページ

- ・ 市販品の HDMI 認証ケーブルを使って、ファミリンク対応機器と本機をつないでください。

2

設定をする

- ・ ファミリンク機能を使うための設定、(⇒下記～129 ページ) が必要です。(本機に付属のリモコンでも設定できます。)
- ・ AQUOS レコーダー側の設定も必要です。⇒機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

3

ファミリンクで楽しむ

- ・ ファミリンクⅡ機能に対応した機器をお使いの場合は、ファミリンクパネルで操作できます。⇒130 ページ
- ・ 録画・録画予約してみましょう。⇒131～133 ページ
- ・ 再生してみましょう。⇒133 ページ
- ・ AQUOS オーディオを使ってみましょう。⇒134 ページ
- ・ 携帯電話をつないで楽しみましょう。⇒135 ページ

ファミリンク機能を使うための設定

- ・ ファミリンク機能を有効にする設定です。

1

ホームメニューから「リンク操作」-「ファミリンク設定」を選ぶ

2

「ファミリンク制御(連動)」を選び、「する」に設定する

ファミリンク制御(連動)
する しない

- ・ 一般の HDMI 機器が誤作動するときは「しない」に設定してください。

ファミリンク対応機器から 本機を自動で起動する

- ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。

- ホームメニューから「リンク操作」-「ファミリンク設定」を選ぶ
- 「連動起動設定」を選び、「する」に設定する



録画先として使うファミリンク機器を選ぶ

- リモコンの録画ボタンを押したときに録画するファミリンク機器を選ぶ設定です。
- ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。

- ホームメニューから「設定」-「 (視聴準備)」-「録画機器選択」を選び、決定する
- 録画するファミリンク機器を選び、決定する

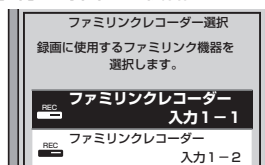


- USB-HDD は、USB ハードディスクを接続しているとき選択ができます。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

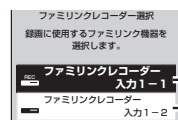
ファミリンク録画の録画先として使うレコーダーを選ぶ

- AQUOS レコーダーをつないだときの設定です。本機からファミリンク録画・録画予約するレコーダーを指定するための設定です。

- ホームメニューから「リンク操作」-「ファミリンク設定」-「ファミリンクレコーダー選択」を選ぶ
- ファミリンク録画予約で録画する機器を選ぶ

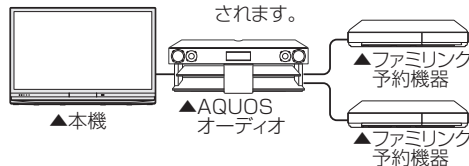


AQUOS オーディオを接続しているときの設定画面について



接続位置を数字コードで表示

下図のように1つの入力に複数の機器が接続されている場合は、入力1-1や入力1-2のように、枝番号が表示されます。



本機のリモコンで AQUOS レコーダーの選局などの操作をできるようにする

「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、以下の AQUOS レコーダーの操作が行えます。

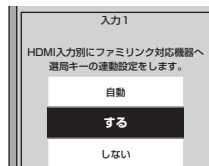
- 選局ボタンと数字ボタン（チャンネルボタン）の ~ で選局の操作ができます。ただし、 は、レコーダーによっては動作しない場合があります。
- 番組表（予約）ボタンで番組表を表示できます。
- データ連動ボタンで連動データ放送を表示できます。
- 番組表の表示や、データ連動ボタンは、接続している機器によっては操作できない場合があります。

この設定は、入力端子ごとに設定します。

- ホームメニューから「リンク操作」-「ファミリンク設定」-「選局キー」を選ぶ
- 本機のリモコンで操作する機器を接続している入力を選ぶ



- 「する」を選ぶ



- 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。

AQUOS レコーダーの スタートメニューを 表示する

- AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」-「スタートメニュー表示」を選び、決定する

- AQUOS レコーダーのスタートメニューが表示されます。
- AQUOS レコーダーの状態（録画中、電源待機中）によっては正しく表示されない場合があります。

◇おしらせ◇

- スタートメニューを表示できる AQUOS レコーダーの対応機種については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートページ「他の機器と接続するには→AQUOS ファミリンクについて（▼対応機種一覧）」をご覧ください。

AQUOS サポートページ

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

本機から AQUOS レコーダーの電源を入／切するには

- 本機とつないだ AQUOS レコーダーの電源を、本機から入／切できます。

1 ホームメニューから「リンク操作」-「レコーダー電源入／切」を選ぶ

- この操作をするたびに、本機とつないでいる AQUOS レコーダーの電源を入／切できます。

ファミリンクパネルの 操作のしかた

ファミリンクⅡ機能に対応したAQUOS オーディオ・BD プレーヤー・BD レコーダーを接続した場合に、ファミリンク対応機器操作用のファミリンクパネルを表示できます。（表示内容は機器により異なります。）

- ファミリンク対応機器と接続しているときは、ファミリンクパネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

◆ 重 要 ◆

- ファミリンクⅡ機能に対応していない機器（ファミリンクⅠ対応機器）では、ファミリンクパネルはお使いいただけません。

1 ファミリンクパネルを表示する

-  を押します。

2 操作したい機器を選び、決定する

3 操作したい機能のボタンを選び、決定する



◇おしらせ◇

- プレーヤーや AQUOS オーディオ、携帯電話と接続したときは、上記の操作パネルと異なる内容の操作パネルが表示されます。

見ている番組を すぐに録画する (ワンタッチ録画)

◆ 重 要 ◆

ファミリンクで録画を行う前に AQUOS レコーダー側の録画準備が必要です。次のことなどを確認します。

- ・ 本機と AQUOS レコーダーをつないでいますか。
- ・ B-CAS カードが挿入されていますか。有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードが、AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。
- ・ アンテナが接続されていますか。
- ・ 記録メディア (HDD、BD、DVD など) に空き容量がありますか。
- ・ 「録画機器選択」および「ファミリンクレコーダー選択」で録画機器をつないでいる入力を選んでいますか。(⇒ 129 ページ)
- ・ 初期設定では入力 1 に接続したレコーダーに録画する設定になっています。

再生・録画するメディア (HDD/ BD/DVD など) を切り換える

- ・ 必要に応じて AQUOS レコーダー側の HDD モード / BD モード / DVD モードを切り換えます。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」→「機器のメディア切替」を選び、決定する

2 レコーダーのメディアの種類(「HDD」や「BD」、「DVD」など)を選び、決定する

- ・ AQUOS レコーダー側の操作したい記録メディアを選びます。
- ・ 「機器のメディア切替」で決定するごとに、メディアが順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。

見ている番組を AQUOS レコーダーに録画する



録画したい番組の視聴中に 録画ボタンを押す

- ・ 「ファミリンクレコーダー選択」(⇒ 129 ページ) で選択した AQUOS レコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- ・ 「録画機器選択」を「ファミリンクレコーダー」にしていない場合、「録画機器選択」で選択した機器に録画されます。ファミリンクレコーダーに録画する際は、「録画機器選択」を変更してください。
- ・ 「録画機器選択」が「録画時に選択する」に設定されている際は、録画先の選択画面が表示されますので、レコーダーに録画する際は「ファミリンク録画」を選択してください。

録画の停止について

- ・ お使いの AQUOS レコーダーによっては、録画終了時刻が表示されます。表示された時刻になると自動的に録画が停止されます。
- ・ 本体 HDD / USB ハードディスクの録画実行中は録画停止の選択画面が表示されますので、レコーダーの録画を停止する場合は、「ファミリンク録画停止」を選択してください。

録画終了時刻が表示されない AQUOS レコーダーの場合は

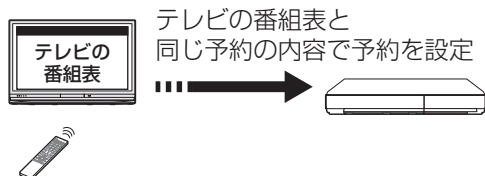
- ・ 手動で録画の停止が必要です。録画したい番組が終わったら、を押すか、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選んでください。(⇒ 130 ページ)
- ・ ファミリンクⅡ機能に対応していないレコーダーの場合は、レコーダーのリモコンで録画停止してください。

◇ おしらせ ◇

- ・ 「ファミリンクレコーダー選択」(⇒ 129 ページ)) で選択した AQUOS レコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴している AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- ・ 「ファミリンクレコーダー選択」(⇒ 129 ページ)) で選択した AQUOS レコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタンを押しても録画できません。

本機の番組表で AQUOS レコーダーに 録画予約する

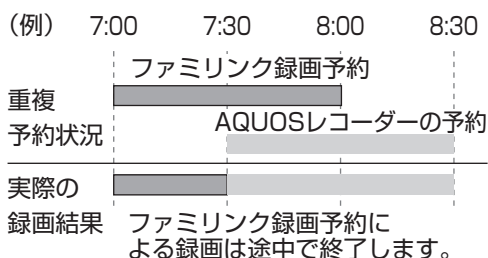
- ・ 本機の番組表から接続している AQUOS レコーダーに録画予約できます。



◆ 重 要 ◆

ファミリンクで録画予約するときの注意

- ・ 録画予約した番組の録画が終了する前に本機の電源を切るときは、リモコンの電源ボタンで電源を切って（待機状態）ください。「電源ボタン設定」(⇒ 33 ページ) を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切ると、正しく録画されません。
- ・ 録画予約状態を解除すると、レコーダーの録画が停止して、電源が切れます。
- ・ AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されている場合は、レコーダー側の予約が優先されます。



- ・ 番組の放送時間が延長された場合、録画の終了時刻が延長されるかは、お使いの AQUOS レコーダーによって異なります。
- ・ 詳しくは、SHARP web ページ内の AQUOS サポートページ「他の機器と接続するには」→ AQUOS ファミリンクについて(▼ 対応機種一覧) をご覧ください。

AQUOS サポートページ

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

- ・ 録画予約した番組が開始する 2 分前から番組が開始する直前まで、選局の操作はできません。

◇ おしらせ ◇

- ・ 予約の確認・取り消し・変更については⇒ 61 ページをご覧ください。

1 AQUOSレコーダー側の 準備をする

- ・ 本機と AQUOS レコーダーを接続します。
- ・ HDD に録画する場合は、HDD の残量を確認します。
- ・ 有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードが、AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。

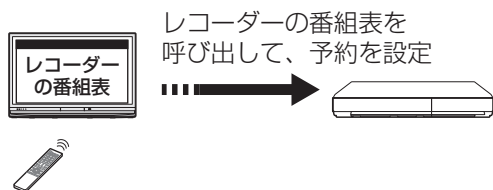
2 本機の番組表を表示し、予約 したい番組を選び、決定する

- ・ ジャンルや日時などを指定して番組を選ぶこともできます。(⇒ 17 ページ)
- ・ 同じ時間帯に他の番組が予約されていると、先の予約を削除する画面になります。

3 「ファミリンク録画予約」を 選び、決定する

- ・ 機器が利用できない場合は選択できません。
- ・ 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、予約設定後にファミリンクレコーダー選択(⇒ 129 ページ)を行ってください。
- ・ AQUOS レコーダー側で設定した予約と日時が重複している場合は、「AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されていますので、レコーダーの予約が優先されます。」と表示されます。今選んでいる番組を予約したい場合は、AQUOS レコーダーの予約を取り消してください。
- ・ 予約が設定され、TIMER(タイマー)ランプ(⇒ 11 ページ)が点灯します。
- ・ 操作を終了する場合は、番組表(予約)ボタンを押します。

AQUOS レコーダーの 番組表を呼び出して 録画予約する



1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「リンク予約(録画予約)」を選び、決定する

- 表示されたレコーダーを選択すると、レコーダー側の番組表が表示されます。

2 予約したい番組を選び、録画予約の操作をする

- レコーダー側の番組表は本機のリモコンの で操作します。(詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。)

AQUOS レコーダーを 再生する

AQUOS レコーダーの 録画リストから再生する

- 本機のリモコンを使って、本機と HDMI 接続した AQUOS レコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。
- あらかじめ「連動起動設定」を「する」に設定します。(⇒ 129 ページ)

1 BD/HDD ボタンを押し、再生したい AQUOS レコーダーを選び、決定する

- AQUOS レコーダーを接続しているとき選択できます。

2 録画リストを表示する

- を押します。

3 再生したい番組(タイトル)を選び再生する

- 録画リストは本機のリモコンの で選択などの操作ができます。
- 選んだ番組が再生されます。
- 停止したいときは、 を押します。
- 停止したときは、切り換わった入力のままです。

◇ おしらせ ◇

- AQUOS レコーダーが DVD モードになっていて DVD ビデオなどの録画リストがないディスクがセットされている場合、録画リストは表示されません。ホームメニューから「リンク操作」－「機器のメディア切換」を選んで、AQUOS レコーダーのモードを切り換えてください。
- PinP のときは、以下のボタンでレコーダーのスタートメニュー、番組表や録画リストなどの操作はできません。



最後に録画した番組を再生する(ワンタッチプレー)

- 本機のリモコンを使って、本機と HDMI 接続した AQUOS レコーダーを操作できます。

1 BD/HDD ボタンを押し、再生したい AQUOS レコーダーを選び、決定する

- AQUOS レコーダーを接続しているとき選択できます。

2 録画した番組を再生する

- を押します。
- 最後に再生または録画した番組が再生されます。
- 録画した番組の中(録画リスト)から見たい番組を選んで再生したいときは、ホームメニューから「リンク操作」－「録画リストから再生」を選びます。

再生中の操作について

- ファミリンクで再生しているときは、ファミリンクパネルで操作が行えます。
⇒ 130 ページ
- リモコンの でも操作が行えます。

複数の HDMI 対応のレコーダー(録画機器)をお使いのときは

- 視聴する HDMI 機器を選びます。

1 ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク機器リスト」を選ぶ

2 視聴したい機器を選ぶ

AQUOS オーディオで 聞く

- AQUOS オーディオで音声を楽しめます。
(本機のスピーカーからは音が出ません。)
- 本機のリモコンで AQUOS オーディオの
音量調整、消音、音声切換の操作ができます。

◇おしらせ◇

- AQUOS オーディオを接続していないときは、「AQUOS オーディオで聞く」は選べません。

「AQUOS オーディオで聞く」に設定中のご注意

- 「入力／音声出力設定」(⇒36 ページ)を「音声出力 1」または「音声出力 2」に設定しているときは、音声出力からの音声が増幅されます。
- ホームメニューの「設定」－「音声調整」は設定できません。

1 ホームメニューを表示して、
「リンク操作」－「音声出力機器切換」を
選ぶ

2 「AQUOSオーディオで聞く」
を選ぶ

- 本機の音声が増幅し、AQUOS オー
ディオから音声が増幅されます。
- 画面中央に「ファミリンク接続された
AQUOS オーディオから音声を出力
します。」と表示されます。

本機のスピーカーから音を出すときは

- 上記の手順 2 で「AQUOS で聞く」を選びます。

オーディオリターンチャンネル (ARC) 対応の AQUOS オーディオ をつないだときは

- 「ARC (オーディオリターンチャンネル)」は、
テレビのチューナーの音声を HDMI ケーブル
を使って AV アンプなどに伝送する機能です。
- 「ARC 設定」を「自動」に設定すると、本機と
ARC 対応の AQUOS オーディオを HDMI ケー
ブル一本で接続することができます。この機能
は、入力 1 端子に接続したときのみ使えます。

1 ホームメニューから「リンク操作」－
「ファミリンク設定」を選ぶ

2 「ARC設定」を選び、「自動」に設定する

番組内容に適した音に切り換える

- デジタル放送のジャンル情報に従って、
AQUOS オーディオが適切なサウンド
モードに切り換わるように設定できます。

1 ホームメニューから「リンク操作」－「ファミ
リンク設定」を選ぶ

2 「ジャンル連動」を選び、「する」に設定する

◇おしらせ◇

- DVD 映像はジャンル情報がありません。自
動でサウンドモードが切り換わりませんので、
AQUOS オーディオ側で適切なサウンドモー
ドに切り換えてください。
- サウンドモードについて詳しくは AQUOS
オーディオの取扱説明書をご覧ください。

携帯電話を AQUOS に つないで楽しむ

ファミリンクⅡ機能に対応したシャープ製携帯電話を接続すると、ファミリンクパネルで操作できます。
また、携帯電話接続中に電話やメールが着信すると、視聴画面にAQUOS からのお知らせとして表示されます。

- ・ HDMI micro 端子の付いた携帯電話(ファミリンクⅡ機能に対応したシャープ製携帯電話)と本機をつなぐと、さまざまなコンテンツが楽しめます。
 - ・ 動画・写真の再生
 - ・ 音楽の再生
 - ・ ホームページの閲覧
 - ・ メール表示
 - ・ ドキュメントの閲覧 など
- ・ 本機のリモコンで、携帯電話の操作ができます。
- ・ 携帯電話の出力するコンテンツに合わせ、適切な画質とサイズで表示します。
- ・ 携帯電話のファミリンクⅡ対応機種については、SHARP Web ページ内の AQUOS サポートページをご覧ください。

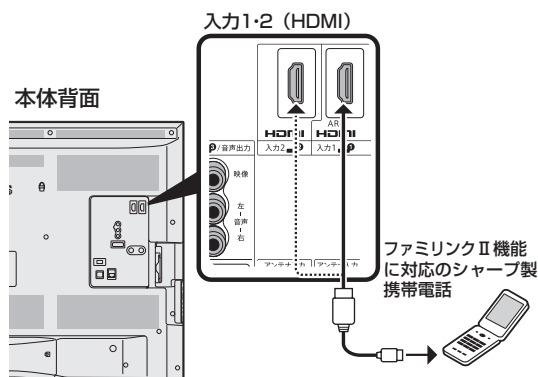
AQUOS サポートページ

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

◆ 重 要 ◆

- ・ ファミリンクⅡ機能に対応していないシャープ製の携帯電話または、他社製の携帯電話では、ファミリンクパネルはお使いいただけません。

1 ファミリンクⅡ機能に対応している携帯電話を、 本機につなぐ



2

ファミリンク
を押す

3

4

決定
で選び
決定
を押す

ファミリンクパネルを表示 する

操作したい機器を選び、決定 する

操作したい機能のボタンを 選ぶ



携帯電話を取り外すときは

- ・ 操作ボタンの「取り外し」を選んで決定してから、携帯電話を取り外します。

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリ／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

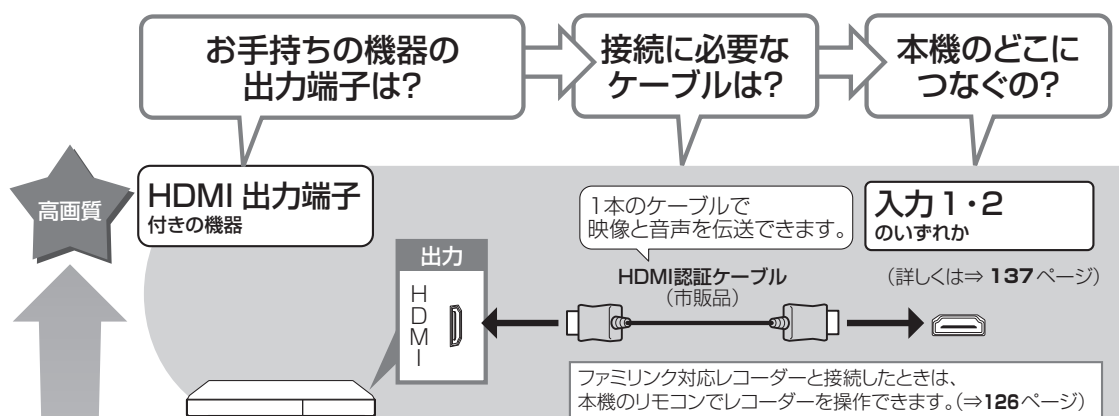
レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

よりきれいな映像を楽しむためには

- お手持ちの録画・再生機器の出力端子を確認し、高精細・高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

◇おしらせ◇

- 映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（黄と黄、白と白、赤と赤）につなぎます。
- 映像の種類と画質について⇒27・190ページ
- 高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。



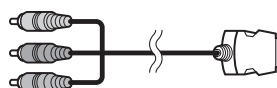
上に行くほど高画質な映像に対応しています

D映像出力端子付きの機器

D端子識別(⇒36ページ)を設定してください。

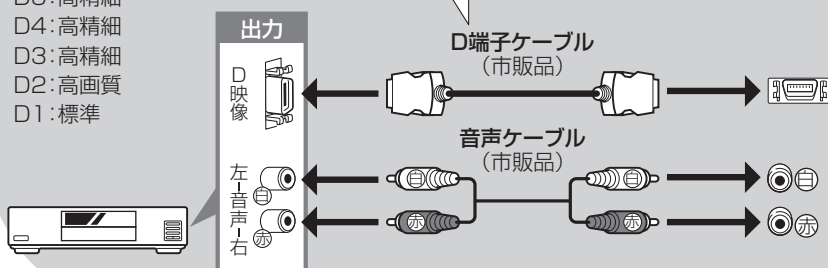
- 本機は以下のD端子に対応しています。
- D5: 高精細
- D4: 高精細
- D3: 高精細
- D2: 高画質
- D1: 標準

コンポーネント出力端子付きの機器の場合はD-コンポーネント変換ケーブルでつなぎます。



D端子ケーブル (市販品)

音声ケーブル (市販品)



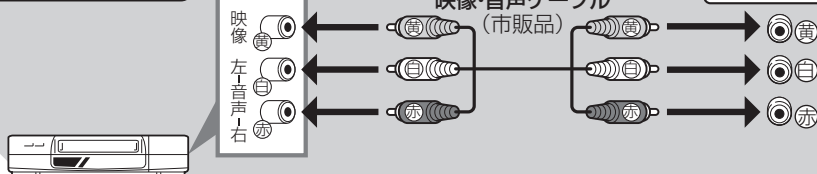
映像出力端子付きの機器

出力

映像
左音声
右

映像・音声ケーブル (市販品)

入力3



標準画質

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

レコーダーやプレーヤー側の接続端子について

- 詳しくは、レコーダーやプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。

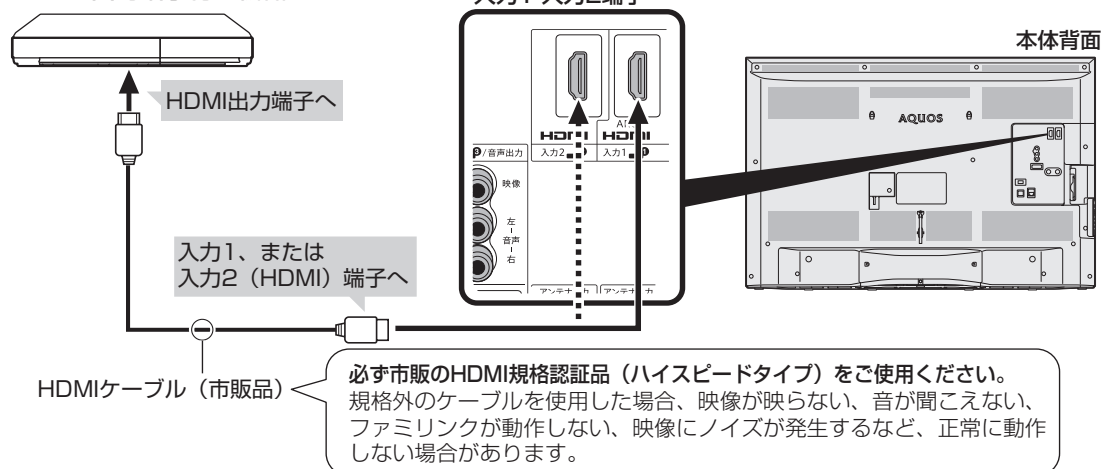
レコーダーをお持ちの場合

- プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。レコーダーを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

HDMI 出力端子が付いた機器の場合

- 本機の HDMI 入力端子は 1080p の信号入力に対応しています。1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED (ハイスピード) に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

▼HDMI出力端子付き機器



対応している映像信号

- 1080p (24Hz/30Hz/60Hz)、720p (30Hz/60Hz)、1080i、480p、480i、VGA

対応している音声信号

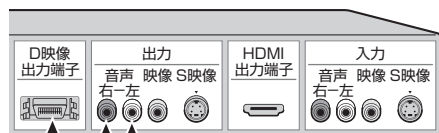
- 種類：リニア PCM、AAC、ドルビーデジタル
サンプリング周波数：48kHz / 44.1kHz / 32kHz

◇おしらせ◇

- ファミリンクに対応していない機器をつないだとき、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが切り換わってしまう場合は、「ファミリンク制御(連動)」を「しない」に設定してください。(⇒ 128 ページ)

D 映像出力端子が付いた機器の場合

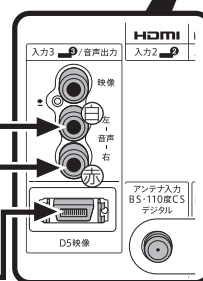
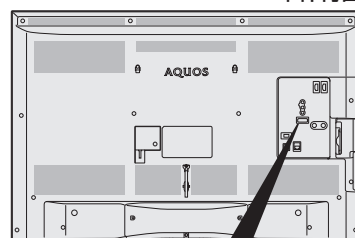
▼録画・再生機器



音声ケーブル（市販品）

D映像ケーブル（市販品）

本体背面

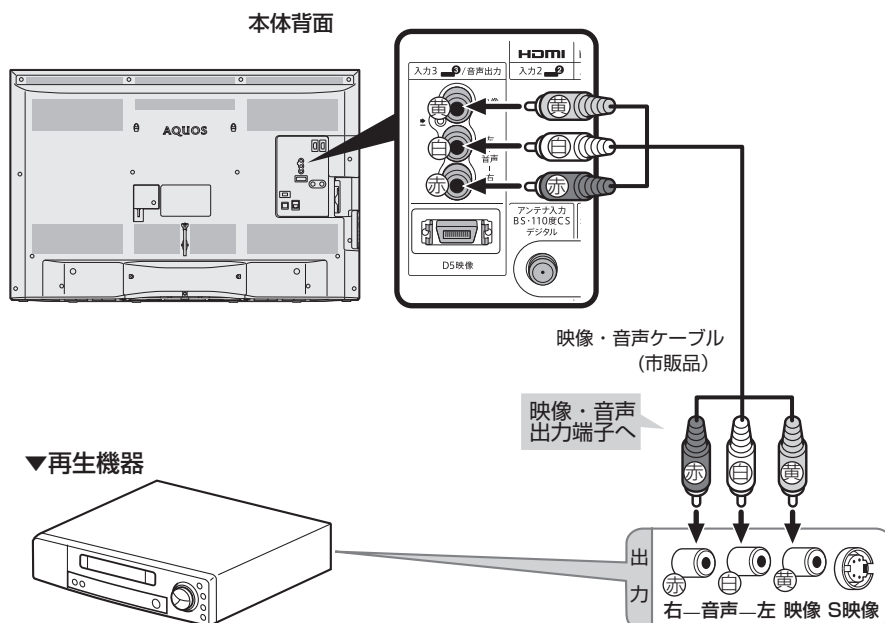


入力3（D5映像・音声）端子

- 録画・再生機器に HDMI 端子も D 映像端子もない場合は、映像端子につながます。**139** ページをご覧ください。

映像出力端子が付いた 機器の場合 (再生するときの接続)

- 接続が終わるまで、本機と録画機器の電源を入れないでください。

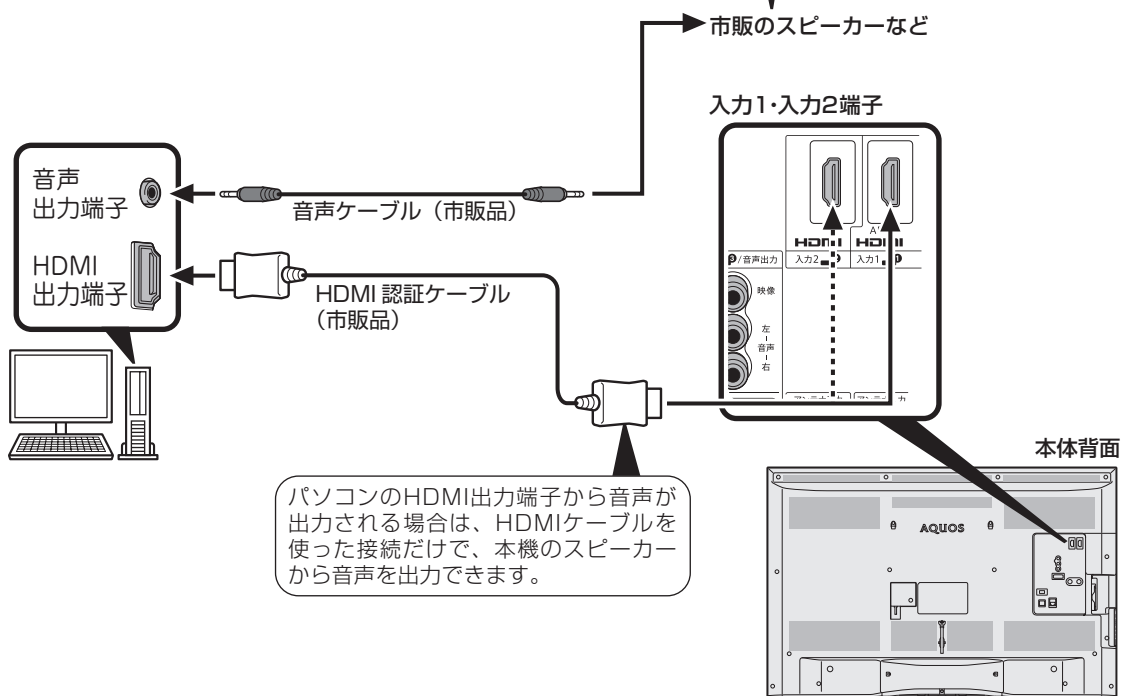


パソコンをつなぐ

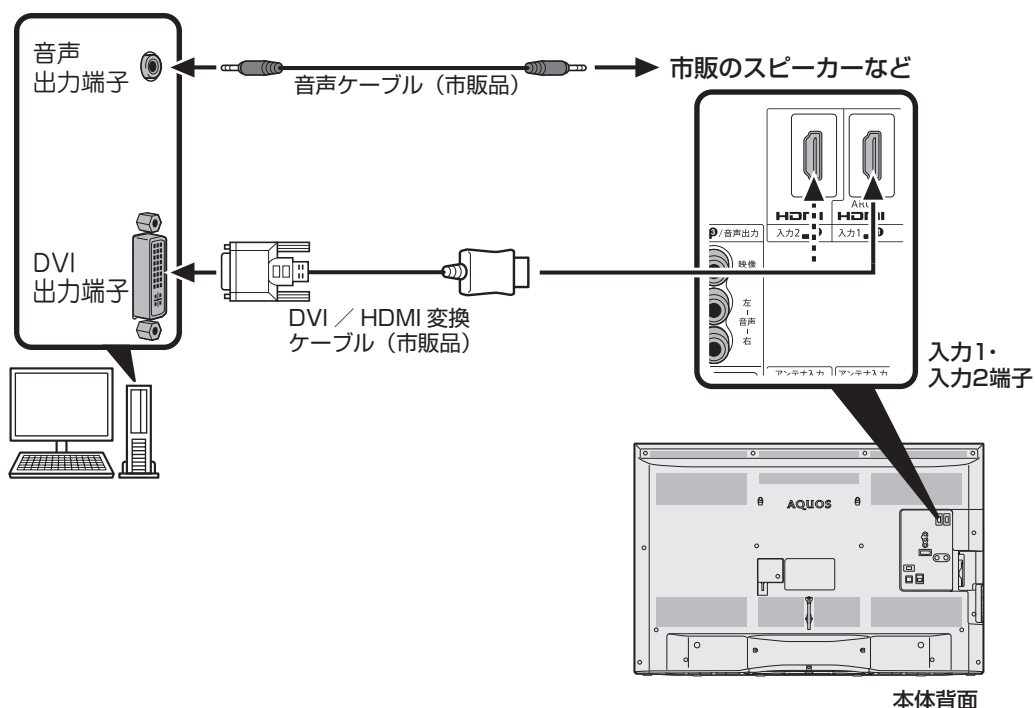
本機を HDMI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合
(デジタル接続)

• 市販の HDMI 認証ケーブルが必要です。

パソコンのHDMI出力端子から音声が出力されない場合は、市販のスピーカーなどをパソコンにつないで音声を出力してください。



本機を DVI 出力端子付き パソコンのモニターとし て使う場合 (デジタル接続)



- 市販の DVI/HDMI 変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声は、本機のスピーカーからは出力できません。
- 本機の HDMI 端子とパソコンの DVI 端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによっては HDMI 規格に対し十分サポートされていないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときには「この入力信号には対応しておりません」と表示されます。その場合はお使いのパソコンの取扱説明書にもとづき本機で対応している信号に設定してください。

パソコンの モニターとして使う

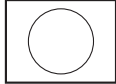
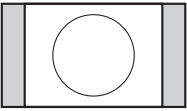
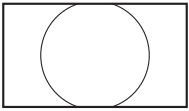
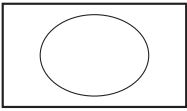
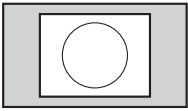
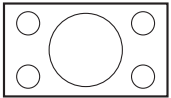
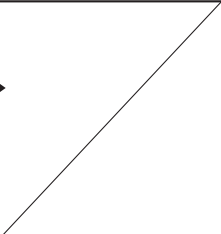
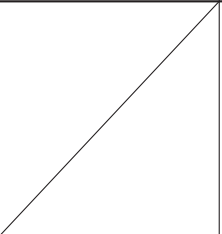
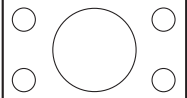
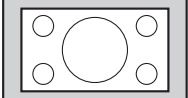
- 本機にパソコンをつなぐ場合は、パソコン (PC) の DVI 出力／RGB 出力の解像度を確認してください。パソコンが以下の解像度に対応していない場合は、本機でパソコンの画面を表示できません。

本機が対応している解像度

解像度 (画素)		水平 周波数 (kHz)	垂直 周波数 (Hz)	VESA 規格
VGA	720 × 400	31.5	70	
	640 × 480	31.5	60	○
		37.9	72	○
SVGA	800 × 600	37.5	75	○
		35.1	56	○
		37.9	60	○
		48.1	72	○
XGA	1024 × 768	46.9	75	○
		48.4	60	○
		56.5	70	○
		60.0	75	○
WXGA	1360 × 768	47.7	60	○
SXGA	1280 × 1024	64.0	60	○
SXGA+	1400 × 1050	65.3	60	○
※ 480p	720 × 480	31.5	60	
※ 1080i	1920 × 1080	33.8	60	
720p	1280 × 720	45.0	60	
1080p	1920 × 1080	67.5	60	

※の入力信号の画面サイズについては、
⇒ **192** ページをご覧ください。

本機で選べる画面サイズ (パソコンからの入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。)

入力信号	ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
16:9よりも縦長の映像  640×480、800×600 1024×768 1280×1024など	 入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。	 入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。
16:9映像 			 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。



パソコンと
つなぐ⇒ **140 ~ 141** ページ



◇ おしらせ ◇

- 省エネの設定をすることができます。(⇒ **35** ページ)
- 接続するパソコンによっては、本機で対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときは、「この入力信号には対応しておりません。」と表示されます。その場合、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。本機で対応している信号に設定してください。
- PC 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、⇒ **下記** をご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。

パソコンの画面を表示させる

- ## 画面サイズを選ぶ

- ## パソコンの画面を調整する

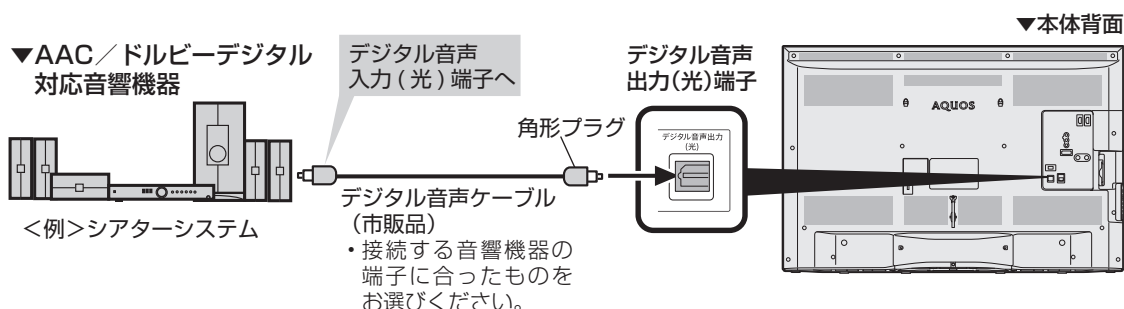
- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」－「画面位置」で設定します。（⇒ **36** ページ）

◇おしらせ◇

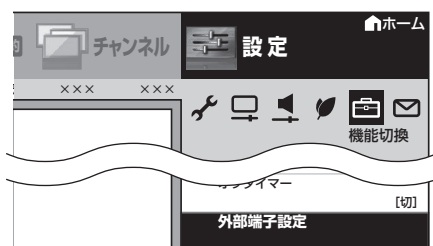
- 画面の明るさや色の調整などについては「映像調整」(⇒**33**～**34**ページ)をご覧ください。

デジタル音声（光）端子付きのオーディオ機器で聞く

- 本機のデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC/ドルビーデジタル/dts 音声フォーマットを出力できます。AAC/ドルビーデジタル/dts サラウンド対応の音響機器を接続すると、迫力ある音声で楽しめます。



1 ホームメニューを表示して、「設定」-「（機能切換）」-「外部端子設定」を選ぶ



2 「デジタル音声設定」を選ぶ

3 「PCM」または「ビットストリーム」を選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 接続する機器がビットストリーム /PCM の自動切換に対応していない場合は、機器側の設定を切り換えてください。
- 詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 外部入力音声は、「ビットストリーム」に設定しても「PCM」で出力されます。
- 「ビットストリーム」に設定すると、字幕放送や一部のデータ放送の音声出力されません。
- 本機の電源を切ると、デジタル音声出力（光）端子からは出力されません。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はスピーカー音声出力の内容と同じです。（視聴しているときの音声出力されます。）
- ファミリンク対応の AV アンプ（AQUOS オーディオ）を市販の HDMI 認証ケーブルとデジタル音声ケーブルでつなぐと、ファミリンク機能で操作できます。（⇒ 126 ページ）
- 再生する機器、ソフトによってはデジタル音声出力されない場合があります。

デジタル音声出力（光）端子から出力される音声の種類について

HDMI 端子からの入力音声信号	リニア PCM [*] 、AAC、ドルビーデジタル
視聴中のデジタル放送音声	リニア PCM [*] 、AAC
本体レコーダーでのディスク再生中の音声信号	リニア PCM [*] 、AAC、ドルビーデジタル、dts

※ 48kHz 以下の 2ch 音声出力されます。

- 「デジタル音声設定」を「ビットストリーム」に設定しているときは、市販の BD ビデオの「ドルビーデジタル EX6.1 ch」音声や「DTS・ES6.1 ch」音声など「6.1 ch」以上の音声は「5.1 ch」音声として出力されます。
- ロスレスオーディオの「DTS-HD Master Audio」や「ドルビー TrueHD」音声は「コアストリーム（5.1 ch）」音声のみ出力されます。

「デジタル音声設定」の設定項目

項目	内容
PCM	AAC/ドルビーデジタル/dts に対応していない機器につなぐときは、「PCM」に設定します。視聴している番組の音声と同じ音声（主、副、主/副）が出力されます。
ビットストリーム	AAC/ドルビーデジタル/dts 対応の AV アンプなどをつなぐときは、「ビットストリーム」に設定します。主と副の両方の音声と同時に出力されます。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。(初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」(⇒「かんたん!! ガイド」(巻末) 10～12 ページ) を行ってください。)
- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

アンテナ電源の設定

項目	内容
オート	- 個人でアンテナを設置している場合に選びます。 - 本機の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。(リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。)
入	「オート」を選んでBS デジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。 - 本機の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。
切	- 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。 - アンテナ電源が常に「切」になります。

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CS アンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま 1 分経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ(受信強度)を確認する

- アンテナに電源を供給するかどうかの設定と、受信強度の確認・調整をします。

◆ 重 要 ◆

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

1 BSデジタル放送を選ぶ

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定できます。

2 ホームメニューを表示して、「設定」-「 (視聴準備)」-「テレビ放送設定」を選び、決定する

3 「アンテナ設定」を選び、決定する

4 「電源・受信強度表示」を選び、決定する

◆ アンテナに電源を供給するための設定

5 「オート」「入」「切」のいずれかを選び、決定する

◆ 受信強度の調整

6 受信強度が最大になるように、アンテナの向きを調整する

- 受信強度が 60 以上になるように、アンテナの向きを調整してください。(アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。)

7 調整が終わったら決定ボタンを押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- ・手順 6 で「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、167 ページをご覧ください。
 - ・手順 5 または手順 6 の画面で、「受信状態一覧へ」を選び決定を押すと受信状態一覧画面が表示されます。(⇒ 154 ページ)
 - ・受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。(表示される数値は、受信 C/N ※ の換算値です。)
- ※ 受信 C/N とは放送に関する信号とノイズなどの不要信号の割合です。

デジタル放送の受信強度の確認 (信号テスト) をするときは

- ・各デジタル放送の信号テストができます。
- (例) BSデジタル放送の信号テストをする

- 1 145 ページの手順 1～3 を行い、「信号テスト-BS」を選び、決定する
- 2 カーソルボタンで確認したい項目を選び、決定する
 - ・「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。
 - ・「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ(⇒ 167 ページ) をご覧ください。
- 3 カーソルボタンで「終了」を選び、決定する
 - ・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

地上デジタル放送・110 度 CS デジタル放送の受信強度の確認 (信号テスト) について

- ・手順 1 で「信号テスト-地上 D」または「信号テスト- CS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

- ・手順 1 で「周波数設定」を選べると、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
- 通常は、設定する必要はありません。
- (例：BS15 のアンテナ受信周波数 11996 を入力すると 15ch の受信強度が表示されます。)

お住まいの地域向けの 地上デジタル放送を 受信するために (地域選択／郵便番号設定)

- ・地上デジタル放送の地域情報 (緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報) をお住まいの地域に合わせる設定です。

地域選択

- 1 ホームメニューから「設定」-「 (視聴準備)」-「テレビ放送設定」を選ぶ
- 2 「地域設定」を選ぶ
- 3 「地域選択」を選び、お住まいの地域を設定する

地域選択	
郵便番号設定	お住まいの地域を設定してください。
北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

- ・地域選択を変更した場合は、あとで「チャンネル設定」から「地上デジタルー自動」を行ってください。(⇒ 147 ページ)

郵便番号設定

- 1 ホームメニューから「設定」-「 (視聴準備)」-「テレビ放送設定」を選ぶ
- 2 「地域設定」を選ぶ
- 3 「郵便番号設定」を選び、数字ボタン(チャンネルボタン)で入力する

郵便番号設定	
地域選択	お住まいの郵便番号を入力してください。
1 6 2 - 8 4 0 8	

- ・入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタン (チャンネルボタン) で数字を選び直します。

地上デジタル放送の チャンネルを追加したり 設定をやり直すときは

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。**チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」(⇒ 146 ページ)をしてください。**

- 1 地上デジタル放送を選局する
- 2 ホームメニューから「設定」-「 (視聴準備)」-「テレビ放送設定」を選ぶ
- 3 「チャンネル設定」-「地上デジタル」を選ぶ
- 4 「地上デジタルー自動」を選び、「する」に設定する

地上デジタルー自動	チャンネルサーチを行い、お住まいの地域の地上デジタル放送のチャンネルを自動登録します。 変更したチャンネルボタンの番号やスキップ設定はクリアされます。
☐ 追加 ☐ 個別 ☐ 選局順	この設定でチャンネルサーチを実行しますか？ 現在の地域設定は ☐ 〇 ☐ × です。
	する しない

◆ 重 要 ◆

「地上デジタルー自動」を行った後で、新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

- 「地上デジタルー自動」の代わりに「地上デジタルー追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

◇ おしらせ ◇

地上デジタル放送の CATV (ケーブルテレビ) 放送対応について

- CATV による地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ (CATV) の方式は、「パススルー方式」(UHF 帯、ミッドバンド [MID] 帯、スーパーハイバンド [SHB] 帯、VHF 帯) です。
- CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのまま CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

デジタル放送の チャンネルの個別設定

- 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	・ リモコンの数字ボタン (チャンネルボタン) を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番	・ 受信した放送局の 3 桁チャンネル番号が重複している場合は、4 桁め (枝番) を変更して区別できます。(地上デジタル放送のみ)
スキップ	・ 選局 (ハ順 / ヴ逆) ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

- 1 デジタル放送を選ぶ
- 2 ホームメニューを表示して、「設定」-「 (視聴準備)」-「テレビ放送設定」を選び、決定する
- 3 「チャンネル設定」を選び、決定する
- 4 「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定する
 - ・ 「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んだ場合は、手順 6 に進みます。
- 5 「地上デジタルー個別」を選び、決定する
- 6
 - ①変更したいチャンネルを選び、決定する
 - ②「数字ボタン」を選び、決定する
 - ・ 枝番を入力する場合は、「枝番」を選び、 ~  を押します。
 - ・ チャンネルをスキップする場合は、「スキップ」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選びます。このメニューで行ったスキップ設定は、148 ページのチャンネルスキップ設定と連動します。

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の種類について

故障かな？
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

- 7 入力欄に数字を入力して決定する**
- 数字ボタンが重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか?」と表示されます。(枝番の場合は「枝番が重複しています。置き換えますか?」と表示されます。)
- 数字ボタンを置き換える場合**
- 手順 **8** に進みます。
- 置き換えずに別の数字にする場合**
- 画面の「戻る」を選び、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。
- 8 「確認」を選び、決定する**
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1～12の数字ボタン(チャンネルボタン)の番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3桁のチャンネル番号は、放送地域内(都府県、北海道は7地域)ではそれぞれ別番号になっています。従って、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう1桁(これを「枝番」といいます)を入力して選局することになります。

チャンネルスキップ設定

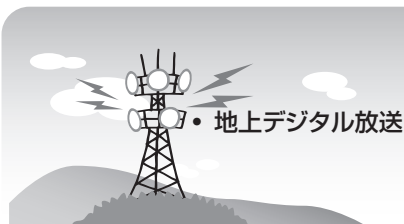
項目	内容
両方する	- 選局時と番組表のどちらもスキップします。 - この設定をしたチャンネルは、選局時と、番組表のどちらにも、表示されなくなります。
番組表のみ	- 番組表のみ表示されなくなります。 - 選局時は表示されます。
選局のみ	- 選局時のみ表示されなくなります。 - 番組表には表示されます。
両方しない	- 選局時と番組表のどちらもスキップされません。 - この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されます。

- 1 「地上」「BS」「CS」ボタンのいずれかを押して、デジタル放送を選ぶ**
- 2 ホームメニューを表示して、「設定」－「 (視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ**
- 3 上下カーソルボタンで「スキップ設定」を選び、決定する**
- 4 上下カーソルボタンで「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定する**
- 5 手順4で「地上デジタル」または「BSデジタル」を選んだ場合は、上下カーソルボタンで「放送事業者」を選び、決定する**
- 「スキップ設定を一括で行うか個別に行うかを選択してください」と表示されますので、手順 **6** に進みます。
- 手順4で「CSデジタル」を選んだ場合は、スキップ設定したい3桁番号の範囲を選び、決定する**
- 手順 **7** に進みます。
- 6 カーソルボタンで「一括設定」または「個別設定」を選び、決定する**
- 「一括設定」を選んだ場合は、「この放送事業者内の全てのチャンネルを番組一覧表と、選局順逆時にスキップしますか?」と表示されますので、手順 **8** に進みます。
 - 「個別設定」を選んだ場合は、手順 **7** に進みます。
- 7 上下カーソルボタンでスキップ設定したいチャンネルを選び、決定する**
- 8 カーソルボタンで「両方する」「番組表のみ」「選局のみ」「両方しない」のいずれかを選び、決定する**
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

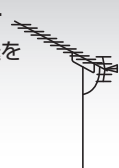
◇おしらせ◇

- 地デジ難視対策衛星放送(BS291ch～BS298ch)は一般の方は視聴できないため、工場出荷時の設定は、「両方する」になっています。この放送を視聴する場合は、BSデジタルの「地デジ難視対策衛星放送」を一括設定で「両方しない」に設定してください。

放送の種類について



UHF アンテナ
地上デジタル放送を
受信できます。



◆ 重要 ◆

- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

デジタル放送のその他の特長

臨時放送（臨時編成サービス）

- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス

- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。

※ ファミリンク録画予約(⇒ 132～133ページ)の場合、お使いの AQUOS レコーダーによっては追従されません。

マルチビューサービス

- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大 3 つの映像が放送されるサービスです。映像切換ボタンを押して切り換えます。

緊急警報放送

- 地震などの際の緊急警報放送です。

ご案内チャンネルの表示

- 非契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

地上デジタル放送

- 2003 年 12 月から東京・大阪・名古屋の 3 大都市圏の一部地域で開始され、2006 年 12 月に全国の都道府県庁所在地で開始された放送です。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 高音質と多チャンネル放送
- 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
- 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ

- UHF 対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナが UHF 対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。**VHF アンテナでは受信できません。**

地上デジタル放送の CATV 放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド [MID] 帯、スーパーハイバンド [SHB] 帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

ブックマーク

- コンテンツ画面にブックマーク*アイコンが表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。
※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字（ブックマークアイコン）が表示されます。インターネットのブックマークとは異なります。

◇ おしらせ ◇

- ARIB 放送規格の変更により、本機のホームメニューなどの仕様が変わる場合があります。
- ARIB (Association of Radio Industries and Businesses) とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。



- BSデジタル放送
- 110度CSデジタル放送

BS・110度CS 共用アンテナ

BS デジタル放送も 110 度 CS デジタル放送も、このアンテナで受信できます。

(他の衛星放送は、衛星の向きが違いため受信できません。)



BS デジタル放送

- 放送衛星 (Broadcasting Satellite) を使ったデジタル放送です。
- 地デジ難視聴対策衛星放送 (BS291ch ~ BS298ch) は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴される場合は、スキップ設定を「両方しない」に設定してください。(スキップ設定⇒ **148** ページ)
- 有料放送を視聴するときは、受信契約する必要があります。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 視聴者参加型の双方向通信番組
- 2 種類のデータ放送 (独立データ放送・番組に連動したデータ放送)

受信に必要なアンテナ

- BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ (市販品) が必要です。

110 度 CS デジタル放送

- BS デジタル放送用人工衛星と同じ東経 110 度にある通信衛星 (Communication Satellite) を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！」があります。110 度 CS デジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

特長

- テーマ別に専門化した多数のチャンネル
- 画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能
- ボード (掲示板) 機能でサービス情報の案内を閲覧可能

受信に必要なアンテナ

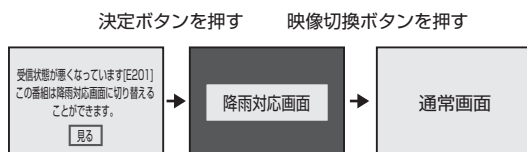
- BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ (市販品) が必要です。
- 従来の CS アンテナや BS アナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110 度 CS 帯域 (2.6GHz) まで対応したものに交換する必要があります。

BS デジタル放送のみの専用サービス

降雨対応放送

- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。映像切換ボタンを押すと元の映像に戻れます。

(画面例)



110 度 CS デジタル放送のみの専用サービス

ボード (掲示板)

- プラットフォーム (スカパー！) 単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード (掲示板) に表示されます。ホームメニューからボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。(⇒ **37** ページ)

(画面例)

情報タイトル
ワールドカップ独占放送
新規契約特典のお知らせ
新規契約特典のお知らせ
新規契約特典のお知らせ
新規契約特典のお知らせ

WOWOW やスカパー！などの有料放送を見るときは

- 有料放送を視聴するには、スカパー！などの各プラットフォーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送するか、下記にお問い合わせください。

2013年5月現在

WOWOW

WOWOW カスタマーセンター

電話番号 0120-580-807

受付 9:00～20:00（年中無休）

ホームページ <http://www.wowow.co.jp/>

スター・チャンネル

スター・チャンネル カスタマーセンター

電話番号 0570-013-111 または
045-650-4724

受付 10:00～18:00（年中無休）

ホームページ <http://www.star-ch.jp/>

- スター・チャンネル ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！カスタマーセンターへお問い合わせください。

スカパー！

スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）

電話番号 0570-039-888（ナビダイヤル）
PHS、IP 電話のお客様は
03-4334-7777

受付 10:00～20:00（年中無休）

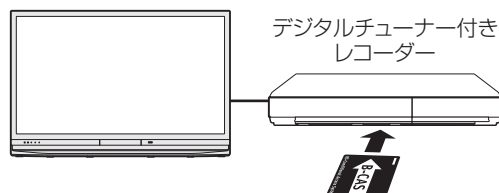
ホームページ <http://www.skyperfectv.co.jp/>

◇おしらせ◇

- 本機には、電話回線端子がありませんので、電話回線を使用した新規加入のお申し込みはできません。

デジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合について

- お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードをレコーダーに挿入しておく必要があります。挿入していないと、有料放送が録画できません。



有料放送で登録した B-CAS カードは、レコーダーに挿入します。

- レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
（仕様など）

English
Guide

故障かな？と思ったら

- ・故障かな？と思ったら、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては「保証とアフターサービス」(⇒ **184** ページ) をご覧ください。
- ・ソフトウェアの更新情報を確認してください。本機は USB メモリーを使用してソフトウェアの更新ができます。ソフトウェアの更新情報は、シャープホームページ内のサポートページをご覧ください。

AQUOS サポートページ

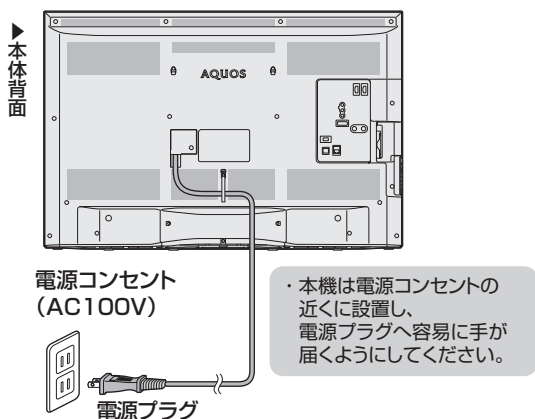
<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

故障かな？と思ったら ➡

まず確認してください

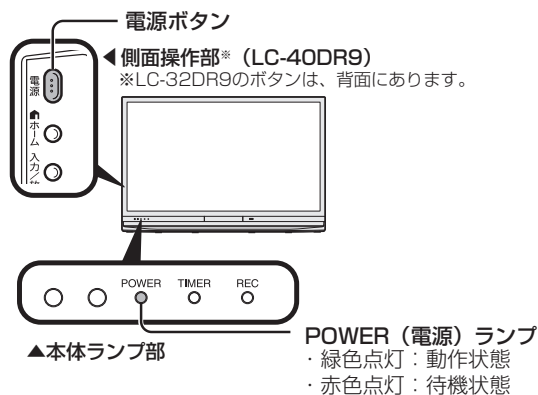
電源が入らない

電源コードのプラグを奥まで確実に差し込んでください(⇒「**かんたん!! ガイド**」(巻末) **7** ページ)



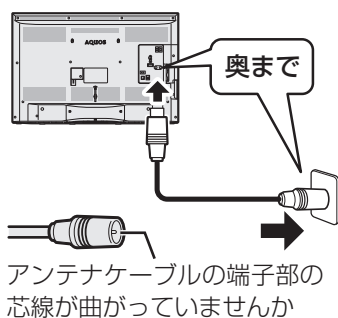
ランプが点灯していないときは、本体の電源ボタンを押して電源を入れてください

- ・本機は本体の電源ボタンを押して切っても電源ランプは消えません。リモコンで電源が入ります。
- ・電源ランプを消し、リモコンで電源が入らないようにするには、「電源ボタン設定」で「モード2」に変更してください。(⇒ **33** ページ)



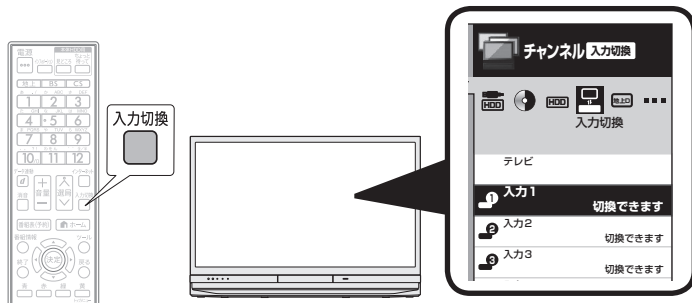
TV 放送が見られない

アンテナケーブルの端子を奥まで確実に差し込んでください(⇒「**かんたん!! ガイド**」(巻末) **3** ~ **6** ページ)



ビデオ・DVD が見られない

リモコンの入力切換ボタンを繰り返し押して、見たい機器の入力を選んでください(⇒ **27** ページ)



放送が受信できないときに 確かめること

放送が 受信できないときは

以下の画面は一例です。

確認のしかたが異なる場合は、画面の指示に従ってください。

1

画面のメッセージを確認し、決定する

- 受信状態が悪い場合、次のような画面が表示されます。

BS 103chが受信できません。[E202]
リモコンで放送切換や選局を確認ください。
アンテナの調整・接続を確認ください。
決定 で受信強度を確認します

現在放送されていません。[E203]
番組表などで放送時間を確認してください。
雨や雪などの天候の影響で
一時的に受信できない場合もあります。
決定 で受信強度を確認します

決定
を押す

2

受信状態に応じた対処のしかたを確認し、 「受信状態一覧へ」を選ぶ

電源・受信強度表示

周波数設定
信号テストー地上D
信号テストーBS
信号テストーCS

受信強度が60以上になるように
アンテナの向きを調整してください。

BS・CS
アンテナ電源

受信強度 BS-15

現在値 **42** 最大値 **55**

受信状態:受信強度が60以下です。[B]
・受信強度が60以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
・アンテナ接続に問題がないときはアンテナの点検が必要です。
※アンテナの点検は販売店などにご相談ください。

受信状態一覧へ

受信状態に応じた
対処のしかたが
表示されます。

「受信状態一覧へ」を
選んだ状態で **決定** を
押すと受信状態一覧
画面が表示されます。

決定
で選び
決定
を押す

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

3

デジタル放送の受信強度や受信できるチャンネルなどを確認する

- ・直前に視聴していた放送（「地上デジタル」または「BS デジタル」「110 度 CS デジタル」のいずれか一方）が一覧で表示されます。

受信できないチャンネルがあるときは
ここをお確かめください。

現在の受信状態の説明と解決方法

各チャンネルのアンテナ受信状態の一覧表示です。
(決定) キーを押すと受信状態を再確認することができます。

【ここをお確かめください】
◇BS・CSアンテナがBSデジタル・110度CSデジタルに対応しているかご確認ください。
◇アンテナケーブル、ブースターや分配器などは衛星デジタル放送の受信に対応したものをご使用ください。

<BS・CS>
一部の放送の受信状態が悪くなっています。
◇設置されているBS・CSアンテナが、BSデジタル・110度CSデジタル放送受信に対応していない
◇アンテナケーブルや分配器などがデジタル対応でない
※アンテナ機器の交換は販売店などにご相談ください。

<地上デジタル>

放送局	3桁	受信強度 XXXX/XX/XX	受信強度 現在	状態	
NHK総合・東京	011	1	87	64	A
NHK Eテレ・東京	021	2	87	65	A
日本テレビ	041	4	90	66	A
TBS	061	6	82	41	C
フジテレビジョン	081	8	77	35	C
テレビ朝日	051	5	85	53	B
テレビ東京	071	7	80	39	C
放送大学	121	12	80	43	C
tvk	-	-	32	0	☆E

☆が示されているチャンネルは隣接地域向け放送であるため、この地域では受信強度が十分確保できない可能性があります。

<BS・CSアンテナ>

BS 衛星信号	受信強度 現在	状態	CS 衛星信号	受信強度 現在	状態
BS-1	94	A	CS-2	90	A
BS-3	94	A	CS-4	86	A
BS-5	-	-	CS-6	67	A
BS-7	-	-	CS-8	69	A
BS-9	94	A	CS-10	46	B
BS-11	-	-	CS-12	45	B
BS-13	94	A	CS-14	43	B
BS-15	94	A	CS-16	56	D
BS-17	94	A	CS-18	42	B
BS-19	94	A	CS-20	31	B
BS-21	94	A	CS-22	41	C
BS-23	94	A	CS-24	1	C

【受信状態】
A アンテナ信号は良好です
B 受信強度が60以下です
C アンテナ信号が不足しています
または、アンテナ信号が強すぎます
D 受信状態が悪くありません
E 受信できません
※良好な受信には、受信強度が60以上必要です。

【設定内容】
地域設定 : ○○○
郵便番号 : 〒0000-0000
B-CASカード : OK
BS・CSアンテナ電源 : オート(初)
バージョン情報 : 00000000
00000000

地上デジタル放送の
受信状態一覧

BSデジタル放送と
110度CSデジタル
放送の受信状態一覧

現在の地域設定
お住まいの地域に設
定されていない場合、
地上デジタル放送を正
しく受信できません。

現在割り当てられているリモコンの数字ボタン

- ・受信している放送局はリモコンの数字ボタンに自動で割り当てられます。
数字ボタンが割り当てられていない場合は、3桁入力で選局できます。

受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

- ・(決定)を押します。(表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。)

4

終了

を押す

確認したら、受信状態一覧の画面を消す

- ・アンテナとの接続について⇒「**かんたん!! ガイド**」(巻末)3～6ページをご覧ください。
- ・かんたん初期設定をやり直すとき⇒「**かんたん!! ガイド**」(巻末)10ページをご覧ください。

◇おしらせ◇

BS・110度CS デジタル放送について

- ・デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。
BS・110度CS デジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。

テレビが正しく映らない ときや画質が悪いときは ([E202] と表示される)

故障ではないことがあります。
お電話をする前に、
ここをお確かめください。



目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリ／
インターネット

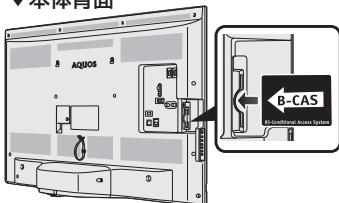
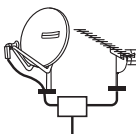
他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

こんな症状が出るときは	▶ここをお確かめください	▶参照ページ																				
映像も音声も出ない  	- アンテナケーブルは接続されていますか。 - 端子を間違えて接続していませんか。 - アンテナケーブルが切れていませんか。 - BS・CS アンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。 - B-CAS カードは正しく挿入されていますか。 ▼本体背面 	「かんたん!!ガイド」(巻末)3～6 — — 145～146 「かんたん!!ガイド」(巻末)9																				
映像にノイズ(モザイク状／ブロック状)や線が入ったり、ちらついたりする。 音声が途切れる。 映像が映らない／ 映らなくなる。 	- アンテナの向きは正しいですか。 「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ(⇒ 167 ページ)をご覧ください。  <table border="1" data-bbox="530 894 887 1064"><thead><tr><th colspan="5">BS衛星信号テスト</th></tr></thead><tbody><tr><td>BS-1</td><td>BS-3</td><td>BS-5</td><td>BS-7</td><td>BS-9</td></tr><tr><td>BS-11</td><td>BS-13</td><td>BS-15</td><td>BS-17</td><td>BS-19</td></tr><tr><td>BS-21</td><td>BS-23</td><td>終了</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 受信強度 BS-15 現在値 95 最大値 95 受信状態: 良好です。【A】 110 度 CS デジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は 110 度 CS 帯域対応のものを使用していますか。	BS衛星信号テスト					BS-1	BS-3	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-13	BS-15	BS-17	BS-19	BS-21	BS-23	終了			— 145～146 —
BS衛星信号テスト																						
BS-1	BS-3	BS-5	BS-7	BS-9																		
BS-11	BS-13	BS-15	BS-17	BS-19																		
BS-21	BS-23	終了																				
BSデジタル放送の一部のチャンネルが視聴できない	- WOWOW やスターチャンネルは有料です。視聴するためには契約をしてください。 - 地デジ難視対策衛星放送については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。(0570-08-2200)	151 148																				
110 度 CS デジタル放送が視聴できない	アンテナやアンテナケーブル、分波器は 110 度 CS 帯域 (2.6GHz) まで対応のものを使用していますか。	「かんたん!!ガイド」(巻末)4～6																				
画面にノイズが出る	- ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。 - アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	— 「かんたん!!ガイド」(巻末)3～6																				
特定のチャンネルだけ映らない	- 有料放送は視聴契約が必要です。 - アンテナの受信強度を確認してください。	151 145～146																				

・アンテナの接続については、「かんたん!!ガイド」(巻末) 3～6 ページをご覧ください。

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
 映像も音声も出ない	- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 - POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。 - テレビ放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 - 外部機器の映像が出ないとき、正しく入力切替ができていますか。 - 接続ケーブルが抜けていませんか。	「かんたん!!ガイド」(巻末) 7 11 27 27 —
リモコンが動作しない	- POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。 - 乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 - リモコンの乾電池が消耗していませんか。 - リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。 - リモコン番号が本体と一致していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 以下の場合、リモコンで動作しにくくなります。 - リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありますか。 - リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていませんか。 - 照明の向きを変えるなどしてみてください。 - 蛍光灯などが近くにありませんか。 - 受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合があります）操作切替が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。） - 電池の端子が酸化（薄黒く変色）していませんか。 - 室温が極端に低下していませんか。	11 「かんたん!!ガイド」(巻末) 1 「かんたん!!ガイド」(巻末) 1 「かんたん!!ガイド」(巻末) 1 11～12 —
 映像は出るが 音声が出ない	- 音量調整が最小になっていませんか。 「消音」状態になっていませんか。 - ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 - D映像端子を使用する場合、音声端子も接続していますか。	13 13 11 136
BDプレーヤーなどの外部機器の映像が映らない、BDプレーヤーなどの外部機器の映像が映らなくなった	- 外部機器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 - 外部機器の電源が入っていますか。 - 外部機器を接続している入力を選んでいますか。 - 外部機器からアンテナケーブルがはずれていませんか。	— — 27 —
 音声は出るが映像が出ない	- 映像オフが「する」になっていませんか。 - 映像ケーブルが抜けていませんか。	35 136
 色が薄い 色あいが悪い	「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	33
画面が暗い	「明るさ」、「映像」、「プロ設定」－「ガンマ設定」を調整してみてください。	33～34
黒色が潰れる	「明るさ」、「黒レベル」、「プロ設定」－「ガンマ設定」を調整してみてください。	33～34
画面が大きくなったり、小さくなったりする	オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	36
画面がちらついたりざらついたりする	「プロ設定」の「デジタルNR」を、「オート」「強」「中」「弱」のいずれかに設定してみてください。	34

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
テレビの上部が熱い	内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通して抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	—
画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	- 本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 - 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 - 本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買いあげの販売店にご相談ください。	— — —
リモコンや本体のボタンの操作ができない	- 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。「電源ボタン設定」(⇒ 33 ページ) を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて約 1 分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 - チャイルドロックが設定されていませんか。 - 本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	— 35 11~12
ときどき「ピシッ」と音がする	温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	—
リモコンで電源を切った後に、ときどき「カチ」と音がする(数回鳴る場合があります。)	- 本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 - デジタル放送の録画予約を実行している場合 - ダウンロードをしている場合 - 有料放送の契約情報を取得している場合 - 地上デジタル放送の番組表の情報を取得している場合	56 — — —
時刻表示が画面に出ない	「時刻表示」の設定は「する」になっていますか。	33
時刻表示が消えない	リモコンの画面表示ボタンを繰り返し押してみてください。	22
字幕表示が画面に出ない	- 放送によっては、字幕を送っていない場合があります。 - 字幕の表示方式が「表示しない」になっていませんか。	— 22
入力切換をしても選べない	入力スキップが「しない」に設定されていますか。	28
電源が勝手に切れる	自動で電源がオフになるモードになっていませんか。受信機レポートで確認してください。工場出荷時は、「無信号オフ」が「する」に設定されています。	35

目次／ご注意／各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の種類について

故障かな？／エラーメッセージ

お役立ち情報(仕様など)

English Guide

故障かな？と思ったら ➔

デジタル放送関係について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
 映像も音声も出ない	- 個人で BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナを設置しているのに、アンテナ電源が「切」になっていませんか。個人で BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナを設置し、そのアンテナに複数の機器を接続している場合で、本機以外の機器の中にも必要に応じてアンテナへ電源を供給する設定がある場合、電源供給のタイミングによってはどちらからも電源供給されない状態になり、映像も音声も出なくなる場合があります。このときは、本機のアンテナ電源を「入」にしてください。 - その局が放送していない時間帯ではありませんか。 - ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 - B-CAS カードは正しく挿入されていますか。	145 — 27 「かんたん!!ガイド」(巻末) 9

次のページに続く ➔

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
 映像にノイズ（モザイク状／ブロック状）や線が入ったり、ちらついたりする 音声途切れ 映像が映らない／映らなくなる	- アンテナの向きがずれていませんか。 - 受信強度を確認してください。 - 受信状態を確認してください。 - アンテナの前方に障害物はありませんか。 - アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	— 145 ~ 146 ・ 153 ~ 154 145 ~ 146 ・ 153 ~ 154 — 「かんたん!!ガイド」(巻末)3~6
BS デジタル放送の一部が視聴できない	- B-CAS カードは正しく挿入されていますか。 - 有料放送を視聴するための契約はしていますか。 - 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ~ BS298ch）については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。（0570 - 08 - 2200）	「かんたん!!ガイド」(巻末)9 151 148
110度CS デジタル放送が受信できない	- アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 - ブースターや分配器などをご使用になっている場合、110度CS 帯域（2.6GHz）まで対応した機器をお使いですか。	「かんたん!!ガイド」(巻末)4~6 「かんたん!!ガイド」(巻末)4~6
BS デジタル・110度CS デジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	- 強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。 - 春分や秋分の前後 20 日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。これは故障ではありません。	— —
地上デジタル放送が受信できない	- お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 - 地上デジタル放送の受信に必要な UHF アンテナが正しく設置されていますか。 - アンテナ線は正しく接続されていますか。 - お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。 - チャンネル設定は正しくされていますか。	— — 「かんたん!!ガイド」(巻末)3~6 146 147
画面にノイズが出る	VHF/UHF のアンテナケーブルが BS・110度CS デジタルアンテナケーブルと接近していませんか。	—
特定のチャンネルだけ映らない	- 契約していない有料放送ではありませんか。 - 受信強度を確認してください。 - 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ~ BS298ch）については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。（0570 - 08 - 2200）	151 145 ~ 146 148
番組表が表示されない 番組表に表示されない番組がある	- 地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源を切った（待機状態）ときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 - デジタル放送を選局していますか？ - 電源を入れた後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。 - スキップをする設定にしていますか。	17 — — 148
番組の予約をしても受信できない	契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	—
デジタル放送が受信できない	- 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。「電源ボタン設定」(⇒ 33 ページ)を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いて約 1 分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 - BS デジタル放送および 110度CS デジタル放送を視聴するとき、BS・110度CS 共用アンテナ(市販品)および BS・110度CS デジタル用アンテナケーブル(市販品)を接続していますか。	— —

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
録画が中断されている	- 録画中に停電などがありましたか。 - ディスク強制排出をしませんでしたか。ディスク強制排出した場合は、録画が中断されます。	— —
予約したのに録画されていない、途中で切れている	- 予約待機中 / 録画中に停電がありましたか。録画中に停電などで録画が中断された場合は、その番組は正常に保存されません。 - 停電などで録画が中断された場合、録画が中断された時点より前の部分の内容が数分ぶん損なわれることがあります。 - 録画可能時間は十分でしたか。録画可能時間が少ない場合、不要なタイトルを消去してください。 - 放送時間に変更されていませんか。 - 番組が延長されていませんか。 - 電波状態が悪い番組では、途中で録画が停止する場合があります。 - 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 - 途中から録画禁止の番組が始まったときなどは、録画は中断されます。 - 予約した番組の前の番組が時間延長になりませんでしたか。予約を開始しようとしたときに、放送局から送られてくる番組の開始時刻の情報が正しく更新されていない場合があります。この場合は予約が失敗となります。日時指定予約の場合、前の番組が延長しそうなときは最大延長時間を加味し、予約することをおすすめします。 「受信機レポート」を確認してください。 「予約の実行に失敗しました。」というレポートがある場合は、予約の実行に失敗しています。 - レポートに「前の予約番組が延長されたため、予約の開始ができませんでした。」または「番組放送時間に変更されました。」と書かれている場合は、番組の放送時間の変更により録画ができなかった事例です。 - レポートに「予約の開始時間に電源が切れていた。」と書かれている場合は、「電源ボタン設定」が「モード2」の状態では本体の電源を切ったり、電源コードを抜いたりして、予約開始時刻に電源が入らなかった事例です。「電源ボタン設定」が「モード2」の状態では録画予約した場合は、必ずリモコンで電源を切ってください。	— — 66 — — — — — 37
番組表から予約したのに、途中で番組が終わっている	デジタル放送の場合、放送局から番組延長の情報が送られてこないで番組延長機能が動きません。	—
BS デジタル放送のデータ放送が記録されていない	データ放送は記録できません。	—
録画時や再生時に「カチャ」や「コトコト」と音がする	本機を使用していてしばらく操作をしていなかった場合は、録画開始時および再生開始時に本体から「カチャ」という音がする場合があります。本体の動作音で故障ではありません。	—

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
BDやDVDディスクの画面が映らない	BD や DVD ディスクに指紋や汚れが付いていませんか。BD や DVD ディスクをクリーニングしてください。	10
映像が停止する	本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。	—
スピーカーから音が出ない、音が歪む	- 一時停止またはスロー再生/早送り (BDの早送り1は除く)/早戻し中は、音声が出ません。 - BDまたはDVDディスクをクリーニングしてください。 - BDまたはDVDディスクに記録されている音声に、オーディオ信号以外の音声や規格外の音声記録されているなど音声の記録状態によっては、音声が出ない場合があります。 - デジタル音声ケーブルを使ってオーディオ機器と接続したとき、デジタル音声設定を「ビットストリーム」に設定しているときは、「DTS-HD Master Audio」や「ドルビーTrueHD」など7.1ch音声は出力されません。 「コアストリーム(5.1ch)」音声のみ出力されます。 - 市販のBDビデオの「ドルビーデジタルEX6.1ch」音声や「DTS・ES6.1ch」音声など6.1ch以上の音声は出力されません。5.1ch音声となります。	— 10 — 144 — —
BD や DVD ディスクが再生できない	- BD ビデオまたは DVD ビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。リージョンコードが「A」、またはリージョンコードの記載がない (リージョンコードが設定されていない) BD ビデオが再生できます。 - 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。BD-RE Ver.1.0 は再生できません。 - BD ディスクヘダビンクしながら、そのディスクを再生することはできません。 - DVD ディスクの場合は、録画した機器でファイナライズを行ってください。 - ディスクに指紋や汚れが付いている場合は、クリーニングしてください。 - ディスクを正しく入れていますか。 - 本機内部の結露 (つゆつき) を除去してください。 - ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な再生ができない場合があります。 - 他の BD レコーダーで H.264 長時間録画された BD ディスクは再生できない場合があります。	179 179 — — 10 14 — —
市販の BD ビデオまたは DVD ビデオを再生中、吹き替え音声切り替わってしまう	市販の BD ビデオまたは DVD ビデオによっては、テレビ放映当時の音声をそのまま収録しているものがあります。そのため、吹き替えの音源がない部分は、オリジナルの音源になりますので、日本語と外国語が交互に切り換わる動作をすることがあります。	—

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
早送り／早戻し（サーチ）がうまくいかない	- ディスクや再生しているシーンによっては、早送りサーチをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。 - タイトルをまたぐサーチはできません。（音楽用 CD は除く）BD・DVD ディスクの場合は、再生状態になります。	— —
他機で録画した DVD ディスクが本機で再生できない	- 録画した機器でファイナライズをしていない DVD ディスクは本機で再生できないことがあります。録画に使用した機器で、ファイナライズを行ってください。 - 本機で対応していないフォーマットで録画したディスクは再生できません。 - パソコンなどで作成したディスクは再生できない場合があります。	— — —
再生できない／再生が中断される	- BD にダビングしているときは、再生はできません。 - 再生中に選局操作をしたときは、再生が停止します。 - 本体HDD録画中は、BDビデオの再生はできません。	— — —
再生できないタイトルがある	- 正常に録画されなかった映像は再生できません。 - 録画時間が短い場合は、再生できないことがあります。	— —
データ放送が再生できない	連動データ放送は、録画画質「5 倍」「7 倍」「10 倍」「12 倍」の場合は録画されません。	48
ディスクを入れても出てきてしまう	- 市販の BD ビデオや DVD ビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。 - 本機で再生できるディスクかどうか、確認してください。 - BD または DVD ディスクを正しく入れてください。 - BD または DVD ディスクをクリーニングしてください。 - 録画されていない DVD-RAM を入れていませんか。 - ディスクの表裏を間違えていないか確認してください。	179 179 14 10 — —
ディスクが出ない	- 本体の電源が切のときは、ディスク取り出しはできません。本体の電源ボタンを押して、電源を入れ直してください。 - POWER（電源）ランプが点灯してから、本体またはリモコンのトレイ開／閉ボタンを押してください。 - ダビング中、ディスク初期化中、BD ドライブの起動中にはディスクの取り出しはできません。動作終了後にトレイ開／閉ボタンを押して取り出してください。 - ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「本体レコーダー設定」－「(BD/ 本体 HDD) 管理」で「ディスク強制排出」を選んでください。 - 上記の操作を行ってもディスクが出てこないときは、お買いあげの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。	— — — — 185
ディスクを入れると「ピピッ」と音がする	ディスクを読み込むための音で故障ではありません。	—
録画時や再生時に「カチャ」や「コトコト」と音がする	本機を使用していてしばらく操作をしていなかった場合は、録画開始時および再生開始時に本体から「カチャ」という音がする場合があります。本体の動作音で故障ではありません。	—
 ホーム を押してもホームメニューが表示されない	メッセージが表示されたときは、メッセージに従って操作してください。	—
MD レコーダーとデジタル接続をして CD から MD に録音したとき、CD と MD の曲番が合わない	- CD の曲間が短い場合は、CD と録音した MD の曲番が一致しないことがあります。 - 視聴メニューでトラックの指定を行った場合などは、CD と録音した MD の曲番が一致しないことがあります。	— 89

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない	- USB ハードディスクの電源が入っていますか。 - 録画機器選択画面に USB ハードディスクを表示するには、事前に「機器の初期化」をする必要があります。 - USB ハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	— 52 —
USB ハードディスクに正しく録画できない	- 録画先に指定した USB ハードディスクが録画機器選択画面に表示されていますか。 表示されない場合は上記の「USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。 - USB ハードディスクに十分な残量がありますか。残量が少ない場合は、不要な番組を削除するか、残量のある別の USB ハードディスクを接続してください。 「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。	— — 53
USB ハードディスクに録画したコンテンツが表示されない／再生できない	- 本体 HDD に録画中は、USB ハードディスクに録画した番組は再生できません。 - 本機に接続している USB ハードディスクは本機で録画したものですか。 本機以外のテレビ受信機で録画された USB ハードディスクを本機でコンテンツリスト表示／再生することはできません。 - 本機が故障した際に主要部品を交換していませんか。 「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。	— — — 53
USB ハードディスクが使用できない	「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。 - 使用したい機器が録画機器選択画面に表示されていますか。表示されない場合は、上記の「USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。 - それでも使用できない場合は以下の操作をしてください。 ① 本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグを抜く ② USB ハードディスクの電源を入れ直す ③ 本機の電源プラグを差し込んで電源を入れる	53 — —
USB ハードディスクに録画した番組が消えた	- USB ハードディスク使用中に停電や雷などによる瞬間的な停電、USB ハードディスクの電源プラグを抜く、プレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。(上記の場合、録画した番組が消える場合があります。)(録画した番組がすべて消えた場合や、USB ハードディスクが動作しない場合は、機器の初期化を行ってください。) - 異なる USB ハードディスクをつないでいませんか。 「USB-HDD の選択」で異なる USB ハードディスクを選んでいませんか。	— — 53

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
ダビングができない、 ダビングが途中で止まる	- ダビングができるディスクは、BD-RE Ver.2.1、Ver.3.0 ディスク、BD-R Ver.1.1、Ver.1.2、Ver.1.2 LTH、Ver.1.3、Ver.1.3 LTH、Ver.2.0 ディスクのみです。DVD ディスクにはダビングできません。 - ディスク保護が設定されている BD-RE Ver.2.1、Ver.3.0、BD-R Ver.1.1、Ver.1.2、Ver.1.2 LTH、Ver.1.3、Ver.1.3 LTH、Ver.2.0 ディスクを使用したときはダビングできるディスクでも再生専用ディスクとなります。(ダビングや初期化は行えません。) - BD の空き時間は足りていますか。BD-RE の場合は不要なタイトルを消去して、必要な空き容量を確保してください。BD-R の場合は新しいディスクをご用意ください。 - BD 内に記録できるタイトル数やチャプター数は下記のとおりです。それ以上ダビングすることはできません。 - タイトル数 200 タイトル - チャプター数 1 タイトルにつき 98 チャプター 1 層・2 層は合計 1000 チャプター 3 層は合計 19600 チャプター - 本機が BD を判別し終える前に、ダビングの操作を始めませんでしたか。REC (録画) ランプが白色点灯するまで、操作はお待ちください。 - ディスク再生中はダビングできません。 - ダビングができるタイトルですか。 - BD をクリーニングしてください。 傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用の BD と本機との相性により、適切なダビングができない場合があります。 - 停電などはありませんでしたか。 - 本体の電源ボタンで電源を切っていませんか。 - 他の BD レコーダーでシーンの追加やシーンの消去をたくさん行ったディスク (51 回以上) では、ダビングができない場合があります。 - 他機で長時間録画したディスクは、ダビングができない場合があります。 - ダビング時の制限事項があります。「ダビングの制限事項」をご覧ください。 - 電波状態や停電などで録画が停止した番組は、正常に録画終了できていないためダビングできません。 そのような番組はダビングタイトルの選択時に、「正常に録画できませんでした。」のメッセージを表示します。 - 本機の時計は設定されていますか。日付・時刻を設定してください。 - 症状が改善されない場合、他にお持ちのディスクで確認してください。	— 73 — — — 10 — — — — — 70 — 33 —
ダビングしたら、 タイトルが消えてしまった	ダビングしたタイトルが①「1 回だけ録画可能」、②「ダビング 10」の番組で 9 回までコピー済みではありませんか。このような場合は、複製が禁止されているので、BD ディスクへダビングすると複製ではなく移動 (ムーブ) となり、本体 HDD や USB ハードディスクからは消去されます。	—
BD・DVD ディスクから ダビングできない	本機は BD や DVD から本体 HDD や USB ハードディスクへのダビングはできません。	—
ダビング予約ができない	- 上記の「ダビングができない、ダビングが途中で止まる」をご確認ください。 - ダビング予約は、1 件のみ可能です。 「1 回だけ録画可能」のタイトルや「ダビング 10」で 9 回までダビングしているタイトルに、タイトル保護を設定しているとダビング予約ができません。 - 録画中や、別の録画予約を設定した時間と重なる時間のダビング予約はできません。	— — — —
ディスクが出ない	162 ページの「ディスクが出ない」をご覧ください	—

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
初期化できない	- ディスクに指紋や汚れが付いている場合はクリーニングしてください。 - 症状が改善されない場合、他にお持ちのディスクで確認してください。	10 —
ダビング予約したのにダビングされていない	- ダビング予約の開始時刻の3分前までに、再生やダビングの操作を終えてください。 - ファミリンク予約をお使いの場合は、ファミリンク録画予約の終了から5分以上遅らせて「ダビング開始時刻」を設定してください。 「1回だけ録画可能」のタイトルや「ダビング10」で9回までダビングしているタイトルに、タイトル保護を設定しているとダビング予約ができません。	— — —

故障かな？と思ったら ➡

インターネット関係について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
ページが表示されなくなった	- ブロードバンドルーターや信号変換機器の電源が切れていませんか。 - LAN ケーブルがはずれていませんか。 「ネットサービス制限設定」－「インターネット接続制限」を「禁止しない」に設定してください。 - ブロードバンド回線やプロバイダーのメンテナンスなどにより、接続できない期間ではありませんか。しばらく、時間をおいてからもう一度接続してください。	— 100 103 —
文字が読めない文字になった	ブラウザメニューの文字コードを変更してください。	108
カーソルボタンでページの続きを表示できない	ページの読み込みが終わるまでお待ちください。	—
インターネットに接続できない	「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」をご覧ください、接続・設定状況をご確認ください。 【パソコンをお持ちの場合】 - ご使用になっている LAN ケーブル (CAT5 以上) をパソコンに差し込み、パソコンでインターネットに接続できるかどうか試してください。 - できる場合は、ブロードバンドルーターから LAN 側 (本機側) の接続・設定を確認してください。できない場合は、ブロードバンドルーターから WAN 側 (プロバイダー側) の接続・設定を確認してください。 【停電などにより、モデムやケーブルモデム、ブロードバンドルーターの電源をいったん切った場合など】 - 電源が再投入されてから数分程度インターネットが復旧するまで時間がかかる場合があります。 - 外部からのノイズなどにより、通信機能に障害が発生した可能性があります。「電源ボタン設定」(⇒ 33 ページ) を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切り、1 分間放置した後、再度電源を入れてください。	97～100 — —
ホームページの音声が聞こえない ホームページの動画が再生できない	本機では、一部の形式の音声ファイル (WAV や AAC /ドルビーデジタル形式の一部) については再生可能ですが、一般の Web ページで配信されている動画や音声はパソコン向けに作られており、特に本機の機種名が対応機種としてその Web ページに明記されていない限りは、基本的に再生できないとお考えください。	—
パソコンのインターネット機能でできることが、本機ではできない	- 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて以下のような点などが異なりますので、ご了承ください。 - ファイルのダウンロードはできません。 - PDF (電子文書) を読み込む機能はついておりません。 - メールの送受信機能はありません。	—

故障かな？と思ったら ➡

アクトビラ関係について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像や音声がときどき停止する	- お使いのブロードバンド回線は光回線（FTTH）ですか。アクトビラ ビデオやアクトビラ ビデオ・フルをお楽しみになる場合は、光回線（FTTH）が必要です。 - ご家庭のブロードバンド環境に接続しているパソコンで、大容量のファイルをダウンロードしたり、動画をストリーミング再生したり、別のテレビでもアクトビラ ビデオの再生をしたりしていませんか。回線の使用状況によっては、映像や音声が停止します。他の機器の使用を中断したあと、もう一度アクトビラ ビデオ・フルを再生してみてください。 - 本機とブロードバンドルーターを LAN ケーブルで接続してください。 - ブロードバンドルーターなどの機器の性能によっては、通信速度が足りない場合があります。回線事業者やプロバイダーから機器をレンタルしている場合は、ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。 - 光回線（FTTH）をご利用の場合でも、ご加入のプランによってはアクトビラ ビデオを再生するために十分な通信速度でない場合があります。ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。	99
		—
		100
		—
アクトビラの画質が悪い	- デジタル放送とは異なる方式で映像を配信しているため、デジタル放送のハイビジョン放送と画質が異なります。 - 映像の圧縮率が高いコンテンツの場合は、低画質になります。	—
		—

故障かな？と思ったら ➡

IPTV 関係について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
ポータル情報が取得できない	お使いのブロードバンドルーターは IPv6 に対応していますか。	—
チャンネル登録で失敗する	IPTV のマルチキャスト開通処理が完了していない可能性があります。ポータル画面で回線番号の登録をしてください。	—
テレビ放送や VOD の映像が乱れる	使用している光回線を IPv4 のインターネット接続と共用している場合は、家庭内の別の機器がインターネットに接続しているとテレビ放送や VOD の映像が乱れることがあります。	—
ライセンスが無いと表示される	追加契約が必要なチャンネルです。契約状況についてポータルで確認するか、サービス事業者にご確認ください。	—

エラーメッセージが出たら

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？
エラーメッセージ

お役立ち情報
(は)様は(C)

English
Guide

エラーメッセージが出たら ➡

アンテナ受信強度に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	ページ
受信強度が 60 以下です。[B]	・ 受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	145～146
アンテナ信号が強すぎます。[C]	・ アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。	—
アンテナ信号が不足しています。[C]	・ ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。	—
アンテナ信号が良くありません。[D]	・ アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。	—
受信できません。[E]	・ アンテナが正しく設置されているか確認してください。 ・ アンテナ線を確認してください。 ・ アンテナの設定が合っているか確かめてください。	— 「かんたん!!ガイド」 (巻末) 3～6 145～146

エラーメッセージが出たら ➡

B-CAS カードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
B-CAS カードを正しく挿入してください。 B-CAS カードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。	****	・ B-CAS カードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、挿入やり直してください。	「かんたん!!ガイド」 (巻末) 9
この B-CAS カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	・ B-CAS カスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	「かんたん!!ガイド」 (巻末) 9
このカードは使用できません。 正しい B-CAS カードを装着してください。	****	・ 本機に付属の B-CAS カードを挿入してください。	「かんたん!!ガイド」 (巻末) 9
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	・ ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	—
この B-CAS カードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	・ ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	—
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	・ このチャンネル(番組)は視聴できません。	—

B-CAS カード カスタマーセンター

電話 0570-000-250 (2013 年 5 月現在)

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	E201	降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	150
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	****	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	—
〇〇 〇〇〇 ch が受信できません。リモコンで放送切換や選局を確認ください。またはアンテナの調整・接続を確認ください。雨や雪などの影響で一時的に受信できない場合もあります。	E202	- アンテナ線を確認してください。 - 受信強度を確認してください。 - アンテナの設定が合っているか確かめてください。 - 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	「かんたん!!ガイド」 (巻末) 3~6 145~146 ・153~154 145~146 —
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	E203	- 番組表などで放送時間を確かめてください。 - 受信強度を確認してください。 - 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	— 145~146 ・153~154 —
〇〇〇チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	—
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。 受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	****	- 電源を入れ直してください。 - BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	— 145~146・ 「かんたん!!ガイド」 (巻末) 3~6
〇〇〇チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	—
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	—
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	—
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	—
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	—
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	—
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	—
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	—

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
このディスクは再生できません。	- ディスクを確かめて入れ直してください。 - 録画中に停電したり、誤って電源コードを抜かませんでしたか。そのようなディスクは認識できなくなる場合があります。
ディスクが読み込めませんでした。	- ディスクに指紋や汚れが付いている場合は、ディスクをクリーニングしてください。(⇒10ページ) - 症状が改善されない場合、他にお持ちのディスクで確認してください。
ディスクが挿入されていません。	録画用BD-REまたは録画用BD-Rを入れてください。
ディスクの準備ができていなかったためダビングできませんでした。	録画用BD-REまたは録画用BD-Rを入れてください。
初期化できませんでした。	- ディスクを確かめて入れ直してください。 - ディスクに指紋や汚れが付いている場合は、ディスクをクリーニングしてください。(⇒10ページ)
録画可能なディスクを挿入してください。	録画用BD-REまたは録画用BD-Rを入れ直してください。
この番組を最後まで録画します。 ディスク容量不足の可能性があります。 ディスクが一杯になれば録画は自動停止します。	不要なタイトルを消去してください。
このディスクは保護されています。	ディスク保護を解除してから行ってください。
この番組は録画できません。	独立データ放送は録画できません。
番組の時間が未定のため、録画予約ができません。	終了時刻が未定の番組、長さが1分未満の番組、長さが48時間超の番組は録画予約できません。
予約できる番組数を超えているため、予約できません。	予約できる番組は、最大32番組です。新しい予約を設定する場合は、どれか他の予約を消去してください。
録画できない番組のため、視聴予約にしました。	- 録画禁止の番組は録画予約できません。 - 独立データ放送は、録画できません。
この番組を本体HDD録画予約しました。 (録画番組の連動データは、記録されません)	連動データを録画したい場合は、録画画質を「標準(DR)」 「2倍」 「3倍」のいずれかに設定してください。
本体レコーダーが外れているため、視聴予約にしました。	本体レコーダーが外れている可能性があります。販売店またはシャープお客様相談センター(⇒185ページ)にご相談ください。
タイトル保護が設定されています。 解除してからダビングしてください。	「1回だけ録画可能」または「ダビング10」で9回までコピー済みのタイトルは、オリジナルの移動のみ可能です。タイトル保護がかかったタイトルは、移動ができませんので、タイトル保護を解除してからダビング(移動)してください。

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
この形式の写真データは表示できません。	- 規格外の写真は表示できません。 - なお、パソコンで写真を編集すると、本機で表示できない規格のデータ形式に変更される場合があります。
データの容量が大きすぎます。	- データの容量が 6MB 以下のデータとしてください。 - デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズを小さくすると、6MB 以下のデータで撮影できる場合があります。 例) 4300 × 3225 ⇒ 2048 × 1536 - また撮影済みのデータではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
写真のサイズが大きすぎます。	- 画素サイズ 4096 × 4096 以下の写真にしてください。 - デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズは変更できる場合があります。 例) 4300 × 3225 ⇒ 2048 × 1536 - また撮影済みの写真ではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
このデータは表示できません。	本機で表示可能な仕様の JPEG 以外のデータや、壊れたデータは表示できません。
次の写真を取得できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	写真取得時サーバー機器に接続できなくなっています。ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。また SD カードを持つサーバー機器では SD カード挿入後ホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
接続できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	サーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。また SD カードを持つサーバー機器では SD カード挿入後 SD カードの内容をホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
印刷設定 機器が見つかりません。 対応プリンタの電源、接続を確認ください。	プリンタの電源が入っていないか、プリンタがホームネットワークに接続されていないか、ホームネットワーク接続設定が正しくされていない可能性があります。プリンタの電源、接続、設定を確認してください。
写真の印刷 印刷の準備をしています。	プリンタに印刷指示を行っていますので、しばらくお待ちください。
写真の印刷 この写真の印刷を受け付けました。	- プリンタへの印刷指示を完了しました。 - 写真を表示することができます。
写真を表示できません。 フォルダが削除されたか、機器が再起動された可能性があります。	サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
印刷できません。 プリンタが使用中の可能性があります。	プリンタが印刷実行中か使用中の場合にさらに印刷しようとする、このメッセージが表示される場合があります。印刷完了または使用できるようになるまでお待ちください。
印刷を中断しました。 プリンタとの接続を確認してください。	プリンタが何らかの原因で印刷を中断しました。プリンタの状態または正常に接続できているか確認してください。

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
印刷できません。 プリンタを確認してください。	プリンタが何らかの原因で印刷できなくなりました。プリンタのインクや用紙が無くなっていないか、用紙が詰まっていないか、カバーが開いていないか、などを確認してください。
機器に接続できません。 接続機器選択へ移動します。	前回接続したサーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。
フォルダにアクセスできません。 トップフォルダへ移動します。	サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
接続できません。 接続機器から映像データを取得できません。	サーバーの設定を確認してください。サーバーによっては BD 再生中や設定画面にしていると取得できない場合や、インターネットを利用中は取得できない場合があります。
再生できません。 この形式の映像データは再生できません。	- 規格外の映像データは再生できません。 - 本機で再生できる映像データの形式か確認してください。
再生できません。 この形式の音楽データは再生できません。	- 規格外の音楽データは再生できません。 - 本機で再生できる音楽データの形式か確認してください。
データを取得できません。 フォルダが削除されたか再起動された可能性があります。 初期画面に戻ります。	メモリーモードを実行する際、前回再生したファイルが削除されたり、サーバーが再起動されたなどにより、データを取得できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。
接続できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。 初期画面に戻ります。	メモリーモードを実行する際、前回接続したサーバーが起動されていないなどにより、接続できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(は) (は) (は)

English
Guide

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
USB-HDD が接続されていない。もしくは電源が切れているため録画できません。 USB-HDD が認識できないため、録画できません。USB-HDD を接続し直してください。 まもなく録画予約の開始時間です。録画可能な USB-HDD が接続されていません。	• USB ハードディスクを本機に接続し、使用する USB ハードディスクを選択してください。(⇒ 53 ページ) • 初めて本機に接続する USB ハードディスクの場合は、接続後に初期化してください。(⇒ 52 ページ) • USB ハードディスクの電源を入れてください。
タイトルが一杯です。これ以上録画できません。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
USB-HDD 準備中のため録画できません。	• USB ハードディスクの準備が終わるまでお待ちください。
USB-HDD に異常があり録画を停止しました。	• USB ハードディスクの故障の可能性があります。USB ハードディスクの状態をお確かめください。
USB-HDD の空き容量がなくなったため録画を中断しました。	• 不要なタイトルを消去してください。
初期化中のため録画できません。	• USB ハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。
録画できる最大タイトル数を超過しています。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
予約可能時間を過ぎたので、リモコンの録画ボタンで直接録画してください。	• リモコンの録画ボタンで、直接録画してください。
予約方法を選択してください。 (録画可能な USB-HDD が見つかりません。)	• 録画可能な USB ハードディスクを接続してください。もしくは、視聴予約／ファミリンク録画予約から予約したい方法を選択してください。
USB-HDD の容量が不足しています。	• 不要なタイトルを消去してください。
予約できる番組数を超過しているため、予約できません。	• 予約できる番組は、最大 32 番組です。新しい予約を設定する場合は、どれか他の予約を消去してください。
USB-HDD が接続されていない。もしくは電源が切れていました。録画前には USB-HDD を接続し、電源を入れておいてください。	• USB ハードディスクを本機に接続し、使用する USB ハードディスクを選択しておいてください。(⇒ 53 ページ) • 初めて本機に接続する USB ハードディスクの場合は、接続後に初期化しておいてください。(⇒ 52 ページ) • USB ハードディスクの電源を入れておいてください。
タイトル数の制限を超えたので録画できませんでした。別の録画用 USB-HDD を使用してください。この USB-HDD に録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
USB-HDD に空き容量がないため、録画できませんでした。別の録画用 USB-HDD を使用してください。この USB-HDD に録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	• 録画する前に USB ハードディスクの空き容量をご確認ください。空き容量がない場合は別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
USB-HDD 初期化中のため、録画できませんでした。	• USB ハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。
USB-HDD に異常があり、録画できませんでした。	• USB ハードディスクの故障の可能性があります。USB ハードディスクの状態をお確かめください。

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
USB-HDD に空き容量がなくなったため、録画を停止しました。別の録画用 USB-HDD を使用してください。この USB-HDD に録画を行う場合には、不要なタイトルを消去してください。	本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
USB-HDD に異常があり、録画を停止しました。	USB ハードディスクの故障の可能性があります。USB ハードディスクの状態をお確かめください。
1 タイトルの録画時間が 6 時間を超えたため、録画を停止しました。1 タイトルが 6 時間以上の連続録画はできません。	1 タイトルの録画時間は最長 6 時間なので、6 時間単位で録画してください。
USB-HDD が接続されていない。もしくは電源が切れているため再生できません。USB-HDD が認識できないため、再生できません。	本機に USB ハードディスクを接続し、使用する USB ハードディスクを選択しているかお確かめください。(⇒ 53 ページ) また、USB ハードディスクの電源を入れてください。
このタイトルは再生できません。	再生できないタイトルである可能性があります。
再生できるタイトルがありません。	本機に接続されている USB ハードディスクの中に再生できるタイトルがありません。再生できるタイトルが入っている別の USB ハードディスクを本機に接続してください。
記録長が短いため、再生できません。	記録時間が 3 秒未満のタイトルは再生できません。
日付・時刻が設定されていません。 日付・時刻を設定してください。	時計合わせを行ってください。
この番組は録画できません。	- 独立データ放送は録画できません。 - USB ハードディスクには IPTV を録画できません。
録画禁止の番組です。 録画できません。	「録画禁止」の番組は録画できません。
番組の時間が未定のため、録画予約ができません。	終了時刻が未定の番組、長さが 1 分未満の番組、長さが 48 時間超の番組は録画予約ができません。

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USB メモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(は) (は) (は)

English
Guide

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
接続している USB 機器の電源容量が大きすぎます。 本体の電源を切ってから、必要な USB 機器のみを接続し直してください。	• USB 過電流が発生しました。USB 機器を多く接続すると、発生する場合があります。 • 本体の電源を切ってから、使用しない USB 機器を取り外してください。

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
アクセスできませんでした。[C204]	C204	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	—
サーバー証明書 ^{*1} が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	—
サーバー証明書 ^{*1} に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	—
双方向サービスを利用するには、デジタル放送接続制限を「禁止しない」に設定してください。	****	• 「ネットサービス制限設定」－「デジタル放送接続制限」で「しない」を選択してください。	103
まだルート証明書 ^{*2} を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	• アクセスしないことをお勧めします。	—
サーバー証明書 ^{*1} の信頼性が確認できません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	• アクセスしないことをお勧めします。	—
まだ新しいルート証明 ^{*2} を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	• アクセスしないことをお勧めします。	—

※ 1 サーバー証明書… 暗号化通信に使われる暗号鍵。Web サーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

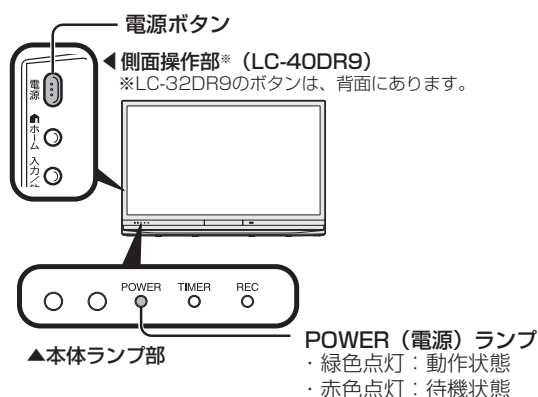
※ 2 ルート証明書… 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S05	・ 録画ができない「コンテンツ（放送や番組）」、または録画ができない「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」です。「コンテンツ（放送や番組）」または「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S06	・ このネットワークは録画することができません。 ・ ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S07	
録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。	S09 S10 S11 S12	・ ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S13	・ この「コンテンツ（放送や番組）」は録画することができません。 ・ 「コンテンツ（放送や番組）」を確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S14	
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S16	・ 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」を確認してください。
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	S17	・ 再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	S18	・ 現在録画中のため、新たに録画できません。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S19	・ 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」が書き込み禁止です。 ・ 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」を確認してください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	S20	・ 放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S21	・ 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」に録画できません。 ・ 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」を確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	S22	・ 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」の容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	S23	・ 視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	S31	・ 録画機器を確認してください。

こんなときは

本機の操作ができなくなったときは(リセットのしかた)

- ・強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
- ・このときは、本体の電源ボタンを押して、一旦電源を切ったあと、再度電源を入れてから、操作をやり直してください。
- ・電源を入れ直してもまだ操作できないときは、本体の電源ボタンを5秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、約1分待ってから電源ボタンを押して電源を入れたあと、再び操作をやり直してください。この操作をしてもチャンネル設定やメニュー、予約などの設定項目は保持されます。

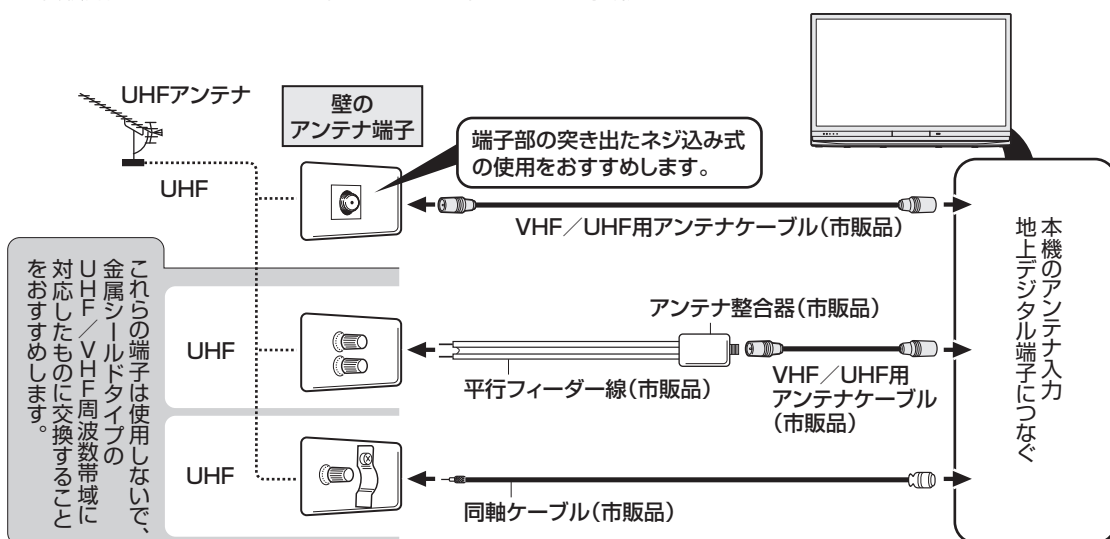


◇おしらせ◇

- ・再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合について

- ・壁のアンテナ端子のかたちが「**かんたん!! ガイド**」(巻末)3～4ページの記載と異なる場合は、市販品のケーブルなどを使って、以下のように接続します。



本体レコーダーの状態を確認する

- 本機は、本体レコーダーの状態を数字・アルファベット（状態表示コード）で表示する機能を搭載しております。（自己診断機能）
- お問合せの際、適切な対応を行うために、表示される数字・アルファベット（状態表示コード）をお聞きする場合があります。

1 ホームメニューを表示して、「設定」-「（お知らせ）」-「システム動作テスト」を選び、決定する

2 「テスト実行」で決定する

3 「システム状態2」に表示されている数字を確認する

システム状態 1 : 0000-0000-0000-0000-C
システム状態 2 : 0000-0000-0000-0000-C
B-CASカード : 0000-0000-0000-0000-C
DRM番号 : 0000-0000-0000-0000-C

テスト終了

- 状態表示コードで全ての状態が把握できるわけではありませんので、あらかじめご了承ください。

システム状態 2 のコード表示について

0000 - XXXX - XXXX - XXXX - 0000
自己診断結果を表示（状態表示コード） 本体 HDD 状態表示

停電になったときは

停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目があります。

- テレビにおける設定内容（ホームメニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。時刻の自動設定がされないときは、「時刻設定」（⇒ **33** ページ）で設定してください。
- 停電前に下記の状態のものは解除されます。
 - 静止画・オフタイマー・消音・映像オフ・2 画面

- 次の状態表示コードの場合は、ご利用のディスクに何らかの要因があり正常な読み取りや書き込み（再生やダビング）が正常にできていない、本機の温度が上昇しているなどの判断をしております。ディスクの状態や本機の設置状態を確かめてください。

状態表示コード	確認いただきたいディスクの状態／製品設置の状態
0000	• ご使用のディスクを製品から取り出し、記録面（光沢面）の汚れ（指紋など）を拭き取ってから改善されるかお試しください。ディスクのお手入れ方法は 10 ページをご確認ください。 • 別の「ダビング用 BD ディスク」をお持ちのときは、他のディスクへ入れ替えをしていただき、改善されるかお試しください。
0300	
0321	
0322	
0323	
0324	
0325	
032F	
0180	• 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 • 放熱を十分に確保してから、同様の状態が発生するか確認をお願いします。 • 他の熱を出す製品に乗せているときは設置場所を変更してから、同様の状態が発生するか確認をお願いします。

- 症状が改善したときはそのままご使用いただき様子を見てください。症状が改善しても状態表示コードは消去されずに、「履歴」として表示されます。

本機を電源オフにするときは／電源プラグを抜くときは

- 本体の電源ボタンで本機の電源をオフにしたいときは、「電源ボタン設定」を「モード2」にしてください。
「モード1」に設定されていると、本体の電源ボタンを押しても「待機状態」となり、電源オフにはなりません。

「電源ボタン設定」について

項目	内容
モード1	• 本体の電源ボタンを押すと、本機が「待機状態」になります。BDへのダビング中や本体HDD／USBハードディスクへの録画中や録画予約設定中に本体の電源ボタンを押しても、録画が正常に行われるための設定です。
モード2	• 本体の電源ボタンを押すと、本機が電源オフになります。ダビング中や録画中の場合は中断されます。また、予約やタイマーは実行されません。

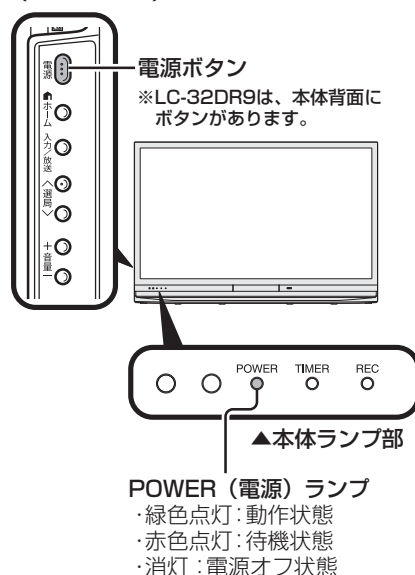
◆ 重 要 ◆

- 「モード2」に設定し、POWER（電源）ランプが消灯しているとき以外に電源プラグを抜かないでください。故障の原因となることがあります。
- 次回電源立ち上げのとき、場合によっては、時間がかかることがあります。
- 本体レコーダーの起動に10分以上かかる場合もあります。

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、本体レコーダー機能を正常に終了させるため、次の手順で操作してください。

- 1 録画や再生を停止する
- 2 BDやDVD、CDなどのディスクを取り出す
- 3 USBハードディスクを取りはずす（⇒53ページ）
- 4 電源ボタン設定を「モード2」にする
 - ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「電源ボタン設定」－「モード2」を選びます。
- 5 本体の電源ボタンを切るまでに開始される予約が無い事を確認する
- 6 電源を切る
 - 本体の電源ボタンを押し、本体のPOWER（電源）ランプが消灯していることを確認します。

本体側面 (LC-40DR9※)



- 7 電源プラグを抜く

本機で使えるディスクについて

本機で再生できるディスク

ディスクの種類	再生できる条件	ディスクの大きさ	録画方式(フォーマット)	再生できる内容
 BD-Video BDビデオ	リージョンコード  または、  を含む意味のもの 1層/2層	12cm盤	BDMVフォーマット	音声+映像 (動画)
BD-RE	Ver. 2.1、SL(1層)/DL(2層) Ver. 3.0、XL(3層)	12cm盤	BD-REフォーマット BD-REフォーマット	
BD-R	Ver. 1.1、SL(1層)/DL(2層) Ver. 1.2、SL(1層)/DL(2層) Ver. 1.2、LTH TYPE Ver. 1.3、SL(1層)/DL(2層) Ver. 1.3、LTH TYPE Ver. 2.0、XL(3層) Ver. 2.0、XL(4層)			
 DVDビデオ	リージョンコード  または、  の含まれるディスク 1層/2層	12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット	音声+映像 (動画)
 DVD-RW	 DVD-R	12cm盤 8cm盤	VRフォーマット ビデオフォーマット (ファイナライズ済ディスク) AVCHDフォーマット*2	音声+映像 (動画)
	DVD-R DL (2層)		写真フォーマット	JPEGファイル*1
DVD+RW, DVD+R, DVD+R DL(2層)		12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット (ファイナライズ済ディスク)	音声+映像 (動画)
DVD-RAM	カートリッジからディスクを 取り出せるタイプ	12cm盤 8cm盤	VRフォーマット AVCHDフォーマット*2	音声+映像 (動画)
 音楽用CD	 CD-R	12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
	CD-RW		JPEGファイルを記録したディスク	JPEGファイル

- ・ HDV 方式のディスクは、再生できない場合があります。
 - ・ 他の BD レコーダーで録画された BD ディスクが H.264 画質で長時間録画されているときは、本機では再生できない場合があります。
 - ・ 他機でダビングした DVD-R DL (2 層) ディスクは、本機では再生できない場合があります。
- ※ 1 DVD-RW に JPEG ファイルを記録できるシャープ製レコーダーで記録されたもの。
- ※ 2 ビデオカメラで撮影された、8cm 盤ディスクのみ対応。

ダビングに使えるディスクについて

⇒ 180 ページ

本機でダビング・再生できないディスクについて

⇒ 181 ページ

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

本機でダビングに 使えるディスク

下記ロゴマークがディスクレーベル面に入った、JIS規格に合格したディスクをご使用ください。規格外のディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できても、画質・音質の保証はいたしかねます。

- 本機でダビングに使用できるディスクは、BD-RE Ver. 2.1 ディスク、BD-RE Ver.3.0 XL ディスク、BD-R Ver.1.1 ディスク、BD-R Ver.1.2 ディスク、BD-R Ver.1.2 LTH ディスク、BD-R Ver.1.3 ディスク、BD-R Ver.1.3 LTH ディスク、BD-R Ver.2.0 XL ディスクです。
- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

ディスクの種類	 BD-RE (12cm盤) ^{*1}	 BD-R (12cm盤) ^{*1}
ディスクの特長		
ディスクのバージョン	Ver.2.1 (SL/1層およびDL/2層) Ver.3.0 (XL/3層)	Ver.1.1 (SL/1層およびDL/2層)、 Ver.1.2 (SL/1層およびDL/2層)、 Ver.1.2 LTH、Ver.1.3 (SL/1層 およびDL/2層)、Ver.1.3 LTH、 Ver.2.0 (XL/3層およびXL/4層)
繰り返しダビング	○	×
追加ダビング		○
録画可能な番組のダビング		○
ダビング10 ^{*3} の番組のダビング		○
1回だけ録画可能な番組のダビング		○
録画禁止の番組のダビング		×
新品のディスクを使うとき	初期化が必要です。(自動で初期化されます。)	
再初期化	○	×
他の機器で録画したディスクを再生する	○ ^{*2}	

※1 8cm 盤の BD-RE/BD-R はダビングに使えません。

※2 BD-RE Ver.1.0 (カートリッジ入り) は、本機で再生できません。また、本機に入れることもできません。

※3 ダビング10の番組はBDにダビングすると、「1回だけ録画可能」の番組としてダビングされます。オリジナルの映像は他の機器へダビングできません。

DVD ディスクの再生について

- 録画した機器でのファイナライズ処理が必要です。
- 他機で DVD-RW (CPRM 対応) に録画した「1回だけ録画可能」の番組も再生できます。
- 他機で DVD-R (CPRM 対応) に録画した「1回だけ録画可能」の番組も再生できます。
(再生できない場合もあります。)
- 他機で録画した DVD-R DL (2層) ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。

本機で記録した BD ディスクが再生可能な BD レコーダー／BD プレーヤーについて

- ⇒ 70 ページをご覧ください。

推奨ディスク

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- ディスクによっては本機との相性により、性能を十分に発揮できない(使用できない)場合がありますので、弊社で確認済みの下記メーカー製ディスクの使用をおすすめします。

BD-RE (Ver.2.1/1x-2x) に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー				
Ver.2.1	シャープ	TDK	ソニー	パナソニック	三菱化学メディア

BD-R (Ver.1.1/1x-2x、Ver.1.2/1x-4x、Ver.1.2 LTH TYPE、Ver.1.3/1x-6x、Ver.1.3 LTH TYPE)、BD-R XL (Ver.2.0/2x-4x 3層) に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー				
Ver.1.1	TDK	ソニー	パナソニック	三菱化学メディア	
Ver.1.2	シャープ	TDK	ソニー	パナソニック	三菱化学メディア
Ver.1.2 LTH TYPE	太陽誘電 (That's)				
Ver.1.3	TDK	ソニー	パナソニック		
Ver.1.3 LTH TYPE	太陽誘電 (That's) 三菱化学メディア				
Ver.2.0 XL (3層)	シャープ				

本機でダビング・再生できないディスクについて

本機で再生できないディスク

- ・本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。
- ・他のレコーダーでフレーム単位の編集をしたディスクを再生したときは、開始地点、終了地点がずれたりインデックス画面が異なる場合があります。

BD ビデオ	・リージョンコード「A」以外のディスク（正式な販売地域以外のディスク）リージョンコードの記載がないディスクは、NTSC 方式のディスクであれば再生できることもあります。 ・PAL 方式、SECAM 方式のディスク（海外で製造されたディスク）
BD-RE BD-R	・BD-RE Ver.1.0 は本機で再生できません。 ・カートリッジタイプのディスクは再生できません。 ・8cm 盤の BD-RE/BD-R ディスクは、本機では初期化やダビングができません。 ・他の BD レコーダーで録画した BD-RE/-R には、一部再生できないディスクがあります。例えば、デジタルハイビジョンカメラ（HDV 方式）で撮影した映像を録画したディスクなどは再生できません。
DVD ビデオ	・リージョンコード「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） ・PAL 方式、SECAM 方式のディスク（海外で製造されたディスク） ・無許諾のディスク（海賊版のディスク） ・業務用のディスク
DVD-RW DVD+RW DVD - RAM DVD-R DVD+R	・データが記録されていないディスク ・記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。 ・ファイナライズされていないディスク 次のディスクは再生できない場合があります。 ・DVD-R（VR フォーマット）ディスク ・DVD-R DL（2 層）ディスク ・DVD+R DL（2 層）ディスク
HD DVD	・HD DVD 方式のディスクは再生できません。
音楽用 CD	・著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入った CD は再生できない場合があります。 ・DTS 音声とリニア PCM 音声混在しているディスクは再生できません。 本製品は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用 CD の再生を前提として設計されています。
CD-R CD-RW	・データが記録されていないディスク ・ファイナライズされていないディスク ・音楽フォーマット、JPEG 以外のフォーマットで記録されたディスク ・音楽や映画などと静止画（JPEG ファイル）が混在したディスクは、静止画（JPEG ファイル）を再生できません。または、ディスクによってはまったく再生できません。 ・ディスクの記録状態／ディスク自体の状態によっては、再生できません。 ・ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては再生できません。
ビデオ CD	・ビデオ CD は本機で再生できません。
DTS CD	・リニア PCM 音声のトラックが混在するなど、一部のディスクによっては、正常に再生できないことがあります。

本機でダビング・再生できないディスク

- ・次のディスクは、本機でダビング・再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

BD-RE Ver.1.0、CDG※、フォト CD、CD-ROM、CD-TEXT※、CD-EXTRA※、VCD、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-ROM、DVD オーディオ、その他、特殊な形のディスク（♡ハート型や○六角形のディスクなど）、HD DVD

※ 音声のみ再生できます。

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
（は様は）

English
Guide

おもな仕様について

品名		液晶カラーテレビ	
形名		LC-40DR9	LC-32DR9
液晶パネル	表示サイズ	40V型 (横88.6cm×縦49.8cm/対角101.6cm)	32V型 (横69.8cm×縦39.2cm/対角80.0cm)
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式	
	画素数	1,920(水平)×1,080(垂直) 画素	1,366(水平)×768(垂直) 画素
	使用光源	LED	
アンテナ入力		地上デジタル 75Ω不平衡型、BS/CS-IF 75Ω不平衡型	
スピーカー		3.0cm×15.0cm 2個	
音声実用最大出力(JEITA)		20W(10W+10W)	
使用電源		AC100V・50/60Hz	
消費電力		125W (待機時:0.1W、 クイック起動「する」時:30W)	96W (待機時:0.1W、 クイック起動「する」時:30W)
年間消費電力量		- 区分名:DG3 (FHD、液晶倍速、付加機能3) - 受信機型サイズ:40V - 年間消費電力量:105kWh/年(標準時*)	- 区分名:DN3 (FHD以外、液晶ノーマル、付加機能3) - 受信機型サイズ:32V - 年間消費電力量:75kWh/年(標準時*)
接続端子		HDMI入力2系統2端子、D5映像入力1系統1端子、ビデオ入力1系統1端子、アンテナ入力地上デジタル端子、アンテナ入力BS・110度CS端子、ヘッドホン接続端子、LAN1系統1端子(10BASE-T/100BASE-TX)、USB端子1系統	
受信チャンネル		BSデジタル001~999ch、110度CSデジタル000~999ch、地上デジタル(ワンセグを除く)011~528ch (CATVパススルー対応)	
BS・110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重PSK	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	11.71GHz~12.75GHz	
	IRD受信周波数帯域	1032MHz~2071MHz	
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	93MHz~767MHz	
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯	
記録	ダビング可能ディスク※		BD-RE Ver.2.1(SL/1層、DL/2層)、BD-RE Ver.3.0(XL/3層)、BD-R Ver.1.1(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.2(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.2 LTH、BD-R Ver.1.3(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.3 LTH、BD-R Ver.2.0(XL/3層、XL/4層)
	連続可能ダビング時間		最大12時間
	記録方式	映像	MPEG2、MPEG4 AVC/H.264
		音声	MPEG2 AAC、ドルビーデジタル2ch
再生	再生可能ディスク		BD-RE Ver.2.1※4(SL/1層、DL/2層)、BD-RE Ver.3.0(XL/3層)、BD-R Ver.1.1(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.2(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.2 LTH、BD-R Ver.1.3(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.3 LTH、BD-R Ver.2.0(XL/3層、XL/4層)、BDビデオ(1層、2層)、DVDビデオ(1層、2層)、DVD-RW(1層)※5、DVD-R(1層、2層)※5、DVD+RW(1層)※6、DVD+R(1層、2層)※6、DVD-RAM(カートリッジから取り出せるもの)、音楽CD、CD-R(音楽CDフォーマット)、CD-RW(音楽CDフォーマット)

品名		液晶カラーテレビ	
形名		LC-40DR9	LC-32DR9
タイマー	予約番組数(最大)	32番組	
外形寸法		幅93.6×奥行27.7(転倒防止金具使用時は29.3)×高さ61.8(cm)	幅73.6×奥行25.9(転倒防止金具使用時は27.4)×高さ51.1(cm)
本体質量		約17.5kg	約13.0kg
使用温度		5℃～35℃	

- 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
- 表示サイズの「××V型」は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
- JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- 年間消費電力量の区分名とは：「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示、及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。

※1 ブルーレイディスクを入れていないとき。

※2 USB機器を接続していないとき。

※3 一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。（本機では、AVポジション「標準」の場合です。）

※4 BD-RE Ver. 1.0は本機では使用できません。BD-RE Ver. 2.1でも、カートリッジタイプのディスクは使用できません。

※5 ファイナライズ済ディスクのみ再生できます。

※6 ビデオフォーマットのファイナライズ済ディスクのみ再生できます。

本体 HDD の録画可能時間／BD のダビング可能時間について

- ・ 録画可能時間は目安です。テレビ画面に表示される「残時間」は、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像など（ビットレートの高い映像）が録画できる時間の目安です。

実際の録画可能時間は、放送内容によってはテレビ画面に表示される「残時間」よりも長く録画することができます。

記録内容		記録先	本体 HDD	BD		
				1 層 25GB 時	2 層 50GB 時	3 層 100GB 時
デジタル放送	標準	BS/CSハイビジョン画質	約43時間41分	約2時間10分	約4時間20分	約8時間40分
	地上D	ハイビジョン画質	約61時間41分	約3時間	約6時間10分	約12時間10分
		標準画質	約87時間23分	約4時間20分	約8時間40分	約17時間20分
	2倍		約87時間23分	約4時間20分	約8時間40分	約17時間20分
	3倍		約131時間	約6時間30分	約13時間	約26時間10分
	5倍		約218時間	約10時間50分	約21時間50分	約43時間30分
	7倍		約306時間	約15時間10分	約30時間40分	約61時間10分
	10倍		約437時間	約21時間40分	約43時間40分	約87時間20分
外部入力	12倍		約524時間	約26時間	約49時間50分	約104時間
	SP		約171時間	約8時間30分	約17時間	約34時間10分
	LP		約335時間	約16時間40分	約33時間30分	約66時間50分

別売品について

- ・ 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。
- ・ 本機に適合する別売品が新しく追加発売になることがあります。また、新たに適合となる別売品もあります。ご購入の際には、最新のカatalogで適合性をご確認いただき、販売店にご相談の上、お買い求めください。

（2013年5月現在）

No.	品 名	形 名	対応機種
1	システムラック	AN-R600	LC-40DR9
2	システムラック	AN-65SR3	LC-40DR9
3	システムラック	TV120L	LC-32DR9

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書(別添)

- 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ 保証期間

お買いあげの日から 1 年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※ 本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

- 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または シャープお客様相談センター にお問い合わせください。(⇒ 185 ページ)

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな?と思ったら」「エラーメッセージが出たら」(⇒ 152～175 ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品 名 : 液晶カラーテレビ
- 形 名 : LC-40DR9/LC-32DR9
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけ詳しく)
- ご 住 所
(付近の目印もあわせてお知らせください)
- お 名 前
- 電 話 番 号
- ご訪問希望日

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

便利メモ

お客様へ…お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電話 () —

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検



● 長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なう事故につながることもあります。

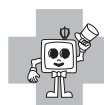
このような
症状は
ありません
か

- 電源ボタンを押して電源を入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源ボタンを押して電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

▶
ご使用
中 止

故障や事故防止のため、電源ボタンを押して電源を切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした
心づかいで
テレビの安全



お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。



メールでのお問い合わせなど【シャープサポートページ】

<http://www.sharp.co.jp/support/>

- よくあるご質問などもパソコンから検索できます。
- 液晶テレビの接続・故障診断なども掲載しております。



使用方法や修理のご相談など【お客様相談センター】 おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間 (年末年始を除く) ●月曜～土曜: 9:00～18:00 ●日曜・祝日: 9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル



0120 - 001 - 251

携帯電話からは、ナビダイヤル



0570 - 550 - 113

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電 話	FAX
043 - 331 - 1626	043 - 297 - 2696
〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口(サービスセンター/テクニカルセンター)でも承っております。

受付時間 (祝日など弊社休日を除く) ●月曜～土曜: 9:00～17:40 ただし、沖縄地区は月曜～金曜: 9:00～17:40

北海道	●札幌 011-641-4685 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17	中部	●静岡 054-344-5781 〒424-0067 静岡市清水区鳥坂1170-1	近畿	●大阪 06-6794-5611 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
	●仙台 022-288-9142 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27		●名古屋 052-332-2623 〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5		●広島 082-874-8149 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
東北	●宇都宮 028-637-1179 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41	近畿	●金沢 076-249-2434 〒921-8801 野々市市御経塚4-103	四国	●高松 087-823-4901 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
	●東東京 03-5855-0432 〒114-0012 北区田端新町2-2-12		●京都 075-672-2378 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48		●福岡 092-572-4652 〒812-0881 福岡市博多区井相田2-12-1
関東	●横浜 045-753-4647 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23		●神戸 078-452-7009 〒658-0025 神戸市東灘区魚崎南町4-12-6	九州	●那覇 098-861-0866 〒900-0002 那覇市曜2-10-1

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2013.5)

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。

また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License (以下、GPL)、GNU Lesser General Public License (以下、LGPL)、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html> (シャープ GPL 情報公開サイト)
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| • linux kernel | • jpeg |
| • module-init-tools | • libpng |
| • glibc | • SQLite |
| • DirectFB | • LVM2 |
| • OpenSSL | • bash |
| • zlib | • libncurses |
| • AGG(ver.2.3) | • device-mapper |
| • NTP | • xfsprogs |
| • XMLRPC-EPI | • parted |
| • Expat | |
| • DHCPv6 | |
| • Simple IPv4 Link-Local address | |
| • dmalloc | |
| • util-linux | |
| • coreutils | |

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3.All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
- 4.The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
- 5.Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
- 6.Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

SSLey License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT

LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

XMLRPC-EPI

Copyright: (C) 2000 Epinions, Inc.
Subject to the following 3 conditions, Epinions, Inc. permits you, free of charge, to (a) use, copy, distribute, modify, perform and display this software and associated documentation files (the "Software"), and (b) permit others to whom the Software is furnished to do so as well.

1) The above copyright notice and this permission notice shall be included without modification in all copies or substantial portions of the Software.

2) THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY WARRANTY OR CONDITION OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY IMPLIED WARRANTIES OF ACCURACY, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NONINFRINGEMENT.

3) IN NO EVENT SHALL EPINIONS, INC. BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOST PROFITS ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE (HOWEVER ARISING, INCLUDING NEGLIGENCE), EVEN IF EPINIONS, INC. IS AWARE OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

NTP

Copyright (c) David L. Mills 1992-2009
Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Powered by Adobe® Flash®

Adobe Systems Incorporated による Adobe® Flash® Lite® 技術を採用しています。

この AQUOS は、Adobe Systems Incorporated からライセンスを受けた Adobe® Flash® Lite® ソフトウェアを採用しています。

Copyright© 1995-2009 Adobe Macromedia Software LLC. All Rights Reserved.

Adobe, Flash および Lite は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Olivier Gay

Copyright (C) 2005, 2007 Olivier Gay <olivier.gay@a3.epfl.ch>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,

SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Free Type 2 font engine

Portions of this software are copyright © 1996-2002 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

MP3 は Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスされた MPEG Layer-3 音声コーディング技術です。

Portions Copyright© 2004 Intel Corporation
この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

「DiXiM」は、デジオンのホームネットワークソリューションです。詳しくは、デジオン Web サイト (<http://www.digion.com/>) をご覧ください。

Ubiquitous SAFE DTCP-IP

Copyright© 2001-2012 Ubiquitous Corp

この製品には株式会社ユビキタスが開発した DTCP-IP 対応ソフトウェアを使用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、ロヴィ社の許可が必要です。また、その使用は、ロヴィ社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペーパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計した LC フォント（複製禁止）が搭載されております。LC フォント、LCFONT、エルシーフォント及び LC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部 LC フォントでないものも使用しています。

商標・登録商標など

- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- DTS は、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- DTS 2.0 + Digital Out は、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
- Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS 2.0+ Digital Out and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
-  は商標です。
- **BDXL™** は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- **BONUS VIEW™** は Blu-ray Disc Association の商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- **DVD** は DVD フォーマットロゴライセンシング (株) の商標です。
- **AVCHD** はパナソニック (株) とソニー (株) の商標です。
- Cinavia の通告
この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。
Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA までがきを郵送してください。
- Copyright 2004-2012 Verance Corporation. Cinavia® は Verance Corporation の商標です。
米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。
すべての権利は Verance Corporation が保有します。

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の種類について

故障かな？
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

用語の解説

1080p、720p、1080i、480p、480i

映像の種類	画質（放送の種類）
1080p	走査線 1125 本(有効走査線 1080 本)、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
720p	走査線 750 本(有効走査線 720 本)、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
1080i	走査線 1125 本(有効走査線 1080 本)、インターレース方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
480p	走査線 525 本(有効走査線 480 本)、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンに近い画質です。
480i	走査線 525 本(有効走査線 480 本)、インターレース方式。 地上アナログ放送(VHF/UHF)やBSアナログ放送と同等の画質です。

1080p(24Hz)

映像信号の方式の 1 つであり、フィルム映画などは、この方式により毎秒 24 コマ(24p 信号)で撮影されています。

110度CSデジタル放送

BS デジタル放送の放送衛星(BS)と同じ東経 110 度に打ち上げられた通信衛星(CS)を利用したデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴するしくみになっています。一部、無料放送もあります。

16:9

デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の 4:3 映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

AAC(Advanced Audio Coding)

デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。AAC はデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声(5.1 チャンネルサラウンドなど)にも対応できる方式です。

ADSL回線

ブロードバンド回線のひとつで、アナログ固定電話回線の音声通話に使用しない帯域を使った回線です。

AV

Audio Visual (または Audio Video)の略で、音響と映像に関する技術や製品の総称です。テレビやレコーダー、オーディオプレイヤーなどを AV 機器と呼びます。

AVCHD

ハイビジョン動画記録フォーマットであり、8cm DVD への記録を H264/MPEG-4 AVC 方式で行うものです。

AV-HDDレコーダー

テレビ放送を内蔵の AV-HDD (エービー・ハードディスクドライブ)に録画する機器です。テレビ放送を放送画質のまま、長時間(数十時間)録画することができます。

B-CASカード(ビーカスカード)

各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS / 110 度 CS / 地上デジタル放送視聴用 IC カードのことです。B-CAS カードを受信機に挿入すると、接続されたデジタル放送の視聴が可能となります。また、有料放送の視聴を希望される場合は、放送局への申し込みが必要です。詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

BD-R

本機で録画用として使用できるディスクです。一回だけ録画ができる、追記型のブルーレイディスクです。また、BD-R Ver. 1.1 ディスク、BD-R Ver. 1.2 ディスク、BD-R Ver. 1.3 ディスクには、SL/1 層と DL/2 層ディスクがあり、BD-R Ver. 2.0 ディスクには XL/3 層と XL/4 層ディスクがあります。必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

BD-RE

本機で録画用として使用できるディスクです。繰り返し録画ができる、書き換え型のブルーレイディスクです。録画した番組を消去したり、録画済みのディスクを初期化することで、繰り返し録画ができます。ディスクのバージョンには Ver. 1.0、Ver. 2.1、Ver. 3.0 があり、本機では Ver. 2.1 および Ver. 3.0 がご使用になれます。BD-RE Ver. 2.1 ディスクには SL/1 層と DL/2 層ディスクがあります。BD-RE Ver. 3.0 には XL/3 層ディスクがあります。必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

CPRM(Content Protection for Recordable Media)

デジタルメディアに対する著作権保護技術のことです。

DL

デュアルレイヤーの略で、片面 2 層ディスクのことです。

Cookie

Web サイトから、ブラウザに対して一時的に書き込まれる情報です。例えば、買い物ができる Web サイトでは、購入したい商品を選んだときに情報が書き込まれ、選んだ商品を確認するときや、商品の代金を計算するときに利用されます。

DLNA(Digital Living Network Alliance)

デジタル機器の相互接続を実現させるための標準化活動を推進している団体です。

デジタルAV機器やPCなどがホームネットワーク内で画像や音楽などのデータをやり取りするためのガイドラインを定めています。

DTS

DTS Inc.社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

DVI(Digital Visual Interface)

コンピュータとディスプレイを接続するための規格のひとつです。デジタル信号で映像データをやりとりするため、画質の劣化が少なく、高画質な表示ができます。DVI-Iは、デジタル信号に加え、アナログ信号での映像データのやりとりもできます。

D端子

高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号(Y)と色差信号(Cb/Pb、Cr/Pr)を3本のケーブルで接続(コンポーネント接続)していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり(本機はD5に対応)、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

EPG(Electronic Program Guide)

デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。本機では、電子番組表から番組を選んで選局や録画予約をすることができます。

HDMI(High Definition Multimedia Interface)

ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。

高精細な映像入力に対応しています。

HTML

インターネットのページを作るための記述ルールです。この記述ルールをブラウザが読み取って、ページが表示されます。

IP(Internet Protocol)

インターネットでの通信に関する規約のことです。ネットワークに接続された機器はIPを利用して通信していて、機器ごとにIPアドレス(住所のようなもの)が割り振られています。

IPv6(Internet Protocol Version6)

インターネットでの通信に関する規約のことです。インターネットに接続された機器はIPを利用して通信していて、機器ごとにIPアドレス(住所のようなもの)が割り振られています。近年インターネットの普及により、従来のIP(IPv4)では数が足りなくなってきたため、新しくIPv6方式が定められました。

LAN

Local Area Network(ローカル・エリア・ネットワーク)の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。一般家庭や企業のオフィスなど、小さな規模で用いられています。

MPEG(Moving Picture Experts Group)

デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

NTSC(National Television System Committee)

日本のアナログ放送のカラーテレビ放送方式の標準規格です。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、有効走査線数480本のインターレース方式です。

PCM(Pulse Code Modulation)

音楽CDやDVDビデオなどは、音声デジタルデータで記録されています。音楽CDで利用されているPCMは、音声などを数値に変換してデジタルデータにする方式のひとつです。圧縮を行わないので、原音に近い高品質な音を再現できます。

SL

シングルレイヤーの略で、片面1層ディスクのことです。

USB(Universal Serial Bus)

もともとはパソコンなどに周辺機器を接続するための規格のひとつです。

プリンターやハードディスクなど様々な周辺機器が発売されています。

WAN

Wide Area Network(ワイド・エリア・ネットワーク)の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。広域通信網とも呼ばれ、大きな規模で用いられています。

Webサイト

サーバーに保存されている、関連したページの集まりのことです。AQUOS.jpもひとつのWebサイトです。

インターネット

世界中にある小さなコンピューター・ネットワークがお互いにつながりを持つようになってできた、世界規模のネットワークです。

インターネットサービスプロバイダー

ご家庭のパソコンなどをインターネットに接続するためのサービスを提供している事業者のことです。プロバイダーと呼ばれたり、ISPと表記されることもあります。

目次／ご注意／各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の種類について

故障かな？／エラーメッセージ

お役立ち情報(仕様など)

English Guide

インターレース(飛び越し走査)

テレビやビデオの画像表示では、有効走査線のうち、まず奇数番めの有効走査線を描きます(この1画面を1フィールドといいます)。次に偶数番めの有効走査線を描きます。これで、1枚の完全な画像(フレーム)を作っていく方式です。「480i」「1080i」の「i」はインターレース(interlaced)を表します。

液晶パネル

液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

お知らせ

BS / 110度CS / 地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

オリジナル／プレイリスト

オリジナル

テレビ放送などを録画した映像(タイトル)を「オリジナル」と呼びます。

プレイリスト

オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。(本機ではプレイリストは作成できません。

キャッシュ

ブラウザが、表示したページのデータを一時的に保管しておくところです。

保管したデータを再利用し、データを取り込むための時間を節約しています。

コピーガード(コピー制御信号)

複製防止機能のことです。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

コンポーネント接続

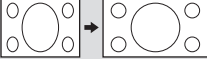
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(CB/PB、CR/PR)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

コンボジット接続

通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンボジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

画面サイズ切換の設定項目

映像の種類(⇒190ページ)によって、選べる画面サイズは異なります。

項目	内容
ノーマル 	• 通常のテレビ(4:3サイズ)の映像をそのまま映します。
シネマ 	• シネスコまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
フル 	• 16:9から4:3に圧縮された映像を元の16:9に戻して画面いっぱいに映します。
スマートズーム 	• 通常4:3映像をより自然に拡大して映します。
ワイド4:3  	• 通常4:3映像を画面いっぱいに映します。 • 16:9映像の場合はこのように映ります。
ワイド16:9  	• 通常4:3映像の中央部を左右に拡大して映します。 • 通常16:9映像の中央部(4:3)を画面いっぱいに映します。入力信号が16:9で左右に黒帯の付いている映像を画面いっぱいに映したいときに便利です。
Dot by Dot アンダースキャン 	• 入力信号どおりの映像で映します。

サーバー

コンピューター・ネットワークでサービスや情報を提供するコンピューターのことです。

インターネットの世界では、Webページのデータを保存しているWWWサーバー、指定したURLがどこにあるかを探すDNSサーバー、企業などの内部ネットワークとインターネットの間で効率よくWebページを表示したり、内部ネットワークを保護したりするプロキシサーバーなど、いろいろなサーバーが無数にあります。

視聴制限(パレンタルレベル)

デジタル放送やBDビデオ、DVDビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、放送やディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを設定することができます。

スプリッター

ADSL回線でインターネットに接続する際に、インターネット用のデータ信号と電話用の音声信号を分離する機器です。

セカンダリオーディオ

BDでは、第1音声(主音声、プライマリオーディオ)の他に、特典として第2音声(副音声、セカンダリオーディオ)が収録されているものがあります。BDによっては、インターネットからダウンロードして楽しむことができる場合もあります。

タイトルとチャプター、ディスク内の構成

BDやDVDディスクに録画されている番組のことを「タイトル(録画した番組)」といいます。タイトルは、さらに「チャプター(章・区切り)」という単位で構成されています。タイトルとチャプターを短編小説に例えると、次のような関係になります。

- ・タイトル＝話
- ・チャプター＝章
- ・録画リスト＝もくじ

本機では、お好きな場所にチャプターマークをつけることはできません。

地上デジタル放送

2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始されている放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

チャプター

ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

つづき再生

ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機が記憶し、停止した位置から続けて再生することができる機能です。

ドルビーデジタル(5.1ch)

ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル(5.1ch)対応プロセッサやアンプとの接続で、映画館のようなディスクの再生音が楽しめます。

ハイビジョン放送

デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が480本の有効走査線を表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は720本や1080本の有効走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

ハブ

LANなどのネットワークのケーブルを分けたり、中継したりする機器です。

光回線

ブロードバンド回線のひとつで、光ファイバー網を使った回線です。ADSL回線やCATV回線に比べてデータの転送スピードの速さが特長です。

ビデオフォーマット

DVDの録画方式のひとつです。本機で再生するには、ファイナライズという処理が必要です。

ファイナライズ

DVD-RW/-Rディスクを、録画に使用した機器以外でも再生できるようにすることです。本機では、ディスクをファイナライズすることはできません。ファイナライズは録画した機器で行ってください。

ブックマーク

ページのURLを記憶する機能です。ブックマークに登録することで、URLを入力したり、何度もリンクをたどったりする必要がなくなります。「お気に入り」と呼ばれることもあります。

ブラウザ

インターネットのページを見るためのソフトウェアです。Webブラウザ、インターネットブラウザなどと呼ばれることもあります。

ブロードバンド回線

一度に大量のデータをやりとりすることができるインターネットに接続するための回線のことです。光回線、CATV回線、ADSL回線などがあります。

プログレッシブ(順次走査)

飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。480pの場合、480本の有効走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「480p」「720p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

マルチアングル

BDやDVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。(マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。)

マルチ音声

デジタル放送やBD、DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。

文字コード

コンピュータの内部は、すべて0と1の組み合わせで成り立っています。画面に表示される文字も0と1の組み合わせになります。この0と1の組み合わせをどの文字にするかを取り決めたものが文字コードです。世界中にはさまざまな文字があり、その文字に合わせて各地域で標準となっている文字コードがあります。このため、インターネットのページを作成するために使われた文字コードとブラウザの文字コードが異なる場合もあり、この場合、文字が正しく表示されなくなることがあります。

リージョンコード(再生可能地域番号)

BDビデオやDVDビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクのコードをリージョンコードといいます。

本機では、BDビデオはリージョンコード「A」、DVDビデオはリージョンコード「2」または「ALL」のソフトが再生できます。

リニアPCM音声

BD・DVD・音楽用CDに用いられている、非圧縮の信号記録方式です。

リンク

複数のものをつなぐことで、シャープ製の液晶テレビやレコーダー、AVアンプをつなぐ「ファミリンク」や、インターネット上で他のWebページをつなぐリンク機能などがあります。

録画リスト

再生できる番組が一覧で確認できる画面です。

索引

- 本体各部やリモコンボタンのなまえについては、⇒ **11 ~ 12** ページをご覧ください。
- 用語については、⇒ **190 ~ 194** ページをご覧ください。

英数字

1 回だけ録画可能.....	46、70
10 秒戻し	85
110 度CSデジタル放送.....	13、146、150、190
2 画面	18
3 桁入力	35
30 秒送り	85
AAC	144、190
AQUOS インフォメーション	37
AQUOS インフォメーション設定.....	37
AQUOS オーディオ	127、134
AQUOS オーディオで聞く	134
AQUOS レコーダーに録画する.....	131、132
ARC 設定	134
AV ポジション	33
AV メモリー (AV ポジション)	33
B-CAS カード.....	190、かんたんガイド!! (巻末) 9
BD/DVD 再生設定	32、86、88、91
BD-R	69、179、180、181、190
BD-RE	69、179、180、181、190
BD 初期化	73
BD ビデオ	78、80、179、181
BONUS VIEW™	80
BS・CS アンテナ電源	145
BS デジタル放送	13、145、150
CATV (ケーブルテレビ)	147、かんたんガイド!! (巻末) 3
Cookie (クッキー)	109、190
Dot by Dot (ドットバイドット)	142、192
DTCP-IP	123
DTS	144、191
DVD	77
DVD-R	179、181
DVD-RW	179、181
DVD ビデオ	78、179、181
DVI	141、191
D-コンポーネント変換ケーブル	136
D 端子	136、138、191

D 端子識別	36
HDMI	126、128、135、137、140、141、191
HDMI コンテンツタイプ連動	36
HDMI 識別	36
IPTV 設定	113
IPTV (ひかりTV)	112
IP アドレス	101
I/P 設定	34
JPEG	93、119、179、181
Language (言語)	201
LAN 設定	101
PC (AV ポジション)	33
PCM	144、191
PinP (2 画面)	18
POWER (電源) ランプ	11
QS 駆動	34
REC (録画) ランプ	11
TIMER (タイマー) ランプ	11
USB ハードディスク	51、74、かんたんガイド!! (巻末) 6
USB メモリー	93
VOD 操作パネル	111、117
VR フォーマット	77、83、179、181

あ行

アイコン (番組表)	16
明るさ	33
明るさセンサー (OPC)	33
明るさセンサー (OPC) 設定	34
明るさセンサー受光部	11
アクティブコントラスト	34
アクトビラ	110
頭出し (スキップ)	85
アングル番号	90
アングルマーク表示	88
暗証番号設定	33
安心・省エネ	35

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USB メモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

アンダースキャン	192
アンテナ設定	145
アンテナの接続...かんたんガイド!!(巻末)3~6	
一時停止(再生中)	85
色あい	33
色温度	34
色の濃さ	33
インターネット	104、191
映画(AVポジション)	33
映像	33
映像オフ	35
映像切換	21、88
映像調整	33
映像判別	36
枝番	147~148
追いかけて再生	76
オートチャプター設定(USB-HDD)	54
オートチャプター設定(本体HDD)	50
オートボリューム	34
オートワイド	36
お知らせ	37、192
お知らせタイマー	37
お手入れ(ディスク)	10
お手入れ(本体)	7
おはようタイマー	25
オフタイマー	24
おやすみタイマー	24
音楽用CD	81、179、181
音質補正	34
音声切換	21、87
音声調整	34
「温度」の文字点滅表示	157

か行

外部端子設定	36
外部入力音声設定	58
各種設定	33
画質	34
画面位置	36
画面サイズ	35、37、192
画面表示設定	36

画面表示(チャンネルサイン)	22
カラーマネージメント(色相・彩度・明度)	34
かんたん初期設定...かんたんガイド!!(巻末)10	
乾電池の入れかた...かんたんガイド!!(巻末)1	
ガンマ設定	34
機器のメディア切換	131
機能切換	35~37
クイック起動設定	33
国コード一覧表	92
黒レベル	33
ケーブルテレビ(CATV)	
.....147、かんたんガイド!!(巻末)3	
ゲーム(AVポジション)	33
ゲーム時間表示設定	28
言語コード一覧表	92
降雨対応放送	150
高音	34
声の聞きやすさ	34
個人情報初期化	33

さ行

サーチ(早送り／早戻し)	84
サーバー証明書	109
サイズ切換(2画面)	19
再生	74、78
再生できないディスク	181
再生できるディスク	179
サウンドモード	134
サブチャンネル設定	17
サラウンド	34
時刻設定	33
時刻表示	33
システム動作テスト	37、177
視聴準備	31~33
視聴制限レベル	91
視聴操作	35
視聴年齢制限設定	33
視聴メニュー	89
シネマ	142、192
字幕(切換)／字幕表示	21、88
ジャンル検索	17

ジャンル連動	134
受信強度	145、146
受信機レポート	37
仕様	182
消音	13
使用温度	8、183
消去(録画した番組)	66
照明オフ連動	35
初期化(BD)	15、73
初期化(USBハードディスク)	52
初期化(本体HDD)	10、73
垂直位置	36
水平位置	36
スキップ設定	148
スキップ(チャンネル)	114、147、148
スキップ(ディスク)	85
スタートメニュー表示(ファミリンク)	130
スマートズーム	192
スロー再生	85
静止	35
セカンダリオーディオ(第二音声)	86、193
セキュリティ	109
設定	30、31～38
選局	13
選局キー	129
選局効果	36
操作切換(2画面)	19
双方向通信	97
ソフトウェアキーボード	41

た行

タイトル消去	66
タイトル番号(トラック番号)	90
タイトル保護	65
タイトル名変更	67
ダイナミック/ダイナミック固定 (AVポジション)	33
タイマー(TIMER)ランプ	11
タイマー機能	24～26
ダウンロード設定	33
ダビング	69

ダビングできるディスク	180
タブ	106
地域設定	146
地上デジタル放送	13、149、193
地デジ難視対策衛星放送	148
チャイルドロック	35
チャプター	46、50、193
チャプターマーク	67
チャンネル	13、30
チャンネルサイン(画面表示)	22
チャンネル設定	147
チャンネル番号(3桁)	16、148
ちょっと待って機能	20
通信(インターネット)設定	31
ツール	30、37
ツールバー	106
つづき再生	83、193
低音	34
ディスク管理	73
ディスク強制排出	162
ディスクの入れかた	14
ディスク保護(BD)	73
ディスク優先言語 (字幕言語/音声言語/メニュー言語)	92
データ放送	23、87
デジタルNR	34
デジタル音声設定	144
テレビ放送設定	31、145～148
テレビ/ラジオ/データ	17
テレビ/ラジオ/データ/ポータル	35
電源コードをつなぐ..かんたんガイド!!(巻末)7 電源の入/切	13、152、178
電源ボタン設定	178
転倒防止対策	かんたんガイド!!(巻末)8
時計設定	33
時計タイプ	33
トラック	85、90
ドルビーデジタル	86、144、193

な行

二重音声	21、48、58、87
日時移動	17
日時指定予約	61
入力／音声出力設定	36
入力解像度(PC入力信号の解像度)	142
入力切換	27、120、143
入カスキップ	28
入力選択	36
入力できる文字の一覧	41
入力表示	28
ネットサービス制限設定	107
ノーマル	142、192

は行

早送り／早戻し再生	84
バランス	34
番組詳細検索	17
番組情報	20
番組表	16
番組表取得設定	17
番組名表示	36
ひかりTV(IPTV)	115
ビットストリーム	144
ビデオフォーマット	83、179、193
表示言語	21
表示サイズ(インターネット)	108
表示順設定	17
表示色	36
表示方式(字幕表示)	21
標準(AVポジション)	33
標準(DR)	48
ファイナライズ	77、179、193
ファミリンク	126
ファミリンク機器リスト	133
ファミリンク制御(連動)	128
ファミリンク設定	128、129、134
ファミリンク対応レコーダー	128
ファミリンクパネル	68、130、135
ファミリンクレコーダー選択	129

ファミリンク録画予約	132、133
フィルムモード	34
フォト(AVポジション)	33
付属品	かんたんガイド!!(巻末)1
ブックマーク	107、149、193
プラットフォーム(運営会社)	151
フル	142、192
プレイリスト	75、192
ブロードバンドルーター	99
プロ設定	34
ページ情報	108
ヘッドホン(設定)	36
別売品	183
編集(チャプターマーク)	67
放送局メッセージ	37
放送切換	17
放送切換ボタン	13
ポータル	115、116
ボード	37
ホームネットワーク	118
ホームメニュー	29
保証とアフターサービス	184
ポップアップメニュー	79
本体HDD録画設定	49、58

ま行

毎週予約	64
マルチ音声	48
マルチ音声設定	49
マルチ音声番組	21、194
マルチビューサービス	45、48
見つかる検索	17
見どころ	84
無信号オフ	35
無操作オフ	35
メディア(テレビ/ラジオ/データ/ポータル)	35
文字コード	108、194
文字サイズ	36
文字サイズ設定	17
文字スーパー表示	36

文字入力のしかた.....	42
「モニター温度」の文字点滅表示	157
モノクロ	34

や行

有料放送の視聴契約.....	151
予約の確認・取り消し・変更	61
予約リスト	61

ら行

リニアPCM	144、194
リピート再生	90
リモコン	12
リモコン番号	11、12
リモコン番号設定.....	33
リンク操作	30、38
リンク予約	30
リンク予約(録画予約)	38
臨時放送(臨時編成サービス)	149
レコーダー電源入／切.....	130
連動起動設定	129
連動データ放送.....	23、45、48、87
録画.....	55、131
録画画質と録画時間.....	47
録画可能時間	49
録画機器選択	55
録画・再生機能	44
録画・再生できないディスク	181
録画先自動切換.....	63
録画した番組	46、75
録画準備	47
録画モニター	57
録画予約	56、132、133
録画リスト.....	75
録画リストから再生(ファミリンク).....	133
録画リスト(全画面)	64

わ行

ワイド 4:3.....	192
ワイド 16:9.....	192
ワンタッチプレー(ファミリンク).....	133
ワンタッチ録画(ファミリンク)	131

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー／
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？／
エラーメッセージ

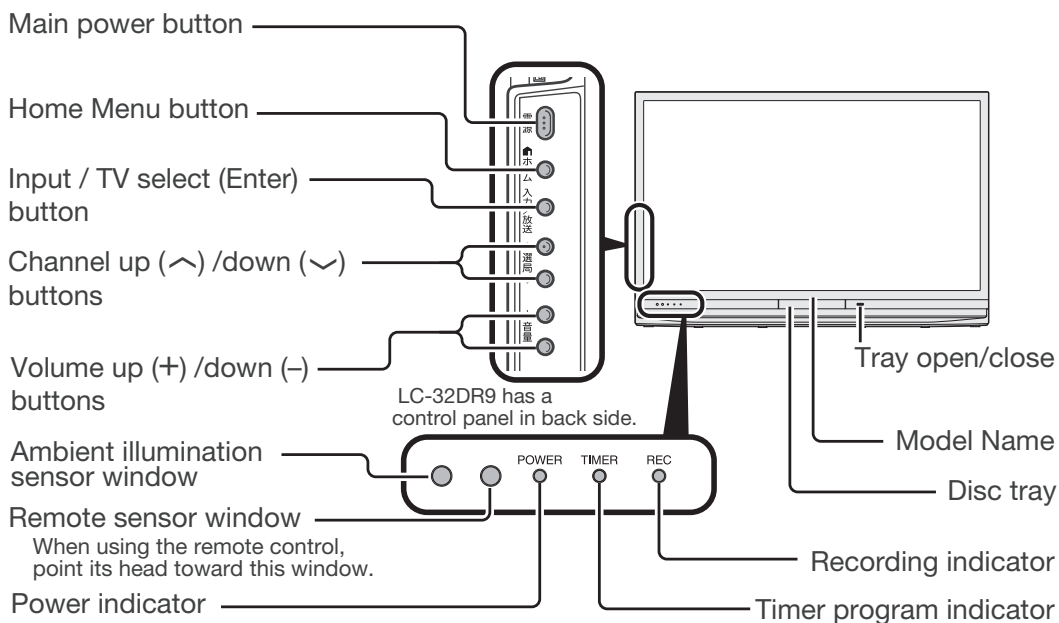
お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

English Guide

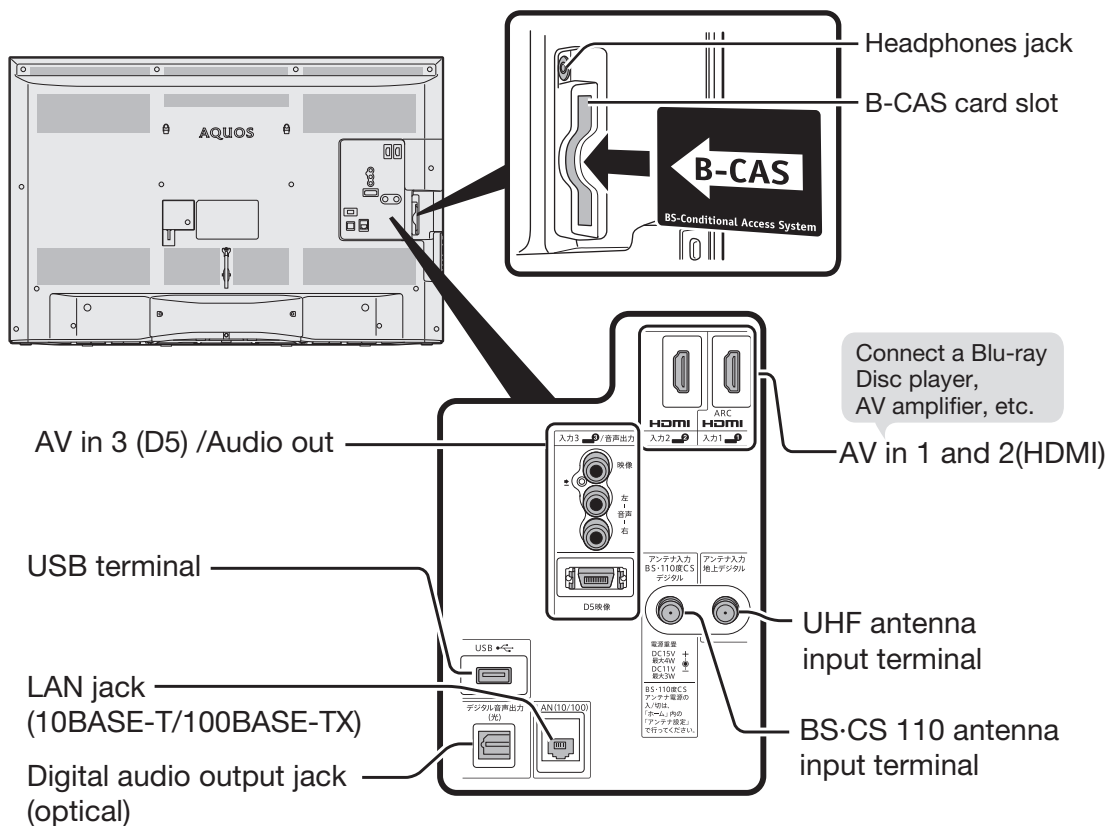
Part Names

Front view



Back view

The illustrations below are those of LC-40DR9. LC-32DR9 has the same layout of jacks and terminals as LC-40DR9.



Remote Control Unit

Active/Standby

Press to engage the TV set in the active or standby mode.

地上 Terrestrial digital select

BS BS select

CS CS select

データ連動

Linked data broadcast

Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.

Mute

Press to mute audio.

Volume up (+)/down (-)

Press to adjust the volume.

番組表(予約) EPG

Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.

ホーム Display the "Home" Menu

Press to start some useful operations of the TV.

Program info

Press to display detailed information on the current digital program.

Finish

Press to finish menu operation, etc.

HDD/BD/USB-HDD Select

Display the recording menu

録画画質

Select the recording mode

レコーダー

View status of the REC Display the Pop-up Menu(REC) or Disc Menu (BD/DVD)

3桁入力

Digital channel number input

Use to select a digital channel by entering the 3-digit channel number.

オフタイマー

Sleep timer

Press to select the remaining time period after which the TV set automatically enters the standby mode.

AV/ボジション

AV mode select

Press to select the picture/sound setting that best matches the current program.

画面表示

Display

Press to display or turn off the channel call, etc.

インフォ

Information

Press to display AQUOS information.

サムネイル

Thumbnail index

Press to display thumbnail index when play back programs recorded.

ちょっと待って

Wait a moment

Press to pause the current digital TV program.

Channel select

- Press to select a channel.
- Use to input a number for various settings.

インターネット

Internet

Press to connect to the internet.

チャンネル

Channel up (^) /down (v)

Press to select channels in the ascending or descending order.

入力切替

Input select

Press to select the input.

Display the Tool Menu

Cursor (up, down, left, right)

Use to select a menu item, column, etc.

決定

Enter/Confirm

Press to confirm a selected setting or menu item.

Return

Press to go back to the previous screen.

青 赤 緑 黄

Color

Use to operate EPGs and data program screens.

List the programs recorded on HDD/BD/USB-HDD

Delete recording

レコーダー

Tray open/close

ファミリンク

Familink

Press to operate "Familink" Recorders and AQUOS Audio connected via HDMI cables.

字幕

Caption

Press to display, select, or turn off captions when watching a digital program with captions.

音声切替

Audio select

Press to select the audio.

2画面

Split screen

Press to switch between the split screen mode and the normal screen mode.

操作切替

Operable screen

Press to switch the operable screen when the TV set is in the split screen mode.

To open the cover

Hold the cover by the projections on both sides and lift upwards.

目次／ご注意
各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

録画・再生

USBメモリー
インターネット

他の機器をつなぐ

個別設定／放送の
種類について

故障かな？
エラーメッセージ

お役立ち情報
(仕様など)

English
Guide

Switching the Display Language to English ホームメニューなどの言語を英語にする

- Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。



1

Press
ホーム
and
select
with



Select “設定” (Setup) on
the Home menu.

ホームメニューから「設定」
を選ぶ



2

Select
with



Select “ (視聴準備)”
(View Setting).

「 (視聴準備)」を選ぶ



3

Select
with



Press



Select “Language(言語)”.
「Language(言語)」を選ぶ



4

Select
with



Press



Select “English”.
「English」を選ぶ

Enter.

決定する



- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります。

5

Press



Finish this operation.
終了する

◇おしらせ◇

誤ってホームメニューを英語にしてしまったときは

- ホームメニューから「Setup」－「 (View Setting)」－「言語 (Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

かんたん!!ガイド

液晶カラーテレビ

形 名

エルシー

ディーアール

LC-40DR9

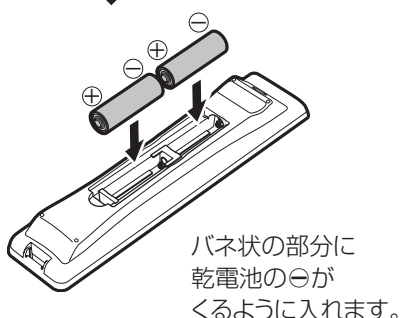
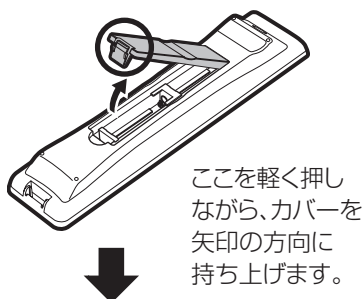
LC-32DR9

付属品を確認してください

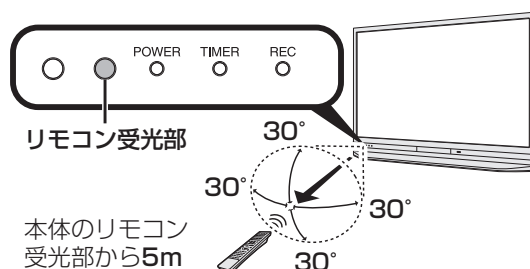
- ・ リモコン× 1
 - ・ リモコン用単 3 形乾電池× 2
 - ・ ディスクの取扱い
本体レコーダー
かんたん操作ガイド× 1
 - ・ 取扱説明書(本書)× 1
 - ・ 保証書× 1
 - ・ B-CAS カード× 1
- 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

1 リモコンの準備と使いかた

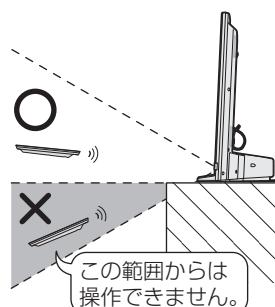
リモコン裏側の電池カバーを開け、付属の単3形乾電池(アルカリ)を入れる



リモコンで操作できる範囲



設置している台とリモコン操作の位置により、動作しないことがあります。



台の奥側に本機を設置し、リモコン受光部より低い位置からリモコンを操作すると、リモコンからの赤外線が台にさえぎられ、操作できない場合があります。その場合は、台の手前側に本機を設置するか、リモコン受光部と同じ高さからリモコン操作をしてください。

◇おしらせ◇

リモコン使用上のご注意

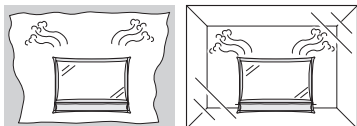
- ・ リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- ・ リモコン番号(⇒33ページ)を設定する機能があるため、リモコンが付属している本機以外のAQUOSでは正しく操作できない場合があります。
- ・ リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。早めに新しい乾電池と交換してください。

2 置く場所を決める

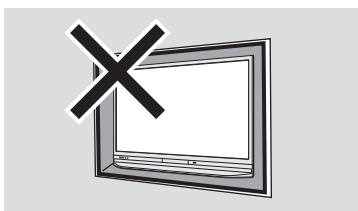
- 本機は、壁掛け設置には対応しておりません。
- 以下のような設置のしかたをしないでください。



禁止



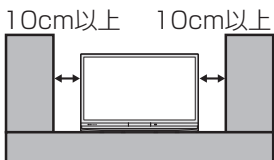
- 風通しの悪いところに入れない
- 密閉した箱に入れない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 布などをかけない
- 極端に温度が高い場所や低い場所には設置しない(使用温度 5℃～ 35℃)
- 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない。
- ほこり、タバコの煙の多い場所には置かないでください。故障や事故の原因となります。
- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどの設置はしないでください。



- 本機は画面が 3° 傾くように設計されています。



設置の際には以下の点をお守りください。

- 傾斜のない、平らな安定した場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- 持ち上げたり、運んだりする場合は、液晶パネルやスピーカーを持たないでください。
- 左右それぞれ 10cm 以上のスペースを空けてください。

- 左右のスペースが少ないとスピーカーからの音が聞こえにくくなる場合があります。また、設置している周囲の環境によっては、音声の聞こえ方が変化する場合があります。このような場合は、設定メニューの「 (音声調整)」で調整してください。
- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- 転倒防止策を実施してください。
(⇒「かんたん !! ガイド」(巻末)8 ページ)
- キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用してテレビ台を固定してください。
- 設置後、本機をお使いになる前に、ぐらつきや傾きがないか確かめてください。

3 - 1 アンテナをつなぐ (テレビだけをつなぐ場合)

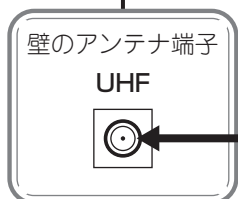
※レコーダーもつなぐ場合は、5～6ページをご覧ください。

地上デジタル放送用 アンテナをつなぐ

- 地上デジタル放送を見るための接続です。

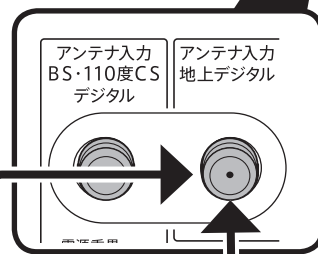
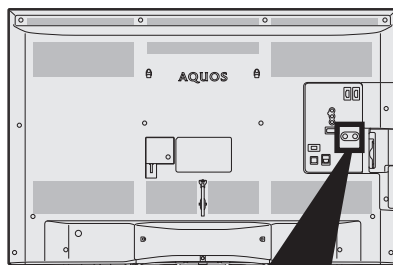
UHF アンテナ

地上デジタル放送の受信には、
UHF対応のアンテナが必要です。
(一部取り替えや調整、ブースターの追加などが
必要になることがあります。)



VHF / UHF 用
アンテナケーブル (市販品)

▼本体背面



壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合は、
⇒ 176 ページをご覧ください。

ケーブルテレビを 見るときは

- 接続については、CATV (ケーブルテレビ) 会社にお問い合わせください。



ケーブルテレビ
専用受信機

VHF / UHF 用
アンテナケーブル
(市販品)

ケーブル
入力端子

ケーブル
出力端子

映像・音声
出力端子

本機の入力3映像・音声入力端子につなぐ



ケーブルをつなぐときは、
スパナなどの工具で強く締め
付けしないでください。

アンテナケーブルは、でき
るだけ太くて短いアンテナ
ケーブルをお使いください。
アンテナケーブルが長くな
るほど受信した電波の強度
が弱くなります。

◇おしらせ◇

- CATV (ケーブルテレビ) 会社が地上デジタル放送をパススルー方式 (⇒ 147 ページ) で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。
- 本機で受信できるのは、「UHF 帯」、「VHF 帯」、「ミッドバンド (MID: C13 ~ C22) 帯」、「スーパーハイバンド (SHB: C23 ~ C62) 帯」です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

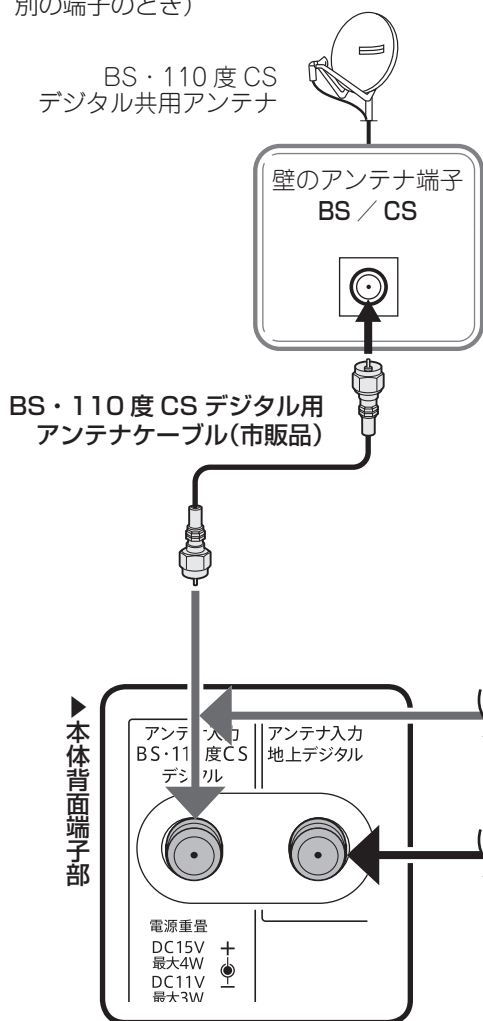
3 - 1 アンテナをつなぐ (つづき)

BS・110度CS デジタル放送用 アンテナをつなぐ

- ご使用の環境により、以下のどちらかの接続を行ってください。

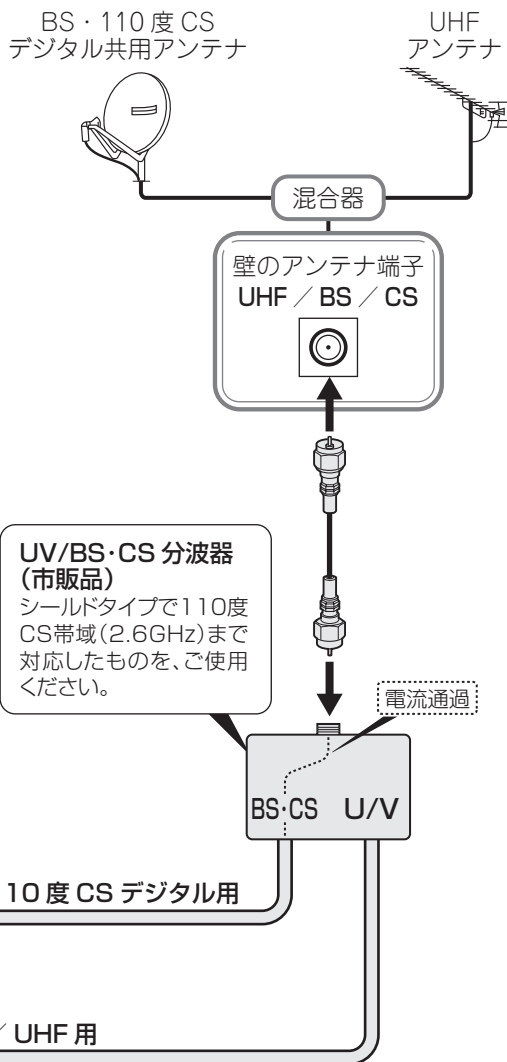
個人でアンテナを設置しているとき

(BS・110度CS デジタルと UHF / VHF が別の端子のとき)



マンションなどの共聴システムで 受信しているとき

(BS・110度CS デジタルと UHF が
混合されているとき)



◇おしらせ◇

- 接続をやり直すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。(⇒ 178 ページ) (BS・110度CS デジタルアンテナ入力端子は、BS・110度CS デジタルアンテナに取り付けられた BS・110度CS コンバーターに +15V / +11V の電源を供給する動きも持っています。この電源は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。本機とアンテナの間にブースターなどの機器を取り付けて使用される場合は、専用の電源が必要です。)
- 市販のブースター、アンテナ線や分配器をご使用になる場合は、110度CS 帯域(2.6GHz)まで対応しているものをご使用ください。(アンテナ線は S-5C-FB など。)詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
- 従来の BS アナログアンテナでは、110度CS デジタル放送は受信できません。また、BS デジタル放送も場合によっては映らないことがあります。

3 - 2 レコーダーとテレビをつなぐ

アンテナをつなぐ

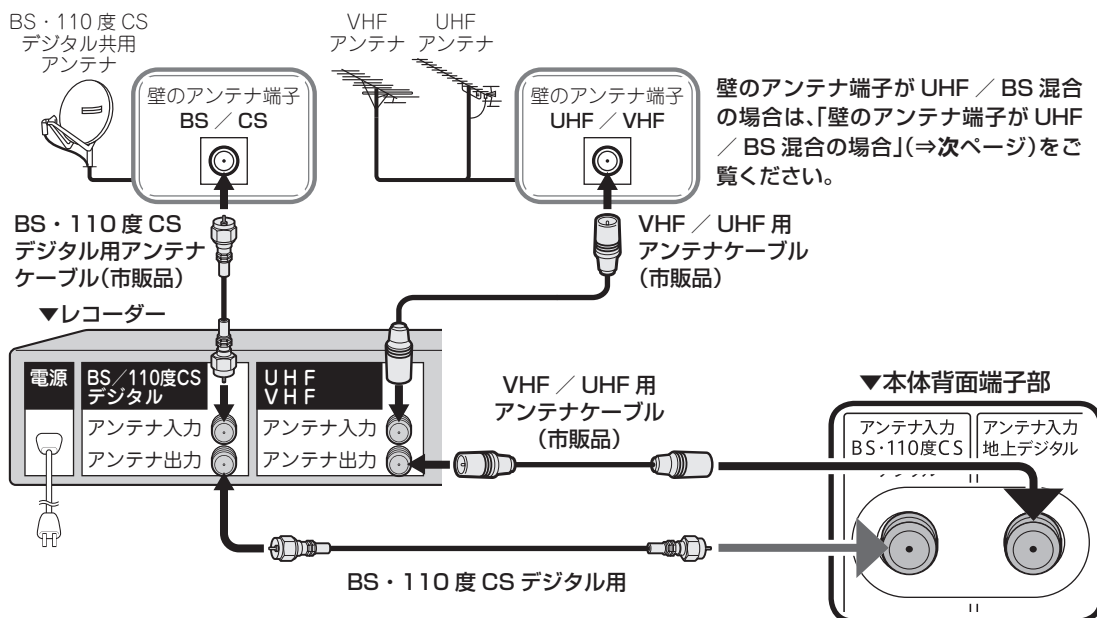
デジタルチューナー搭載のレコーダーの場合

◇おしらせ◇

- ・ ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。
- ・ アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

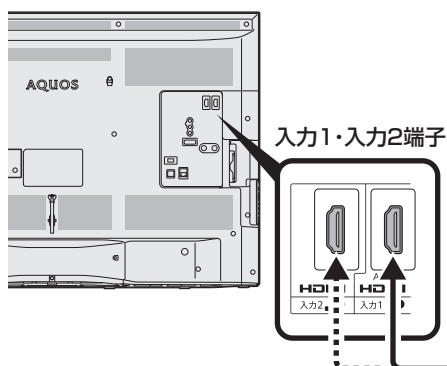


地上デジタルと地上アナログの入力が同じ端子のレコーダーにつなぐとき



HDMI ケーブルをつなぐ

▼本体背面

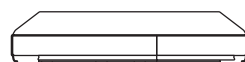


必ず市販のHDMI規格認証品(ハイスピードタイプ)をご使用ください。

規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しない、映像にノイズが発生するなど、正常に動作しない場合があります。



HDMI出力端子付き機器

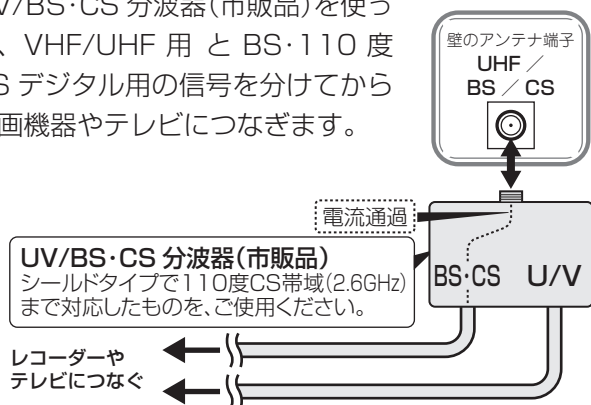


HDMI出力端子へ

3 - 2 レコーダーとテレビをつなぐ (つづき)

壁のアンテナ端子が UHF / BS 混合の場合

- UV/BS・CS 分波器(市販品)を使って、VHF/UHF 用 と BS・110 度 CS デジタル用の信号を分けてから録画機器やテレビにつなぎます。



◇ おしらせ ◇

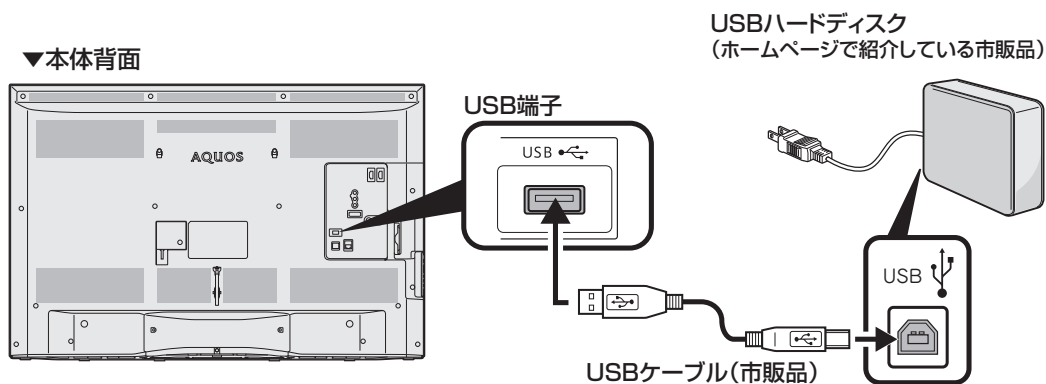
- ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けしないでください。
- アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。



USB ハードディスクを つなぐ

※使用しない場合は次のページへ進んでください。

- 接続したあとはUSB ハードディスクの初期化を行ってください。初期化については**52** ページをご覧ください。



必ず電源を切ってから、接続してください。

動作確認済みの USB ハードディスクについては、SHARP Web ページ内の AQUOS サポートページでご確認ください。

AQUOS サポートページ

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

4 電源コードをつなぐ

⚠ 注意

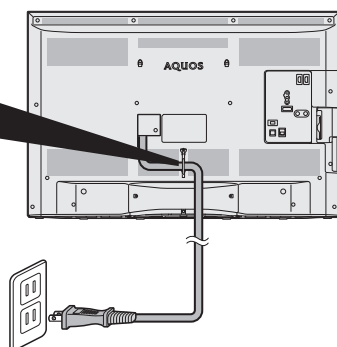
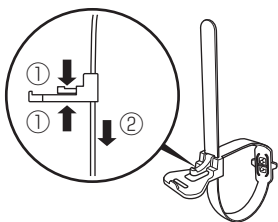
接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

◆ 重要 ◆

- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。
- (再設定できないものもあります。)
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。
- 本体の POWER(電源)ランプが消灯しているとき以外は、電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くときは **178** ページをご覧ください。

背面の電源コードの電源プラグを、ご家庭のコンセントに接続する

①を押しながら②を矢印の方向に引きます。束ねたケーブルを取り外したら、ケーブルバンドの輪にケーブルを通してください。



・本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

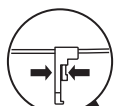
◇ おしらせ ◇

- 本機の電源を切る際、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。)

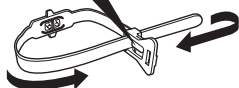
つないだケーブルやコードを固定する

- 本機につないだケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。端子部の負荷を軽減して破損防止を図るために、ケーブル類は必ずケーブルバンドで固定してください。

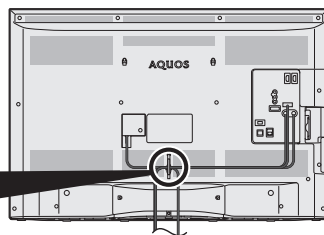
- ① 電源コードやケーブルをケーブルバンドで束ねます。
- ② バンドを穴に通して引っ張り、長さを調節します。



バンドを緩める場合は、レバーを押さえてロックを外し、バンドを戻してください。



バンドの長さが余った場合、再度穴に通します。



5 転倒防止対策をする

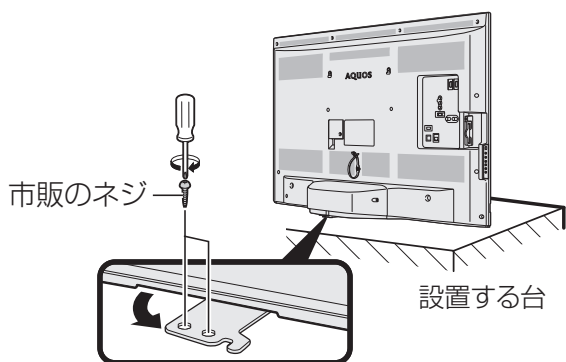
⚠ 注意

- 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。
- また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したのですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

- 転倒防止対策を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

テレビ台などに固定する

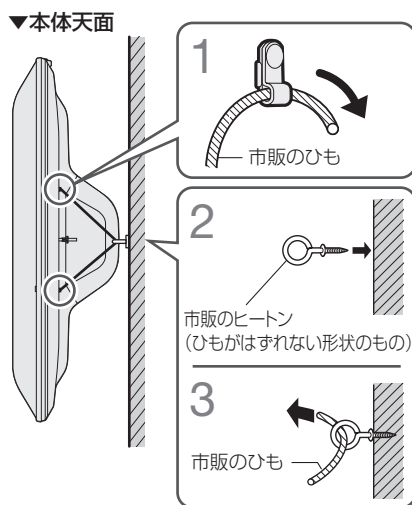
- 1 設置する台などの上に位置決めする
- 2 市販のネジを使い、固定金具の穴に上からネジを取り付けて固定する
 - 市販のネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。



固定金具を出し、市販のネジを使って取り付けます。

壁や柱に固定する

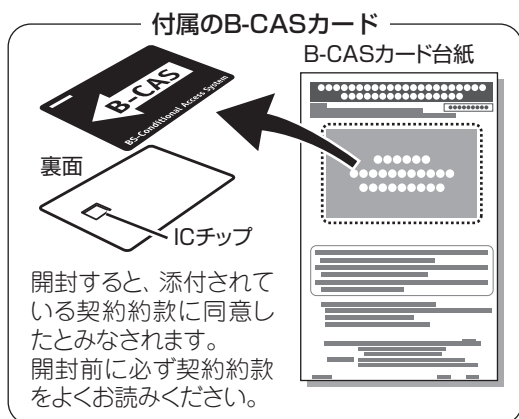
- 1 背面のクランプに市販のひもを取り付ける
- 2 壁または柱に、市販のヒートン(ひもがはずれない形状のもの)を取り付ける
 - 取り付けたヒートンが容易にはずれないことを、確認してください。
- 3 壁または柱に取り付けたヒートンの穴に、市販の丈夫なひもを通して本機を固定する



◆ 重要 ◆

- 必ず2人以上で作業を行ってください。
- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- 設置する台がガラスや金属など市販のネジで固定できない場合は、壁や柱に固定してください。

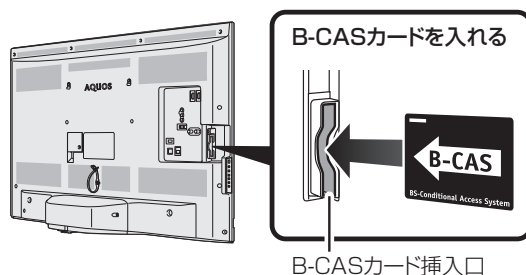
6 B-CAS カードを挿入する



1 B-CASカード台紙の内容を読む

2 内容に同意の上でB-CASカードを台紙からはずす

3 B-CASカードを正しい向きで奥までしっかり差し込む



- すべての接続を終えて電源を入れた後、設定メニューの「お知らせ」-「システム動作テスト」を行うと、カード番号が表示され、B-CAS カードが正しく挿入されているか確認できます。

B-CAS(ビーキャス)カードを本機に必ず入れてください。

- B-CAS カードを入れないと、デジタル放送が映りません。
- B-CAS カードには視聴情報などが記憶されます。
- B-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードを貼ってある台紙の説明をご覧ください。

B-CAS カードの抜き差しについて

- B-CAS カードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 万一、B-CAS カードを抜く場合は、設定メニューの「 (視聴準備)」-「各種設定」-「電源ボタン設定」を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、B-CAS カードを持ち、ゆっくりと抜いてください。

B-CAS カードは大切に保管してください。

- 仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料放送を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

B-CAS カードの取り扱いについて

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
- 重いものを載せたり、踏みつけたりしない
- IC チップには触れない
- 分解、加工しない
- 破損などにより B-CAS カードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。

B-CAS カードについてのお問い合わせ先

B-CAS カード カスタマーセンター

電話 0570-000-250

(2013 年 5 月現在)

7 「かんたん初期設定」をする

- お買いあげ後、B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面に従って操作・設定してください。

ネットワーク機能(インターネットや IPTV など)をお使いになる場合は

- ブロードバンドルーターと LAN 端子を市販の LAN ケーブルで接続してください。

かんたん初期設定の画面が表示されないときは

- 設定メニューの「 (視聴準備)」-「かんたん初期設定」を選びます。



- ◇おしらせ◇
- 設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

1

電源



を押す

2

決定

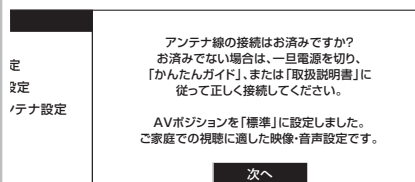
を押す

電源を入れる

電源コードのつなぎかた

- ⇒「かんたん!! ガイド」(巻末)7 ページ

メッセージを確認して決定する



- 途中で設定を中止するときは、電源をお切りください。

「B-CAS カードを正しく挿入してください。」と表示されたときは

- 電源を切り、「かんたん!! ガイド」(巻末) 9 ページの手順に従って B-CAS カードを挿入してください。

「リモコンと本機のリモコン番号が違いため操作できません。」と表示されたときは

- 「リモコン番号設定」(⇒33 ページ)を行ってください。

3

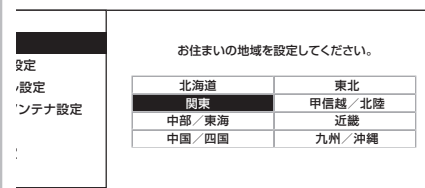


で選ぶ

決定

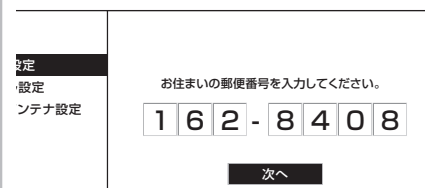
を押す

①お住まいの地域を選ぶ



②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

郵便番号を入力する



- 「0」を入力するときは を押します。

4

あ

1

10/0

で入力し

決定

を押す

5



6



7



8



「する」を選ぶ

地上デジタル放送のチャンネル設定をしますか？
設定しない場合は、「しない」を選択してください。

現在の地域設定は ○ ○ です。

決定
設定
ノテナ設定

する しない

- ・チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。

「次へ」で決定する

- ・手順 7 の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。

「する」または「しない」を選ぶ

- ・BS・CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、次ページの手順 9 に進みます。

設定
ノ設定
ノテナ設定

決定
設定
ノテナ設定

BS/CSのアンテナを設定しますか？
設定しない場合は、「しない」を選択してください。

する しない

- ・「する」を選んだときは、「BS/CS アンテナ電源自動設定中」の画面が表示されます。手順 8 の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

受信状態を確認して決定する

決定
ノ設定
ノテナ設定

決定
設定
ノテナ設定

BS/CSアンテナ電源を「オート」に設定しました。
受信強度が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。

受信強度 BS-15

現在値 95 最大値 95

受信状態:良好です。【A】

次へ

- ・「受信状態:良好です。【A】」と表示されないときは右記の対処が必要です。

手順 7 で「する」を選んだあと、次の画面が表示されたときは

BS/CS信号が検出できませんでした。
手動で再設定するか、一旦電源を切りアンテナ接続を再確認してから再度かんたん初期設定を実行してください。
設定しない場合は、「次へ」を選択してください。

受信強度 BS-15

現在値 0 最大値 0

次へ 手動で再設定

上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは

接続確認
地域設定
郵便番号設定
チャンネル設定

受信強度が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。

BS-CS
アンテナ電源 オート 入 切

- ・左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、次ページの手順 9 の画面が表示されます。

「受信状態:良好です。【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。
受信できません。【E】	次ページの「かんたん初期設定の途中でアンテナの接続を確認するときは」をご覧ください

チャンネル設定の途中で、「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- ・次ページの「かんたん初期設定の途中でアンテナの接続を確認するときは」をご覧ください。

BS・CS アンテナを接続していないとき

- ・「次へ」を選び決定ボタンを押してください。

BS・CS アンテナを接続しているとき

- ・「電源ボタン設定」(⇒33 ページ)を「モード2」に設定して本体の電源ボタンでいったん電源を切って、BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブルの接続を確認してください。(⇒「かんたん!! ガイド」(巻末)4 ページ)電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

7 「かんたん初期設定」をする (つづき)

9



で選び



を押す

①LAN設定をする場合は「する」を選ぶ

- ・ LAN 設定をしない場合は「しない」を選び、手順 13 に進みます。
- ・ LAN 設定が終わるまでしばらくお待ちください。

②「確認」で決定する

10



で選び



を押す

電源を入れたときに表示する画面を設定する

11



で選び



を押す

IPTV(ひかりTV)を見る場合は「する」を選ぶ

IPTV(ひかり TV)を見るには

- ・ IPTV サービスの契約、光回線の契約、ブロードバンド環境が必要です。本機をブロードバンド環境につないでおいてください。

12



を押す

「次へ」で決定する

13



で選び



を押す

設定された内容を確認し、間違いがなければ「完了」を選ぶ

14



を押す

メッセージを確認して決定する

- ・ これで設定は完了です。

「かんたん初期設定」を行っても受信できない放送があるときや設定の変更をしたいときは、次の設定を行ってください。

デジタル放送用アンテナの設定をする

- ・ デジタル放送のアンテナの向きの調整や信号の強さのテスト、BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナへの電源供給の設定を行います。(⇒ 145 ページ)

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために(地域選択／郵便番号設定)

- ・ デジタル放送の地域情報を視聴するために、お住まいの地域を選んで郵便番号を入力します。(⇒ 146 ページ)

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- ・ 受信できる地上デジタル放送のチャンネルを探します。(⇒ 147 ページ)
- ・ デジタル放送のチャンネルの個別設定
- ・ デジタル放送のチャンネルの設定を個別に変更することもできます。(⇒ 147 ページ)

地デジ難視対策衛星放送を視聴するための設定

- ・ BS291ch ～ BS298ch は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴する場合は、スキップ設定(⇒ 148 ページ)で「BS デジタル」の「地デジ難視対策衛星放送」を「一括設定」で「両方しない」に設定してください。

アンテナ接続を変更したときや、移転などで BS・110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは

- ・ 設定メニューの「 (視聴準備)」―「かんたん初期設定」を選び、かんたん初期設定をやり直してください。

かんたん初期設定の途中でアンテナの接続を確認するときは

- ・ 終了ボタンを押し、表示される画面で「する」を選んで、いったん、かんたん初期設定を終了してください。その後設定メニューの「 (視聴準備)」―「各種設定」―「電源ボタン設定」を「モード 2」にし、本体の電源ボタンで電源を切ってアンテナの接続を確認してください。かんたん初期設定をやり直すときは、設定メニューの「 (視聴準備)」―「かんたん初期設定」を選びます。

はじめに、巻末の「かんたん!! ガイド」の
手順 1 ~ 7 で準備・接続を行ってください。



- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 リモコンの準備と使いかた | 4 電源コードをつなぐ |
| 2 置く場所を決める | 5 転倒防止をする |
| 3-1 アンテナをつなぐ | 6 B-CAS カードを挿入する |
| 3-2 レコーダーとテレビをつなぐ | 7 「かんたん初期設定」をする |

シャープはエコポジティブ。



省エネ 明るさセンサー

・テレビを見るお部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調整。無駄に消費する電力を低減します。

省エネ 「無信号電源オフ」機能

・テレビ放送終了後など、番組が映らない状態になると約15分後に電源がオフになるよう設定ができます。

製品登録の
お願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、〈SHARP i CLUB〉で
ご愛用製品の登録をお願いいたします。(登録無料)

<http://iclub.sharp.co.jp/m/>

スマートフォンや
携帯電話はこちらから



<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

■液晶テレビの接続・故障診断などはこちら。

お問い合わせ先

お問い合わせの前にもう一度「故障かな?と思ったら」(152 ページ)
をご確認ください。



メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】

シャープ お問い合わせ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/>



使用方法や修理のご相談など
【お客様相談センター】



固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
0120-001-251



携帯電話からは、ナビダイヤル
0570-550-113

※非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。詳しくは、取扱説明書 185 ページをご覧ください

■廃棄時のご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金、
再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

シャープ株式会社

本

デジタル情報家電事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地

社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号



Printed in Malaysia

TINS-F829WJZZ △
13P05-MA-NS